

平成28年度 文部科学省委託 成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業

美容専門教育に必要な人材基盤力を養成する
教育プログラムの開発と実証

事業報告書

平成29年 2 月

目 次

【序説】事業概要

- 1 事業背景
- 2 事業目的
- 3 事業内容

【調査】美容分野の基盤力教育に関する実態調査

- 1 調査仕様
- 2 調査結果

【開発】美容人材基盤力養成プログラム

- 1 美容分野 職業キャリア教育プログラム
 - A 全体構成
 - B 使用教材
- 1 美容分野 基礎学力教育プログラム
 - A 全体構成
 - B 使用教材

【補遺】各種資料

- 1 調査報告
- 2 美容分野 職業キャリア教育プログラム テキスト教材（デザイン版）
- 3 美容分野 基礎学力教育プログラム 問題コンテンツ①〈練習問題〉
- 4 美容分野 基礎学力教育プログラム 問題コンテンツ②〈確認問題〉

【序説】事業概要

1 事業背景

美容分野の高等課程に求められるキャリア教育

美容分野は、美容師という職業の身近さもあり、ファッションや流行に敏感な若者を中心に、根強い人気がある。しかし、高等課程の入学者は中学校を卒業したばかりであり、職業について踏み込んで考えている生徒は少ないのが実情で、その多くは漠然とした憧れやイメージの次元にとどまっている。そのため、入学後（または入学決定から入学までの期間）、美容の専門知識・技術と並行し、職業観や働くことの意味・意義などについても考えさせるキャリア教育の充実化を図っていかねばならない。

右のデータは大阪府内の高等課程の生徒を対象に実施したキャリア教育に関するアンケート結果だが、6割を超える生徒が授業で職業や社会の展望等について教えてほしいと回答しており、生徒の側にも強いキャリア教育への要望がある（一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会平成25年度文部科学省委託事業）。



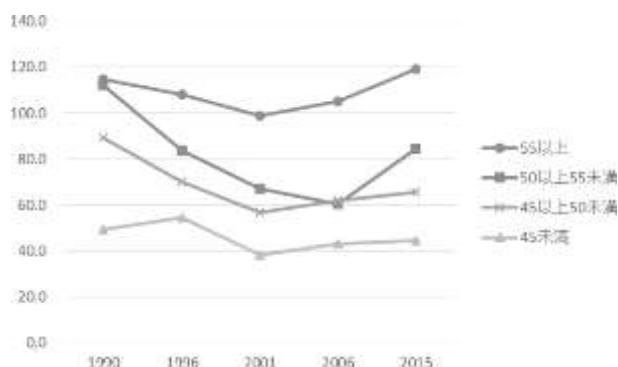
入学者の学力の問題 基礎学力と学習習慣

生徒・学生の学力低下が教育課題になって久しい。その議論の発端は平成15年（2003年）のOECDによる学習到達度調査（PISA2003）で、日本の生徒・学生は、読解力・数学的リテラシー・

【序論】事業概要

科学的リテラシーの全分野で前回順位を下回った。特に注目されたのは読解力でレベル1以下の下位層が増えている点であった。このような学力低下に対する見方は、教育現場では多くの教員が実感をもって受け止めている。

右のデータは「平日の学校外の平均学習時間」に関する調査結果である。対象は高校生ではあるが、平均偏差値別の推移が示されている。これによれば、偏差値55以上の上位層以外は1990年から減少傾向にあり、特に45未満の生



徒は60分に満たない水準で推移している。この結果からも多くの生徒が十分な学習習慣を身に付けていない実状が窺えるが、高等課程の生徒にも当てはまる傾向とみることができる。

専門教育を学ぶ上での基盤力育成の必要性

専修学校高等課程は、職業に就くための専門的な職業教育の場であるが、ここで学ぶ専門知識・技術の土台となるのは、小学校・中学校での学びや生活のプロセスで身に付ける基礎学力である。具体的には、テキストに書かれた内容を読み解く「読解力」や、学んだ知識を活用・適用する「考える力」などである。さらには、自主的・主体的に学ぼうとする姿勢や態度、学習する力も重要な要素である。このような基礎学力が下支えとなって、職業に就くための専門知識・技術が獲得されていくことになる。しかし、高等課程入学者の多くは、こうした基礎学力が十分に培われていないのが実情であり、入学決定後の入学前教育や入学してからの教育の中で、対応していく必要がある。ただし、3年間という限られた時間の中で、職業教育と同時並行的に基礎学力の再教育を効果的・効率的に実施していこうとしても、教員個々の努力では限界があり、基礎学力の再教育・強化のための標準モデルとなる教育プログラムの具体化と学校としての組織的な取り組みが不可欠である。

高等課程における基礎学力の強化

さらに、この基礎学力の内容について踏み込むと、高等課程における基礎学力の再教育で求め

られるのは、単なる小学校・中学校での学習の学び直し（リメディアル）でなく、「将来の職業（美容師）と結びつく基礎学力」の強化・向上である。つまり、「美容分野の基礎学力」であり、この学力は、卒業後に専門職業人として活躍し続けるための成長を支える原動力になるものである。

美容版職業キャリア教育の必要性

専修学校高等課程の生徒は、将来の職業を選択した上で入学しているが、先述したように、年齢面の理由などから明確な職業意識や仕事観を持っているとは言い難いのが実情である。したがって、3年間の中で、専門知識・技術と同様に、職業意識や職業観の醸成を図る「職業キャリア教育」を徹底していく必要がある。現在のところ、職業キャリアに係る教育の実施は十分とはいえず、今後、その内容・方法を具体化し、効果的に展開していくことが、生徒が卒業・就職した後の美容師としてのキャリア形成を支援する意味でも重要かつ喫緊の教育課題である。

2 事業目的

繰り返して言えば、美容分野高等課程の生徒は、一応は将来の職業を選択した上で入学しているが、その多くは美容師という職業について踏み込んで考えておらず、漠然としたイメージや憧れに留まっているケースが大半である。そのため、入学後は専門知識・技術だけでなく、職業キャリアに関するしっかりとした教育も行い、働くことの意味や意義について考えさせる等、職業観の涵養を図る必要がある。

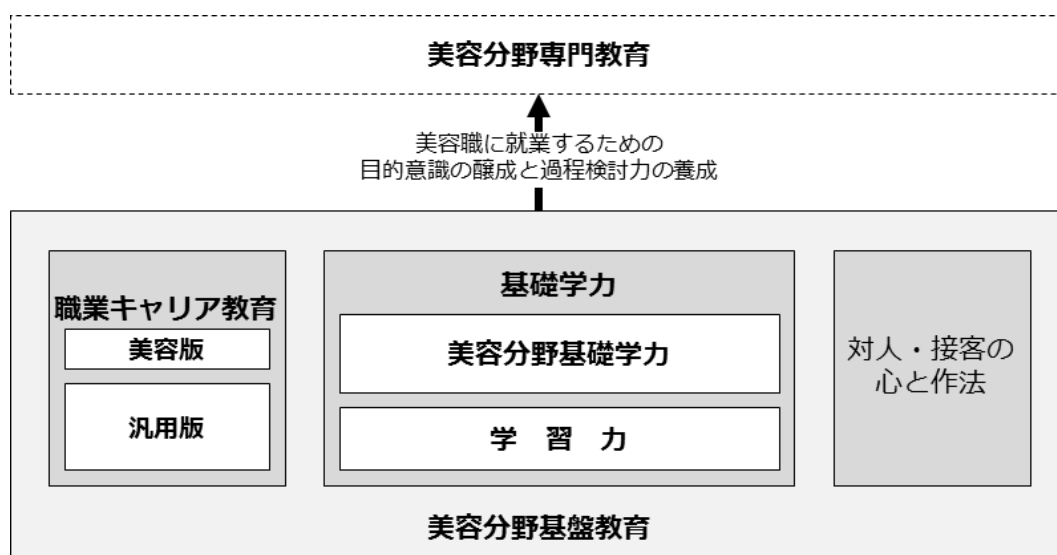
また、近年、学力低下が教育課題であるが、美容分野においても、生徒の基礎学力の底上げは喫緊の課題である。専修学校高等課程は職業教育の場ではあるが、そこでも中学校までの学習や生活で習得した基礎学力が下支えになってこそ、職業に就くための専門知識・技術が獲得されるからである。したがって、美容分野の職業との関連性を有する基礎学力の向上が不可欠になる。

このような職業キャリア教育や基礎学力教育を3年間という就学期間の中で、専門教育と並行的に実効性のあるものとして実施するためには、その標準モデルになる教育プログラムの具体化と組織的な取組が求められる。

そこで、本事業では、美容分野高等課程に特化した職業キャリアと基礎学力の教育プログラムを開発した。これにより、美容分野で学ぶ生徒の学習と成長を支える基盤力の強化を目指した。

3 事業内容

本事業は、平成28-29年度の2年間に亘り、美容分野専門教育に必要な人材基盤力を養成する教育プログラムを開発・実証するものである。その教育プログラムは、下図のスキームが示す通り、美容分野における「職業キャリア」「基礎学力」「対人・接客の心と作法」で構成されている。



このうち、本事業では、次の領域に関する教育プログラムの開発に取り組んだ。

- 1 美容分野 職業キャリア教育
- 2 美容分野 基礎学力教育（理科系領域）

また、本事業では、開発に先立ち、教育プログラムを設計するための基礎資料を作成する目的で、「美容分野の基盤力教育に関する実態調査」を実施した。そこでは、全国的美容師養成施設250校以上に質問票を送付し、美容専門学校における基礎学力教育・職業キャリア教育の実施状況・内容・課題等に関する実態の把握と情報の収集・整理を企図した。

本書では、上記の事業内容に伴う成果物について――

【調査】美容分野の基盤力教育に関する実態調査

- 1 調査仕様
- 2 調査総括

【開発】美容人材基盤力養成プログラム

- 0 美容人材基盤力養成プログラム教育体系
- 1 美容分野 職業キャリア教育プログラム
 - A 全体構成
 - B 使用教材
- 2 美容分野 基礎学力教育プログラム（理科系領域）
 - A 全体構成
 - B 使用教材

【補遺】各種資料

という展開で、以下に報告する。

【調査】美容分野の基盤力教育に関する実態調査

1 調査仕様

本事業では、開発に先立ち、教育プログラムを設計するための基礎資料を作成する目的で、「美容分野の基盤力教育に関する実態調査」を実施し、美容専門学校における基礎学力教育・職業キャリア教育の実施状況・内容・課題等に関する実態の把握と情報の収集・整理を行った。その調査仕様を以下に示す。

調査名	美容分野の基盤力教育に関する実態調査
目 的	教育プログラムを設計するための基礎資料を作成する目的で、美容専門学校における基礎学力教育・職業キャリア教育の実施状況・内容・課題等に関する実態の把握と情報の収集・整理
対 象	公益社団法人日本理容美容教育センター「養成施設」掲載の美容師養成施設254校 有効回答123件（48.4%）
時 期	平成28年10月4日発送、同17日回収
方 法	質問票送付

※ 質問・回答結果等を含む「調査報告」は【補遺】に掲載。

2 調査総括

◆ 基礎学力教育について〈全体〉

基礎学力をつける授業の実施状況において、2-1の結果（6項目）から、「実施している」「必要だが実施していない」という選択肢のどちらかを選択している学校が多く、必要度は高いと推測できる。また、2-3「基礎学力教育は専門学校教育を学ぶにあたり重要である」という問いでは「非常にそう思う」（52.8%）、「ややそう思う」（34.1%）と肯定的な意見を合わせると、9割近くが重要視していることが分かった。

「実施している」授業については、美術・家庭の力をつける授業が最も高く、82.9%であった。一方、「実施している」と答えた割合が24.4%と低い数学の授業では、「必要だが実施していない」の割合が52.8%と最も高く、必要性が高いが実施できていないという現状が見られた。

実施方法については、講義形式が最も多く、ついで実習、グループワークが多く見られた。美術・家庭の力をつける授業では、実習が49.0%と他の授業に対し多く見られた。

◆ 基礎学力教育について〈高等課程あり/なし〉

〈高等課程あり/なし〉による基礎学力をつける授業の取り組みや意識の差について、理科の力をつける授業では「実施している」の割合について〈高等課程あり〉（68.2%）と〈高等課程なし〉（52.8%）では15.4%の差が見られた。それ以外の基礎学力教育については、全体の傾向と大きな差は見られなかった。

「基礎学力教育は専門学校教育を学ぶにあたり重要である」という問いでは〈高等課程あり〉「非常にそう思う」（45.5%）・「ややそう思う」（27.3%）、〈高等課程なし〉「非常にそう思う」（55.1%）・「ややそう思う」（36.0%）と、肯定的な意見にやや差があり、〈高等課程なし〉の学校の方が基礎学力教育を重要視している割合が高い結果となった。

◆ 職業キャリア教育について〈全体〉

全体傾向から見た職業キャリア教育の実施状況は、調査項目のうち、どの授業科目についても「実施している」と回答した割合が5割以上であった。特に「働くことの目的や意義、職業観についての授業」(Q2_7)を「実施している」学校は80.5%、「職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業」(Q2_8)を「実施している」学校は88.6%と高い実施率を占めていることが分かった。

上記以外の8割を下回る授業科目については、「実施している」に加え、「必要だが実施していない」という選択肢を選ぶ回答が多かった。必要性を感じているものの実施には至っていない現状であることが推測できる。教育の重要度を示す調査項目「「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である」(Q4_1)については、「非常にそう思う」が55.3%、「ややそう思う」が31.7%であり、肯定的な意見を合わせると「基礎学力教育」の重要度より0.1%高いだけであり、ほとんど差がみられなかった。

実施方法については、講義形式がほぼ9割を占めており、最も多い回答であった。ただし、「チームワークの大切さについての授業」(Q2_11)については、講義が63.3%、実習が57.0%、グループワークが60.8%という結果であった。実習とグループワークを取り入れていることが、他の授業科目に対し多く見られた。

◆ 職業キャリア教育について〈高等課程あり/なし〉

〈高等課程あり/なし〉から見た職業キャリア教育の実施状況は、〈高等課程あり〉では、どの授業科目についても「実施している」との回答が4割以上であった。〈高等課程なし〉では、どの授業科目についても「実施している」との回答が5割以上であった。また、それぞれの科目ごとで〈高等課程あり/なし〉の割合を比較すると、すべての授業科目について、〈高等課程なし〉のほうが〈高等課程あり〉よりも「実施している」との回答が高く、実施率が上回っていることが分かった。

次に、授業科目別に実施状況を見てみると、特に「自己分析・美容業界におけるキャリアプ

【調査】美容分野の基盤力教育に関する実態調査

ランについての授業」(Q2_10)の回答に差異が見られた。〈高等課程あり〉では「実施している」(50.0%)、「必要だが実施していない」(40.9%)であった。対して、〈高等課程なし〉では「実施している」(67.4%)、「必要だが実施していない」(21.3%)であった。〈高等課程あり/なし〉を比較すると、「実施している」の回答に17.4%の差が見られた。教育の重要度を示す調査項目「「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である」(Q4_1)については、〈高等課程あり〉の「非常にそう思う」が40.9%、〈高等課程なし〉の「非常にそう思う」が57.3%であった。「基礎学力教育」の〈高等課程あり/なし〉の重要度と比較すると、いずれも〈高等課程なし〉のほうが〈高等課程あり〉よりも上回っていることが分かった。

実施方法については、〈高等課程なし〉の「チームワークの大切さについての授業」(Q2_11)についてのみ、講義(60.3%)がグループワーク(65.5%)を上回る結果であった。それ以外の授業科目の実施方法では〈高等課程あり/なし〉ともに、どの授業科目についても講義形式が最も多い回答であった。

◆ まとめ

基礎学力教育の実施状況では、「実施している」割合が全体傾向として高い結果であったものの、「必要だが実施していない」(=必要性を感じているものの実施に至っていない)に高い割合を示す授業科目がいくつか見られ、科目の実施状況に差が見られた。

基礎学力教育〈全体〉の授業科目のうち、以下の2科目はいずれも、「必要だが実施していない」のほうが「実施している」より上回る結果である。一つ目は「書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業」(Q2_1)で、「必要だが実施していない」が41.5%（「実施している」は38.2%）であった。二つ目は「基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業」(Q2_2)で、「必要だが実施していない」が39.0%（「実施している」は24.4%）であった。これらの科目では特に、必要度が高いが実施できていない現状が顕著にうかがえる。

その理由として、自由記述（〈自由回答〉4-1-1 課題について）から以下の意見が挙げられている。それは「1. 学生のレベル差」が個人間で大きいこと、「2. 基礎学力の低さ」が目立つこと、

「3. 意欲、モチベーション」の差があること、「5. 時間の不足」（通常授業以外に時間が取れないこと）などである。これらを理由のすべてとみなすことは出来ないが、総じて意見が多く見られた。

職業キャリア教育の実施状況では、「実施している」割合は全体傾向として高い結果であり、「必要だが実施していない」のほうが「実施している」より上回るものはなかった。

しかし「必要だが実施していない」に2割以上の高い割合を示す授業科目が3科目見られ、科目の実施状況に差が見られた。

職業キャリア教育〈全体〉の授業科目のうち、まず「自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業」（Q2_10）の「必要だが実施していない」は23.6%であった。次に、「チームワークの大切さについての授業」（Q2_11）の「必要だが実施していない」は24.4%であった。さらに、「働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業」（Q2_12）の「必要だが実施していない」は32.5%であった。

考えられる理由として、自由記述（〈自由回答〉4-2-1 課題について）から以下の意見が挙げられている。それは、「1. 将来・就職への意識・ビジョン」が学生それぞれで多様で、差が見られることである。

結論として、基礎学力教育・職業キャリア教育を実施する上で、課題点が見られること、必要性を感じているものの実施に至っていない現状があることが分かった。また自由記述から、これらの理由や背景、さらには解決したいという意見が見られた。教員が取り組んでいる教育内容の実態や、学校が感じている潜在的な問題を発見できたという点で、本調査の実施は大いに意義があったと言えよう。

そして、調査から見てきた基礎学力教育・職業キャリア教育の課題の解決やさらなる実施率向上のために、それらの改善を支援する教育プログラムの開発が必要であることが分かった。

具体的には、実施率をあげるための工夫として、自由記述の意見を参考に授業方法を支援するプログラム取り入れることと、生徒の学力・意欲などに合わせて、個人別、レベル別などで教育プログラムを作成して、実施することなどが考えられる。

また、このような職業観と基礎学力は、美容分野の専門知識・技術の習得と並行して身につけ

【調査】美容分野の基盤力教育に関する実態調査

なければならない。生徒の基礎学力が低いままであると、美容分野の専門知識・技術の習得にも影響を及ぼし、ひいては学習するモチベーションを維持すること自体が難しくなる。さらにモチベーションが低い生徒に対しては、キャリア意識を育てにくくなる。このことは現在、美容業界全体の障壁となっている。

しかし、学力差やモチベーションの異なる生徒の対応を、教員の授業内容や方法から解決するには限界がある。このような現状から、全体でプログラムを構築することが急がれる。生徒ひとりひとりの学習と成長に合わせた支援や対策を目的とした教育プログラムの開発・実施が必要なのである。

【開発】美容人材基盤力養成プログラム

本事業は、平成28-29年度の2年間に亘り、美容分野専門教育に必要な人材基盤力を養成する教育プログラムを開発・実証するものである。この「美容人材基盤力養成プログラム」の基盤として本事業で構想した美容分野基盤教育の体系は当初、一般社団法人大阪府専門学校各種学校連合会による平成24年度 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業「被災地学生の就業力向上を入学前から支援する教育システムの構築」で提示された専門学校入学前後教育スキームから着想を得たものである。その教育体系は、美容分野の「職業キャリア」「基礎学力」「対人・接客の心と作法」で構成されている。



このうち、本事業では本年度、次の領域に関する教育プログラムの開発に取り組んだ。

- 1 美容分野 職業キャリア教育
- 2 美容分野 基礎学力教育（理科系領域）

まず、この2領域を含む美容人材基盤力養成プログラム全体の教育体系を以下に示す。

◆ 美容人材基盤力養成プログラム（150時間）教育体系

美容人材基盤力養成プログラム（150h）

1年次（60h）			2年次（60h）			3年次（30h）		
基礎学力教育			職業キャリア教育（30h）			学習力強化（30h）		
理科系（30h）			集合学習（15h）			集合学習（15h）		
文科系（30h）			個人学習（15h）			個人学習（15h）		
◆ 理科系 ○美容の物理・化学 ○美容保健（人体の構造・機能・皮膚科学） ○専門教育の前提になる科学知識			◆ 言語系（専門教育の前提になる読解・聴解・構文・語彙・文法表現・漢字表現等） ◆ 社会系（専門教育の前提になる社会常識・基礎的倫理・制度・美容文化等） ◆ 数学系（計算・単位換算・図形・空間理解等）			【講義】1.1 美容師とは何か 【演習】1.1 美容師とは何か 【講義】1.2 美容業界の最新動向 【演習】1.2 美容業界の最新動向 【講義】2.1 美容人材の職業意識① 【演習】2.1 美容人材の職業意識① 【講義】2.2 美容人材の職業意識② 【演習】2.2 美容人材の職業意識② 【講義】3.1 美容人材に必要な能力① 【演習】3.1 美容人材に必要な能力① 【講義】3.2 美容人材に必要な能力② 【演習】3.2 美容人材に必要な能力② 【講義】4.1 美容人材のキャリア形成① 【演習】4.1 美容人材のキャリア形成① 【講義】4.2 美容人材のキャリア形成② 【演習】4.2 美容人材のキャリア形成②		
基礎力テスト実施 & 演習レジュメシート作成			(次年度開発・調整予定)					
通年(週1h) 想定			通年(週1h) 想定			半期(週1h) 想定		
前期(週2h) 想定			前期(週2h) 想定			前期(週2h) 想定		
1年間で学習可能			1年間で学習可能			1年間で学習可能		

※全体にわたり、週5hのペースで進めれば、1年間で学習可能

「美容人材基盤力養成プログラム」は、専修学校高等課程在籍生を対象にして3年間で全150時間の学習を想定したものである。そこで、生徒は、1年次に「基礎学力教育」(60時間)、2年次に「職業キャリア教育」(30時間)と「学習力強化」(30時間)、3年次に「接遇スキル向上」(30時間)の各プログラムに取り組む。

本事業では本年度、次の2つの教育プログラムを開発した。

- 1 美容分野 職業キャリア教育
- 2 美容分野 基礎学力教育(理科系領域)

この1・2の教育プログラムについて各々、その全体構成と使用教材を次節以降で提示する。

1 美容分野 職業キャリア教育プログラム

A 全体構成

「美容分野 職業キャリア教育プログラム」は全30時間で、集合学習15時間と個人学習15時間で構成されている。集合学習は、講義（1時間×7回）と演習（1時間×8回）から成る。講義ではテキストの講読と解説、演習ではワークシート・レポート等作成やケーススタディとテーマ討議を行う。個人学習は、予習（1.5時間×8回）と復習（0.5時間×7回）から成る。予習ではテーマ毎レポート作成、復習では確認テストに取り組む。本教育プログラムの全体構成を以下に示す。

		集合学習		個人学習	
		各 1 h	各 1 h	各1.5 h	各0.5 h
		講義	演習	予習	復習
1 職業理解	1.1 美容職とは何か	テキスト講読 講師解説	ワークシート作成 テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
	1.2 美容業界の最新動向	テキスト講読 講師解説	レポート発表 テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
2 職業意識	2.1 美容人材の職業意識①	テキスト講読 講師解説	ケーススタディ テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
	2.2 美容人材の職業意識②	テキスト講読 講師解説	ケーススタディ テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
3 職業人 コンピテンシー	3.1 美容人材に必要な能力①	テキスト講読 講師解説	自己アセスメント テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
	3.2 美容人材に必要な能力②	テキスト講読 講師解説	自己アセスメント テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
4 職業キャリア 形成	4.1 美容人材のキャリア形成①	テキスト講読 講師解説	レポート発表 テーマ討議	レポート 作成	確認 テスト
	4.2 美容人材のキャリア形成②	—	キャリア目標検討 テーマ討議	レポート 作成	—

B 使用教材

次に、本教育プログラムの使用教材として、講義用テキストと復習用確認テストを以下に示す。講義用テキストは集合学習の講義における講読対象、確認テストは個人学習の復習における知識定着コンテンツとして想定している。

◆ 美容分野 職業キャリア教育プログラム 講義用テキスト教材 構成

講義用テキスト教材は全4章8節構成で、内容は教育プログラムの各テーマに準拠している。全体に亘り、職業を単なる生計を立てる手段としてのみ見るのではなく、それは必ず社会・組織・集団との関わりにおいて成り立っていることを常に意識させることが企図されている。

1 美容分野 職業理解

- 1.1 美容職とは何か——美容職の役割・意義と職種を知る
- 1.2 美容業界の最新動向——社会の動きと美容業界の動向を知る

2 美容分野 職業意識

- 2.1 美容人材の職業意識①——組織・社会の一員としての美容人材の心構えを学ぶ
- 2.2 美容人材の職業意識②——個人としての美容人材の心構えを学ぶ

3 美容分野 職業人コンピテンシー

- 3.1 美容人材に必要な能力①——チームワークで働く美容人材が習得すべき能力を考える
- 3.2 美容人材に必要な能力②——専門職業人として日々の研鑽が必要な美容人材が習得すべき能力を考える

4 美容分野 職業キャリア形成

- 4.1 美容人材のキャリア形成①——様々な美容職のキャリアパスを知る
- 4.2 美容人材のキャリア形成②——美容人材としての自分のキャリアを考える

◆ 美容分野 職業キャリア教育プログラム 講義用テキスト教材 原稿

※ 講義用テキスト教材デザイン版は、【補遺】に掲載。

1 美容分野 職業理解

1.1 美容職とは何か——美容職の役割・意義と職種を知る

▼ 美容職の歴史

美容職の歴史は、今から3000年以上前に^{さかのぼ}遡ると言われます。その頃にエジプトでヘアカッティングの仕事が誕生しましたが、日本にその技術が伝来したのはごく最近のことです。近代以前の日本では、髪を束ねたり結ったりして頭頂に^{もどり}髻を象った「^{まげ}髷」が主流である伝統的なヘアスタイル文化であったため、カッティングの必要がなかったからです。

この時代のヘアケアに関する施術は、美容より、むしろ理容に近いものでした。美容としての技術が普及してきたのは大正時代に入ってからです。その頃から、女性を主対象にしたヘアカッティング・パーマネントウェービング等の施術が行われるようになりました。そして、昭和32年（1957年）に制定された「美容師法」で美容が「パーマネントウェーブ、結髪、化粧等の方法により、容姿を美しくすること」と定義されたことで、美容職の業務が拡大されました。ヘアスタイルに関する施術だけでなく、化粧（メイクアップ）、さらにネイルケア・エステティック等の技術も含まれるようになったのです。

日本で最初の美容学校である東京女子美髪学校は、美容師法の制定より40年以上前の大正2年（1913年）に設立されました。そこでは、それまで行われてきた髪結に関する教科は言うまでもなく、エステティックに近い内容も教授され、当時から既に美容に関する広範のカリキュラムが組まれていました。この東京女子美髪学校設立後、各地に美容学校が増え、メイクアップ等の教科も追加され、美容に関する学びを更に深められるようになりました。

その後も、ヘアスタイルの流行の変化と共に、美容技術は次々に進化してきました。そうした最新の流行スタイルや美容技術に敏感であることは、美容職にとって大切な職業意識の一つです。

▼ 美容職の役割

美容職の役割は美容師法の定める範囲内で、人の容姿に関する美しさを追求し、その結果をお客様に提供することです。ただし、自分の考える形を押し付けることではありません。お客様とのコミュニケーションをとおして、お客様自身の求めるイメージを具体的な形にすることが美容職の役割です。

また、「時、所、場合」(TPO)に応じた美容のアドバイスをすることも重要な業務です。例えば、会社の命運を左右するような商談に臨む時はどうか、お見合いに行く時はどうか、結婚式に出席するときはどうか等々、それぞれのTPOに応じたアドバイスができれば、お客様とのコミュニケーションが深くなり、顧客満足度も向上します。TPOとしては七五三、晴れ着での初詣、入学式、卒業式、成人式、入社式、昇進、人事異動、同窓会、各種パーティ、授業参観、法事など、美容院へ行く機会はたくさんあります。

ほかに、和装に合う伝統的な髪型を継承してゆくことも重要な役割の一つです。日本では平安時代からの髪型にかんする様式が伝わっており、現代でも皇室には古来の髪型を結って臨む宮中行事があります。近世から続く日本髪も日本舞踊など伝統芸能を行う人や芸者など花柳界の人々が受継いでおり、結婚式では鬘を使わず自分の髪で結う人がいます。こうした需要に応え続けることも美容職ならではの役割です。

▼ 美容職の仕事

美容職の仕事は近年になって多様化しています。人々が個性を求めるようになったこと、美容職の技術が向上したこと、美容院の増加による競争激化などを背景として、それぞれの店が独自のサービスを開発しているからです。今後も仕事内容の高度化は続くと考えられており、最新動向の情報収集は必須です。

近年の美容職の主な仕事には次のようなものがあります。

カウンセリング： お客様の要望をヒアリングし、アドバイスをする仕事

シャンプー： 清潔を保つと共に、お客様が快適に感じる洗髪を行う仕事

ヘアカット： 仕上がりを想定しながら、適切な方法を用いて髪をカットする仕事

カラーリング： 微妙な色の違いを見分け、お客様が要望する髪の色に仕上げる仕事

パーマ： 適切な方法によって髪にウェーブをかける仕事

ブロー： 濡れた髪をタオルやドライヤーで乾かし整える仕事

ヘアセット： 髪型をお客様の要望にそった形に仕上げる仕事

スキンケア： さまざまな理由で痛んだ肌を健康的な状態にする仕事

メイクアップ： お客様の要望にそって顔に化粧をほどこす仕事

ネイル： ネイルケアやネイルアートなど爪の手入れと美容を行う仕事

着付け： 和服を自分で着ることのできない人のために適切な着用法を指導する仕事

以上が美容職の一般的な仕事です。ネイル関連は資格をもたなくてもサービスできますが、美容師資格のほかにネイリスト検定等を取得して技術の幅を広げておくのは、仕事をするうえで役に立ちます。

▼ 美容職の職場

美容職の職場は一般に、「美容院」「美容室」「ヘアーサロン」「ビューティサロン」等と呼ばれます。美容師法は正式名称を「美容所」と定めますが、店名に用いることは滅多にありません。

店舗内は清潔で美しく、換気が十分にされ、整理整頓がゆきとどいた働きやすい環境です。これは経営者の方針によるものだけではなく、美容師法第十三条の定めに従った結果でもあります。

美容師法

(美容所について講ずべき措置)

第十三条 美容所の開設者は、美容所につき、次に掲げる措置を講じなければならない。

一 常に清潔に保つこと。

二 消毒設備を設けること。

三 採光、照明及び換気を充分にすること。

四 その他都道府県が条例で定める衛生上必要な措置

店の規模は小さな個人経営が70～80%をしめており、残りが株式会社や有限会社です。従業員数も5人未満が全体の約70%であり、少人数経営が主流となっています。

また、美容師は美容法に基づいて届け出た施設でのみ施術を行えますが、「政令で定める特別の事情がある場合」は他の場所で施術を行うことができます。具体的には美容師法施行令の第四条に規定されており、「疾病その他の理由により、美容所に来ることができない者に対して美容を行う場合」「婚礼その他の儀式に参列する者に対してその儀式の直前に美容を行う場合」があり、その他に地域が特別に定めたケースも可能です。一般には山間部などの過疎地域、高齢者福祉施設、俳優や芸人など芸能人の控え室が対象となります。出張美容施術を主要に行う会社もあり、東京や大阪等の大都市を中心に活動しています。

出張美容施術が可能な場所については地方公共団体ごとに定めがあり、東京都の条例では「疾病その他の理由により」出張できますが、単に高齢を理由にして「面倒だから来てもらう」という場合は出張できないとしています。式場や神社などで行う結婚式や七五三参りなどの儀式にも出張できますが、儀式が伴わない単なる記念撮影が目的の場合は出張できません。これらの条例に違反した場合は罰金や業務停止命令、あるいは免許取り消しになることがあります。

職場のスタッフ体制は最も少人数の場合、美容師が1人で全ての業務を行います。福祉施設等に出張するときは一時的に店を閉めます。美容師が2人の場合、技術が同等レベルのケースや一方がアシスタントのケースがあります。3人以上の場合、無資格者が案内・会計・掃除等を行うケースもあり、分業が進みます。

また、美容職をスタイリスト・トップスタイリスト等に分けるのは各店の規則であり、公的資格制度に基づく区分ではありません。大型店になると、店長やマネージャーといった美容師を管理する役職もあります。

1.2 美容業界の最新動向——社会の動きと美容業界の動向を知る

▼ 美容を巡る社会の動き

現在の日本は極端な高齢化社会を迎えています。昭和25年（1950年）に4.9%であった65歳以上の高齢者人口が、平成27年（2015年）に26.7%となりました。前年より約90万人増え、割合、人口ともに過去最高を記録しました。65年間で5倍以上も増加し、日本人の4人に1人が高齢者となったのです。この傾向は今後も続き、平成47年（2035年）には33.4%になると予測されています。日本人の3人に1人が高齢者となるのです。

さらに、平成27年には総人口も減少しました。1年間に生まれる子どもの数が長期的に減り続けており、近年の出生数は100万人程度で推移しています。戦後最も多かった昭和24年（1949年）の出生数は約270万人ですから、当時と比較して40%弱しか子どもが生まれていません。「少子高齢化総人口減少」が人口の長期トレンドとなっています。

経済の高度成長も見込めないことから、今後の国内市場は縮小し続けると予測されており、多くの業界では対応に知恵を絞っています。ポイントは海外などの「新しい市場」に進出するか、国内で「新しい市場」を創造することです。

例えば核家族化が定着し、未婚率が上昇している背景から単身世帯が増加し「お一人さま市場」が成長しています。大人数で利用するのが常識であった焼肉店が1人用のカウンター席を設けたり、数人分の惣菜パックを売っていたスーパーが1人用の惣菜パックも品揃えするなど、各業界が進出しています。街の電器店が地域の高齢者宅等を巡回営業し、電球の交換も行うサービスをすることで部屋に入れてもらい、家電製品の売上を伸ばした例も「お一人さま市場」進出の応用です。

▼ 美容業界の動向

美容師数・美容所数・美容市場規模等の最新数値

こうした環境のなか、美容業は店舗数が増え続けており激しい競争状態となっています。美容院の総店舗数は平成11年（1999年）に20万1千件であったのが、平成27年には23万8千件となっており、ゆるやかに増え続けています。同年のコンビニエンスストア総店舗数が5万5千件です

から、その4倍以上です。

美容業の市場規模は平成27年の推計で1兆5千億円程度とされています。平成22年（2010年）の推計は1兆3千億円なので増加傾向にあります。

店で働く人のうち、受付け、会計、掃除等の業務は資格を問いませんが、お客様に施術を行う業務は美容師の国家資格が必要です。美容師の人数は平成11年に45万3千人であったのが、平成27年には49万7千人に達しており、これもゆるやかに増加しています。

社会変化に伴う美容業界の動向

少子高齢化が進行し、総人口が減少するなか、美容院の件数および美容師の人数は増え続けています。一方、社会全体で節約志向が定着しており、急激な消費拡大は見込めそうにありません。その結果、業界内の競争は激しさを増し、新たな対策が求められるようになりました。

主な対策として業界全体に浸透しているのは接客の品質向上です。お客様が来店するのは髪を切り、髪型を整えることだけが目的ではなく、より幸福になりたい、より特別な存在になりたい、より美しくなりたい等といった奥深い目的も潜んでいるとの認識が背景にあります。美容院に行けば「快適で幸せな時間を過ごせる」「大切な人間として扱ってもらえる」「みんなが注目してくれるようになったと思える」、そのような接客を心がけるようになりました。

高級店でなくても出迎え、見送りは当然となり、常連でなくても名前を覚えてもらえます。自分の要望を否定されることもありません。熱心に傾聴してもらえるうえに、専門家からのアドバイスも含めたコミュニケーションにより、漠然とした要望が具体的になります。上から目線で決めつけるのではなく、穏やかに話し合った結果です。どれだけ腕が良くても、無愛想な命令口調ではダメなのだと気づくようになりました。

近年はさらに品質の向上をめざし「接客に正解はない」という段階を目標とする考え方もあります。個性化社会においては100人のお客様がいれば、100通りの接客法があり、同じお客様でも毎回同じ接客ではいけないというものです。

また、今後の重要な対策として高齢化社会への対応が必要です。人口の多い団塊の世代が高齢にさしかかっていることもあり、大きなマーケットになってきました。オシャレで活動的なタイ

ブが多く、会社員として堅実に働いてきた人は十分な貯金があり、年金も充実しています。趣味等に多くのお金を使える世代なので、いかにも年寄りくさい髪型ではなく、「上質な品性を感じさせる」「高い教養がにじみ出ている」「ワイルドだが清潔感もある」といったような、一人ひとりの個性にあった多様なスタイルの開発が求められています。

高齢者の来店を促す設備面での対策としては「転びにくいよう入り口や店内の段差をなくす」「階段やトイレに手すりを設置する」「車椅子での利用ができるよう店内を改装する」等があります。「安全、快適、便利」の充実を基本としながら、アンチエイジング、ヘルスケア、一人ひとりの個性に対応する個別化、体験型の消費行動など、時代のトレンドを取り入れることも必要です。

一方、人口が減り続けている若者世代は節約志向が顕著であり、見栄による消費が少ない傾向があります。便利な都市部に住む若者の自動車購買意欲が減少していることから分かるように、バブル崩壊以降に育った人々は無駄なお金を使いません。合理的で説得力のある対応が必要です。例えば「髪を痛めないパーマ技術を商品化する」「品質を落とさずに施術時間を短縮する」「お客様自身でメンテナンスしやすいスタイルを開発する」「お客様の要望を正確に把握できる能力を向上させる」などが上げられます。インターネット等で判断力を磨いている人も多く、一見すると安そうに感じるが結果的には高額になるといったまやかし商法は長続きしません。誠実に対処することが肝心です。

美容事業経営の方向性

社会変化に対応した経営の方向性としてはカリスマ美容師を擁する等して高価格帯を目指すタイプと、サービス内容を限定して低価格帯を目指すタイプが近年には目立っており、従来からある経営手法の店は価格帯がその中間に位置します。

高価格帯を目指す店はカリスマ美容師を育てるなどして、ブランドの構築を行います。メディアに取り上げられるカリスマ美容師はほとんどが男性で、俳優、モデル、タレント等を顧客にもっていることをアピールします。高額な収益が得られる反面、激しい競争を生き抜く力も必要で浮き沈みも多い世界です。

低価格帯を目指す店はメニュー全体の価格を適正化する手法やメニューの数を絞り込む手法等

を採用しており、集客率向上、リピート率向上などに力を入れて収益をあげています。単なる値下げでは品質低下に陥って倒産になりかねません。高品質のサービスを割安感のある価格で提供するのがポイントです。集客のために割引券を配布する方法は定番化していますが、割引を止めて売り込みたいメニューの期間限定無料サービスなどを実施するという考え方もあります。

他に各種美容業務を取り入れたトータルビューティーサロンの進出も近年の傾向です。従来の定番サービスに加えて、ヘッドスパ、ネイルアート、ボディエステ等を加えた大型施設の業態で、本格的なメイクアップも取り入れています。

以上のように美容業をとりまく環境は厳しい状況ですが、独立志向の美容師が多く、新しい発想の経営手法やサービス等の登場に期待できる業界でもあります。

2 美容分野 職業意識

2.1 美容人材の職業意識①——組織・社会の一員としての美容人材の心構えを学ぶ

▼ 社会的責任を担う美容職の心構え

社会における専門職の倫理と規範

専門職として、正しいことを正しく行うのが職業倫理です。何が正しいのかについては、専門職ごとの関連法規や職能団体による倫理規定等で定められていますが、共通する社会常識もあります。例えば、最優先すべき倫理として安全の確保があります。未熟な技術、仕事の手抜き、過重労働による注意力散漫、道具や設備の劣化および不備等によって人の健康を害したり、怪我をさせてはいけません。

そのため、専門技術や専門知識をしっかりと習得したうえで、安全講習を受けてから勤務します。美容師をはじめとして、介護士、看護師、医師、弁護士等のように国家資格が無ければ職務に就けない分野では専門教育機関で規定の学習を行い、技術、知識、倫理を学んだ後に国家資格を取

得し、その上で先輩について現場の経験をふみ、一人前と認められてから独り立ちします。これを怠り、半人前の段階で現場をまかされるようなことがあれば、安全を損なうリスクが高まり、職業倫理に反します。

また、専門職は自分の立場を利用して意図的に人を騙すことができます。例えば、自分のミスによって人に損害や危害を与えたとき、それを隠すことがあります。損害賠償等で自分が不利益になる場合は特に顕著です。素人がミスを見破って証明するのは極めて困難であるため、専門職個々人の職業倫理がとても重要となります。

その他、個人情報扱う専門職は情報の保護に全力をつくさなければなりません。悪意をもって名簿業者等に売り渡すのは明らかに犯罪ですが、不注意でコンピューターウイルスに感染して流出したり、ハッキングされやすいパスワードを使っていたりするのも悪い結果を生じさせるリスクなので十分な対策が必要です。パスワードをメモして自分のパソコンや机に張っておくのは不注意以前の問題であり、職務怠慢です。また、知人との世間話で悪気なく個人情報を漏らすことはよくあることなので、専門職としての自覚をもって個人情報保護に努めなければなりません。

美容職に規定される倫理

美容師は人体に直接触れ、薬剤を用いたりする他、カルテ等の個人情報を扱います。また、美容院を利用しない人は誤解しやすいのですが、刃物を用いた顔そりも理容師だけではなく美容師も行います。昭和23年（1948年）に当時の厚生省から〈化粧に附随した軽い程度の「顔そり」は化粧の一部として美容師が行つてもさしつかえない〉との通達が出されており、カミソリ等を直接皮膚にあてます。

こうしたことから、美容師法によって様々な規定が設けられ、美容師の国家資格をもたない者が仕事として施術を行ってはならないと決められています。美容師は美容師法を守り、これに違反した場合は美容師免許の取り消しもありえます。

安全確保に関する義務としては、美容師法に次のような清潔と消毒の定めがあります。

美容師法

（美容の業を行う場合に講ずべき措置）

第八条 美容師は、美容の業を行うときは、次に掲げる措置を講じなければならない。

- 一 皮ふに接する布片及び皮ふに接する器具を清潔に保つこと。
- 二 皮ふに接する布片を客一人ごとに取り替え、皮ふに接する器具を客一人ごとに消毒すること。
- 三 その他都道府県が条例で定める衛生上必要な措置

「皮ふに接する布片」には乾燥タオル、蒸しタオル、枕カバー、カットやシャンプーに用いるクロス等があります。紙を用いた場合はそのつど廃棄する必要があります。「皮ふに接する器具」にはハサミ、カミソリ、クリッパー、くし（コーム）、ヘアックリップ、ブラシ、ヘアアイロン等があり、カミソリのように血液が付着する可能性のある用具は煮沸あるいはアルコールによる消毒が美容師法施行規則によって義務づけられています。これを怠ると感染症を広げてしまう恐れがありますので、社会的な責任も重大です。

その他の詳細については各都道府県が条例で定めています。例えば、お客様と顔を近づけて施術する場合は、風邪等をうつすことがないようにマスクの着用を義務づけている都道府県があります。咳が出るようなときはマスクをしていてもお客様を不快にしてストレスを与える可能性がありますので、風邪をひかないようにする健康管理が必要です。

顧客指向とコンプライアンス

近年の美容業界ではお客様の要望を可能な限り実現できるよう、個人情報カルテに記録し、保存する例があります。記録内容は店舗によってさまざまですが、住所、氏名、年齢、誕生日、職業、施術内容等を基本にして、家族構成、趣味、性格、好みのファッション、好きな食べ物、よく行く店や街、話し好きかどうか等、多彩な内容を把握しています。これによって質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上を図ることが狙いです。

ただし、これらの個人情報は取り扱いに注意が必要です。お客様のプライバシーですから、外部に漏れるようなことがあってはなりません。例えば、お客様Aさんの知り合いが来店したときに、雑談で「Aさんがエルメスのバッグを買ったそうです」と経済的な豊かさを誉めるつもりで言っ

たとしても、Aさんはその知人に知られたくないと思っている可能性があります。次に来店したとき「なぜ余計なことを言ったのか？」と叱責を受けることがあり得るのです。これでは顧客満足度を下げてしまいますから逆効果です。

内容によっては「個人情報の保護に関する法律」（略称「個人情報保護法」）違反となることもあります。同法では個人情報をデータベース等に保存し、事業で利用する者を「個人情報取り扱い事業者」と定めており、多くの義務を課しています。例えば、個人情報の利用目的を本人に伝えて了解を得る、利用目的以外に情報を使わない、情報内容を見せるよう本人から要請があった場合は原則として従う必要がある等々、厳しく規定しています。「悪意の無い噂話」がお客様を傷つけ、法律に違反することもありますので注意が必要です。

個人情報保護法の他に、「消費者基本法」「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」などは美容業に関連するため学習しておかなければなりません。また、地方公共団体が衛生措置、出張業務、店舗開設などに関して条例を定めていますので、営業している都道府県の条例も学習しておきます。

近年は法令遵守をコンプライアンスと表現し、重要視するようになりました。消費者の立場が向上したほか、グローバル競争を行っている先進国では情報の透明性、公平な競争条件、公正な活動が必要だからです。こうした背景を知った上で、法令遵守の精神を養います。

▼ チームワークにおける美容職の心構え

美容職に就く者が2以上の職場で働く場合は必ずチームワークが要求されます。スタッフの連携がとれていないと効率が悪くなったり、トラブルが起きやすくなったりしてお客様に迷惑をかける等、経営に悪影響がでるからです。そのため、スタッフ間のコミュニケーションをスムーズに行うよう心がけます。

互いに敵対しないよう仲間を尊重する姿勢をもって、挨拶や返事を丁寧に行うことから始め、必要事項の連絡や報告を正確に行います。店のルールを守ること、法令を遵守することもチームワークに影響します。守らない者がいるとチーム全体の不利益になりますから、守っている者と

対立がおこりチームワークが乱れます。「自分一人くらいが守らなくても問題は起きないだろう」という考えをもってはいけません。

チームワークは効果的に機能すれば1 + 1が3にも4にもなりえますが、対立ばかりしているとマイナスに働き「自分一人で行動したほうがいい」という意識になりがちです。疑心暗鬼にならず、相手の気持ちを好意的にとらえる努力をし、協調性を養うことが大切です。

特にアシスタントをしている期間は叱られることが多く、荒んだ気持ちになりがちですが、注意を受けることは成長するために必要なことです。自分が叱る立場になったとき、そのありがたさがわかります。

2.2 美容人材の職業意識②——個人としての美容人材の心構えを学ぶ

▼ 専門職としての美容職の心構え

プロ意識、顧客のライフスタイルに影響することを自覚

一億総中流社会と言われた高度成長期の日本では、多くの人が似たようなライフスタイルで生きていました。昭和30年代には電気洗濯機、電気掃除機、電気冷蔵庫を三種の神器と称し、それらを買そろえることが皆の目標でした。昭和40年代にはカー、クーラー、カラーテレビを3Cあるいは新三種の神器と称し、新たな目標としました。少年の髪型は坊ちゃん刈りで、会社員の髪型は七三分けです。女性はもう少し多様でしたが、美容院に行くのは一年に一回という人も珍しくありません。ライフスタイルという言葉すら一般化していない時代でした。

しかし、平成に入ると少しずつ個性を重視する意識が広まり、平成15年（2003年）には「世界に一つだけの花」という歌がシングルカットされて大ヒットするほど、多くの人が個性的ライフスタイルを目指すようになりました。近年では髪型、服装、持ち物、家具、住まい等をトータル・コーディネートする意識が高まっています。

そのため、美容業ではお客様の個性を尊重する接客が求められています。美容師は多様なファッションやライフスタイルに関する情報を収集し、お客様の要望を理解できる知識を持ち、

適切なアドバイスをできる能力が必要です。ただし、アドバイスの内容は選択肢を提案することであって、結論を押し付けることではありません。あくまでも、決定するのはお客様であるという心構えが大切です。

モノでなくサービスを提供する職業であることを自覚

美容、旅行、教育、医療等の業務で、人間が直接行うサービスは物を製造する仕事と異なる特徴があります。サービス業の主要な特徴としては次の5つをあげることができます。

① サービスそのものには形が無い

美容院でカットやパーマを行った場合、結果として髪型の形は残りますが、美容師によるサービスそのものには形がありません。テレビを売るのであれば商品を事前に見て、性能や品質を確認してから購入できますが、美容院で美容師の技術を体験したり、サービスの品質を確認してから施術を受けることは原則としてできないのです。サービスを受けた後にしか善し悪しがわかりません。これを「無形性」と言います。初めて来店するお客様は特に不安がありますので、安心できるような配慮が必要です。

② サービスの品質は変化する

美容院でカットをした場合、「前回と同じにしてください」と要望しても全く同じにはなりません。同じ美容師であっても、その時々の健康状態や精神状態の違い、あるいは繁閑の状態等がサービス内容に影響するからです。最高の技術をもったベテランでも失敗はありえます。これを「品質変動性」と言います。工業製品で重大な欠陥があれば交換できますが、サービスは交換できません。短く切り過ぎてしまったら元には戻せないのです。お客様とのコミュニケーションを密にして、品質を確認しながらサービスを行う心がけが大切です。

③ 忙しい時と閑な時がある

どのような業界にも忙しい時と閑な時はありますが、美容院のようなサービス業は特にその影響を強く受けます。電気製品等であれば倉庫に保管する量で対応できますが、

美容院ではスタッフの人数を簡単に増減することができないからです。これを「需要変動性」と言います。月、曜日、時間帯などによる繁閑を極力平均化する誘導策を考えたり、スタッフの勤務形態をフレキシブルにするなど、なんらかの対策が必要です。

④ サービス提供者が現場に必要

パソコン等の商品は多くの部品によって製造されますが、製造に関わった人々が販売店にいる必要はありません。ネットで販売すれば、販売員も店にいる必要がないのです。一方、美容院では美容師がお客様と同じ場所にいないとビジネスが成立しないという特徴があります。これを「不可分性」と言います。したがって、美容師の高付加価値化を目指すのか、業務を単純化して効率化を目指すのかなど、明確な経営戦略が重要となります。

⑤ サービスは提供した時点で消滅する

形のある商品は倉庫や店舗などに在庫を蓄え、仕入れた当日に売れなくても翌日以降に売ることができます。生鮮食品であっても管理を適切に行えば可能です。一方、飛行機の予約席は飛んでしまったら売ることができません。売れ残りを翌日に売ることができないのです。しかも、たまたま乱気流にあって怖い思いをしたとしても、別の商品と交換することもできません。サービスの提供とサービスの消費が同時に行われるからです。美容業も同様に、売れ残った予約時間を在庫として保管することはできず、スタッフの不注意で不愉快な思いをさせてしまったら、交換は困難です。これを「消滅性」と言います。「サービスは提供した時点で消滅する」という意味です。そのため、一期一会の精神でサービスを行い、お客様を店のファンにする努力が必要です。

▼ 対人サービス業としての美容職の心構え

近年ではサービス業に限らず、あらゆる業界で顧客満足度の向上が課題となっています。先進国では適度な自由競争が浸透し、顧客満足度の低い製品やサービスはお客様に受け入れられず、顧客満足度の高い製品やサービスに負けてしまうからです。

そのため、美容業でも顧客ニーズに応えてリピーターを増やすこと、市場調査やお客様へのヒアリングを行い潜在ニーズを掘り起こすこと、技術やサービスのイノベーションを行って競合店に差をつけること等、さまざまな取り組みを行っています。

また自分たちがお客様にとって不必要なサービスを行っていないかという検討も常にしなければなりません。異なる業種の例ですが、4000円の理容室に通っていたお客様で、洗髪や髭剃りが不要だと思っていた人は1000円のカット店が近所にできればそちらに流れてしまいます。ある時期に常識であったサービスも、新しいサービスの登場によって非常識になってしまうことがあるのです。お客様のためと思って行っていることが、実は自分たちの都合であることが珍しくありません。日々の点検が必要です。

こうしたことを理解した上で、心のこもったホスピタリティの精神をもって誠実に業務を行います。また、何をもって「満足」とするかは個人によって異なりますので、可能な限りお客様がこうあってほしいと期待する配慮や態度で接客します。施術中の会話が好きな人と嫌いな人がおり、好きな人でも会話の内容について好みが分かれますから、お客様個人の好みを察したコミュニケーションがとても重要です。このとき、会話の内容とともに注意を払う必要があるのは非言語コミュニケーションです。声の大きさ、顔や目の表情、身振手振、微妙な距離、沈黙の仕方、身嗜み、臭い、ファッションセンスにもメッセージが込められていますので、その効果について学習しておくコミュニケーション能力が向上します。

▼ 美容職の自己管理に関する心構え

時間管理

美容院の多くは予約制を採用していますので、スタッフ個人の時間管理は必須の能力です。例えば30分遅刻をしただけで、予約のお客様に大きな迷惑をかけてしまいます。お客様は30分待つか、予約を取り直して別の日にするかを考えなければならず、その後のスケジュール調整もしなければなりません。何より、自分には何の落ち度も無いのに不愉快な思いをして、ストレスを溜め込むのです。どうしても待てない場合は代替りの美容師に施術をしてもらえないか交渉が必

要です。それがダメならすぐに予約がとれる近くの美容院を探さなければなりません。こうした遅刻よりも最悪なのは当日の連絡による欠勤です。仮に4人の予約客を担当する予定であれば、想像を絶する混乱が起こります。

迷惑をこうむるのはお客様だけではなく、店長をはじめとしたスタッフたちも同様です。自分の担当する仕事以外に、遅刻や欠勤したスタッフのお客様への対応を余儀なくされるのです。業務を実行するときの時間管理だけではなく、こうした不慮の事態が起こらないようにする時間管理は極めて大切です。

健康管理

時間管理をしっかり行うためにも、体調不良や病気をしないための健康管理を怠らないようにします。持病がある人は別にして、若いときに風邪等で遅刻したり欠勤するのは原則として本人の責任です。十分な睡眠、栄養バランスの取れた食事、適度な運動を心がけて、病気にならないよう予防することが最善の策です。その上で定期的な健康診断を受け、問題が発見されたら早期治療をして大病を防ぎます。

近年はファストフードやコンビニ弁当が普及しています。しかし、油が劣化したり、添加物が多く使われている商品もありますので、あくまでも臨時の食事として利用すべきです。常食にしないよう心がけることが必要です。

また、美容業ではシャンプー、カラー等で薬剤を頻繁に扱うため、手荒れやアレルギーのリスクがあります。同じ作業、同じ姿勢の持続による疾病の可能性もありますので、事前に対策法を学習しておきます。

3 美容分野 職業人コンピテンシー

3.1 美容人材に必要な能力①

——チームワークで働く美容人材が習得すべき能力を考える

▼ 美容職のビジネススキル

コミュニケーション力

美容師にとって美容技術と共に重要なのがコミュニケーション力です。接客では来店時の出迎え、待ち時間のおもてなし、要望のヒアリング、サービス中の会話、会計、終了後の見送り等があり、それぞれの場面で適切なコミュニケーションが必要です。具体的には言葉遣い、顔の表情、身振り手振り、接する態度等をさしますが、正解が一つではありません。お客様の接客に対する要望は多様です。話し好きの人がいれば、会話が嫌いな人もいます。自分のやり方を強制するのではなく、お客様の好みを察することが大切で、極論を言えば100人の相手には100通りの対応があると言えます。

コミュニケーションの重要性は職場の人間関係でも同様です。同僚に何かを頼むとき、同じ内容でも言い方一つで受け入れてもらえたり、拒否されたりすることがあります。美容師の仕事に必須の能力と考え、身につける必要があります。

また、日々の業務を管理するためのコミュニケーションとしては「報告、連絡、相談」が基本です。略して「報連相」とも言います。例えばお客様とのトラブルに関する上司への報告、予約時間変更の担当者への連絡、接客方法に関する先輩への相談など、さまざまなケースが毎日のように発生します。「報連相」がきちっとできる人は上司や仲間から信頼されますので、キャリアアップのためには必要不可欠です。

ほかに業務日報や顧客管理データなどもコミュニケーションの手段です。その日の重要なできごと等を業務日報に記録しておく、売上の多い日には何があったのか、逆に低い日には何が

あったのが把握できて、そうした情報を職場内で共有できます。顧客管理データも毎回記録しておけば、予約が入ったときに確認できるほか、担当が代わったときにも役立ちます。お客様は自分の好み等を覚えてもらっていると嬉しく思い、再び来店する動機の一つになります。したがって、顧客管理データはコミュニケーション手段であると同時に、売上を伸ばすための情報であり、店にとっての財産でもあります。

タイムマネジメント力

近年では多くの美容室で予約制を採用しています。きちっと機能すればお客様にも、店にもメリットがあります。お客様は待ち時間がほとんどなくなり、店は計画的に営業することができるからです。そのため、予約制を上手に運営するタイムマネジメントの必要性が増しています。

例えば、予約時間どおりに来店したお客様を待たせたのでは逆効果になりますから、決められた時間内にサービスが終了できるよう時間配分をしなければなりません。また、急ぐあまりに大きな失敗をしたり、サービスの質を落としたのでは店の評判がさがります。決められた時間内に一定の品質を保った仕事ができるような訓練を、日頃から心がけていると効果的です。

ただし、いつも必要な時間を確保できるとは限りません。予約時間に遅れてきたお客様への対応で、時間短縮を余儀なくされることは珍しくないのです。多くの店では一定時間以上遅れた場合の対応が規定されています。たとえば連絡なしに15分以上遅れた場合は予約を取り直してもらうなど、厳しく設定している店もあります。しかし、10分以内の遅れでは受け入れるケースが多く、次の予約者に迷惑がかからないよう業務時間を短縮します。

このときの対応として、業務内容に優先順位をつけることがタイムマネジメントでは有効です。優先順位の高い業務に時間を多く配分し、優先順位の低い業務の時間を削ります。場合によっては事前にお客様の了解をとった上で、省いてもいい業務を決めておくスムーズに運びます。お客様の考えもありますから、十分にコミュニケーションをとって決定します。予約時間どおりに来店した場合でも、急いでやって欲しいと言われることがありますので、そうした場合の対応でもタイムマネジメントは有効です。

ある程度の経験を積んだ後の対応としては業務速度の柔軟性が求められます。例えば、60分で

行うべき業務を45分で実行できる能力を身につけておけば、非常時には45分で対応できるほか、通常は15分をサービス向上につなげる時間として使えます。お客様の許可が得られれば、仕上がり写真を撮って顧客データとして保存しておく、次に来店したときのコミュニケーションに役立つほか、要望を聞くときも参照できます。

クリンリネス管理力

クリンリネスとは一般に清潔を意味します。ただし、接客業ではより深く解釈し、お客様やスタッフにとって安全な状態であるか、なおかつ清潔で快適であるか、さらには美しいか等の理解も必要とされます。

例えば、お客様が来店したとき、最初に見るのは店の外観です。窓が汚れていないか、看板が曲がっていないか、ドアの取っ手に手垢がついていないか等々、常連の人でも気になります。入り口のマットがめくれてつまづきそうになり、危険を感じることもあります。この段階でお客様が嫌悪感をもってしまうと、怒りっぽい感情を抱えて店に入ってしまう、少しのことでクレームになりかねません。かかとの高いピンヒールを履いた女性でも安全に入店できる配慮も必要です。

店内のクリンリネスも、立って動き回っているスタッフと座席に腰掛けているお客様では視線の位置が異なりますので、開店前に清掃をするときは隅々まで目を凝らして点検します。とくに埃は清潔感を失うだけではなく、呼吸器系に害を与える可能性があり、衛生上の問題もありますので、細心の注意が必要です。さらに、トイレやフロアは営業中も清掃しますが、忙しいと注意深く点検する余裕を失いがちです。白い調度品に落ちた白髪等も見えにくいのですが、ソファに座って手持ち無沙汰なお客様には見えてしまうことが少なくありません。あらゆる所に落とし穴がありますので、美容技術とは関係ないと軽視せず、接客業の基本として位置づけます。美しく磨き抜かれた店内はお客様に感動を与えることもあり、リピーターの獲得にもつながるのです。

また、店内の整理整頓やこまめな清掃はスタッフの安全にかかわるほか、作業効率にも影響します。動線に物を置くとぶつかる危険が生じ、そのつど移動すると効率が落ちるのは日常でも経験しますが、タイル地の床に少しでも水がこぼれていると滑って転ぶ等、さまざまなリスクが潜んでいます。整理整頓ができない人は道具の管理や手入れも悪くなりがちですから、プロ意識

をもって取り組むべき課題です。

▼ チームワークを強化する人間対応力

人間分析力

美容の仕事は一人の美容師が全てを行う小さな個人経営がある一方、業務を細分化してチームワークを行う経営形態もあります。一般的な分業としては美容師をスタイリストとアシスタントに分け、顧客対応と主要業務をスタイリストが行い、指示に従ってカラーを行ったりシャンプーするのがアシスタントになります。大きな店ではさらに細分化し、案内、レジ係、仕入れ担当、清掃担当等さまざまな役割を分担します。

こうしたチームワークによる連携を必要とする職場環境では、個人の性格、長所、短所、思考傾向等を観察して把握し、柔軟に対応する必要があります。たとえ自分がトップスタイリストであったとしても、アシスタントが指示を理解できなければお客様に迷惑をかけてしまいます。したがって、どう伝えればどう動くかというアシスタント個々人の個性を知らなければなりません。反対に、アシスタントはスタイリストの個性を把握して指示を聞かなければ、失敗をして店に損害を与えたり、スタイリストに嫌われて使ってもらえなくなる可能性があります。

こうした関係をプロジェクトでは相互依存と言いますが、チームワークでは互いに協力してくれる相手を必要としているのです。一人ひとりに協力関係がうまくいくような能力開発が求められています。例えば、指示を受けた時は言葉だけを鵜呑みにするのではなく、相手が何を望んでいるのかについて察知する洞察力が大切です。チームメンバーの個性を理解した上で、どのような流れで指示が出されたのかといった前後関係や背景を知る観察力も要求されます。アシスタントについたときも、ボーッと見ているのではなく、次に何が行われ、そのためには何が必要かというシミュレーションをしながら観察していると、ミスが少なくなり、相手から信頼を得ることができます。

場の空気を読む力

日本では「空気を読む」という能力が重視されます。例えば、誰かが失敗してお客様が怒って

いるような場面では、それ以上お客様を怒らせないようにし、気を取り直してもらうために皆が協力しあう空気ができています。そんなときに、お客様の落ち度を指摘して正論を述べるような行為をすると、せっかく皆が努力して問題解決に向かうために作った空気が壊れてしまいます。お客様が激高して収拾がつかない事態にもなりかねません。このようなときに上司から「空気を読め」と叱られます。

たとえ正しい発言であったとしても効果的な場合と逆効果な場合があり、それを決定する重要な要因の一つに空気があるわけです。チームワークがよい職場では皆が空気を読む能力をもち、全てを語らなくても意思統一ができます。これを「阿吽の呼吸」と言い、協調して何かを成し遂げるには大きな武器となります。

ただし、「空気」の全てが正しいわけではありません。お客様を騙したり、法律を破ったりしているときの「空気」は、あえて壊す勇気も必要です。協調し合って良い方向に向かう場合は力を発揮しますが、間違っている時は状況を悪化させる方向に力が働きます。「悪い空気に流される」ことのないよう注意する心がけも大切です。

3.2 美容人材に必要な能力②

——専門職業人として日々の研鑽が必要な美容人材が習得すべき能力を考える

▼ 美容職のラーニングスキル

トレンドの理解と情報収集

美容職はヘア・ファッションの動向について、常に敏感でなければなりません。髪の毛の長さはベリーショートからスーパーロングまで小刻みに分類されており、それぞれに新しいアレンジが創作されます。カッティング、ヘアカラー、パーマなどを組み合わせますので膨大な種類の髪型が存在し、短期間で変化し続けています。

そのため、最先端のヘア・ファッションは何か、現在人気があるヘア・ファッションは何かといった情報を収集する必要があります。流行している髪型は地域、年齢、職業などによって微妙

に異なりますので、チェックを怠るとお客様から知識が乏しい美容職とみなされ、リピーターになってももらえない可能性もできます。

知識の情報収拾は専門誌のほか、女性向けファッション誌、インターネットの関連情報サイト等をこまめにチェックしていれば、かなりの程度はカバーできます。ただし、メディア情報が常に正しいとは限りませんので、街に出て自分の目で確かめるフィールドワークは欠かせません。街にも集まる人々の特徴によって個性がありますから、一か所に限定するのではなく、異なる個性の街を数か所選択します。

また、次ぎにくる流行の予測も大切です。一般に「トレンドを読む」という活動を指しますが、的確に予測するためには地道な努力が求められます。前述の情報収集を行うほか、メディアの人気ベスト10などを継続的にチェックし、順位が上昇している髪型、あるいは下がり始めた髪型を把握して、定期的に街に出て確認すると情報が正確になってゆきます。ファッション関連のショップに行って、店員から話を聞くのも有効です。

こうして集めた情報は必ず時系列に整理し、紙媒体であればスクラップを行い、デジタルデータであれば、検索しやすいようなファイル名やフォルダ名をつけて保存します。最終的には情報を読み込んだ後の直感が効果を発揮しますので、論理的な思考だけではなく、感性を磨いておくことで予測能力が向上します。

多様なブランドの理解と情報収集

次ぎにくるトレンド予測の情報として、ファッション関連ブランドの広告等も役に立ちます。ファッション雑誌等を読む時は記事だけではなく、広告に登場する女性の髪型も必ずチェックするようにします。有名ブランドの商品を持っている人はトータルイメージを重視していますので、それが衣類、鞆、靴、下着、各種グッズのブランドであってもモデルの髪型は記憶に残りやすいのです。

また、実際に来店したお客様の鞆や靴等を見て、外観からブランドがわかれば会話のきっかけとなるだけでなく、広告モデルの髪型について話しをするなかで様々なアドバイスを求められるかもしれません。お客様はヘアスタイルを整えることだけが目的で来店するわけではなく、よ

り魅力的になりたい、より美しくなりたい、より自分らしくなりたいといった目的も持っています。そうした重要な目的達成に協力してくれる人とみなされれば、信頼関係が深まり、リピーターになる確率は高まります。

ファッションの歴史の理解

ヘア・ファッションのトレンドを知るためには過去の情報を学ぶことも大切です。現代のヘア・ファッションは独立して突然あらわれたのではなく、過去の歴史の上に成り立っているからです。

まず、美容師に相当する女髪結いが初めて登場するのは江戸時代のことで、主なお客様は花魁など花柳界の女性でした。彼女たちは浮世絵にも描かれるほどの人気者であり、ファッションリーダーでもあったのです。こうした背景のもと、髪型が多様になり、自分では結えないほど複雑になってゆき、豊かになった庶民も女髪結いのもとへ通うようになりました。

ヘア・ファッションへのこだわりは女髪結いの登場より古くからあり、例えば平安貴族の女性は大垂髪と呼ばれる長い髪がトレンドでした。あまり動くことのない上流貴族では足元まで届くような長さです。しかし、武家の時代になると女性も動き回ることが多くなり、長さは腰の辺りまでとなって、髪が顔にかぶさってじゃまにならないよう耳を出すようになりました。さらに活動的な女性は髪の長さを背中の中程まで短くし、後ろで結わせるなどの工夫をしました。

やがて、戦国時代を経て江戸時代に入ると人々の生活にゆとりが生まれ、より多様な髪型が考案されるようになりました。その数は諸説ありますが数百種類あったとされ、日本髪の実形が整います。現代でも有名な島田髷の名称が登場するのもこの頃です。

その後、明治維新を経て西洋文化が浸透するなかで、衣類、靴、化粧などと共に髪型も徐々に西洋化していきます。大正時代になると女性解放運動が起こると共に、モダンガールと呼ばれる人々が都会に現れ、西洋の機能的な髪型が普及するようになりました。

太平洋戦争が終わると西洋化はさらに進み、パーマントウェーブが大流行したほか、それまでは世間に認知されなかったショートカットが広まります。日本の女優が映画で披露したのがきっかけとされ、女優は時代のファッションリーダーとなります。現代はこれに歌手、モデル、

テレビタレントが加わり、1980年代に流行した「聖子ちゃんカット」はアイドル歌手の名前が髪型名となりました。

このようにヘア・ファッションは時代によってトレンドがあり、社会的背景やファッションリーダーの影響が強く反映していることがわかります。また、近年はマスメディアに加えてインターネットが有力な情報源となっており、好みの細分化も進んでトレンドが読みにくくなってきました。

以上、ヘア・ファッションの大きな流れについて概観しました。美容職はカットting、カラー、スタイリング、エステ、メイク等のほか、ファッション全体についても歴史を学習する必要があります。日本では平安時代からのファッション史が書籍等にまとめられていますので、流行の背景を理解し、日々の敏感なアンテナ張りを怠らないようにすることが大切です。

▼ 接客業としての美容職の視点

印象のよい聴き方

美容職はお客様から話を聞く機会がとて多くあります。出迎え、案内、要望のヒアリング、施術中の会話、環境の快適さ等、よりよいサービスを提供するためには欠かせません。そこで技術が必要になるのが話しの聞き方です。漢字では一般に「聞く」と書きますが、熱心に聞くときは傾聴という言葉があるように「聴く」と表記します。この違いは傾聴する側の心構えによるもので、話し手への共感が基本です。親身になって相手の言う内容を受け止めようとする態度が共感の第一歩であり、話し手が自分の言うことに共感してもらったと感じるようになれば関係が深まります。会話で大切なのは話すことではなく、聴くことであるというのが大原則ですから、しっかり身につける必要があります。

正しい敬語表現

日本語の主要な特徴の一つに敬語があります。上品に話そうとして何にでも「お」をつけてしまうと滑稽になり、「おパーマをおかけになりますか」と言われたお客様は吹き出してしまうかもしれません。尊敬語も用法が難しく、例えば上司が部下に対して店の店長の出勤を伝えるとき、

「社長がもうすぐいらっしゃる」と言うのは正しいのですが、お客様に対して同じ使い方をするのは誤りです。「店長がもうすぐ参ります」というのが正しい敬語です。新人のころは尊敬語と謙譲語の使い分けがなかなかできず、恥をかくことがよくありますので注意が必要です。

接客7大定型句

接客を行う職業で必ず覚えなければならない共通用語に接客7大定型句があります。①「ありがとうございました」、②「かしこまりました」、③「いらっしゃいませ」、④「少々お待ちください」、⑤「お待たせ致しました」、⑥「恐れ入ります」、⑦「申し訳ございません」の7つです。順番や言い回しは諸説ありますが、基本形は同様です。これは知っているだけでは意味がなく、お客様の前で言葉にだしてこそ価値があります。店によっては開店前の朝礼等で復誦しますが、そうでない場合は一人でも声に出して練習しておくとう効果があります。

電話対応

美容職は予約の電話を受けることがよくあります。この対応で店の印象が決まりますので、ちょっとしたマナーを身につけておかなければなりません。基本はベルが3回鳴るまでに受話器をとる、店の名を名乗る、敬語で対応する、要件をメモする、締めくくりの言葉を述べる等です。例えば、締めくくりの言葉として「わかりました」では無愛想なので「ご来店をお待ちしております」等、相手に喜んでもらえる言葉が必要です。

非言語コミュニケーション

人と人とのコミュニケーションは言葉の意味だけではなく、声の高低、目や顔の表情、身振り手振り等も重要です。例えば、お客様に「ありがとうございました」と言うときに、一度も目線が合わなかったり、硬い表情では感謝の気持ちが十分に伝わりません。心のこもった笑顔と共に述べてこそ、感謝の気持ちお客様に届きます。

ホスピタリティ精神ともてなし行為

ホスピタリティは病院を意味するホスピタルと同源の言葉です。心身の痛みや疲れを癒すことが、その精神です。一方、「もてなし」はお客様に対する対応の在り方を意味し、一期一会の精神

をもって至高の一時を提供すること目的とします。したがって、お客様の個性によって「もてなし」の在り方が変わります。この両方を理解して接客する方法の模索が近年は大きな課題となっています。

4 美容分野 職業キャリア形成

4.1 美容人材のキャリア形成①——様々な美容職のキャリアパスを知る

▼ 美容職に就くまでのキャリアパス

美容師として美容院等で働くには国家資格試験である美容師試験に合格し、厚生労働大臣の美容師免許を取得する必要があります。美容師法によって「美容師でなければ、美容を業としてはならない」（第6条）と定められているからです。

美容師試験を受験するには厚生労働大臣の認可を受けた養成施設に入学し、定められた課程を修了しなければなりません。平成10年（1998年）4月1日以降に入学する人の基準は次のようになっています。

高等学校卒業者および同等資格保有者の場合：

昼間課程： 2年以上

夜間課程： 2年以上

通信課程： 3年以上

中学校卒業者の場合：

養成施設の入学資格は一般に高等学校卒業者ですが、中学校卒業者でも受験できる養成施設があります。学校教育法が定める専修学校の高等課程です。その場合は美容師試験受験資格のほか、高等学校卒業と同等の資格を得るため、昼間課程でも3年間学びます。

美容師試験は実技試験と筆記試験があり、一方だけしか合格できなかった場合は次回の試験に限り、合格した方の試験が免除されます。試験は1年に2回行われます。第34回試験は実技が平成28年（2016年）8月1日から、筆記が9月4日、合格発表は9月30日。第35回試験は実技が平成29年（2017年）2月1日から、筆記が3月5日、合格発表は3月31日でした。

▼ 美容職に就いてからのキャリアパス

小規模店のキャリアパス

美容師免許を取得してからのキャリアパスは多様です。小規模な個人店に就職した場合は、アシスタントから始めて、一人前の能力を身につけた後にスタイリストとなり、さらに経験を積んで管理能力のある人は店長となります。アシスタントやスタイリストの詳細な業務内容は店によって異なり、個人の資質も考慮されますので一様ではありません。

一般論としてのアシスタントの役割は店舗内外の清掃、開店準備、スタイリストの業務補助、洗濯、後片付けなどが中心です。業務の流れを覚え、業務補助ができるようになると、スタイリスト指導のもとにシャンプーを行うケースが多く見られます。その後はブロー、パーマ、カラー、カットなどの実践力を段階的に身に付け、道具の手入れや接客技術も一人前と認められてスタイリストとなり、アシスタントがつきます。スタイリストは顧客の要望を聴いたり、カウンセリングを行うなど、アシスタント時代に経験していない役割があります。アシスタントを一人前にするための教育指導もスタイリストの役割です。個人店では業務の全てをできなければなりません。

平成22年（2010年）の調査によれば美容業の従業員数は1人が30%、2人が21%、3人が12%、4人が6%となっており、4人以下で69%を占めています（小数点以下は四捨五入）。小規模な個人店が就職先として有力な候補であることがわかります。

大規模店のキャリアパス

大規模な店に就職した場合は、アシスタントとスタイリストの間にワンステップ入ることがあります。アシスタントリーダー、あるいはジュニアスタイリストなど名称はさまざまですが、もう少しでスタイリストになれるレベルに達した人が選考されます。アシスタントを統率し、教育

も行えるほか、スタイリストの補助は何でもこなせる人材です。

スタイリストは、その上位にトップスタイリストを配置することがあります。単にキャリアが長いだけではなく、技術レベルが高い美容師です。ヘアファッションの知識も豊富で、お客様の細かい要望にも応えることができます。容姿は原則として関係ありませんが、予約客の指名は影響しますのでお客様に信頼されるファッションセンスはある方が有利です。

店舗の大小とは別に、チェーン展開している企業規模の大きな店では経営に携わるポストがあります。名称は企業によってさまざまですが、店の売上に責任を持つ役割を担っている統括責任者です。支配人あるいはマネージャーなどの名称があります。店舗数が多い企業では複数の店を管理するエリアマネージャーもありえます。こうした企業では各店舗以外に本部があり、一般企業のようなセクションが置かれています。

平成22年の調査によれば美容業の従業員数5～9人が15%、10～19人が6%、20人以上が2%となっています。割合は少ないものの、雇用している人数が多いことから就職先としては十分検討に値する数です。経営者上の問題点を問うアンケートに対して「人手不足・求人難」をあげた割合は株式会社が32%、有限会社が26%、個人経営が10%となっています。また、会社組織の割合が多く、20人以上の美容業では株式会社が60%、有限会社が40%となっており、雇用保険や年金制度の充実が期待できます（小数点以下は四捨五入）。

独立する場合のキャリアパス

美容師は独立志向の強い人が多いと推定されています。平成22年の調査によれば30歳未満の経営者が2.2%、30～39歳の経営者が15.3%となっており、比較的若い経営者が多く存在します。2.2%といっても平成27年（2015年）の美容業数は23万8千件ありますから、5000人以上が20歳代の経営者ということになります。

独立するタイミングは人それぞれですが、アシスタントを経てスタイリストになり、技術に自信がつき、一定数の指名客がついてから具体的に検討するのが妥当です。勤め先のオーナーともよく相談し、合意の上で独立するのがベストであり、けんか別れして独立するのは懸命ではありません。どのような仕事でも業界での人間関係が成長を助けてくれるし、危機を救ってくれます。

一人前のスタイリストが辞職するのはオーナーにとって大きなダメージとなりますので、後継者を育ててから辞めるなどの配慮も必要です。自分を指名してくれるお客様が気持ちよく新店舗に来られるような心配りも忘れてはなりません。

独立開業に際しては2名以上で店を開く場合、管理美容師の資格者を置かなければなりません。資格を取得するには「美容師の免許を受けた後三年以上美容の業務に従事し、かつ、厚生労働大臣の定める基準に従い都道府県知事が指定した講習会の課程を修了した者」という美容師法の定めがあります。自分に資格がなくても、管理美容師を採用すれば開業の届け出ができます。店の広さや施設・設備に関しては各地方公共団体が規則を設けていますので、それを満たす必要があります。

開業資金は規模や立地等によって大きく異なりますが、一般に1000万円程度は必要とされます。そのほか、黒字になるまでの運転資金を用意しますが、これは生活レベルと経営能力によって異なり、家庭をもっている場合は子どもの教育費なども計算に入れておかなければなりません。新規出店も多いかわりに、廃業も多い業界なので十分な準備をしてから独立するのが懸命です。

美容師以外の美容職

美容職には美容師以外に、メイク、ネイル、スキンケア、着付などに進む道もあります。メイク技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、メイクアップアート専門のコースもあります。主な就職先はヘアメイク事務所、エステサロン、化粧品メーカーなどです。必須ではありませんが日本メイクアップ技術検定などの資格があります。ネイル技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、ネイルアート専門のコースもあります。主な就職先はネイルサロン、エステサロンなどです。必須ではありませんがネイリスト技能検定などを取得していると就職に有利です。スキンケア技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、エステ専門のコースもあります。主な就職先はエステサロン、化粧品メーカーなどです。必須ではありませんが、スキンケアアドバイザー、スキンケアカウンセラーなどの資格を取得していると就職に有利です。着付技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、着付専門のコースや着付学校があります。主な就職先は結婚式場、着物販売業などです。必須ではありませんが、着付に関連する資

格が10種以上あり、資格を取得していると就職に有利です。

また、美容師としても美容院への勤務以外に、訪問美容師、福祉施設美容師等の道があり、各種式場やテレビ局等のスタイリストになる選択肢もあります。

4.2 美容人材のキャリア形成②——美容人材としての自分のキャリアを考える

▼ 美容人材のキャリアプラン

キャリアプランとは自分の職業生活において、将来どのようになりたいかという目標を定め、目標達成に必要なプロセスを明確化することを意味します。厚生労働省が就職やキャリアアップに役立つツールとして推進するジョブ・カード制度でも、キャリアプラン（職業生活設計）の作成を推奨しています。

学生のキャリアプラン作成は職種選びからスタートするのですが、ここでは美容職に決めたことを前提とし、自分の適性を客観的に理解することから始めます。長い人生のなかで、自分はどうのような人間なのかについて、じっくり考えることはあまりありません。この機会に幼いころから現在までの自分を振り返り「興味、関心事項等」「得意なこと、苦手なこと」などを自分に問いかけます。詳細は自由に設定して構いませんが、美容職を意識した項目を参考として列挙します。

- ☐ クラブ活動などで下積みを経験したか
- ☐ 嫌いな人間を含むグループで共同作業ができるか
- ☐ 先輩、リーダー、先生などの意見を尊重できるか
- ☐ 清掃、片付け、整理整頓ができるか
- ☐ 長期間続けている趣味や活動はあるか
- ☐ 地道な努力を積み重ねることができるか
- ☐ 親友と呼べる友達はあるか
- ☐ 友人のために自分を犠牲にしたことはあるか
- ☐ 社交性があるか

- 知らない人に親切をしたことがあるか
- 手先は器用か
- ファッションに興味はあるか
- 美しいものに感動することはあるか
- 常にワンランク上を目指す上昇志向はあるか
- これまでに何らかの賞を受けたことがあるか
- 現段階で取得している資格は何か
- 現段階で取得を目指している資格は何か
- 美容に関連するアルバイトをしたことがあるか、そこで感じた自分の強み・弱みは何か
- 接客に関連するアルバイトをしたことがあるか、そこで感じた自分の強み・弱みは何か

以上のような問いかけをし、自分の美容職としての適性をチェックします。適性があると思った場合は問題ありませんが、適性に不足があると判断した場合は補うための努力が必要です。

次に自分が将来どのようなになりたいかという目標を定めます。これをキャリアビジョンと言いますが、具体的な考え方は後述します。目標が定まったら、目標を達成するためのプロセスを可能な限り具体化します。

前述のキャリアパスを整理すると次のようになります。

- ◇ 就 職 先： 小規模店、大規模店、チェーン展開する企業、訪問美容会社、福祉施設、等
- ◇ 役 職： アシスタント、アシスタントリーダー、ジュニアスタイリスト、スタイリト、
トップスタイリスト、等々
- ◇ 管 理 職： 店長、統括責任者、本部職員、本部役員、経営者、等々
- ◇ 独立開業： 小規模店、大規模店、チェーン展開する企業、等々
- ◇ 美容師以外の美容分野： メイク、ネイル、スキンケア、着付、等々

上記の情報を参考にして自分のキャリアプランを作成します。最初は骨組みだけ記述し、何度か見直しをして精度を高めてゆきます。次に簡単な参考例を示します。

キャリアビジョン

35歳に独立して小規模店を開業する

キャリアビジョン達成のプロセス

20歳で小規模店に就職する

20歳～35歳までにアシスタントからスタイリストまでを経験する

25歳で管理美容師の資格を取得する

27歳でネイリスト技能検定3級を取得する

29歳で日本メイクアップ技術検定3級を取得する

31歳でスキンケアアドバイザー資格を取得する

休日を利用して着付教室に通い着付をマスターする

毎年平均100万円ずつ蓄え、35歳までに開業資金および運転資金を1500万円貯める

以上のような計画を最初に立て、必要に応じて肉付けをします。資格取得であれば独学で目指すか、通信教育を利用するか等を検討し、計画を詳細にして精度を高めてゆきます。ただし、計画は着実に実行しなければなりません。現代は社会が急速に変化します。バブル時代は社会全体が高級感を求めていたものの、バブル崩壊からしばらくたつと節約志向が広まりました。

法律改正にも目を配っている必要があります。規制緩和によって美容師も刃物を用いた顔そりができるようになるなど変化がありましたので、業界の動向とともに情報収集を行います。

そのため、キャリアプランは定期的に見直します。特に規則はありませんが、プロセスは毎年1回くらいのペースが適切です。例えば年始に時間をかけて見直しを行い、法律などの変化があれば随時変更を検討します。キャリアビジョンは目標ですから頻繁に変えてはいけません。3年から5年に1回くらいの見直しが適切です。

▼ 美容人材のキャリアビジョン

キャリアビジョンとは将来どのようになりたいかという目標です。ビジョン（vision）は「見えること」を意味しますので、抽象的ではなく具体的であることが前提となります。ただし、未だ

目標が定まっていない人にとってキャリアビジョンを設定することは簡単ではありません。なんらかの手がかりが必要です。

このキャリアビジョン設定に効果的な手がかりは諸説ありますが、自分にとって「働く目的は何か」という根本的な問題を明確にすると目標の裏付けがしっかりします。それを考えるための方法として一般的なのが「職業の三要素」です。働くことの目的には「経済性」「社会性」「個人性」の3つが深くかかわっており、それぞれの重要度が人の個性によって異なるというものです。

◇ 経済性： 働くことを収入獲得の手段と見なす価値観

◇ 社会性： 働くことで社会貢献をしたいという価値観

◇ 個人性： 働くことで自分を成長させたいという価値観

この3要素はどれかが100%で、どれかが0という人はめったにいません。ほとんどの人は何%ずつかの比率で意識しています。これを自らに問いかけることで、自分が大切にしている働くことの価値が見えてきます。例えば経済性が最も重要だとすれば、高収入が得られるキャリアビジョンを描くと働いている途中で目標を見失う確率を減らすことができます。同様に社会性であれば福祉に貢献できること、個人性であればカリスマ美容師などが選択肢の一つになりえます。

こうして抽象的な目的を設定すると、具体的な目標にたどり着くことができます。ただし、人生は働くことだけではありません。結婚、出産、育児、子どもの教育、親の介護など多様な出来事があり、時間の制約が生まれるほか、思わぬ出費もありえます。したがって、仕事を含む人生全体のライフキャリアも想定が必要です。結婚をして子どもが出来たら妻は専業主婦になるのか、夫婦で共働きをするのかという問題も深刻です。女性であれば職業を継続するのか、離職するのかの判断がせまれ、男性は妻が離職した後の家計を支えられるかという問題が発生します。

人生には予測不能な出来事が多く発生し、必ずしも計画どおりにはいきません。しかし、計画を立てておくに必要な情報をキャッチするアンテナが敏感になり、チャンスをものにする可能性を増やせます。ライフキャリアを想定してキャリアビジョンを設定し、キャリアパスを参考にし、キャリアプランを練り上げておくことは、充実した人生を送るために役立ちます。

◆ 美容分野 職業キャリア教育プログラム 復習用 確認テスト 仕様

復習用 確認テストは、講義におけるテキスト講読と解説によってその内容をどの程度理解できているかを確認するものである。したがって、その出題内容は全てテキスト教材に準拠している。本テスト教材では、正解は提示するが、解説は与えない。それは全てテキスト教材に記載されているからである。すなわち、誤答問題について再度テキストに立ち返らせることを企図している。

体 裁	<p>○ 学習テーマ各回につき、用語選択問題・語義選択問題・文章空欄補充問題・正誤判定問題の出題形式から成る復習用問題コンテンツ（1回20問）</p> <p>○ モバイル端末での学習も可能な仕様</p>
全体構成	<p>（全7回・内容はテキスト教材に準拠）</p> <p>第1回 美容職とは何か——美容職の役割・意義と職種を知る</p> <p>第2回 美容業界の最新動向——社会の動きと美容業界の動向を知る</p> <p>第3回 美容人材の職業意識①——組織・社会の一員としての美容人材の心構えを学ぶ</p> <p>第4回 美容人材の職業意識②——個人としての美容人材の心構えを学ぶ</p> <p>第5回 美容人材に必要な能力①</p> <p>——チームワークで働く美容人材が習得すべき能力を考える</p> <p>第6回 美容人材に必要な能力②</p> <p>——専門職業人として日々の研鑽が必要な美容人材が習得すべき能力を考える</p> <p>第7回 美容人材のキャリア形成①——様々な美容職のキャリアパスを知る</p>
1回構成	<p><u>1 用語選択問題（1回5問）</u></p> <p>テキストに登場する重要語句に関する解説文を提示し、その説明に該当する用語を選択させる問題。</p> <p><u>2 語義選択問題（1回5問）</u></p> <p>「用語選択問題」の逆のパターンで、テキストに登場する重要語句を提示し、それを説明する解説文を選択させる問題。</p> <p><u>3 文章空欄補充問題（1回5問）</u></p> <p>テキストの任意の1パラグラフを抽出して重要箇所を5つの空欄に設定し、そこに入る適切な語句を選択肢群から選択させる問題。</p> <p><u>4 正誤判定問題（1回5問）</u></p> <p>テキストの任意の1文を抽出、または抽出後に誤文に改変して提示し、その内容の正誤を判定させる問題。</p> <p>※ 上記4パターンの出題形式を合成して1回20問の確認テストを構成。</p>

◆ 美容分野 職業キャリア教育プログラム 復習用 確認テスト 原稿

第1回 美容職とは何か——美容職の役割・意義と職種を知る

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) 美容職が美容師法に基づいてお客様に提供するのは何に関する美しさか。

- ① 心 ② 衣装 ③ 仕草 ④ 容姿

2) 美容職に必要な、お客様との関係を良好に保つ一般的方法は次のどれか。

- ① スピード ② コミュニケーション ③ サプライズ ④ ジョーク

3) ビューティサロンやヘアーサロンの美容師法による正式名称は何か。

- ① 美容所 ② 美容室 ③ 美容院 ④ 美容店

4) 美容業で5人未満の小規模な店は全体の約何%か。

- ① 70% ② 50% ③ 30% ④ 10%

5) 「理容」が一般的だった日本で「美容」が普及した時代は次のどれか。

- ① 江戸 ② 明治 ③ 大正 ④ 昭和

6) ヘアファッションを扱う近世日本の職業名は次のどれか。

- ① 床店 ② 着付師 ③ 化粧師 ④ 髪結

7) 日本の女性による伝統的な髪型の総称は何か。

- ① 垂髪 ② 月代 ③ 日本髪 ④ 丁髷

8) お客様の要望をヒアリングし、アドバイスをする業務名は何か。

- ① コンサルティング ② カウンセリング ③ リラクゼーション ④ ソリューション

9) 髪型をお客様の要望にそった形に仕上げる業務名は何か。

- ① ヘアセット ② カラーリング ③ スキンケア ④ メイクアップ

10) 美容職の職場で常に保たなければならない重要事項は次のどれか。

- ① 静寂 ② 清潔 ③ 湿度 ④ 雰囲気

2 次の文章中の空欄（１）～（５）に入る語句として適切なものを選んでください。

美容職はお客様との対話をとおして、お客様自身の求めるイメージを具体的な形にすることが重要な役割です。また、「時、所、場合」（TPO）に応じた美容の（ １ ）をすることも大切です。例えば、会社の命運を左右するような商談に臨む時はどうか、お見合いに行く時はどうか等々、それぞれのTPOに適したアドバイスができれば（ ２ ）も向上します。TPOとしては七五三、（ ３ ）での初詣、入学式、卒業式、成人式、入社式、各種パーティ、法事など、美容院へ行く機会はたくさんあります。ほかに、（ ４ ）に合う伝統的な髪型を継承してゆくことも重要な役割の一つです。日本では平安時代からの髪型にかんする様式が伝わっており、現代でも皇室には古来の髪型を結って臨む（ ５ ）があります。近世から続く髪型も日本舞踊など伝統芸能を行う人や芸者など花柳界の人々が受継いでおり、結婚式では鬢を使わず自分の髪で結う人がいます。こうした需要に応え続けることも美容職ならではの役割です。

- ① 晴れ着 ② 和装 ③ アドバイス ④ 宮中行事 ⑤ 顧客満足度

3 次の１）～５）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- １）「美容師法」が制定されたのは江戸時代である。
- ２）美容職の職場は換気を十分に行わなければならない。
- ３）近世以前の日本でカッティングは重要でなかった。
- ４）観光の記念撮影に美容師が仕事として出張美容してもよい。
- ５）美容師がネイルケアを行ってもよい。

【正解】

- 1 １）④ ２）② ３）① ４）① ５）③ ６）④ ７）③ ８）② ９）① 10）②
 2 １）③ ２）⑤ ３）① ４）② ５）④
 3 １）× ２）○ ３）○ ４）× ５）○

第2回 美容業界の最新動向——社会の動きと美容業界の動向を知る

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) 美容業の平成27年(2015年)の店舗数は何件か。

- ① 4万7千件 ② 10万5千件 ③ 15万1千件 ④ 23万8千件

2) 美容業の平成27年の市場規模は次のどれか。

- ① 1千億円 ② 5千億円 ③ 1兆5千億円 ④ 15兆円

3) 美容師の平成27年の人数は何人か。

- ① 2万6千人 ② 9万2千人 ③ 23万5千人 ④ 49万7千人

4) 現代日本の人口構成を総称して一般に何と言うか。

- ① 高齢化社会 ② 高学歴社会 ③ 中流社会 ④ 格差社会

5) 日本の人口は今後どう推移すると予測されているか。

- ① 現状維持 ② 増加傾向 ③ 減少傾向 ④ 劇的増加

6) 現代の美容業界が取り組んでいる主なテーマは次のどれか。

- ① 自宅までの無料送迎 ② 接客の質的向上
③ 24時間営業 ④ 無店舗営業

7) 高齢者向けのサービステーマとして最も適切なのは次のどれか。

- ① カリスマ美容師育成 ② アンチエイジング
③ 流行の先取り ④ ネイルアート

8) 高価格帯を目指す店の経営努力として最も適切なのは次のどれか。

- ① 割引券配布 ② メニューの絞り込み ③ 値下げ ④ ブランド構築

9) トータルビューティーサロンに不適切なメニューは次のどれか。

- ① 毛穴ケア ② 脱毛 ③ 入れ墨 ④ 縮毛矯正

10) 「健康管理」をカタカナ用語で何と言うか。

- ① ヘルスケア ② スキンケア ③ ヘアーケア ④ アフターケア

2 次の文章中の空欄（１）～（５）に入る語句として適切なものを選んでください。

少子高齢化が進行し、総人口が減少するなか、美容院の件数および（ １ ）の人数は増え続けています。一方、社会全体で（ ２ ）が定着しており、急激な消費拡大は見込めそうにありません。その結果、業界内の競争は激しさを増し、根本的な改革が求められるようになりました。そのため、お客様が来店する真の目的を考える必要があります。「より幸福になりた」「より特別な存在になりたい」「より（ ３ ）になりたい」等といった奥深い目的も潜んでいるのではないかと考えられるからです。また、美容院に行けば「快適で幸せな時間を過ごせる」「大切な人間として扱ってもらえる」「みんなが（ ４ ）してくれるようになったと思える」といった期待もあります。美容職はこうした目的を探究しつつ、お客様が抱いている（ ５ ）とした要望を具体的に実現しなければなりません。

- ① 美しく ② 注目 ③ 節約志向 ④ 漠然 ⑤ 美容師

3 次の１）～５）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- 1) 平成27年現在、日本人の4人に1人が高齢者である。
- 2) 平成27年現在、美容院の総店舗数はコンビニエンスストアの総店舗数より多い。
- 3) お客様の出迎え、見送りは過剰サービスなので禁止になった。
- 4) 今後は人口の多い団塊の世代など、高齢者向けのサービス充実が必要だ。
- 5) 近年は低価格帯の店舗にカリスマ美容師が多数勤務するようになった。

【正解】

- 1 1) ④ 2) ③ 3) ④ 4) ① 5) ③ 6) ② 7) ② 8) ④ 9) ③ 10) ①
- 2 1) ⑤ 2) ③ 3) ① 4) ② 5) ④
- 3 1) ○ 2) ○ 3) × 4) ○ 5) ×

第3回 美容人材の職業意識①——組織・社会の一員としての美容人材の心構えを学ぶ

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) 美容職など専門職に共通して求められる仕事への取組み姿勢は次のどれか。

- ① 職業倫理 ② 災害支援 ③ 国際平和 ④ 勧善懲悪

2) 顧客管理に関連して近年社会的問題になっているリスクは次のどれか。

- ① 詐欺 ② 背任横領 ③ 強盗殺人 ④ 個人情報漏洩

3) 美容師の権利義務や資格試験などについて定めた法律は何か。

- ① 消費者基本法 ② 理容師法 ③ 美容師法 ④ 労働基準法

4) 近年に重視されるようになった「コンプライアンス」の日本語訳は次のどれか。

- ① 法令遵守 ② 説明責任 ③ 情報開示 ④ 未開拓市場

5) 美容業の出張業務等について条例を定めている各地の公的機関を何と言うか。

- ① 中央官庁 ② 地方公共団体 ③ 財団法人 ④ NGO

6) 美容職がお客様に対して用いる「皮ふに接する布片」とは次のどれか。

- ① 制服 ② 雑巾 ③ 蒸しタオル ④ カーテン

7) 複数の人間が共通の目的をもち、互いに連携し協力し合って行う活動を何と言うか。

- ① フットワーク ② オーバーワーク ③ パッチワーク ④ チームワーク

8) 互いに連携し協力し合って活動する時に重要なことは次のどれか。

- ① コミュニケーション ② サービス残業 ③ ハラスメント ④ スタンドプレー

9) 仲間同士の連携活動で陥りやすいマイナスの心理は次のどれか。

- ① 大同小異 ② 共存共栄 ③ 相互依存 ④ 疑心暗鬼

10) 日本の会社で共同作業をするとき、重視するスタッフの性質は次のどれか。

- ① 面従腹背 ② 協調性 ③ 蛮勇 ④ 二心

2 次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

近年の美容業界ではお客様の（ 1 ）を可能な限り実現できるよう、顧客情報をカルテに記録し、保存する例があります。記録内容は店舗によってさまざまですが、住所、（ 2 ）、年齢、誕生日、職業、施術内容等を基本にして、家族構成、趣味、性格、好みのファッション、好きな食べ物、よく行く店や街、話し好きかどうか等、多彩な内容を把握しています。これによって質の高い（ 3 ）を提供し、顧客満足度の向上を図ることが狙いです。ただし、これらの情報は取り扱いに注意が必要です。お客様の（ 4 ）ですから、外部に漏れるようなことがあってはなりません。ケースによっては「個人情報の保護に関する法律（略称：個人情報保護法）」違反となることもあります。同法では個人情報を（ 5 ）等に保存し、事業で利用する者を「個人情報取り扱い事業者」と定めており、多くの義務を課しています。

① 氏名 ② データベース ③ プライバシー ④ 要望 ⑤ サービス

3 次の1)～5)の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- 1) 専門職が最優先すべき倫理として利益の確保がある。
- 2) 美容師は化粧の一部として刃物を用いた顔そりを行ってもよい。
- 3) 美容師資格をもたない者が法の定める美容施術を行ってはならない。
- 4) お客様と顔を近づけて施術する時にマスク着用を義務づける都道府県がある。
- 5) 優れた技術の持ち主はチームワークを無視してよい。

【正解】

- 1 1) ① 2) ④ 3) ③ 4) ① 5) ② 6) ③ 7) ④ 8) ① 9) ④ 10) ②
- 2 1) ④ 2) ① 3) ⑤ 4) ③ 5) ②
- 3 1) × 2) ○ 3) ○ 4) ○ 5) ×

第4回 美容人材の職業意識②——個人としての美容人材の心構えを学ぶ

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) 美容職が業務を行うときに尊重するのはお客様のどのような特徴か。

- ① 年収 ② 個性 ③ 好感度 ④ 居住地

2) 美容業などサービス業において製造業と異なる商品の性質は次のどれか。

- ① 価格が安い ② 形が無い ③ 保存しやすい ④ 長持ちする

3) 美容職のお客様への心構えとして適切な精神は次のどれか。

- ① 正々堂々 ② 忠誠 ③ ホスピタリティ ④ リーダシップ

4) 美容業において、お客様の髪型を決定するのは誰か。

- ① スタイリスト ② アシスタント ③ 店長 ④ お客様自身

5) 美容業でリピーターを増やすための課題として適切なものは次のどれか。

- ① 顧客満足度向上 ② 経費節減 ③ 店舗の無人化 ④ 海外進出

6) 美容業で美容職が現場にいないと商売が成立しないという特徴を何と言うか。

- ① 在庫保存 ② 自動化 ③ 無店舗販売 ④ 不可分性

7) お客様の要望を示すビジネス用語は次のどれか。

- ① シェア ② ビジネスモデル ③ ニーズ ④ フィードバック

8) 非言語コミュニケーションでないのは次のどれか。

- ① 声の大きさ ② 言葉の概念 ③ 顔や目の表情 ④ 沈黙の仕方

9) 予約のお客様や仕事仲間に迷惑をかける時間管理の失敗は次のどれか。

- ① 大幅な遅刻 ② 計画的な欠勤 ③ 早朝出勤 ④ 休日の遊び過ぎ

10) 健康管理の対策として、美容職特有の課題は次のどれか。

- ① 手荒れ ② 熱中症 ③ 白内障 ④ 糖尿病

2 次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

美容業では営業努力として、さまざまな取り組みを行っています。例えば、お客様の要望に応じて繰り返し利用してもらうこと、市場調査やお客様への（ 1 ）等を行い潜在的な需要を掘り起こすこと、技術やサービスのイノベーションを行って近隣の（ 2 ）に差をつけること等、その他、自分たちがお客様にとって不必要な（ 3 ）を行っていないかという検討も常にしなければなりません。こうしたことを理解した上で、美容職は誠実に業務を行います。また、何をすれば満足してもらえるかは個々人によって異なりますので、可能な限り（ 4 ）がこうあってほしいと期待する内容をくみ取り、それに応えるよう接客します。一例をあげると、（ 5 ）の会話が好きな人と嫌いな人がおり、好きな人でも会話の内容について好みが分かりますから、相手を慮ったコミュニケーションがとても重要です。

① ヒアリング ② サービス ③ 施術中 ④ 競合店 ⑤ お客様各人

3 次の1)～5)の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- 1) 美容職はお客様の要望よりも、時代の流行を重視すべき。
- 2) 美容職はお客様を店のファンにする努力が必要。
- 3) 適切なサービスの具体的内容は時代によって変化する。
- 4) 個人的に緊急な用事ができたときは無断欠勤もしかたがない。
- 5) 忙しい日々が続くとき、毎日の食事はインスタント食品でよい。

【正解】

- 1 1) ② 2) ② 3) ③ 4) ④ 5) ① 6) ④ 7) ③ 8) ② 9) ① 10) ①
- 2 1) ① 2) ④ 3) ② 4) ⑤ 5) ③
- 3 1) × 2) ○ 3) ○ 4) × 5) ×

第5回 美容人材に必要な能力①——チームワークで働く美容人材が習得すべき能力を考える

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) 美容職にとって美容技術の他に必要な能力は次のどれか。

- ① カットティング ② コミュニケーション ③ ドライビング ④ テイスティング

2) チームワークでの情報交換に必要なスキルの略語は次のどれか。

- ① 雪月花 ② 運鈍根 ③ 審美眼 ④ 報連相

3) 予約制を含め、業務を効率的に運営するための管理業務は次のどれか。

- ① タイムマネジメント ② リスクマネジメント ③ コストマネジメント ④ ケアマネジメント

4) 美容職が行うサービスに最も役立つ情報は次のどれか。

- ① 管理会計情報 ② POS情報 ③ 財務情報 ④ 顧客管理情報

5) 店内の清掃や整理整頓で最も優先順位の高い要素は次のどれか。

- ① スピード ② コスト ③ 安全 ④ 見た目

6) スタイリストを補佐する役割は一般に何と呼ぶか。

- ① ネイリスト ② アシスタント ③ エステティシャン ④ スキンケアアドバイザー

7) チームワークをスムーズにするための要素は次のどれか。

- ① 唯我独尊 ② 協力関係 ③ 上意下達 ④ 下克上

8) 上司や先輩から指示を受けたときに最優先で理解すべきことは何か。

- ① 何を望んでいるか ② 何を言ったか ③ 機嫌がよいか ④ 無視すべきか

9) 場の「空気」を読むために必要な判断は次のどれか。

- ① 状況の背景を知る ② 何が正義かを考える ③ 信念を通す ④ まず謝る

10) 場の「空気」に流されないよう注意すべきなのはどんな出来事か。

- ① 慶事 ② 祝事 ③ 弔事 ④ 悪事

2 次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

チームワークを必要とする職場では、個々人の性格、(1)、短所等を把握し、柔軟に対応する必要があります。たとえ自分が(2)であったとしても、アシスタントが指示を理解できなければお客様に迷惑をかけてしまいます。したがって、どのように伝えれば、どのように(3)のかというアシスタントの個性を知らなければなりません。一方、アシスタントも上司の個性を把握して指示を聞かなければ、失敗をして店に損害を与える可能性があります。人と人との(4)が必要な職場では誰しも協力してくれる相手を必要としているのです。したがって、美容職一人ひとりにチームワークをよくするための能力開発が求められています。例えば、指示を受けた時は(5)だけを鵜呑みにするのではなく、相手が何を伝えようとしているのかについて察知する洞察力が大切です。

- ① 動く ② 連携 ③ トップスタイリスト ④ 言葉 ⑤ 長所

3 次の1)～5)の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- 1) お客様への接客方法は正解が一つではない。
 2) 顧客管理情報は売上向上に役立つ。
 3) 業務は全て大事なので優先順位は不要。
 4) 店内清掃で最も重要なのは安全より美観。
 5) 場の「空気」には善し悪しがある。

【正解】

- 1 1) ② 2) ④ 3) ① 4) ④ 5) ③ 6) ② 7) ② 8) ① 9) ① 10) ④
 2 1) ⑤ 2) ③ 3) ① 4) ② 5) ④
 3 1) ○ 2) ○ 3) ○× 4) × 5) ○

第6回 美容人材に必要な能力②

——専門職業人として日々の研鑽が必要な美容人材が習得すべき能力を考える

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) ファッションの動向などを街に出て実際に観察する活動を何と言うか。

- ① オーバーワーク ② ネットワーク ③ フィールドワーク ④ テレワーク

2) 流行などの動向、あるいは傾向を表すビジネス用語は次のどれか。

- ① ブルーオーシャン ② ダイバーシティ ③ オルタナティブ ④ トренд

3) 衣類、靴、靴、下着などに付けられた独自の名称を何と言うか。

- ① トレードマーク ② ロゴ ③ シンボル ④ ブランド

4) 美容師に相当する女髪結いが初めて登場したのは何時代か。

- ① 奈良時代 ② 平安時代 ③ 鎌倉時代 ④ 江戸時代

5) 最新流行を取り入れた「モダンガール」と呼ばれる人々が現れたのはいつ頃か。

- ① 大正時代 ② 終戦直後 ③ 高度成長期 ④ バブル時代

6) 相手の話を聞き流すのではなく、熱心に聞くことを表す用語は次のどれか。

- ① 視聴 ② 傾聴 ③ 尋問 ④ 質疑

7) 「店長がもうすぐ参ります」という敬語表現の名称は次のどれか。

- ① 尊敬語 ② 丁寧語 ③ 謙譲語 ④ 美化語

8) 接客に用いる定型句として、不適切なのは次のどれか。

- ① ご苦労さま ② かしこまりました ③ 少々お待ちください ④ 恐れ入ります

9) お客様からの電話を受けたケースで、不適切な対応は次のどれか。

- ① 最初に自分の名を名乗る ② 敬語で話す
③ 愛想よく対応する ④ 要件をメモする

10) 心のこもった丁寧な接客を日本語で何と言うか。

- ① かたじけない ② もったいない ③ おもてなし ④ ぞんざい

2 次の文章中の空欄（１）～（５）に入る語句として適切なものを選んでください。

美容職はお客様と会話をする機会がとて多くあります。出迎え、案内、カウンセリング、（ １ ）など、よりよいサービスを提供するためのコミュニケーションは欠かせません。そのときに大切なのが話しを「聴く」態度です。一般的には「聞く」と書きますが、熱心に（ ２ ）を傾けるときは「聴く」と表記します。この違いは話しを聴く側の（ ３ ）によるもので、話し手への共感が重要になります。具体的には（ ４ ）になって、相手の心にある真意を受け止めようとする態度です。この態度をもって会話を行い、話し手が自分の言うことに共感してもらったとを感じるようになれば（ ５ ）が深まります。会話で大切なのは話すことではなく、聴くことであるという原則もあります。こうした能力をしっかりと身につけましょう。

- ① 心構え ② 親身 ③ 要望のヒアリング ④ 相互の関係 ⑤ 耳

3 次の１）～５）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- １）ファッションなどの流行は短期間で変化する。
- ２）美容職に衣料品ブランドの知識は必要ない。
- ３）江戸時代の花魁はファッションリーダーだった。
- ４）堅苦しくなるのでお客様への敬語は避ける。
- ５）電話のベルが５回鳴ってから受話器をとる。

【正解】

- 1 １）③ ２）④ ３）④ ４）④ ５）① ６）② ７）③ ８）① ９）① 10）③
- 2 １）③ ２）⑤ ３）① ４）② ５）④
- 3 １）○ ２）× ３）○ ４）× ５）×

第7回 美容人材のキャリア形成①——様々な美容職のキャリアパスを知る

【問題】

1 次の1)～10)の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1) 美容師試験を受験するための養成施設を認可するのは誰か。

- ① 文部科学大臣 ② 厚生労働大臣 ③ 環境大臣 ④ 総理大臣

2) 美容師試験は筆記試験のほかに何の試験があるか。

- ① 面接 ② 適性 ③ 体力 ④ 実技

3) 一般にアシスタントが担当しない業務は次のどれか。

- ① 開店準備 ② シャンプー ③ 後片付け ④ カウンセリング

4) 美容業の従業員数で最も多い割合の人数は何人か（平成22年調査）。

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人

5) 大規模店で売上に責任をもつ役職名の例は次のどれか。

- ① 主任 ② 支配人 ③ 案内係 ④ スタイリスト

6) 管理美容師の配置を義務づけられている従業員数は何人以上か。

- ① 1人以上 ② 2人以上 ③ 3人以上 ④ 4人以上

7) 管理美容師の資格取得に最低必要な実務経験年数は次のどれか。

- ① 1年 ② 2年 ③ 3年 ④ 4年

8) 美容業で30～39歳の経営者が占める割合は何%か（平成22年調査）。

- ① 2.2% ② 10.8% ③ 15.3% ④ 22.0%

9) 施術を行う美容師として上位にある者の名称は次のどれか。

- ① トップスタイリスト ② エリアマネージャー ③ プロデューサー ④ エグゼクティブ

10) 美容師以外で人間を対象とする美容職に含まれるのは次のどれか。

- ① ソムリエ ② エステティシャン ③ トリマー ④ パタンナー

2 次の文章中の空欄（１）～（５）に入る語句として適切なものを選んでください。

美容師は独立志向の強い人が多いと推定されています。独立するタイミングは人それぞれですが、アシスタントを経てスタイリストになり、（ １ ）に自信がついてから具体的に検討するのが妥当です。また、勤め先のオーナーともよく相談し、（ ２ ）の上で独立するのがベストであり、けんか別れして独立するのは懸命ではありません。どのような仕事でも業界での（ ３ ）が成長を助けてくれるし、危機を救ってくれます。一人前のスタイリストが辞職するのはオーナーにとって大きなダメージとなりますので、（ ４ ）を育ててから辞めるなどの配慮も必要です。自分を指名してくれるお客様が気持ちよく新店舗に来られるような心配りも忘れてはなりません。その他、開業に直接必要な資金だけではなく、（ ５ ）になるまでの運転資金も準備しておくことが大切です。

- ① 人間関係 ② 後継者 ③ 合意 ④ 黒字 ⑤ 技術

3 次の１）～５）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

- １）「美容師でなければ、美容を業としてはならない」（美容師法第６条）。
- ２）美容師の条件は美容師法によって定めがある。
- ３）中学校卒業業者でも受験できる養成施設がある。
- ４）トップスタイリストは美男美女が条件となる。
- ５）美容業を経営する者は管理美容師の資格が必要である。

【正解】

- 1 １）② ２）④ ３）④ ４）① ５）② ６）② ７）③ ８）③ ９）① 10）②
- 2 １）⑤ ２）③ ３）① ４）② ５）④
- 3 １）○ ２）○ ３）○ ４）× ５）×

2 美容分野 基礎学力教育プログラム

A 全体構成

「美容分野 基礎学力教育プログラム」は全60時間で、文科系30時間と理科系30時間で構成されている。そして、文科系は言語系領域15時間と社会系領域15時間、理科系は理科系領域20時間と数学系領域10時間で構成されている。その際、言語系領域では小中学校国語・中学校英語・敬語表現・美容表現・接客表現等、社会系領域では小中学校社会・美容関係法規・制度・美容文化等、理科系領域では小中学校理科・美容保健A（人体の構造・機能）・美容保健B（皮膚科学）・美容物理化学、数学系領域では小学校算数・中学校数学等を扱う。

このうち、本事業では本年度、理科系の理科系領域に焦点を当てて教育プログラムを開発した。その際、開発に先立ち、美容師養成施設で扱う教科「美容保健」「美容の物理・化学」と小中学校で扱う教科「理科」の対応関係を調べ、高等課程在籍生用プログラムとしての最適化を図った。その整理結果を次頁以降に提示する。

[illegible]

【開発】美容人材基盤力養成プログラム

[illegible]

以上の整理に基づき、本教育プログラム理科系領域（20時間）の学習内容を次のように構成した。

1 回（1 時間）に 5 テーマを扱い、それが 20 回（20 時間）であるため、全体で 100 テーマについて学習することになる。

◆ 美容分野 基礎学力教育プログラム 理科系領域 テーマ構成

回	分野	テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④	テーマ⑤
1	美容保健（人体の構造・機能／皮膚科学）	顔面筋と表情運動	末梢神経とそのはたらき	血液の循環経路	人体とホルモン	泌尿器系のはたらき
2		真皮	毛	対外保護作用・体温調節作用	毛の保護と手入れ／皮膚の保護と手入れ	菌・害虫等による皮膚疾患
3		頭部、顔部、頸部の体表解剖学	末梢神経とそのはたらき	血液循環の仕組み	肺の仕組みとガス交換	泌尿器系の仕組み
4		真皮	爪	脂腺	皮膚の保護と手入れ	化膿菌による皮膚疾患
5		血液のあらまし	顔面筋と表情運動	気道	泌尿器系の仕組み	人体とホルモン
6		内分泌器系の調節機構	表皮	毛	体温調節作用	皮膚と精神
7		主な骨格筋とそのはたらき	末梢神経とそのはたらき	聴覚	血液の循環経路	消化腺とそのはたらき
8		皮下組織	脂腺（皮脂腺）	対外保護作用	皮膚の水分と脂の状態	子どもたちのおしゃれによる皮膚トラブル
9		血液のあらまし	骨格器系とそのはたらき	末梢神経とそのはたらき	心臓と血管のはたらき	消化腺とそのはたらき
10		真皮	毛	爪	皮膚の保護と手入れ	毛と爪の疾患

【開発】美容人材基盤力養成プログラム

回	分野	テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④	テーマ⑤
11	美容の物理・化学	光の性質	サンケア製品	化学結合	パーマ剤	無機顔料
12		高分子化合物の種類と特性	界面活性剤の種類と香粧品配合成分があたえる機能	高分子化合物	パーマ剤・染毛剤の種類と染毛メカニズム	制汗・防臭剤
13		刃物と力	物質の状態変化	紫外線の性質	物質の構成	酸と塩基の性質
14		酸と塩基の性質	天然色素	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	高分子物質を基材とするスタイリング剤	ヘアカラーの種類と染毛メカニズム
15		てこ	電気のエネルギー	酸と塩基の性質	高分子化合物	硬水と軟水
16		刃物と力	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	皮脂の汚れと洗浄作用	パーマ剤第1剤	永久染毛剤
17		サンケア製品	電気のエネルギー	電気のエネルギー／電流と磁界	刃物と力／熱の伝わり方	酸と塩基の性質
18		低分子化合物	硬水と軟水	界面活性剤の種類	ヘアリンス剤／育毛・養毛剤／永久染毛剤	パーマの原理とパーマ剤
19		温度と熱／物質の状態変化	電気のエネルギー	刃物と力	界面活性剤の種類	エタノールとその他の油性原料
20		高分子化合物の種類と特性／香粧品配合成分があたえる機能	染毛剤の種類と染毛メカニズム	パーマの原理	無機顔料	シャンプー剤・ヘアリンス剤・育毛養毛剤・染毛剤

B 使用教材

次に、本教育プログラムの使用教材として、問題コンテンツと講義用テキスト教材を以下に示す。
問題コンテンツは〈練習問題〉と〈確認問題〉、講義用テキストは〈練習問題〉とその解説から成る。
その際、問題コンテンツは、個人学習用 e ラーニング教材としての適用を想定している。

◆ 美容分野 基礎学力教育プログラム 理科系領域 問題コンテンツ

問題コンテンツは、美容師国家試験（筆記試験）の出題分野である「美容保健」（人体の構造及び機能、皮膚科学）と「美容の物理・化学」について、直近 5 回（第30～34回）の過去問題100問を抽出し、その各問の基本事項について問う〈確認問題〉（300～400問）と、その確認問題を組み合わせて元の国家試験問題の前段問題として作成した〈練習問題〉（200問）から成るドリル式コンテンツである。その典型的な問題セット（確認問題＋練習問題）と仕様の例を以下に示す。

<p>元になる 国家試験問題 (コンテンツ素材) 100問</p>	<p>【美容の物理・化学（H28第34回試験・問題31）】 温度と熱に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。 ① セルシウス温度(セ氏温度)の目盛は、1気圧における水の氷点と沸点をもとに定められている。 ② 水と氷を入れた水枕では、氷の融解が続いている間は温度上昇はみられない。 ③ タオルの煮沸消毒で、湯浴内が加熱沸騰している間、水温は沸点で一定に保たれる。 ④ 冷えた空気は上方へ移動するので、冷房機器は部屋の下部に設置すると冷房効果が高い。</p>	<p>国家試験問題の出題形式は、一問一答式（語句）・記述文選択（正文/誤文）・組合せ選択・空欄適語</p> <p>元問題 1 問につき、5 程度のキーワード（網掛部）を選定。</p>
<p>確認問題 300～400問</p>	<p>【セ氏温度】 水が凍る 0℃から沸騰する100℃までを100等分した温度目盛を何と言うか。 ① セ氏温度 ② カ氏温度 ③ 絶対零度</p> <hr/> <p>【氷点】 水が凍って氷として固まる温度(0℃)を何と言うか。 ① 氷点 ② 零点 ③ 固点</p> <hr/> <p>【沸点】 液体が加熱されて沸騰する温度(水の場合は100℃)を何と言うか。 ① 沸点 ② 百点 ③ 気点</p>	<p>確認問題の出題形式は全て、3肢択一の一問選定キーワード自体が</p> <p>レベル・内容は専門教育前段階の生物・物理・化学で、美容</p> <p>授業 1 回20問程度目安。</p>

	<p>【融解】 加熱等によって物質が固体から液体に状態変化することを何と言うか。 ① 融解 ② 凝固 ③ 蒸発</p> <p>【煮沸消毒】 沸騰した水等に沈めて加熱することで器具等の殺菌を行う方法を何と言うか。 ① 煮沸消毒 ② 水中消毒 ③ 湯洗</p> <p>【冷えた空気】 温かい空気は密度が低く、冷たい空気は密度が高いため、一定空間内において冷たい空気はどこに溜ろうとするか。 ① 下方 ② 上方 ③ 壁面</p>	
<p>練習問題 200問</p>	<p>温度と熱に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。 ① 一般に、地上における水の氷点は0℃、沸点は100℃である。 ② 水枕の中の氷は、溶け切るまで、融解しながら温度上昇を続ける。</p> <p>温度と熱に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。 ① タオルを煮沸消毒する場合、その湯は沸騰している間、温度が100℃(沸点) で保たれる。 ② 冷たい空気は上方に溜ろうとするため、エアコンは床に近い所に設置するのがよい。</p>	<p>国家試験問題の出題形式を踏襲し、その対象領域の確認問題を合成した所謂ダウングレード版国家試験問題。元問題を2問に分解して平易に書き換え、2肢択一式に縮小。キーワードを全て採用する必要はない。 授業1回10問目安。</p>

※〈練習問題〉と〈確認問題〉の全問は【補遺】に掲載。

◆ 美容分野 基礎学力教育プログラム 理科系領域 講義用テキスト教材

講義用テキストは、〈練習問題〉200問に解説を記述した紙媒体教材である。解説内容について、自身で読むだけでなく、講義で説明を受けることで、当該学習テーマに関する理解を深めるのと共に、自身の躓きポイントを見出して〈確認問題〉に立ち返るきっかけにするものである。この講義用テキストの内容を以下に掲載する。

回次	分 野	テーマ
第 1 回	美容保健	1 顔面筋と表情筋

【問題 1】

顔面にある筋肉とその働きに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 鼻筋－鼻の両側に横皺を作る
- ② 眼輪筋－唇を横に伸ばす

【解説】

鼻筋は、鼻の両側に横じわをつくる。すなわち、①は正しい。また、眼輪筋は眼瞼を閉じる筋肉であり、唇を横に伸ばす筋肉ではないため②は誤っている。

眼の近くには眼輪筋、皺眉筋、鼻根筋がある。このうち眼輪筋は、眼のまわりを丸く取り巻いて走っているため、眼を閉じるときにはたらく筋である。

【正解】 ①**【問題 2】**

顔面にある筋肉とその働きに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 口輪筋－額にしわをよせる
- ② 前頭筋－額に横じわをつくる

【解説】

前頭筋は額にしわを寄せ、横じわをつくる筋肉である。すなわち、②は正しい。また、口輪筋は口をすばめたり閉じる筋肉であるため、①は誤っている。

後頭前頭筋は後頭部から前頭部へかけて頭蓋を覆って伸びる筋群であるが、後頭部の筋を後頭筋、前頭部を前頭筋と呼ぶ。この後頭前頭筋が収縮すると頭の皮膚が引き上げられて、額に横じわができる。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 眼の周囲を取り巻いて走っている、眼を閉じる時に働く筋肉を何と言うか。
- 2) 人間の頭部の浅頭筋のうち、口唇周辺にかけての口筋の中で、口の周囲を前方に尖らせる筋肉を何と言うか。
- 3) 人間の頭部の浅頭筋のうち、頭蓋周囲の頭蓋表筋（後頭前頭筋）に含まれる筋肉を何と言うか。

回次	分野	テーマ
第1回	美容保健	2 末梢神経とそのはたらき

【問題1】

次の器官のうち、体性運動神経によって支配されているものはどれか。

- ① 骨格筋
- ② 心臓

【解説】

骨格筋は、体性運動神経に支配されている。すなわち、①は正しい。また、心臓は内蔵運動神経なので②は誤っている。

体性神経は末梢神経を成す神経線維の一つで、知覚神経と運動神経に分けられる。運動神経とは、興奮を受けた中枢神経からの命令を骨格筋に伝える神経になる。

心臓や血管、消化管などの内臓の動きは自律神経である。

【正解】 ①

【問題2】

次の器官のうち、体性運動神経によって支配されているものはどれか。

- ① 消化管
- ② 骨格筋

【解説】

骨格筋は、体性運動神経に支配されている。すなわち、②は正しい。また、消化管は内蔵運動神経であるため、①は誤っている。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 動物の筋肉の一分類であり、骨格を動かす筋肉を何というか。
- 2) 血液循環の原動力となる器官を何というか。
- 3) 血液を身体各所に送るための通路となる管を何というか。
- 4) 口から肛門までの食物の通路を何というか。

回次	分 野	テーマ
第 1 回	美容保健	3 血液の循環経路

【問題 1】

次の血液循環経路のうち、正しいものはどれか。

- ① 左心室→動脈
- ② 左心室→静脈

【解説】

心臓の左心室から大動脈に送り出された血液は動脈を介して全身の器官にいきわたる。すなわち、①は正しい。そのため、②は誤っている。

血液の循環経路は、左心室→動脈→全身の毛細血管→静脈→右心房となっている。心臓の血液を送り出すところが心室、血液を迎え入れるところが心房である。毛細血管は、血液が全身の器官や組織に達した後、そこで栄養物や酸素をあたえ、老廃物や炭酸ガスを取り込む仕事をする。

左心室は動脈血を全身に送り出し、右心房は全身から返ってきた血をいったん蓄え、右心室に送り出し、右心室は静脈血を肺に送り出し、左心房は肺から返ってきた血をいったん蓄え、左心室に送り出す。

【正解】 ①**【問題 2】**

次の血液循環経路のうち、正しいものはどれか。

- ① 右心室→静脈
- ② 左心室→動脈

【解説】

左心室は動脈へ血液を流すので②は正しい。また、右心室は肺に血液を流すポンプで、右心室→肺動脈が正しい循環であるため、①は誤っている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 心臓の4つの部屋のうち、全身に広く流れる血液を送るポンプの役割を果たしている部屋のことを何というか。
- 2) 酸素と栄養分に富む動脈血を身体各部に運ぶ血管を何というか。

- 3) 小動脈が非常に細かく枝分かれして網目状になった血管を何というか。
- 4) 各臓器、組織から心臓のほうに血液を戻す血管を何というか。
- 5) 心臓の4つの部屋のうち、全身からの静脈血を受け右心室に送る役割を果たしている部屋のことを何というか。
- 6) 心臓の4つの部屋のうち、肺から送られた新鮮な血液を左心室へ送り出す役割を果たしている部屋のことを何というか。
- 7) 心臓の4つの部屋のうち、右心房から静脈血を受け肺動脈へ送り出す役割を果たしている部屋のことを何というか。
- 8) 心臓から肺に静脈血を送る動脈を何というか。

回次	分野	テーマ
第1回	美容保健	4 人体とホルモン

【問題1】

次の内臓器官のうち、内分泌器官はどれか。

- ① 副腎
- ② 膀胱

【解説】

副腎は多種のホルモンを分泌する内分泌器官である。すなわち、①は正しい。また、膀胱は尿を貯蔵する泌尿器官であるため、②は誤っている。

内分泌とはホルモンを血管内へ放出する仕組みのことで内分泌系の諸器官を内分泌線とも呼んでいる。内分泌線は頭部から下へ向かって下垂体（脳下垂体）、甲状腺、上皮小体（副甲状腺）、副腎、膵臓、性腺（男性では精巣、女性では卵巣）がある。

【正解】 ①**【問題2】**

次の内臓器官のうち、内分泌器官はどれか。

- ① 尿道
- ② 膵臓

【解説】

膵臓は内分泌線としてインスリンをつくるはたらきがある。すなわち、②は正しい。また、尿道は、尿が通る道で泌尿器官であるため、①は誤っている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 消化管の一部で、咽頭から胃に至る管状の消化器官を何というか。
- 2) 腎臓でつくられる尿を一時的にたくわえておく筋性の袋状の器官を何というか。
- 3) 膀胱内の尿を体外に排出する管を何というか。
- 4) 左右の腎臓の上に接して1個ずつ存在する、内分泌器官を何というか。

回次	分野	テーマ
第1回	美容保健	5 泌尿器系のはたらき

【問題1】

次の物質のうち、尿中に通常排泄されないものはどれか。

- ① グルコース
- ② アンモニア

【解説】

グルコースは糖の一種で、活動をするために必要なエネルギーであり、尿中に通常排泄されない。すなわち、①が正しい。また、アンモニアは尿中に通常排泄されるため、②は誤っている。

尿中は、約98%が水であり、タンパク質の代謝で生じた尿素を約2%含む。その他、微量の塩素、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、リン酸などのイオン、クレアチニン、尿酸、アンモニア、ホルモンを含む。

【正解】①

【問題2】

次の物質のうち、尿中に通常排泄されないものはどれか。

- ① 尿素
- ② セルロース

【解説】

セルロースは尿中に通常排泄されない。すなわち、②は正しい。また、尿素は尿中に通常排泄されるため、①は誤っている。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 尿中の成分のうち、水分を除く固形成分で一番多いものを何というか。
- 2) 刺激臭のある無色の気体で、水によく溶けるアルカリ性のものを何というか。
- 3) 単糖類の一つで、ブドウ糖ともいわれるものを何というか。
- 4) 一般に筋肉で生成され、腎臓から尿中に排泄されるものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第2回	美容保健	1 真皮

【問題1】

皮膚と皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 真皮の線維成分は、膠原線維がその大部分を占める。
- ② 色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の角化に関与する。

【解説】

真皮の繊維成分は、コラーゲンというタンパク質からなる膠原線維がその大部分を占める。すなわち、①は正しい。また、色素細胞（メラノサイト）は、色素（メラニン）に関与するため、②は誤っている。

表皮は皮膚の一番外側にあり、厚さは約0.2mmである。その95%はケラチンをつくる細胞系列のケラチノサイト（角化細胞）である。皮膚色素のメラニンをつくる細胞系列のメラノサイト、免疫をつかさどるランゲルハンス細胞、触覚受容に関与するメルケル細胞などが残りの5%を占める。

【正解】①**【問題2】**

皮膚と皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮下組織には、皮脂腺によって作られる脂肪が蓄えられている。
- ② 角化細胞は表面から角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層に分けられる。

【解説】

角化細胞は表面から角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層に分けられるため、②は正しい。また、皮下組織は真皮の下にある皮下脂肪でできている。したがって、①は誤っている記述である。

表皮の一番下方にある基底層は、一列に並んだ基底細胞からなり、この細胞が分裂して順次上方に移動し、有棘細胞、顆粒細胞となり、最後に角質細胞となる。角化細胞は大体一ヶ月をかけて最下層の基底細胞から角質細胞に変化していく。また、皮脂腺は皮脂を分泌し、汗腺は汗を分泌する。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 表皮最下層の基底層で分裂して順次皮膚表面へと移行し、最後は垢となる過程をとる、表皮のケラチン生成細胞を何というか。
- 2) 皮膚の色素であるメラニンをつくる細胞で、基底細胞の間に点々と存在し、長い細胞突起をもつものを何というか。
- 3) 皮膚の表皮の下に結合組織層を何というか。
- 4) 動物の骨、軟骨、腱、皮膚などの結合組織を構成する主要なたんぱく質を何というか。
- 5) 結合組織を構成する線維の一種で、腱・靱帯・骨などに多く含まれている、コラーゲンからなるもののことを何というか。
- 6) 皮脂の内層にあって、毛孔を通すことで蓄積した脂質を皮脂として体表に分泌する腺を何というか。

回次	分野	テーマ
第2回	美容保健	2 毛

【問題1】

皮膚と皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① いわゆるトリハダ反応は、皮膚の毛細血管の収縮によって引き起こされる。
- ② エクリン腺は、全身のほとんどの皮膚に広く分布する。

【解説】

トリハダ反応は立毛筋が収縮することによって起こる。皮膚の毛細血管の収縮によって起こるわけではないため①は誤っている。また、エクリン腺は、全身のほとんどの皮膚に広く分布するため②は正しい。

立毛筋は自律神経によって支配されている。立毛筋は平滑筋で、真皮の乳頭の部分から斜めに下降し、脂腺の下で毛包についている。エクリン腺は汗を分泌して体温調節をする。

【正解】 ①**【問題2】**

皮膚と皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 成人の平均的な頭毛数は、約10万本である。
- ② 健康的な成人の頭毛は、生長期が短く、休止期が長い。

【解説】

健康的な成人の頭毛では、成長期が長く、休止期が短い。すなわち、②は誤っている。また、成人の平均的な頭毛数は、約10万本であるため、①は正しい。

健康な成人の頭毛では、全体の85～90%が、成長期で、1%が退行期、9～14%が休止期にあるとされる。毛頭以外の毛の成長期は短く、上肢、下肢、体幹の毛および眉毛、睫毛の成長期は6ヶ月以下である。人体には約130～140万本の毛が生えていて、このうち毛頭は約10万本とされている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 汗を出して体温調節をする腺を何というか。

回次	分野	テーマ
第2回	美容保健	3 対外保護作用・体温調節作用

【問題1】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能にかんする次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚における皮脂の分泌は、高齢になると次第に増加してくる。
- ② 皮膚の表面には、汗と皮脂が混じり合った弱酸性の脂肪膜（皮脂膜）がある。

【解説】

皮膚における皮脂の分泌は、高齢になると次第に減少する。すなわち、①は誤っている。また、皮膚の表面には、汗と皮脂が混じり合った弱酸性の脂肪膜（皮脂膜）があるため、②は正しい記述である。

皮脂は、脂腺の細胞が脂肪化してできたもので皮膚表面に分泌される。脂腺の発育は男性ホルモンの刺激によるもので、思春期にさかんになり、高齢になると次第に減少する。

【正解】①

【問題2】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能にかんする次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚で体温調節を積極的に行っているのは、毛細血管と汗腺である。
- ② 皮膚で体温調節を積極的に行っているのは、毛根である。

【解説】

皮膚で体温調節を積極的に行っているのは、毛細血管と汗腺である。すなわち、②は誤っている。したがって、正しい記述は①である。

汗腺は汗を分泌する皮膚線である。漿液がたまって皮膚の表面にできる発疹は水疱という。生体内の細胞に色素が貯留し、色調が変化することを示す語を色素沈着という。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 皮膚表面の汗と皮脂が混じり合ってできた膜で、皮膚の表面に存在するものを何というか。
- 2) 汗を分泌する皮膚腺を何というか。
- 3) 漿液（しょうえき）がたまって皮膚の表皮下にできる発疹を何というか。
- 4) 生体内の細胞に色素が貯留し、色調が変化することを示す語を何というか。

回次	分 野	テーマ
第 2 回	美容保健	4 毛の保護と手入れ／皮膚の保護と手入れ

【問題 1】

皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 胃腸病患者は、最近や真菌による皮膚疾患にかかりやすい。
- ② サンスクリーン剤は、紫外線を吸収または散乱させる作用をもっている。

【解説】

胃腸病患者は、細菌や真菌による皮膚疾病にかかりやすくなるわけではないため、①は誤っている記述である。また、サンスクリーン剤は、紫外線を吸収または散乱させる作用を持っているため、②は正しい。

菌類のうち、細菌や粘菌を除くものの総称を真菌という。

【正解】 ①**【問題 2】**

皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 油性のフケ症では、よくシャンプーして、汚れやフケを落とすことが重要である。
- ② 皮膚は、老化により皮膚の張りや弾力が増していく。

【解説】

皮膚は老化により皮膚の張りや弾力が失われていく。すなわち、②は誤っている記述である。油性のフケ症では、よくシャンプーして、汚れやフケを落とすことが重要である。したがって、①は正しい。

頭皮表面の角質細胞が多く脱落する症状をフケ症という。皮膚は弾力性に富み、伸び縮みが容易で、皮膚と真皮の連絡が強く保たれている。しかし、高齢者の皮膚ではこの波形の程度が小さくなったり、むしろ扁平に近くなってくる。これは、皮膚の老化現象の一つと見られている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 頭皮表面の角質細胞が多く脱落する症状を何というか。
- 2) 菌類のうち、細菌や粘菌を除くものの総称を何というか。

回次	分野	テーマ
第2回	美容保健	5 菌・害虫等による皮膚疾患

【問題1】

皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 尋常性毛瘡（カミソリカブレ）－細菌（化膿菌）
- ② アタマジラミ症－ヒゼンダニ

【解説】

尋常性毛瘡（カミソリカブレ）は、細菌や化膿菌、ブドウ球菌でおきる。すなわち、①は正しい記述である。また、アタマジラミ症はシラミでおきるため、②は誤っている。

特に皮膚のきめの細かい人やヒゲの濃い人では、ひげそりの際に切り傷を生じやすい。そして、この傷がもとでカミソリカブレやその他の疾患を起こしやすくなる。

【正解】①

【問題2】

皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 単純性疱疹（単純性ヘルペス）－真菌（カビ）
- ② 円形脱毛症－ストレス

【解説】

円形脱毛症は、ストレス、免疫異常でおきる。すなわち、②は正しい記述である。また、単純性疱疹（単純性ヘルペス）はウイルスでおきるため、①は誤っている。

精神状態に支配されて起こる皮膚疾患は、最近のように社会生活が複雑になるほど増加してくる。円形脱毛症などの原因の一部も、これによって説明されている。

【正解】②

【確認問題】

- 1) カミソリでそったあとに生じる皮膚の炎症を何というか。
- 2) シラミが寄生することによって、かゆみがともなう症状を何というか。
- 3) 単純ヘルペスウイルスの感染によって起こる病気を何というか。

回次	分野	テーマ
第3回	美容保健	1 頭部、顔部、頸部の体表解剖学

【問題1】

口及び鼻とその周辺の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 上下の口唇の間に囲まれた空間を口裂という。
- ② 上唇の正中線を上下に走る溝を鼻唇溝という。

【解説】

上下の口唇の間に囲まれた空間を口裂という。そのため①は正しいといえる。

上唇の正中線を上下に走る溝は人中という。そのため②は誤っている。鼻唇溝は鼻翼の付け根から口角の外側へ向けて斜めに下がる八の字型の溝のことをいう。

【正解】 ②**【問題2】**

口及び鼻とその周辺の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 鼻は顔面の中央にあり、前頭部から続く部位を鼻根という。
- ② 空気の通り道で、外部から観察できる部位を鼻孔という。

【解説】

鼻は顔面の中央にあり、前頭部から続く部位を鼻根という。そのため①は正しいといえる。

空気の通り道で、外部から観察できる部分を外鼻孔という。そのため②は誤っている。鼻孔は鼻の穴をさしているものであり、その中に外鼻孔と内鼻孔が存在している。内鼻孔は外鼻孔から続いている経路が内側の口腔などに繋がっている方を表す言葉である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 上下の口唇の間に囲まれた空間を何というか。
- 2) 鼻翼の外側縁から口角の外側縁に向かっているものを何というか。
- 3) 顔面の中央にある、前頭部から続く部位を何というか。
- 4) 空気の通り道のうち、外部から観察できる部位を何というか。

回次	分野	テーマ
第3回	美容保健	2 末梢神経とそのはたらき

【問題1】

次のうち、末梢神経はどれか。

- ① 脊髄神経
- ② 延髄

【解説】

脊髄神経は末梢神経のうち、脊髄から分かれているものを指す。そのため①が正しい。

延髄は脳の一部であり、脳幹を構成する一部である。さらに生命を維持する上で極めて重要な中枢がいくつかあり、脳の最下部にある。そのためこれは中枢神経である。よって②は誤っている。

【正解】 ①

【問題2】

次のうち、末梢神経はどれか。

- ① 小脳
- ② 脳神経

【解説】

小脳は運動機能の調整や、平衡・眼球運動の調整を司っている。そのためこれは中枢神経である。よって①は誤っている。脊椎動物の神経系に属する器官で、脳から直接出ている末梢神経の総称を脳神経という。そのためこれは末梢神経である。よって②は正しい。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 脳の中でも最も主要な部分で、溝によって前頭葉、側頭葉などがあるものは何というか。
- 2) 生命を維持する上で極めて重要な中枢がいくつかあり、脊椎動物の脳の最下部にあるものを何というか。
- 3) 運動機能の調整や、平衡・眼球運動の調整を司る、脳の部位を何というか。
- 4) 脊椎動物の神経系に属する器官で、脳から直接出ている末梢神経の総称を何というか。
- 5) 体の各部位に存在する神経繊維を何というか。

回次	分 野	テーマ
第 3 回	美容保健	3 血液循環の仕組み

【問題 1】

次の動脈のうち、頭部または頸部に存在しないものはどれか。

- ① 冠状動脈
- ② 上唇動脈

【解説】

頭部または頸部に存在する動脈は上唇動脈や内頸動脈、後頭動脈などがある。上唇動脈は頭頸部動脈の一つで、顔面動脈の枝であり、曲がりくねっている動脈である。そのため②は正しいといえる。冠状動脈とは心臓に血液を供給するための血管である。これは冠のように心臓を取り巻いている。そのため①は誤っている。

【正解】 ②**【問題 2】**

次の動脈のうち、頭部または頸部に存在しないものはどれか。

- ① 形状動脈
- ② 後頭動脈

【解説】

後頭動脈は顔面動脈と同じ高さで後側より起こり、頸二腹筋後腹の下方を通して後頭部へと向かうものである。そのため②は正しいといえる。①の動脈は存在しないため選ばないようにするべきである。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 心臓に血液提供するための血管を何というか。
- 2) 頭頸部の動脈の 1 つで、顔面動脈の枝であり、曲がりくねっている動脈を何というか。
- 3) 上行大動脈からは左右の総頸動脈が分岐してできている。この総頸動脈から分岐する動脈のことを何と言うか。
- 4) 顔面動脈と同じ高さで外側より起こり、頸二腹筋後腹の下方を通して後頭部へと向かうものを何というか。

回次	分野	テーマ
第3回	美容保健	4 肺の仕組みとガス交換

【問題1】

一酸化炭素中毒の原因に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 呼吸運動が抑制されるため。
- ② ヘモグロビンと一酸化炭素が結合し、一酸化炭素ヘモグロビンが形成されるため。

【解説】

一酸化炭素はヘモグロビンに対して非常に強い力で結合する。一旦ヘモグロビンと結合した一酸化炭素は分離が困難なため、酸素を供給できるヘモグロビンが減少し、酸素不足を招き命が脅かされてしまう。

一酸化炭素はヘモグロビンと結合し一酸化炭素ヘモグロビンが生成されてしまうことが原因の一つとして挙げられる。そのため②が正しい。

【正解】 ②

【問題2】

一酸化炭素中毒の原因に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ヘモグロビンと酸素の結合を阻害するため。
- ② 組織での酸素の利用を阻害するため。

【解説】

ヘモグロビンは酸素を各組織に運ぶ役割を持ち、動物の血液中被見られる赤血球の中に存在するタンパク質である。

ヘモグロビンが少なくなってしまうと、組織での酸素の利用を阻害することも原因といえる。よって②が正しい。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) ヘモグロビンと酸素の結合を阻止することで起こるものを何というか。
- 2) 血液とガスの交換の場を何と言うか。
- 3) 動物の血液中被見られる、赤血球の中に存在するタンパク質を何というか。

回次	分野	テーマ
第3回	美容保健	5 泌尿器系の仕組み

【問題1】

次の臓器のうち、長さが、男女間で顕著に異なるものはどれか。

- ① 尿道
- ② 直腸

【解説】

臓器の長さが男女間で顕著に異なるものは生殖器が関わっている。

尿道は男性の方が長く、成人男性で約20cm、成人女性で4cmほどと言われている。そのため①が正しい。

直腸は肛門直前の腸の部分を指していて、男女間での長さの差はない。そのため②は誤っている。

【正解】 ①**【問題2】**

次の臓器のうち、長さが、男女間で顕著に異なるものはどれか。

- ① 尿管
- ② 尿道

【解説】

尿管は腎臓で作られた尿を膀胱に運ぶ役割を持つ管腔臓器である。男女間での長さの差はない。そのため①は誤っている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 腎で作った尿を膀胱に運ぶ管腔臓器を何というか。
- 2) 肛門直前の腸の部分を何というか。

回次	分野	テーマ
第4回	美容保健	1 真皮

【問題1】

皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚は、上から表皮、真皮、皮下組織の3つの層からなる。
- ② 表皮は、上から角質層、有棘層、顆粒層、透明層、基底層の5つの細胞層からなる。

【解説】

皮膚は上から表皮、真皮、皮下組織の3層からなる。そのため①は正しいといえる。

表皮とは多細胞生物の最も外側を覆う組織で、内部を保護する役割を担っている。表皮は上から角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層の5つの層からできている。よって②は誤っている記述である。

【正解】①

【問題2】

皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 真皮は、膠原線維がその大部分を占め、その間に弾性線維が混在している。
- ② 色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の色素であるケラチンを作る細胞である。

【解説】

真皮は皮膚組織の大部分を占めており、神経や血管がたくさん存在する層である。膠原線維がその大部分を占め、その間に弾性線維が混在している。よって①は正しい。皮下組織は外からの衝撃を和らげて体の内部を守ったり、体温を保つための断熱材のような働きをしているものである。

色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の色素であるメラニンを作る細胞である。そのため②は誤っている。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 多細胞生物の最も外側を覆う組織で、内部を保護する役割を担っているものを何というか。
- 2) 外からの衝撃を和らげて体の内部を守ったり、体温を保つための断熱材のような働きをしているものとして最も適しているものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第 4 回	美容保健	2 爪

【問題 1】

皮膚及び皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛母は、毛球の毛乳頭に接している部分をいう。
- ② 爪は、真皮の角質層の変形したもので、その成分はコラーゲンである。

【解説】

毛母は毛球の毛乳頭に接している部分のことを指している。毛母は髪の毛を作り、成長させるために必要なものである。そのため①は正しい。

爪は真皮の角質層の変形したもので、その主成分はケラチンである。そのため②の記述は誤っている。

【正解】 ②**【問題 2】**

皮膚及び皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 脂腺は、短い排出管を持って毛包に開口している。
- ② エクリン腺は、体全体にまんべんなく分布している。

【解説】

脂腺は、短い排出管を持って毛包に開口している、皮膚の内部にある小さい腺である。主に皮脂を分泌し、皮膚や毛髪の表面の保湿の働きをしている。そのため①の記述は正しい。

エクリン腺は手のひらや足底に最も多く分布している。そのため②の記述は誤っている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 毛球の毛乳頭に接している部分を何というか。
- 2) 毛を産生する哺乳類の皮膚付属器官を何というか。

回次	分野	テーマ
第4回	美容保健	3 脂腺

【問題1】

皮膚及び皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚の表面にある脂肪膜は、弱酸性である。
- ② 皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは、脂腺である。

【解説】

皮膚の表面にある脂肪膜は、弱酸性である。これは皮膚表面で汗と皮脂が混じり合ってきた膜で、皮膚の表面に存在している。よって①の記述は正しい。

皮膚で体温調整を積極的に行なっているのは毛細血管と汗腺である。そのため②の記述は誤っている。

【正解】 ①

【問題2】

皮膚及び皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脂腺の発育は、男性ホルモンの影響を強く受ける。
- ② 爪は、爪母が保存されていても、剥がれると再生しない。

【解説】

脂腺の発育には、男性ホルモンが大きく関わっており男性ホルモンの影響を強く受ける。したがって、①の記述は正しい。

爪は爪母が保存されていれば、引き剥がされても再生する。爪母が取り除かれると再生ができなくなってしまう。そのため、②の記述は誤っている。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 男性ホルモンの影響を強く受けて発育するものを何というか。
- 2) 爪を作り出すために最も重要なものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第 4 回	美容保健	4 皮膚の保護と手入れ

【問題 1】

皮膚及び皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚の健康に必要な栄養は、常に体から血液などによって供給される。
- ② サンスクリーン剤は、紫外線を吸収する成分あるいは反射・散乱させる成分を含んでいる。

【解説】

皮膚の健康に必要な栄養素は、常に体内から血液によって供給されている。そのため、①の記述は正しい。

サンスクリーン剤は、紫外線を吸収する成分あるいは反射・散乱させる成分を含んでいる。②では紫外線ではなく赤外線と記述されているため、誤っている。

【正解】 ②**【問題 2】**

皮膚及び皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 油性のフケ症の人は、皮膚を刺激しないために、シャンプーによる洗髪の回数をなるべく少なくする。
- ② 糖尿病では、細菌や真菌による皮膚疾患にかかりやすい。

【解説】

油性のフケ症の人はよくシャンプーをして汚れをしっかりと落とすことが重要である。特に頭皮をしっかりと洗う必要がある。さらに硬い爪などで頭皮を傷つける可能性もあるので柔らかいブラシなどを用いる必要もある。そのため①の記述は誤っている。

糖尿病では、細菌や真菌による皮膚疾患にかかりやすくなってしまう。そのため、②の記述は正しい。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 患うことで、細菌や真菌による皮膚疾患にかかりやすくなってしまう疾患の一例は何か。

回次	分野	テーマ
第4回	美容保健	5 化膿菌による皮膚疾患

【問題1】

皮膚疾患と病原体に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 伝染性膿痂疹 - 真菌（カビ）
- ② 青年性扁平疣贅 - ウイルス

【解説】

皮膚が痒くなってしまうたり、水ぶくれなど皮膚に異常が出てしまう疾患のことを皮膚疾患という。

虫刺されやあせもを掻いたり、小さな怪我で皮膚に傷ができた時に細菌が入り込み感染することで発症する皮膚疾患を伝染性膿痂疹（でんせんせいのうかしん）という。細菌が感染した箇所を掻いてしまった手から色々な場所に広がってしまう。その広がる速さから「飛び火」とも呼ばれている。そのため①の記述は誤っている。

青年の顔面や手背にできるが、10歳以下の子供にもできる、ウイルスが原因の皮膚疾患を青年性扁平疣贅（せいねんせいへんぺいゆうぜい）という。大きさは0.5～1cmほどで、褐色で一度にたくさんできる特徴がある。そのため②の記述は正しい。

【正解】①

【問題2】

皮膚疾患と病原体に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 尋常性毛瘡 - 化膿菌
- ② 頭部白癬 - ヒゼンダニ

【解説】

あごや鼻の下のような硬いヒゲが生える部分にできやすい、細菌などによる皮膚疾患を尋常性毛瘡（じんじょうせいもうそう）という。これはカミソリ負けなどによってできる化膿によるものである。よって①の記述は正しい。

パラパラと乾燥した大量のフケ、皮膚にできた白っぽいかさぶた、大量の抜け毛などの症状が出る真菌（カビ）が原因の皮膚疾患を頭部白癬（しらくも）という。よって、②の記述は誤っている。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 皮膚などが痒くなったり、水ぶくれなどができてしまう疾患の総称をなんというか。
- 2) 化膿菌と深い関係がある皮膚疾患の一例は何か。
- 3) ウイルスと深い関係にある皮膚疾患の一例は何か。
- 4) 真菌（カビ）と深い関係がある皮膚疾患の一例は何か。

回次	分野	テーマ
第5回	美容保健	1 血液のあらまし

【問題1】

次の血球のうち、血液凝固を引き起こすものはどれか。

- ① 赤血球
- ② 血小板

【解説】

赤血球は、細胞の中にヘモグロビンを含み、そのヘモグロビンによって酸素を全身に運ぶ。すなわち、①は誤っている記述である。

血小板は、血液の凝固や止血に重要な役割を果たしている。血管壁が破壊されたとき、血管は止血を止めるためにただちに血管壁を収縮させる。また、破損箇所に粘着し止血を行うので、②は正しい記述である。

【正解】②

【問題2】

次の血球のうち、細菌などの異物を処理し、生体を外敵から防ぐ働きをしており、顆粒球の大部分を占めるものはどれか。

- ① 好中球
- ② リンパ球

【解説】

好中球は、白血球の約60%を占めている顆粒白血球の一種である。体内に侵入した細菌や異物を白血球内に取り込んで消化する食細胞である。すなわち、①は正しい。

また、リンパ球は白血球の一種でTリンパ球とBリンパ球に分けられ、多くの場合、両者共同して免疫反応に直接的に働くものであるため、②は誤った記述である。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 最近などの異物を処理し、生体を外敵から防ぐ働きをしており、顆粒球の大部分を占めるものを何というか。
- 2) 生体には血を止める止血機構が備わっているが、その働きのことを何というか。

回次	分 野	テーマ
第 5 回	美容保健	2 顔面筋と表情運動

【問題 1】

顔面筋とその働きに関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 眼輪筋 - 目を閉じる
- ② 笑筋 - 眉間にしわをつくって、眉を細める

【解説】

眼輪筋は、顔裂の周囲を輪状に取り囲み、まぶたを閉じさせる働きをする筋肉である。すなわち、①は正しい。

また、笑筋は、口唇周囲にかけての口筋の中でえくぼを作る筋肉であるため、②は誤った記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

顔面筋とその働きに関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 前頭筋 - 額にしわをつくる
- ② 口輪筋 - 唇を開く

【解説】

前頭筋は、前頭部にある筋肉で、収縮すると額に横じわを作る。すなわち、①は正しい記述である。

また、口輪筋は、口を閉じる筋肉で、これを収縮させると口先が前に突き出し、口笛を吹く状態になるため、②は誤った記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 表情を作る筋肉（表情筋）または皮筋とも呼ばれている筋肉を何というか。
- 2) 顔面の表情筋の一つで、眼裂の周囲を輪状に取り囲み、まぶたを閉じさせる働きをする筋肉を何というか。
- 3) 人間の頭部の浅頭筋のうち、口唇周囲にかけての口筋の中でえくぼを作る筋肉を何というか。

回次	分野	テーマ
第5回	美容保健	3 気道

【問題1】

次の消化器官のうち、消化管に含まれるものはどれか。

- ① 咽頭
- ② 肝臓

【解説】

咽頭は、消化管に含まれており、鼻腔と口腔との後部にある縦に長い管腔である。下は前方で喉頭、後方で食道へつながる。したがって咽頭は、軌道としては鼻腔から喉頭へ、消化管として口腔から食道へとつながる2系統の交差点といえる。すなわち、①は正しい記述である。

肝臓は、消化官ではなく、消化腺に含まれるので、②は誤った記述である。

【正解】①

【問題2】

次の消化器官のうち、消化管に含まれるものはどれか。

- ① 胆嚢
- ② 食道

【解説】

胆嚢は、消化官ではなく、消化腺に含まれるので、①は誤った記述である。

食道は、消化管に含まれ、食物を胃に送るためのものであり、咽頭の下方から胃の噴門までをつなぐ管である。すなわち、②は正しい。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 人間の鼻腔・口腔に続いて、咽頭、食道に至るまでの管状の器官を何というか。
- 2) 代謝作用、解毒作用、消化の三つの機能を持つ内臓を何というか。
- 3) 肝臓で作られた胆汁をためておく働きを行うものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第 5 回	美容保健	4 泌尿器系の仕組み

【問題 1】

次の臓器のうち、泌尿器系に含まれないものはどれか。

- ① 腎臓
- ② 肝臓

【解説】

腎臓は、泌尿器系の器官の一つで、血液からの老廃物や余分な水分のろ過および排出を行い、尿を生成する。すなわち、①は正しい記述である。

肝臓は、体内最大の臓器で、消化器系の器官の一つである。代謝作用、解毒作用、胆汁の生成・分泌の働きを持つ。なので、②は誤った記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

次の臓器のうち、泌尿器系に含まれるものはどれか。

- ① 脾臓
- ② 膀胱

【解説】

脾臓は、循環器系の器官の一つで、リンパ球の生成、老朽赤血球の破壊、血液の貯留などの機能を持つ。すなわち、①は誤った記述である。

膀胱は、泌尿器系の器官の一つで、腎臓から送られてくる尿を一時的に溜める袋状の構造をしているため、②は正しい記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 腎臓、尿管、膀胱、尿道が含まれており、尿の生成および排泄に関わる器官系を何というか。
- 2) 血液をろ過し、余分な老廃物や塩分を取り除く働きを持つ内臓を何というか。
- 3) リンパ系の臓器で、リンパ球の生成や老朽赤血球の破壊、血液の貯留などの機能を持つものを何というか。

回次	分野	テーマ
第5回	美容保健	5 人体とホルモン

【問題1】

次のホルモンのうち、最も糖尿病に関係するものはどれか。

- ① アドレナリン
- ② インスリン

【解説】

アドレナリンは、副腎髄質から分泌され、交感神経を刺激した際に全身に現れる反応とほとんど同じ作用をするので、①は誤った記述である。インスリンは、膵臓から分泌されるホルモンで、血液中の血糖の濃度を調節する働きがあり、血糖を下げる働きを持つホルモンはインスリンしかない。このホルモンの異常をきたすと糖尿病になる。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②

【問題2】

次のホルモンのうち、甲状腺ホルモンの一種はどれか。

- ① パラトルモン
- ② サイロキシン

【解説】

パラトルモンは、上皮小体から分泌し、血液中のカルシウム濃度を上昇させ、リンの濃度を減少させるなど、骨の代謝を調節するため、①は誤った記述である。サイロキシンは、甲状腺ホルモンの一種で甲状腺から分泌し、物質代謝を促進させ、エネルギーや酸素消費を増大させ、糖質、タンパク質、脂肪の三大栄養素の体内代謝に影響している。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 副腎髄質から分泌されるホルモンの一つで、交感神経の作用が高まると分泌され、血糖量の上昇や心拍数の増加などを起こすものを何というか。
- 2) 膵臓から分泌されるホルモンの一つで、血液中の血糖値を調節する働きがあるものを何というか。
- 3) 血液中のカルシウム濃度を上昇させる副甲状腺ホルモンを何というか。

回次	分野	テーマ
第6回	美容保健	1 内分泌器系の調節機構

【問題1】

皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 角化細胞は、表面より、角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層の5つの細胞層からなる。
- ② 色素細胞が生成したエラスチンは、顆粒細胞に伝達される。

【解説】

角化細胞は、表面より、角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層の5つの細胞層からなるので、①は正しい。色素細胞が生成するのはメラニンで、そのメラニンは細胞突起を経て基底細胞に与えられる。特に角の上に分布し感化細胞の母細胞である基底細胞の核DNAが日光の紫外線によって障害されないように保護しているので、②は誤った記述である。

【正解】 ①**【問題2】**

皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ランゲルハンス細胞は、免疫に関与する細胞である。
- ② 真皮の繊維成分は、ケラチンというタンパク質からできた弾性繊維がその大部分を占める。

【解説】

ランゲルハンス細胞は、人の免疫系の細胞で、表皮に付着した外来抗原を認識して細胞内に取り込み、T細胞に提示して活性化させる働きを持っている。すなわち、①は正しい記述である。

真皮の繊維成分は、コラーゲンというタンパク質からできた膠原繊維がその大部分を占めるので、②は誤った記述である。また、ケラチンは、表皮の角質層を形成する細胞成分である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) コラーゲンの繊維を支える役割を持ち、弾性繊維とも呼ばれるものを何というか。
- 2) 小脳皮質に存在する神経細胞で、細胞内に顆粒が多くみえる細胞を何というか。
- 3) 硬タンパク質の一つで、繊維状で髪の毛や爪などの成分でもあるものを何というか。

回次	分野	テーマ
第6回	美容保健	2 表皮

【問題1】

皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛は、その中心部から順に毛髄質、毛皮質、毛小皮の3層からなる。
- ② 頭毛には成長期、脱落期、休止期という生長周期がある。

【解説】

毛は、外側から毛小皮、毛皮質、毛髄質の3層の構造になっている。すなわち、①は正しい記述です。また、毛小皮は、キューティクルと呼ばれ、髪の毛をコーティングしている。毛髄質は、毛の太さにより変わり、毛が太ければ毛髄質も太くなる。

頭毛は、生長期、退行期、休止期の三つの時期があり、それらの期間は年齢や性別により異なる。すなわち、②は誤った記述である。

【正解】②

【問題2】

皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 健康な成人の頭毛では、全体の85～90%が休止期である。
- ② 爪には、成長周期がなく、絶えず生長を続けている。

【解説】

健康な成人の頭毛は、全体の85～90%が生長期で、休止期は9～14%とされている。すなわち、①は誤った記述である。

爪は毛と違い、生長周期はなく、絶えず生長を続けているため、②は正しい記述である。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 脂腺、汗腺、毛、爪が含まれ、体温調整作用や自己浄化作用、科学的刺激や光線に対する保護作用などの生理機能を持つものを何というか。
- 2) 人間の生長周期どのようなものか。

回次	分 野	テーマ
第 6 回	美容保健	3 毛

【問題 1】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 脂肪膜（皮脂膜）と角質層のケラチンには、外的化学的刺激に対する保護作用がある。
- ② 脂腺の発育は、女性ホルモンの刺激によるもので、女性は男性より皮脂の分泌が多い。

【解説】

脂肪膜とケラチンは外的科学的刺激に対して防御の機能を果たしている。すなわち、①は正しい記述である。また、脂腺の発育は男性ホルモンの刺激によるもので、20~25歳で最高になり、加齢とともに減少する。したがって、②は誤った記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚描記症は、蕁麻疹の出やすい人では、その反応は強く起こる。
- ② 皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは脂腺である。

【解説】

皮膚描記症は、蕁麻疹が出ている人に多く、原因は現在のところ不明だが、アレルギーが疑われている。すなわち、①は正しい記述である。

また、皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは汗腺であるため、②は誤った記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 皮膚の最も外側の層のことで、ケラチンを含み、核のない扁平細胞の重なりから形成されているものを何というか。
- 2) 皮膚から物質を吸収することを何というか。
- 3) 発症すると、皮膚を軽く搔いただけで、搔いた後が赤くなり、蕁麻疹のようにミミズ腫れが起こる疾患を何というか。

回次	分野	テーマ
第6回	美容保健	4 体温調節作用

【問題1】

皮膚および皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 荒れ性の皮膚では、通常、真皮の水分が増加している。
- ② 乾性のフケ性の人は、シャンプーをしすぎないようにすることが重要である。

【解説】

荒れ性の皮膚は、角質層の水分量が減少している。すなわち、①は誤った記述である。

また、乾性のフケ性は、頭皮の乾燥により角質の結合力が弱まり、フケとして脱落する。シャンプーによる頭皮の荒れや空気の乾燥が要因になっているため、②は正しい記述である。

【正解】①

【問題2】

皮膚および皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚の分泌作用や新陳代謝は、加齢に伴って低下する。
- ② 紫外線は、尋常性痤瘡（ニキビ）や円形脱毛症の原因となる。

【解説】

皮膚は加齢とともに、分泌作用や新陳代謝が落ちていく。すなわち、①は正しい記述である。

また、尋常性痤瘡（ニキビ）は分泌異常による皮膚疾患である。円形脱毛症の原因は不明だが、免疫の異常と考えられているため、②は誤った記述である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 脂肪分の欠乏により肌が荒れやすくなっていることを何というか。
- 2) 次の空欄に共通して当てはまるものを何というか。
 - ・油性の（ ）はよくシャンプーをして、汚れやフケを落とすことが大切である。
 - ・乾性の（ ）はよくシャンプーをしすぎないことが大切である。
- 3) 顔や背、胸に見られる炎症性皮膚疾患の一つで、一般的にニキビと呼ばれるものを何というか。

回次	分野	テーマ
第6回	美容保健	5 皮膚と精神

【問題1】

皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 肝斑（シミ）－真菌（カビ）
- ② 癬－細菌（化膿菌）

【解説】

肝斑（シミ）は、皮膚にできる色素斑（シミ）の1つで、原因はまだはっきりとわかっていないが、女性ホルモンのアンバランスが影響していると考えられている。すなわち、①は誤った記述である。

癬は、化膿菌が毛包や汗腺に入って起こる急性の炎症で、いわゆるおできのことである。したがって、②の記述は正しい記述です。

【正解】②**【問題2】**

皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 単純性疱疹（単純性ヘルペス）－シラミ
- ② 尋常性毛瘡（カミソリカブレ）－化膿菌

【解説】

単純性疱疹は、皮膚に生じる感染症の一つである。単純ヘルペスウイルスが原因であるため、①は間違っている。尋常性毛瘡は、顎や鼻の下など硬いひげの生える部分でできやすく、黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌などの細菌による毛包に起こる炎症である。黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌は、可能性炎症の原因となる化膿菌であるので、②は正しい記述である。

【正解】②**【確認問題】**

- 1) 女性ホルモンや紫外線、ストレスが原因として顔に淡褐色のシミとして現れることを何というか。
- 2) 黄色ブドウ球菌の感染により発症する膿皮症の一つで、毛包の可能性炎症を何というか。
- 3) 毛包が皮膚の中で膿が溜まって炎症を起こし、癬の原因となるものを何というか。

回次	分野	テーマ
第7回	美容保健	1 主な骨格筋とそのはたらき

【問題1】

筋肉に関することで正しいものはどれか。

- ① 上腕の押し出す動作などに作用する筋肉は腹筋である。
- ② 体幹内腔を腰と腹腔とに二分する膜状の筋を横隔膜という。

【解説】

横隔膜は呼吸器運動に関する筋肉で体幹内腔を胸腔と腹腔とに二分する膜状の筋であるため、②は正しい記述である。また、上腕の押し出す動作などに作用する筋肉は胸筋であるため、①は誤っている記述である。横隔膜は胸腔と腹腔の境界にある筋板であり、呼吸運動に関する筋肉の一つである。

【正解】②

【問題2】

筋肉に関することで正しいものはどれか。

- ① 外腹斜筋と内腹斜筋は協同筋である。
- ② 頸部にある筋肉の一つで、腕を上げる時に働くのは胸鎖乳突筋である。

【解説】

外腹斜筋と内腹斜筋とは、協同して腹壁を緊張させるので、協同筋であります。すなわち、①は正しい記述です。また、胸鎖乳突筋は頸部にある筋肉の一つで、首を曲げ、回転させる働きを持つため②は誤っている記述です。屈筋と伸筋のように、目的の相反するはたらき方をすることを生理学では拮抗と呼びます。したがって、屈筋と伸筋とは相互に拮抗筋であります。これに対して、同じ目的ではたらく筋を協同筋といいます。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 胸の前部左右にあり扇型をしていて、上腕の押し出す動作などに作用する筋肉を何というか。
- 2) 体幹内腔を胸腔と腹腔とに二分する膜状の筋を何というか。
- 3) 頸部にある筋肉の一つで、首を曲げ回転させる働きを持つものを何というか。
- 4) 外腹斜筋と協同筋であるものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第 7 回	美容保健	2 末梢神経とそのはたらき

【問題 1】

体の仕組みについて正しい記述はどれか。

- ① ホルモンを分泌することで体の調整を行うのが内分泌系である。
- ② 一日の行動を示したものを日内変動という。

【解説】

内分泌器系はホルモンをつくって分泌して、体の様々な機能の調整や制御を行うため、①は正しい記述である。また、日内変動とは脳にある体内時計によってコントロールされた、体温・心拍数・血圧等の値や覚醒－睡眠のリズムが、一日の中で変動することをいう。すなわち、②は誤っている記述である。

内分泌器系では、内分泌腺とも呼んでいるが、これは同義語である。

一定の時間内に心臓が拍動する回数を表したものは心拍数という。

【正解】 ①**【問題 2】**

体の仕組みについて正しい記述はどれか。

- ① 一定の時間以内に心臓が拍動する回数を心拍数という。
- ② 一日の呼吸する回数を呼吸回数という。

【解説】

一定の時間内に心臓が拍動する回数を心拍数という。すなわち、①は正しい記述である。また、呼吸回数は一般に一分間の呼吸の数のことを言うため、②は誤っている記述である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) ホルモンをつくって分泌することで、体のさまざまな機能の調節や制御を行う腺や器官の集まりを何というか。
- 2) 一定の時間内に心臓が拍動する回数を表したものを何というか。
- 3) 体温・心拍数・血圧等の値や、覚醒-睡眠のリズムが一日中変動することを表すものを何というか。

回次	分野	テーマ
第7回	美容保健	3 聴覚

【問題1】

感覚器官に関して正しい記述はどれか。

- ① 平衡感覚に関する感覚器を鼓膜という。
- ② 嗅覚の刺激物質を受容する細部を嗅細胞という。

【解説】

生物が運動している時に重力に対して傾いた状態である時に、これを察知する働きを持つものを平衡器官という。そのため、①の記述は誤っている。

人間の五感のうち、基本匂いが認知されるものを嗅覚という。さらに、嗅覚の刺激物質を受容する細胞を嗅細胞という。そのため、②の記述は正しい。

【正解】②

【問題2】

感覚器官に関して正しい記述はどれか。

- ① 視覚に関する感覚器を嗅細胞という。
- ② 深部感覚に関する感覚器を筋紡錘という。

【解説】

人間の五感のうち、基本映像が認知されるものを視覚という。嗅細胞とは関係がないため、①の記述は誤っている。

筋肉の収縮状態を神経に伝えることで、脊髄反射を介しての姿勢・運動の調整に重要な役割を果たしているものを筋紡錘と言う。さらに、筋紡錘や腱紡錘のほか、関節包や触覚の受容器などによって生じる、総合的な感覚を深部感覚という。そのため、②の記述は正しい。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 空気中の音を捉えるための器官を何と言うか。
- 2) 生体が運動している時や重力に対して傾いた状態にある時に、これを察知する働きをするものをなんと言うか。
- 3) 舌や軟口蓋にある、食べ物の味を感じる小さな器官を何と言うか。

- 4) 人間の五感のうち、基本味が認知されるものをなんというか。
- 5) 嗅覚の刺激物質を受容する細胞をなんというか。
- 6) 筋肉の収縮状態を神経に伝えることで、脊髄反射を介して姿勢・運動の調節に重要な役割を果たしているものをなんというか。
- 7) 筋紡錘や腱紡錘のほか、関節包や触覚の受容器などによって生じる、総合的な感覚として適しているものをなんというか。

回次	分野	テーマ
第7回	美容保健	4 血液の循環経路

【問題1】

次のうち、動脈が流れている部位はどれか。

- ① 右心房
- ② 肺静脈

【解説】

肺静脈は肺の機能血管であり、肺で酸素を補給された動脈血を運んでいる。肺静脈は左右の肺からそれぞれ2本ずつ左心房につながっている。そのため②が正しいといえる。

心臓の4つの部屋のうち、全身からの生静脈を受け右心室に送る役割を果たしている部屋のことを右心房という。これは静脈が流れているため、①は誤っている。

【正解】 ②

【問題2】

次のうち、動脈が流れている部位はどれか。

- ① 左心房
- ② 肺動脈

【解説】

心臓の4つの部屋のうち、肺から送られてきた新鮮な血液を左心室へ送り出す役割をしている部屋のことを左心房という。これは動脈が流れているため、①は正しい。心臓から肺に静脈血を送る動脈を肺動脈という。これは静脈が流れているため、②は誤っている。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 心臓の4つの部位のうち、全身からの静脈血を受けて右心室に送る役割を果たしている部屋のことをなんというか。
- 2) 心臓の4つの部屋のうち、肺から送られた新鮮な血液を左心室へ送り出す役割を果たしている部屋のことをなんというか。
- 3) 肺の機能血管で、肺で酸素を補給された動脈血を運んでいるものをなんというか。
- 4) 心臓から肺に静脈血を送る動脈をなんというか。

回次	分 野	テーマ
第 7 回	美容保健	5 消化腺とそのはたらき

【問題 1】

消化の機能に関することで正しい記述はどれか。

- ① アミラーゼは消化酵素の一種で、でんぷんなどを分解する働きを持つ。
- ② トリプシンは動物の胃で働くタンパク質分解酵素の 1 つである。

【解説】

アミラーゼは消化酵素の一種で、でんぷんなどを分解する働きを持っている。そのため①の記述は正しい。

トリプシンは膵液に含まれる消化酵素の一種である。膵臓で働くものであるため、②の記述は誤っている。

【正解】 ①**【問題 2】**

消化の機能に関することで正しい記述はどれか。

- ① 唾液に含まれる消化酵素は一種をペプシンという。
- ② 資質を構成するエステル結合を加水分解する酵素群をリパーゼという。

【解説】

ペプシンは動物の胃で働くタンパク質分解酵素の一種である。唾液には含まれていないので、①の記述は誤っている。唾液に含まれている消化酵素はアミラーゼがある。

リパーゼは脂質を構成するエステル結合を加水分解する酵素群である。そのため②の記述は正しい。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 消化酵素の一種で、でんぷんなどを分解する働きを持つものをなんというか。
- 2) 動物の胃で働くタンパク質分解酵素の一つをなんというか。
- 3) 膵液に含まれる消化酵素の一種をなんというか。
- 4) 脂質を構成するエステル結合を加水分解する酵素群をなんというか。

回次	分野	テーマ
第8回	美容保健	1 皮下組織

【問題1】

身体（皮膚の構造）に関する正しい記述はどれか。

- ① 指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線によりできる模様は毛様体である。
- ② 指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線によりできる模様は指紋である。

【解説】

指紋は指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線によりできる模様である。そのため、正しい記述は②である。毛様体は毛様体筋と毛様体突起から構成される目の周りの組織である。

【正解】 ②

【問題2】

身体（皮膚の構造）に関する正しい記述はどれか。

- ① 皮下脂肪組織中に蓄積された集合体を皮下脂肪という。
- ② 皮下脂肪組織中に蓄積された集合体を基礎細胞という。

【解説】

皮下脂肪とは皮下組織中に蓄積された脂肪細胞の集合体のことをいう。そのため、正しい記述は①である。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線によりできる模様をなんというか。
- 2) 皮下組織中に蓄積された脂肪細胞の集合体をなんというか。

回次	分 野	テーマ
第 8 回	美容保健	2 脂腺（皮脂腺）

【問題 1】

皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛と同様に、爪にも成長期、退行期、休止期という成長周期が存在する。
- ② 脂腺は、短い排出管を持っており、毛包に開口している分泌線である。

【解説】

爪は毛と違い、生長周期はなく、絶えず生長を続けているため、①は誤った記述である。

脂腺は、皮膚の表面に皮脂を分泌する腺である。毛根近くにあり、その導管は毛包の上部に開口している。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 健康な成人の頭毛は、その多くが休止期である。
- ② アポクリン腺は、脇の下などに多く分布している。

【解説】

健康な成人の頭毛は、全体の85～90%が生長期で、休止期は9～14%とされているため、①は誤った記述である。

アポクリン腺は、汗を分泌する汗腺の一つで、脇の下や性器周辺などに多く分布している。アポクリン腺から出る汗は栄養分が多いために細菌が繁殖しやすく、体臭の原因になることが多い。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 皮膚の付属器において、毛包、脂腺、アポクリン腺、エクリン腺、爪などの様々な働きを持つ組織を何というか。
- 2) 皮膚の表面に皮脂を分泌する腺を何というか。
- 3) 動物の外分泌腺の一様式で、離出分泌腺ともよばれるものを何というか。

回次	分野	テーマ
第8回	美容保健	3 対外保護作用

【問題1】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは、毛細血管と汗腺である。
- ② 皮膚の表面にある脂肪膜は、弱アルカリ性のため細菌や真菌の発育を抑制し死滅させる。

【解説】

皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは毛細血管と汗腺である。血管の弛緩によって血流を促したり、汗腺の活発化によって汗を流すことにより体内の熱を外に逃がしている。すなわち、①は正しい記述である。

脂肪膜は、外部から加えられたアルカリを中和したり、毒性を弱める働きを持つため、②は誤った記述である。

【正解】 ②

【問題2】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 爪は、爪床が少しでも侵されると、その部分の爪は変形したり、再生できなくなる。
- ② 皮膚は、表皮の一部に欠損が生じても、基底細胞が保持されていればきれいに再生する。

【解説】

爪は、爪母の一部が侵されると、その部分の爪が変形したり、再生できなくなる。すなわち、①は誤った記述である。

皮膚は、欠損を生じても、基底細胞が残っていれば傷あとを残さずに再生するため、②は正しい記述である。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 皮膚の外細胞である表皮の下層（基底部）に存在する小さな円形の細胞を何というか。

回次	分 野	テーマ
第 8 回	美容保健	4 皮膚の水分と脂の状態

【問題 1】

皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮脂の分泌は、高齢になるとともに次第に増加する。
- ② 爪にできる縦みぞの数や程度は、高齢になるにつれて著しくなる。

【解説】

皮脂の分泌は、性ホルモンの影響を受ける。特に男性ホルモンに、皮脂腺を肥大化させ、活性化させる作用がある。30代が皮脂量のピークで60代まではさほど変わらないため、加齢によって皮脂が減少するということはない。すなわち、①は誤った記述である。

爪にできる縦みぞや横みぞは加齢に伴う老化現象や栄養不足が原因であるため、②は正しい記述である。また、黒いみぞが表れた場合は病気の可能性もあるため注意が必要である。

【正解】 ①**【問題 2】**

皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 脂肪膜（皮脂膜）は、皮脂や汗がお互いに混じり合って乳化した形で皮膚を保護している。
- ② 糖尿病患者が、皮膚疾患にかかりやすくなるということはない。

【解説】

脂肪膜は、皮脂膜や酸膜ともよばれ、皮膚表面の汗と皮脂が混じり合ってきた膜で、皮膚の表面に存在し、細菌や白癬菌などの真菌の侵入を防いでいる。すなわち、①は正しい。

一般に、糖尿病患者の約30%は何らかの皮膚病変がみられるといわれている。高血糖が続くと免疫力が低下し、合併症を起こしやすく、末梢神経・循環機能障害から皮膚トラブルを起こしやすくなるため、②は誤った記述である。主な症状として、糖尿病性潰瘍や皮膚感染症、リポイド類壊死症、糖尿病性潮紅、糖尿病性水泡などが挙げられる。

【正解】 ②**【確認問題】**

（上記の解説をよく読んで理解しましょう）

回次	分野	テーマ
第8回	美容保健	5 子どもたちのおしゃれによる皮膚トラブル

【問題1】

皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 尋常性毛瘡（カミソリカブレ）は、主にひげの毛包に真菌が感染することで、慢性の炎症を起こす。
- ② 円形脱毛症は、他人に感染することはない。

【解説】

尋常性毛瘡は、顎や鼻の下など硬いひげの生える部分でできやすく、黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌などの細菌による毛包に起こる炎症である。すなわち、①は誤った記述である。

円形脱毛症の要因として、自己免疫疾患やアトピー素因、ストレス、遺伝的要素が挙げられる。いずれも感染などの要素はないので、②は正しい記述である。

【正解】①

【問題2】

皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 脂漏性皮膚炎は、フケ症の人に多くみられ、黄色調の紅斑に落屑を伴う。
- ② 染毛剤によるアレルギー性のカブレでは、同じ染毛剤でも低濃度であれば、再びかぶれることはない。

【解説】

脂漏性皮膚炎は、真菌（カビ）などによって脂が分解され、頭皮に淡い紅斑の炎症が起こる病気である。フケ症を放置し、悪化することで発症することもあるため、①は正しい記述である。

染毛剤は、アレルギー反応のある人が使用し続けると、突然重いアレルギー症状が現れる場合もあるので危険である。一度でも症状が出た場合は、今後使用しないように注意しないといけないので、②は誤った記述である。。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 皮脂線が多く、皮脂の分泌の多い頭皮や頭に起こりやすい疾患を何というか。
- 2) パラフェニレンジアミンなどの酸化染料で、毛髪を染める働きを持つものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第9回	美容保健	1 血液のあらまし

【問題1】

次の血球のうち、免疫を担うものはどれか。

- ① リンパ球
- ② 顆粒球

【解説】

リンパ球と顆粒球は、ともに白血球の一種である。リンパ球は、血球の中でも免疫の役割を大きく担う。すなわち、①は正しい記述である。また、顆粒球は、食作用や即時型のアレルギー反応などに関わっている。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ①**【問題2】**

次の血球のうち、酸素の運搬を担うものはどれか。

- ① 赤血球
- ② 血小板

【解説】

赤血球は、体内を循環することによって酸素の運搬を行う。すなわち、①は正しい記述である。また、血小板は、血液の凝固作用に深く関わっている。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 血液に含まれる成分のうち、主に酸素の運搬やガス交換を行うものを何というか。
- 2) 血液に含まれる成分のうち、主に傷口を塞ぎ、止血を行うものを何というか。
- 3) 白血球のうち、特に免疫反応に大きく関与しているものを何というか。

回次	分野	テーマ
第9回	美容保健	2 骨格器系とそのはたらき

【問題1】

次の骨のうち、頭蓋に含まれるものはどれか。

- ① 仙骨
- ② 上顎骨

【解説】

人間の身体を構成している骨格は、頭蓋、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨の5つに分けられる。仙骨は、腰のあたりに位置する骨で、脊柱に含まれる。すなわち、①は誤っている記述である。上顎骨は、その名の通り上顎部分の主要な骨であり、頭蓋に含まれる。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】②

【問題2】

次の骨のうち、上肢骨に含まれるものはどれか。

- ① 脛骨
- ② 鎖骨

【解説】

人間の身体を構成している骨格は、頭蓋、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨の5つに分けられる。脛骨は、下腿部分に位置する骨で、下肢骨に含まれる。すなわち、①は誤っている記述である。それに対して鎖骨は、上肢骨に含まれる。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 脊柱の上にある骨格で、脳などの保護を行うものを何というか。
- 2) 骨盤部分に存在する骨の一例として挙げられるものは何か。
- 3) 下肢骨に含まれる骨の一例として挙げられるものは何か。
- 4) 上肢骨に含まれる骨の一例として挙げられるものは何か。
- 5) その形態や構造によって含気骨に属するものを何と言うか。

回次	分野	テーマ
第9回	美容保健	3 末梢神経とそのはたらき

【問題1】

副交感神経が優位になったときに起こる現象は、次のうちどれか。

- ① 瞳孔の散大
- ② 心拍数の減少

【解説】

副交感神経が優位にはたらくと、瞳孔が縮小し、心拍数が減少する。すなわち、①は誤っている記述であり、②は正しい記述である。

【正解】②**【問題2】**

副交感神経が優位になったときに起こる現象は、次のうちどれか。

- ① 皮膚血管の拡張
- ② 消化機能の抑制

【解説】

副交感神経が優位にはたらくと、皮膚血管が拡張し、消化機能が亢進する。すなわち、①は正しい記述であり、②は誤っている記述である。

【正解】①**【確認問題】**

- 1) 優位になることで心拍数の減少や心臓の収縮力抑制が起こる神経を何というか。
- 2) 次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。「瞳孔の散大」
- 3) 次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。「心拍数の増加」
- 4) 次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。「消化機能の抑制」
- 5) 次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。「皮膚血管の収縮」

回次	分野	テーマ
第9回	美容保健	4 心臓と血管のはたらき

【問題1】

循環器に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 心臓の収縮時の血圧のことを、最低血圧とよぶ。
- ② 血液を流す構造を血管とよび、リンパを流す構造をリンパ管とよぶ。

【解説】

心臓の収縮時の血圧のことを、最高血圧（最大血圧）とよぶ。すなわち、①は誤っている記述である。また、血液を流す構造のことを血管とよび、リンパを流す構造をリンパ管とよぶため、②は正しい記述である。

【正解】 ①

【問題2】

循環器に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 心臓の拍動による波動のことを、脈拍とよぶ。
- ② 心臓の運動による電気現象を記録したものを、X線写真とよぶ。

【解説】

心臓の拍動で起こる波動は、心臓の1鼓動ごとに1回発生し、これを脈拍という。すなわち、①は正しい記述である。また、心臓は収縮のたびに電気を発生するため、全身に僅かながら電位差が生じる。これを心電図というため、②は誤っている記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 毛細血管から移動した組織液を血液循環に戻す役目を持つものを何というか。
- 2) 「最低血圧」のあらわす意味はどのようなものか。
- 3) 心臓の運動によって生じる電位差を記録したものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第 9 回	美容保健	5 消化腺とそのはたらき

【問題 1】

次の内分泌線とホルモンに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 甲状腺からは、グルココルチコイドが分泌される。
- ② 膵臓からは、インスリンが分泌される。

【解説】

甲状腺は、サイロキシンといわれるホルモンを蓄えている。①で示されるグルココルチコイドは、副腎皮質によって分泌されるホルモンである。すなわち、①は誤っている。また、膵臓はインスリンを分泌する。すなわち、②は正しい。

【正解】 ②**【問題 2】**

次の内分泌線とホルモンに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 卵巣からは、成長ホルモンが分泌される。
- ② 副腎髄質からは、アドレナリンが分泌される。

【解説】

卵巣は、エストロゲンやプロゲステロンといわれるホルモンを分泌する。①で示される成長ホルモンは、下垂体によって分泌されるホルモンである。すなわち、①は誤っている。また、副腎髄質はアドレナリンを分泌する。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) サイロキシンを分泌する内分泌線を何というか。
- 2) 甲状腺を分泌するホルモンを何というか。
- 3) インスリンを分泌する内分泌線を何というか。
- 4) エストロゲンを分泌する内分泌線を何というか。
- 5) 下垂体で分泌され、体組織に作用するホルモンを何というか。

回次	分野	テーマ
第10回	美容保健	1 真皮

【問題 1】

皮膚の構造に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚は、表面により表皮、真皮、皮下組織の順で3つの層からなっている。
- ② 角化細胞とは、メラニンと呼ばれている皮膚の色素をつくる細胞である。

【解説】

皮膚は3つの層から出来ており、表皮、真皮、皮下組織の順で、皮膚表面から構成されている。すなわち、①は正しい記述である。また、角化細胞は皮膚を構成する主要な細胞だが、メラニンを生成することはできない。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ①

【問題 2】

皮膚の構造に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 真皮の線維成分は、コラーゲンというたんぱく質からできた膠原線維が、その大部分を占める。
- ② ランゲルハンス細胞とは、皮下組織内に分布する触覚に関与する細胞のことである。

【解説】

真皮は2種類の線維が交差することでできているが、これはコラーゲンというたんぱく質からできる膠原線維が大半を占めている。すなわち、①は正しい。また、ランゲルハンス細胞は、表皮や真皮にみられる、免疫に関する細胞である。すなわち、②は誤っている。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 表皮に関する細胞のうち、特に免疫を司るものを何というか。
- 2) 色素細胞は、皮膚の色素をつくる細胞である。この色素細胞がつくる色素を何というか。

回次	分 野	テーマ
第10回	美容保健	2 毛

【問題 1】

皮膚付属器官の構造に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ヒトの頭毛の数は、約130万～140万本であるとされている。
- ② 毛の細胞は、細胞分裂が盛んに行われる毛母と呼ばれる箇所で作られる。

【解説】

人体における頭毛の数は、約10万本であるとされている。すなわち、①は誤っている記述である。また、毛の細胞は、毛母と呼ばれる箇所で作られる。すなわち、②は正しい。

【正解】 ①**【問題 2】**

皮膚付属器官の構造に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛のうち、皮膚の内側にある部分を毛幹という。
- ② 毛は、中心部から毛髄質、毛皮質、毛小皮の3つの層よりなっている。

【解説】

毛のうち、皮膚の内側にある部分のことを、毛根という。すなわち、①は誤っている記述である。また、毛は3つの層からなっており、最も中心を成す部分を毛髄質といい、それを囲む形で毛皮質があり、表面の部分には毛小皮（キューティクル）がある。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) ヒトの毛について表皮の外側に出ている部分を何というか。
- 2) ヒトの毛について皮膚の内側にある部分を何というか。
- 3) 毛の断面をみると3つの層からなっていることがわかる。この層のうち、最も外側（表面）の部分を何というか。
- 4) 毛の断面をみると3つの層からなっていることがわかる。この層のうち、中心をなす（2番目に位置する）部分を何というか。
- 5) 毛の断面を見ると3つの層からなっていることがわかる。この層のうち、角化した細胞が密着してできる、毛の主な部分を成すものを何というか。

回次	分野	テーマ
第10回	美容保健	3 爪

【問題 1】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚で体温調節を行っているのは、エクリン腺などの汗腺である。
- ② 皮膚の表面に分泌される皮脂は、脂肪細胞でつくられる。

【解説】

皮膚において、エクリン腺が体温調節の役割を担っている。すなわち、①は正しい記述である。また、皮膚の表面に分泌される皮脂は、脂腺とよばれる部分でつくられる。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ①

【問題 2】

皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 日焼けによって皮膚が黒くなるのは、赤外線的作用によるものである。
- ② 爪をつくる爪母の一部が侵されると、その部分の爪は変形したり、再生できなくなる。

【解説】

皮膚は、太陽光線のうち紫外線的作用によって、日焼けが発生して黒くなる。すなわち、①は誤っている記述である。また、爪において爪母が侵されると、その後の爪の成長において大きな問題が発生することがある。すなわち、②は正しい。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 皮膚の付属器官である脂腺によって分泌されるものを何というか。
- 2) 皮膚が日焼けしたときに色を黒くする作用を及ぼすものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第10回	美容保健	4 皮膚の保護と手入れ

【問題 1】

皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 高齢になると、皮膚の分泌作用や新陳代謝が低下して、皮膚の乾燥を引き起こす。
- ② 健康な皮膚の表面は、弱アルカリ性を示す。

【解説】

齢をとると、皮膚の分泌作用や新陳代謝が低下する。それに伴い、皮膚の乾燥があらわれるようになる。すなわち、①は正しい記述である。また、健康な皮膚の表面は、弱酸性を示す。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 老化に伴って、皮膚のハリと弾力が失われると、皮膚にたるみが生じるためシワとなる。
- ② 糖尿病は感染症ではないため、糖尿病患者が真菌などによる皮膚の感染症にかかりやすくなることはない。

【解説】

齢をとると、皮膚のハリと弾力が失われる。それに伴い、皮膚にたるみが生じるため、シワとなって身体に現れてくる。すなわち、①は正しい記述である。また、糖尿病は感染症ではない。しかし、糖尿病は真菌などによる皮膚の感染症にかかりやすくなるといわれている。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 健康な皮膚の表面における大まかな性質（酸性・アルカリ性）はどのようなものか。

回次	分野	テーマ
第10回	美容保健	5 毛と爪の疾患

【問題 1】

皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 接触皮膚炎（カブレ）の原因を見出すには、プリックテストが最も確実な方法である。
- ② 青年性扁平疣贅は、その原因がウイルスで、顔面などに多くみられる。

【解説】

接触皮膚炎（カブレ）の原因を見出すにはパッチテストが最も実用的で確実な方法とされているため、①は誤っている記述である。また、青年性扁平疣贅はウイルスが原因で顔面や手の甲、前腕などに、米粒の半分程度の大きさで皮膚面からやや隆起した淡褐色で第上の丘疹が多数できるイボであるため、②は正しい。

【正解】①

【問題 2】

皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 円形脱毛症は、その原因がウイルスであるため、感染する可能性がある。
- ② 伝染性膿痂疹（トビヒ）は、その原因が化膿菌であるため、感染する可能性がある。

【解説】

円形脱毛症は感染の可能性がない疾患であるため、①は誤っている記述である。また、伝染性膿痂疹（トビヒ）は化膿菌によって引き起こされ、感染の可能性があるので、②は正しい。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 一般にカブレともいわれる、外部からの化学物質などが皮膚に接触することによって起こる炎症を何というか。
- 2) アレルギー等の検査において、原因と推定される物質を表皮に貼る検査方法を何というか。
- 3) 感染の可能性がない疾患の一例として挙げられるものは何か。
- 4) 化膿菌によって引き起こされる皮膚疾患を何というか。

回次	分野	テーマ
第11回	美容物理化学	1 光の性質

【問題 1】

光に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 光の速度は一般に真空中で一定である。
- ② 姿見で全身を映すには、鏡と人間の距離には関係なく、身長と同じ長さの鏡が必要である。

【解説】

一般に、光の速度は真空中において299792458m/s（約30万キロメートル毎秒）と定義されている。マクスウェルの方程式で媒質を真空にすると、光の速度が一定となることが相対性理論の根本原理になっている。すなわち、①は正しい記述となる。また、姿見で全身を写すためには、鏡と人間との距離に関係なく身長のおよそ二分の一の長さがあればよいから、②は誤っている記述となる。

媒質とは、波動が伝播する場となる物質・物体のことであり、光速度は媒質に影響を受け、真空中で最大となる。

【正解】 ①**【問題 2】**

光に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 蛍光灯のような光を出す光源の明るさを、照度という。
- ② 平面鏡を用いれば、鏡に映る照明の反射光の分だけ明るさが増す。

【解説】

平面鏡を用いれば、鏡に映る照明の反射光の分だけ照度が増し、明るくなる。すなわち、②は正しい記述である。また、照度とは、光を照らされた物体の明るさのことをいうため、①は誤っている記述となる。

光源の明るさのことを光度、光を受けている部分の明るさを照度といい、単位はルクス（lx）で表す。照度は、光のエネルギーではなく、人間の目によって知覚される光の供給を測定するものである。それゆえ、①の蛍光灯のような光を出す光源の明るさのことは光度という。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 光が伝播する速さのことを何というか。
- 2) 波動が伝播する場となる物質・物体のことを何というか。
- 3) 平面鏡を用いることでどのような効果が得られるか。
- 4) 光を出すもののことを何というか。

回次	分 野	テーマ
第11回	美容物理化学	2 サンケア製品

【問題 1】

紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 紫外線は窓ガラスによっては通過しないものがあるので、ガラス戸の内側では日光消毒ができない。
- ② 紫外線には熱作用がある。

【解説】

太陽光は、窓ガラス越しに入ってくるが、ガラスの種類によっては紫外線を反射させてしまうので、ガラス戸の内側では日光消毒ができないこともある。すなわち、①は正しい記述である。②については、熱作用があるのは赤外線であるため、誤っている記述となる。

【正解】 ①**【問題 2】**

紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 紫外線には、皮膚でケラチンを形成する化学作用がある。
- ② 紫外線には、殺菌効果の化学作用がある。

【解説】

紫外線には殺菌効果の化学作用がある。すなわち、②は正しい記述である。また、紫外線には皮膚でメラニンを形成する働きはあるが、ケラチンを形成することはないため、①は誤っている記述となる。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 可視光線よりも波長の短い不可視光線のことを何というか。
- 2) 熱せられた金属線のことを何というか。
- 3) 殺菌力を持つ波長域の光源を照射する光源の総称のことを何というか。

回次	分野	テーマ
第11回	美容物理化学	3 化学結合

【問題 1】

物質と化学結合に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 水－共有結合
- ② 水素－水素結合

【解説】

水（ H_2O ）の分子は、2個の水素原子と1個の酸素原子が共有結合した化学物である。すなわち、①は正しい記述である。また、水素（ H_2 ）も共有結合であるため、②は誤っている記述となる。

物質をつくっている基本粒子は原子である。多くの場合、いくつかの原子が結びついて物質を作っており、この原子の結び付きを化学結合という。化学結合は、その種類によって物理的、科学的に独自の性質をもつため、物質の性質は物質をつくっている化学結合の種類によって大きく左右される。

水素原子は、K殻に価電子1個をもつ。水素原子2個が互いに近づくことにより、両方の水素原子の価電子が相手の原子核（陽子）とも引き合うようになり、両方の水素原子のK殻が重なり合うようになる。そして、水素原子は互いの価電子を共有することになり、最外殻電子が2個のヘリウム原子（He）に似た安定した電子配置になる。これが、水素分子（ H_2 ）である。

【正解】 ①

【問題 2】

物質と化学結合に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① アルミニウム－イオン結合
- ② 塩化カルシウム－イオン結合

【解説】

塩化カルシウムはイオン結合からなる物質であるため、①は正しい記述である。反対に、アルミニウムは金属結合からなる物質であるため、②は誤っている記述である。

陽イオンと陰イオンの電気的な引力による結合をイオン結合といい、塩化カルシウムでもそのような結合が起きている。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 原子と原子の結びつきのことを何というか。
- 2) 陽イオンと陰イオンの電気的な引力による結合を何というか。
- 3) 原子間での電子対の共有をともなう化学結合を何というか。
- 4) 正電気を帯びた水素原子と負電気を帯びた酸素原子の間の弱い電気的な結合のことを何というか。
- 5) 金属で見られる化学結合のことを何というか。

回次	分野	テーマ
第11回	美容物理化学	4 パーマ剤

【問題1】

酸化剤と還元剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸化水素水は、ヘアブリーチ剤や染毛剤などに酸化剤として用いられる。
- ② システインは、パーマメントウェーブ用剤の第2剤（2液）に配合される。

【解説】

過酸化水素水は、ヘアブリーチ剤や染毛剤などに酸化剤として用いられる。すなわち、①は正しい記述である。

システインは、パーマメントウェーブ用剤の第1剤（1液）に配合され、パーマメントウェーブ用剤の第2剤（2液）には配合されないため、②は誤っている記述です。

反応する物質に酸素をあたえ、水素を奪う物質を酸化剤という。反対に、反応する物質から酸素を奪い、水素をあたえる物質を還元剤という。パーマメントウェーブ用剤の第2剤（2液）の最も単純な組成は、酸化剤（臭素酸塩または過酸化水素水）と水である。最も汎用される酸化剤は、水に対する溶解性の高い臭素酸ナトリウム NaBrO_3 であるが、近年過酸化水素水を用いた第2剤も増加している。過酸化水素水は臭素酸ナトリウムなどと比べて酸化力が強いので、作用時間の短いことが特徴である。毛髪の構造中にはイオウ（硫黄）Sどうしが単結合したシスチン結合という共有結合があります。システインはパーマメントウェーブ用剤の第1剤（1液）で、還元剤に使用され、髪のシスチン結合を切断します。

【正解】①

【問題2】

酸化剤と還元剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① チオグリコール酸は、パーマメントウェーブ用剤の第1剤（1液）に配合される。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム水溶液には酸化作用がある。

【解説】

チオグリコール酸は、パーマメントウェーブ用剤の第1剤（1液）に配合されるため、①は正しい記述である。次亜塩素酸ナトリウム水溶液には、還元作用はあるが酸化作用は無いため、②は誤っている記述となる。

チオグリコール酸は、毛髪のケラチンのシスチン結合を切断し、次亜塩素酸ナトリウム水溶液

は金属製品を腐食させたり、動物繊維をごわごわさせる。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 反応する物質に酸素をあたえ、水素を奪う物質のことを何というか。
- 2) 反応する物質から酸素を奪い、酸素をあたえる物質のことを何というか。
- 3) 香粧品で用いられる酸化剤の一例は何か。
- 4) イオウ（硫黄）どうしの共有結合のことを何というか。
- 5) 物質が酸素を失うことを何というか。

回次	分野	テーマ
第11回	美容物理化学	5 無機顔料

【問題1】

香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ①酸化クロムは、着色顔料である。
- ② β -カロチンは、タール色素である。

【解説】

酸化クロムは、着色顔料であるため①は正しい記述である。 β -カロチンは、人参が原料の天然色素であり、タール色素ではないため②は誤っている記述である。

香粧品用の主な着色顔料には酸化鉄、カーボンブラック及びクロムの酸化物などがある。これらはタール色素に比べ、色彩は鮮やかではないが、耐光性、耐熱性にすぐれ、変色や退色を起こさない。

【正解】①

【問題2】

香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① カオリンは、体質顔料である。
- ② 酸化亜鉛は、体質顔料である。

【解説】

カオリンは、体質顔料であるため①は正しい記述である。酸化亜鉛は、白色顔料であり、体質顔料ではないため②は誤っている記述となる。

香粧品用の白色顔料で代表的なものは酸化チタンであり、酸化チタンはほかの無機顔料に比べて屈折率が高く、被覆力は最も大きく、光、熱への耐性にも優れている。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 無機顔料のうち、タルク、カオリン、マイカなどのことを何というか。
- 2) パールのような光沢あるいは金属性の光沢をあたえる顔料の総称を何というか。
- 3) 香粧品の顔料で耐光性、耐熱性にすぐれ、変色や退色を起こさない効果をもつものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第12回	美容物理化学	1 高分子化合物の種類と特性

【問題 1】

高分子化合物に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 合成高分子化合物－キトサン
- ② 天然高分子化合物（動物系）－コラーゲン

【解説】

キトサンは、天然高分子化合物（動物系）であり、合成高分子化合物ではない。すなわち、①は誤っている記述である。コラーゲンは、天然高分子化合物（動物系）であるため②は正しい記述である。

香粧品に古くから広く用いられている高分子化合物は、天然高分子化合物、半合成高分子化合物及び合成高分子化合物に分類される。天然高分子化合物は、アラビアゴムやロジンなどの植物性系と、コラーゲンやエラスチン、キチン、キトサンなどの動物系に分けられます。

【正解】 ①**【問題 2】**

高分子化合物に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 半合成高分子化合物－コラーゲン
- ② 天然高分子化合物（植物系）－アラビアゴム

【解説】

コラーゲンは、天然高分子化合物（動物系）であり、半合成高分子化合物ではないため①は誤っている記述である。また、アラビアゴムは天然高分子化合物（植物系）であるため②は正しい記述である。

香粧品原料に用いられる半合成高分子化合物は、ほとんどがセルロースの誘導体である。カルボキシメチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース等はシャンプー剤や乳液の粘度調整剤に用いられる。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 天然高分子化合物で動物系のものを何というか。
- 2) 天然高分子化合物で植物系のものを何というか。
- 3) 香粧品原料に用いられ、ほとんどがセルロースの誘導体である化合物のことを何というか。
- 4) 香粧品原料として用いられ、ビニル系とアクリル系のものが多い化合物のことを何というか。

回次	分 野	テーマ
第12回	美容物理化学	2 界面活性剤の種類と化粧品配合成分があたえる機能

【問題 1】

化粧品原料とその効果に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① ヒアルロン酸ナトリウム塩－保湿効果
- ② パラオキシ安息香酸エステル－日焼け防止効果

【解説】

パラオキシ安息香酸エステル（パラベン）は、防腐剤として使われるため①は誤っている記述である。ヒアルロン酸ナトリウム塩は、保湿効果として使われるため②は正しい記述となる。

現在化粧品の防腐剤として最も多く用いられているのは、パラオキシ安息香酸エステル（パラベン）であり、安全性が高く、食品にも汎用されている。また、皮膚や毛髪に水分をあたえ乾燥を防止する目的で用いられる吸湿性の高い水溶性物質を保湿剤と呼び、化粧品に用いられる主な天然物質の保湿剤としてヒアルロン酸ナトリウムやコラーゲン、セラミドなどがある。

【正解】 ①**【問題 2】**

化粧品原料とその効果に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 陽イオン界面活性剤の第4アンモニウム塩－毛髪の帯電防止効果
- ② 高級アルコール系合成洗剤－毛髪の帯電防止効果

【解説】

陽イオン界面活性剤の第4アンモニウム塩には毛髪の帯電防止効果があるので、①は正しい記述である。高級アルコール系合成洗剤は、シャンプー剤の洗浄効果として使われるため②は誤っている記述である。

シャンプー剤は、頭部の垢や汚れを除去して清潔にし、生理機能を高めて頭皮や毛髪を美しく保つことを目的として用いられる。洗浄のための主成分は、普通、陰イオン界面活性剤であり、代表的なものは、高級アルコール系合成洗剤と石けんである。陽イオン界面活性剤は、陰イオン界面活性剤とイオン結合して取り除くだけでなく、キューティクルに付着して毛髪の表面に被膜を形成する。この被膜は、毛髪を保護して柔軟にし自然な光沢をあたえるだけでなく、静電気の発生を防止する帯電防止効果があり、くしやブラシの通りをよくし、スタイリングを容易にする。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 石けんとは逆に帯電することで逆性石けんともいわれるものは何か。
- 2) 陽イオン界面活性剤で香粧品に用いられるものの一例は何か。
- 3) 摩擦電気が発生し電気をもつことを何というか。
- 4) 高級アルコール系合成洗剤の主成分を何というか。
- 5) 保湿剤の原料として使われているものは何か。

回次	分 野	テーマ
第12回	美容物理化学	3 高分子化合物

【問題 1】

次の高分子化合物とそれを構成する単位低分子の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① デンプン－エタノール
- ② ケラチン－アミノ酸

【解説】

ケラチンは、アミノ酸で構成されているので②は正しい記述である。デンプンはアミロース、アミロペクチンで構成されており、エタノールでは構成されていないので①は誤っている記述となる。

有機化合物とは、有機物を構成する化合物で、その構造中に炭素を含む物質の総称である。有機化合物の中にはデンプンやセルロース、タンパク質など数万以上の多数の原子が複雑に結合し、巨大な分子をつくっている物質が多い。このような巨大な分子を特に高分子といい、高分子からなる化合物を高分子化合物という。これに対して、水や二酸化炭素などのような簡単な分子を低分子といい、低分子からなる化合物を低分子化合物という。

【正解】 ②**【問題 2】**

次の高分子化合物とそれを構成する単位低分子の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① セルロース－グルコース
- ② ポリエチレン－イソプレン

【解説】

セルロースはグルコースで構成されているので①は正しい記述である。ポリエチレンは、エチレンで構成されており、イソプレンでは構成されていないので②は誤っている記述である。

天然に存在するデンプンやセルロースなどは、加水分解するとしだいに小さい分子になり、最終的にはブドウ糖（グルコース）になる。また、香粧品の容器や食品容器、包装用フィルムなどに用いられるポリエチレンはエチレンやプロピレンが付加重合することで得られる。

【正解】 ①

【確認問題】

- 1) 高分子化合物とは分子量がいくつ以上の化合物のことをいうか。
- 2) 高分子化合物を構成するものを何というか。
- 3) ケラチンを構成する単位低分子を何というか。
- 4) 天然ゴムの構成分子であるものは何か。

回次	分 野	テーマ
第12回	美容物理化学	4 パーマ剤・染毛剤の種類と染毛メカニズム

【問題 1】

次の香粧品のうち、医薬部外品として分類されているものはどれか。

- ① サンスクリーン剤
- ② 染毛剤

【解説】

サンスクリーン剤とは、皮膚に当たる紫外線をブロックすることによって、日焼けや皮膚の老化を予防するための製品であり、日やけ止め、また日焼け止めとも呼ばれる。染毛剤は、使用時に過酸化水素水と混合することにより酸化発色し、毛髪を永久的に染めるものである。

化粧品と同様に用いられる一部の医薬部外品と化粧品を総称して香粧品といいます。医薬部外品として分類されているものは、パーマネントウェーブ用剤、染毛剤（酸化染毛剤）、ヘアブリーチ剤、除毛剤、制汗・防臭用香粧品（腋臭防止剤）、育毛剤（養毛剤）、薬用化粧品（薬用石けん、薬用はみがき、薬用〇〇〇）、てんか粉類（ベビーパウダー、タルカムパウダー）、浴用剤などです。よって、②が正解である。

【正解】 ②**【問題 2】**

次の香粧品のうち、医薬部外品として分類されているものはどれか。

- ① アストリンゼントローション
- ② パーマネントウェーブ用剤

【解説】

アストリンゼントローションとは、酸性化粧水の一種で、皮脂や汗の分泌を低下させ、皮膚をひきしめる効果がある。

パーマネントウェーブ用剤とは、一般的にパーマ剤と呼ばれるものである。

医薬部外品であるのは、パーマネントウェーブ用剤なので②が正解である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 日本の薬事法に定められた人体に対する作用の穏やかなもので、全成分の表示義務がないものを何というか。
- 2) 皮膚に当たる紫外線をブロックすることにより、日焼けや皮膚の老化を防止するためのものを何というか。
- 3) 医薬部外品として規定されているものの一例を挙げよ。
- 4) 毛髪に化学反応を用いて人工的な縮毛を形成する際に用いるものを何というか。
- 5) 収れん性化粧水に属するものの一例として挙げられるものは何か。

回次	分 野	テーマ
第12回	美容物理化学	5 制汗・防臭剤

【問題 1】

制汗・脱臭剤による体臭の防止方法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 殺菌剤により発汗を抑える。
- ② 収れん剤を用いて発汗を抑える。

【解説】

殺菌剤とは、一般に、病原性あるいは有害性を有する微生物を殺すための薬剤のことである。収れん剤は、皮膚のタンパク質に作用して軽く凝固させることで肌を引き締めたり整えたりする働きがある。一時的に汗や皮脂を抑えることができる。誤っているのは①である。

【正解】 ①**【問題 2】**

制汗・脱臭剤による体臭の防止方法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 香料を利用して悪臭をマスキングする。
- ② キレート剤を用いて金属イオンを封鎖する。

【解説】

香料とは、芳香をつけるための材料となる物質である。キレート剤は、様々な工業用途で使われる水の中のミネラル分（特にカルシウムイオンや鉄イオンなどの金属イオン）を封鎖し、水からくる金属イオンによる障害をなくす。よって、②が誤っている。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 殺菌を殺すために用いるものを何というか。
- 2) キレート剤は、何を不活性化させるためのものであるか。
- 3) 皮膚表面のタンパク質を一時的に引き締め、それによって汗腺や皮脂腺の開口部をふさいで、汗や皮脂の分泌を抑制する目的で用いられるものを何というか。
- 4) 臭気を抑える効果を何というか。

回次	分野	テーマ
第13回	美容物理化学	1 刃物と力

【問題1】

力による物体の変形に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 引っ張るように力が働くときに物体は、伸びる。
- ② 引っ張るように力が働くときに物体は、縮む。

【解説】

押さえつけるような力や、引っ張るような力などがある。物体には力を受けて変化する特性があり、それを物体の変形という。伸びとは、物体を引っ張るように力が働くときに生ずる変形であり、それと逆の動きと言えるものが縮みである。縮みは物体を押さえつけるような力が働いているときに生ずる変形である。よって正解は、①となる。

【正解】①

【問題2】

力による物体の変形に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ずれは、物体の上面と下面に、同じ向きの力が平行に働くときに生ずる変形である。
- ② たわみは、伸びと縮みが組み合わさって生ずる変形である。

【解説】

ずれとは、物体の上面と下面に、逆向きの力が平行に働くときに生ずる変形である。そのため①は誤った記述となる。物体に対してどの向きに力が働くかでどのように変形するかは変わる。たわみとは、伸びと縮みが組み合わさって生ずる変形である。そのため②は正しい記述である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) ある物体が外から何らかの力を受けて形が変形することを何というか。
- 2) 物体を引っ張るように力が働くときに生じる変形を何というか。
- 3) 物体を押さえつけるように力が働くときに生じる変形を何というか。
- 4) 物体の上面と下面に、逆向きの力が平行に働くときに生じる変形を何というか。
- 5) 伸びと縮みが合わさって生じる変形を何というか。

回次	分 野	テーマ
第13回	美容物理化学	2 物質の状態変化

【問題 1】

物質の三態について、分子運動の小さい（不活発な）ものから大きい（活発な）ものの順に列記したものは、次のうちどれか。

- ① 個体 < 液体 < 気体
- ② 気体 < 液体 < 個体

【解説】

物質には3つの状態があり、個体、液体、気体の3つである。全ての物質は、この3つに変化する。この3つの状態は物質の三態とよばれる。

これらは、分子運動の大きさで分けることができる。分子の運動が小さく、安定している状態が個体である。個体は、ある程度定まった形と体積をしている。次に、分子運動がある程度安定している状態が液体である。液体も体積がほぼ一定である。最後に、分子運動が大きい状態にあるものが気体である。気体は、気圧、気温次第では体積が無限に広がるものでもある。よってこの問題では分子運動の小さい順番に並べられている①が正解である。

【正解】 ①**【問題 2】**

物質の三態について、分子運動の小さい（不活発な）ものから大きい（活発な）ものの順に列記したものは、次のうちどれか。

- ① 水蒸気 < 水 < 氷
- ② 氷 < 水 < 水蒸気

【解説】

この問題は、物質の三態の問題を、水（液体）を例にしたものである。水の三態は、それぞれ氷が個体、水が液体、水蒸気が気体となる。よってこの問題において、個体である氷が、分子運動が一番小さいので、②が正解である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 液体や気体に見られる分子が移動することを何というか。
- 2) 物質は気体、液体、個体の状態があるが、これらをまとめて何というか。
- 3) 分子運動が激しく、気圧、気温次第では体積が無限に広がるものを何というか。
- 4) 分子運動は見られるが、ある程度体積が一定となるものを何というか。
- 5) 分子運動が安定しており、定まった形と体積を持つものを何というか。

回次	分野	テーマ
第13回	美容物理化学	3 紫外線の性質

【問題 1】

紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 紫外線を人工的に照射する紫外線灯は、殺菌灯として用いられる。
- ② 紫外線は、赤色光の外側の長波長側に分布する領域の光である。

【解説】

光は、人間が見える範囲で大きく7色に分けられている。これらは光の波で伝わり、波の長さで色が違って見える。このことを波長という。人間が見えていない範囲にも光はあり、赤色よりも短い波長を赤外線、紫よりも長い波長を紫外線という。そのため②は誤っている。

紫外線は、メカニズムはまだはっきりしていないが殺菌作用を持ち、殺菌灯として用いられている。そのため①は正しいと言える。

【正解】 ①**【問題 2】**

紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 紫外線は、皮膚でビタミンDを生成する作用がある。
- ② 太陽光の熱作用は、紫外線の放射によるものである。

【解説】

紫外線が人体に良い影響を与えるものとして、ビタミンDの生成を促すことがあげられる。ビタミンDは、カルシウムの吸収を促すので成長期の子供のなどには必要なものとなっている。このことから①は正しいと言える。

太陽光における熱作用は紫外線ではなく、赤外線の放出によるものなので②は誤っています。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 殺菌などに用いられる、紫外線を照射するものを何というか。
- 2) 光や音などが波として伝わる、周期的な長さを何というか。

回次	分野	テーマ
第13回	美容物理化学	4 物質の構成

【問題1】

物質の構成に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 塩化ナトリウムは、ナトリウムとの塩素の化合物である。
- ② エタノール、デンプン、タンパク質は、無機化合物である。

【解説】

元素1種類でできたものを単体、複数組み合わせたものを化合物という。塩化ナトリウムはNaClと表記し、ナトリウムNaと塩素Clの化合物である。よって①は正しい。エタノール、デンプン、タンパク質は有機物が含まれている有機化合物であるため、②は誤っていることになる。

【正解】②

【問題2】

物質の構成に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 自然界に存在する空気や海水は、混合物である。
- ② 窒素、水素などは、ただ1種類の元素から成り立つ物質で、化合物である。

【解説】

空気は、窒素約78%、酸素約20%、その他アルゴンや二酸化炭素などが含まれている。このような色々なものが混ざっている物質を混合物という。よって①は正しいことになる。

窒素N、水素H₂などはただ1種類の元素から成り立っている。この1種類の元素から成り立っているものを、化合物ではなく、単体という。よって②は誤りである。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 元素が組み合わさってできた単体や化合物を物質の〇〇という。〇〇に該当する語は何であるか。
- 2) 銅、カリウム、硫黄、銀などは、その特徴から何と呼ばれているか。
- 3) 自然界に存在する海水や空気などは、その特徴からどのように分類できるか。
- 4) 窒素や水素など、ただ一つの物質からできているものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第13回	美容物理化学	5 酸と塩基の性質

【問題 1】

次の酸のうち、有機酸に該当するものはどれか。

- ① 硫酸
- ② フェノール

【解説】

有機化合物の酸の名称を有機酸という。有機酸の特徴としては、炭素を主成分とし、ほとんどの有機酸はカルボキシル基（-COOH）が含まれている。

硫酸は H_2SO_4 で表され、炭素を含んでいない。そのため有機とは言えない。よって①は誤りである。フェノールは $\text{C}_6\text{H}_5\text{OH}$ で表され、フェノールはカルボキシル基を含んでいないが、炭素を含んでいる。そのため有機である。よって、②が正解である。

【正解】 ②**【問題 2】**

次の酸のうち、有機酸に該当するものはどれか。

- ① 酢酸
- ② 塩酸

【解説】

酢酸は CH_3COOH と表され、炭素やカルボキシル基も含んでいるため有機酸と言える。よって①が正解である。塩酸は HCl と表され、有機ではない。そのため②は誤っている。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 有機化合物の酸の名称を何というか。
- 2) H_2SO_4 で表記され、硫黄が含まれている酸は何というか。
- 3) HNO_3 で表記され、窒素が含まれている酸は何というか。
- 4) CH_3COOH で表記され、簡単なカルボン酸の一種である酸は何というか。
- 5) HCl で表記され、代表的な酸の一つで、強い酸性を示すものを何というか。

回次	分野	テーマ
第14回	美容物理化学	1 酸と塩基の性質

【問題1】

酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① フェノールフタレインは、酸性溶液中で無色である。
- ② フェノールフタレインは、アルカリ性の溶液中では青色である。

【解説】

酸と塩基には強さを測る指数がある。最もよく見られるのは、水素イオン指数（pH）である。水素イオン指数においてpH7よりも小さい場合は酸、pH7よりも大きい場合が塩基（アルカリ性）、pH7の時は中性となっている。フェノールフタレインの大きな特徴としては、塩基のものに反応し赤色を示すことである。よってこの問題は、酸性に反応を示していない①が正解である。

【正解】①

【問題2】

酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 赤色リトマス試験紙は、アルカリ性の水溶液で青色に変化する。
- ② 青色リトマス試験紙は、アルカリ性の水溶液で赤色に変化する。

【解説】

赤色リトマス試験紙は、もともと赤い指示薬なので、青に変色する。青い変色反応を示すのはアルカリ性のものに限るので①は正しい。青色リトマス試験紙は、もともと青い指示薬なので赤に変色する。赤い変色反応を示すのは酸性なので、②は誤りである。

【正解】①

【確認問題】

- 1) pH（水素イオン指数）においてpH7未満を何というか。
- 2) pH（水素イオン指数）においてpH7より大きいものを何というか。
- 3) 酸性溶液、中性溶液中では白色でありアルカリ性の溶液で赤色を示すものを何というか。
- 4) アルカリ性の溶液に使うと青色に反応を示すものを何というか。
- 5) 酸性の溶液に使うと赤色に反応を示すものを何というか。

回次	分野	テーマ
第14回	美容物理化学	2 天然色素

【問題 1】

香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① タルクは、滑石を原料として作られる体質顔料である。
- ② 化粧品に使用できるタール色素は、厚生省令で定められてない。

【解説】

タルクとは、滑石を微粉にしたもので、メイクアップの下地として用いられる。そのほかでもベビーパウダーなどの皮膚疾患撒布剤としても使用される。よって①は正しいと言える。タール色素は、「医療品等に使用することのできるタール色素を定める法令」によって、83種類の染料と顔料、54種類のレーキの使用が認められているものである。よって②は誤っている。

【正解】 ②**【問題 2】**

香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 微粒子酸化チタンは、紫外線遮断剤として用いられている。
- ② 天然色素は、タール色素に比べて、着色力や耐光性、耐薬品性が優れている。

【解説】

微粒子酸化チタンは、日焼け止めなどに用いられる紫外線遮断剤として有名である。そのため①の記述は正しいと言える。天然色素とは、食品や生物から抽出された色素のことを指している。合成着色料のタール色素とは違い、着色力や耐光性、耐薬品性が劣っており、価格も天然色素の方が高価である。そのため②の記述は誤りである。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 食品以外全般に使用される香料を何というか。
- 2) 染料あるいは合成着色料の一種で、芳香族化合物を原料としているものを何というか。
- 3) 微粒子酸化チタンが用いられている一例としてあげられるものは何か。
- 4) 食品や生物から抽出された色素を何というか。

回次	分野	テーマ
第14回	美容物理化学	3 香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分

【問題1】

香粧品に用いられる配合成分とその配合目的に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① パラオキシ安息香酸エステルは、殺菌剤の一つある。
- ② ベンザルコニウム塩化物やトリクロサンは、殺菌剤の一つである。

【解説】

パラオキシ安息香酸エステルは、食品、医療、化粧品において防腐剤として用いられている。防腐剤は、微生物の侵入、発育、増殖を防止して腐敗、発酵が起こらないようにする薬剤である。そのため①は誤りである。

ベンザルコニウム塩化物やトリクロサンは、殺菌剤として用いられている。殺菌剤は、一般には病原性あるいは有害性のある微生物を殺すための薬剤です。これらの殺菌剤は石鹼などがあげられる。よって②は正しい記述である。

【正解】 ①

【問題2】

香粧品に用いられる配合成分とその配合目的に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ジブチルヒドロキソトルエンは、抗酸化剤である。
- ② クロルヘキシジンは、紫外線遮断剤である。

【解説】

ジブチルヒドロキソトルエンは、抗酸化剤の一種として使用されている。抗酸化剤は、酸素が引き起こすラジカル反応を補足、停止させて変質を防止する薬剤である。そのため①は正しい記述である。

クロルヘキシジンは、金属イオン封鎖剤の一種として使用されている。金属イオン封鎖剤は、品質を劣化させる金属イオンから化粧品を守る安定化剤である。そのため②は誤った記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) パラオキシ安息香酸エステルが用いられる一例としてあげられるものは何か。
- 2) ジブチルヒドロキシトルエンが用いられる一例としてあげられるものは何か。
- 3) クロルヘキシジンが用いられる一例としてあげられるものは何か。

回次	分野	テーマ
第14回	美容物理化学	4 高分子物質を基材とするスタイリング剤

【問題 1】

頭皮・毛髪に使用する香粧品に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① エアゾールタイプのスタイリング剤には、噴射剤として可燃性のポリエチレンが用いられる。
- ② 皮膜形成剤を配合したスタイリング剤に対しては、合成粘液質のポリビニルピロリドンが用いられている。

【解説】

エアゾールタイプのスタイリング剤の噴射剤には液化石油ガス（LPG）やジメチルエーテル（DME）が用いられる。皮膜形成剤を配合したスタイリング剤には、ポリビニルピロリドン（PVP）やアクリル樹脂アルカノールアミン液などが用いられる。誤りは①である。

【正解】 ①

【問題 2】

頭皮・毛髪に使用する香粧品に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ヘアリンス剤に用いられる陽イオン界面活性剤の第4級アンモニウム塩は、毛髪の帯電防止効果がある。
- ② ムース状のスタイリング剤、陰イオン界面活性剤の高級アルコール系合成洗剤が主成分である。

【解説】

ヘアリンス剤の主成分は、陽イオン界面活性剤の第四級アンモニウム塩が用いられる。ムース状のスタイリング剤では、陰イオン界面活性剤の高級アルコール系合成洗剤が主成分である。誤っているのは②である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 可燃性の液化石油ガスやジメチルエーテルは、何によく用いられるか。
- 2) 合成粘液質のポリビニルピロリドンは、何によく用いられるか。

回次	分 野	テーマ
第14回	美容物理化学	5 ヘアカラーの種類と染毛メカニズム

【問題 1】

酸化染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 酸化染毛剤は、染着の仕組みの違いによる分類では永久染毛剤に属する。
- ② 酸化染毛剤は、化粧品である。

【解説】

酸化染毛剤とは、明るい色にも暗い色にも一度でしっかり染めることが可能な染毛剤である。約2か月間色持ちし、永久染毛剤に属します。染毛剤であり、化粧品ではないため②が誤りとなる。

【正解】 ②**【問題 2】**

酸化染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① パラフェニレンジアミンは、酸化染毛剤に使用される有効成分の一つである。
- ② 酸化染毛剤は、一度だけパッチテストを行う必要がある。

【解説】

酸化染毛剤は、パラフェニレンジアミンが有効成分の一つであるため、①は正しいと言える。酸化染毛剤を使用する際にパッチテストを行う必要はないため、②が誤りとなる。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 酸化染毛剤を用いる前に、行わなければならないことは何か。
- 2) 酸化染毛剤を用いる前に行うべきことがあるが、それは何か。

回次	分野	テーマ
第15回	美容物理化学	1 てこ

【問題 1】

てこを用いて物体を動かすとき、作用点から支点までの距離が2cm、支点から力点までの距離が10cmであった場合において次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 作用点にかかる力は、力点にかける力の5倍である。
- ② 作用点にかかる力は、力点にかける力の20倍である。

【解説】

てこの原理は支点までの距離の比と、加わる力の比は逆である。

長さの比が1:5なので、力の比は5:1になる。これにより作用点にかかる力は、力点にかける力の5倍となるので、①は正しい記述で、②の記述は誤りであるといえる。

【正解】①

【問題 2】

てこの原理において、次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 作用点から支点までの距離を伸ばすことで少ない力で物体を動かすことができる。
- ② 力点から支点までの距離を伸ばすことで少ない力で物体を動かすことができる。

【解説】

てこの原理は、力点に力をかけ、視点を中心として、てこを回転させることで物体を動かす。

より少ない力で動かすには、支点から力点までの距離を伸ばすことや作用点から支点の距離を縮めることで可能になる。①の記述は逆の動作のため誤りであり、②の記述が正しいといえる。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 支点と作用点間の距離や支点と力点間の距離を変えることにより、より少ない力でものを動かそうとする力を何というか。
- 2) てこの原理において、力が作用している点のことを何というか。
- 3) てこの原理において、力を加える点のことを何というか。
- 4) てこの原理において、運動の中心となる点のことを何というか。

回次	分 野	テーマ
第15回	美容物理化学	2 電気のエネルギー

【問題 1】

100ボルトの電圧で、消費電力1200ワットのヘアドライヤーを使用したとき、流れている電流の値として正しいものはどれか。

- ① 12アンペア
- ② 1200アンペア

【解説】

電力 P =電圧 V ×電流 I の関係式が基本であり、電流 I =電力 P /電圧 V と式を変形すると、 $1200/100=12$ となります。よって、①が正解となる。

【正解】 ①**【問題 2】**

1000ワットの消費電力のヘアドライヤーを使用したとき、流れている電流は5アンペアだった。このときの電圧で正しいものはどれか。

- ① 100ボルト
- ② 200ボルト

【解説】

電力 P =電圧 V ×電流 I の関係式が基本であり、電圧 V =電力 P /電流 I と式を変形すると、 $1000/5=200$ となります。よって、②が正しい解となります。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 電流の強さの単位を何というか。

回次	分野	テーマ
第15回	美容物理化学	3 酸と塩基の性質

【問題 1】

酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 塩基性溶液のpHは7より小さい。
- ② 塩基性溶液のpHは7より大きい。

【解説】

pH指数は、酸性からアルカリ性の間に0~14目盛りをつけて、酸とアルカリの度合いをそのメモリの数字で表すもので、pH7を中性、pH7未満を酸性、pH7以上をアルカリ性と定められている。一般的に、アルカリ性は塩基性と同義であるため①は誤りであり、②が正しい記述である。

【正解】 ②

【問題 2】

酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酢酸は強酸である。
- ② 酢酸は無機酸である。

【解説】

酢酸は有機酸であり、弱酸であるため①は誤りである。硝酸は無機酸であり、強酸であるので②は正しい記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 塩基性を持つ水溶液を何というか。
- 2) 酸性からアルカリ性の間に0~14の目盛りをつけて、その度合いを数字に表した物を何というか。

回次	分 野	テーマ
第15回	美容物理化学	4 高分子化合物

【問題 1】

天然高分子化合物とその分類に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ケラチン－硬タンパク質
- ② セルロース－可溶性タンパク質

【解説】

ケラチンは、アミノ酸だけでできている単純タンパク質であり、繊維状のタンパク質分子が極めて強固に結合する。また、水やその他の溶媒に溶けにくく科学作用も起きにくい硬タンパク質である。すなわち、①は正しい記述となる。セルロースは、水やその他の有機溶媒などにも溶けにくく、熱湯にも溶けない不溶性のタンパク質であるため②は誤りである。

【正解】 ①**【問題 2】**

天然高分子化合物とその分類に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ヘモグロビン－単純タンパク質
- ② コラーゲン－単純タンパク質

【解説】

ヘモグロビンは、鉄を含む赤色色素とアミノ酸からなる複合タンパク質である。コラーゲンは、アミノ酸だけでできている単純タンパク質である。よって、②が正解である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) タンパク質以外と結合した複合タンパク質に分類されるタンパク質を何というか。
- 2) 水や水溶液に対して不溶性を持つ、硬タンパク質に分類されるタンパク質を何というか。
- 3) アミノ酸だけからなる単純タンパク質に分類されるタンパク質を何というか。
- 4) 天然高分子化合物の中でも、多糖類とよばれるものを何というか。

回次	分野	テーマ
第15回	美容物理化学	5 硬水と軟水

【問題1】

硬水と軟水に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 一時硬水は、煮沸すると軟化する。
- ② 永久硬水とは、カルシウムイオンやマグネシウムイオンが炭酸水素塩として含まれる水をいう。

【解説】

一時硬水とは、カルシウムイオンやマグネシウムイオンが炭酸水素塩として含まれる水のことである。煮沸するだけで軟化し、軟水となるので①は正しい記述である。永久硬水とは、カルシウムイオンやマグネシウムイオンが硫酸塩や塩化物として含まれる水のことである。②は一時硬水のことであるため、誤った記述である。

【正解】 ①

【問題2】

硬水と軟水に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 軟水とはカルシウムイオンやマグネシウムイオンをあまり含まない硬度の低い水をいう。
- ② 軟水とはカルシウムイオンやマグネシウムイオンを多量に含む硬度の高い水をいう。

【解説】

軟水とは、カルシウムイオンやマグネシウムイオンをあまり含まない硬度の低い水のことであり①は正しい記述である。②の記述は硬水のことであり、誤った記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) カルシウムやマグネシウムの金属イオンをあまり含まない水を何というか。
- 2) カルシウムやマグネシウムの金属イオンを多く含む水を何というか。
- 3) 煮沸すると軟水になる硬水を何というか。
- 4) 炭酸水素イオンを含む水素塩の一種を何というか。

回次	分 野	テーマ
第16回	美容物理化学	1 刃物と力

【問題 1】

金属とさびに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 特殊鋼は、さびにくくするために鋼に他の成分を混ぜて作られた合金である。
- ② 黒さびは、鉄そのものを腐食させ、ボロボロにする性質を持つ。

【解説】

特殊鋼とは、鋼に炭素以外のさまざまな元素を加えた合金鋼のことで、添加する元素により硬度、強度、粘り強さ、耐摩耗性、耐食性などの特性が増す。すなわち①は正しい記述である。

赤さびは、さび自体が赤みがかり、鉄そのものを腐食させてボロボロにする性質を持つ。鉄を朽ちさせていく原因ともなる。②は、赤さびのことであるため誤った記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

金属とさびに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 鉄の赤さびは、質が緻密で内部を保護する働きがある。
- ② 金属のさびを防ぐためには、乾燥した場所での保存めっきなどの方法がある。

【解説】

鉄の赤さびは、質が緻密でないため内部は保護できない。そのため、さびは内部まで進行し、鉄は形が崩れていく。すなわち、①は誤った記述である。また、黒さびは、質が緻密なため内部が腐食されないように保護しています。

金属のさびを防ぐには、金属の表面を他の材料で覆うことで防ぐ被覆防食や乾燥した場所での保存などがある。めっき加工は被覆防食の方法の一つなので、②は正しい記述である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 金属を乾燥した場所での保存やメッキ加工することで防げるものを何というか。
- 2) 鉄に炭素以外のさまざまな元素を加えることでさびなどに強くなる合金を何というか。
- 3) 鉄が水や酸素に触れることによって発生し、鉄を腐食させるさびを何というか。

回次	分野	テーマ
第16回	美容物理化学	2 香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分

【問題 1】

香粧品に配合される成分とその主な配合目的に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ベンザルコニウム塩化物（塩化ベンザルコニウム）－殺菌剤
- ② ベンゾフェノン誘導体－保湿剤

【解説】

ベンザルコニウム塩化物（塩化ベンザルコニウム）やトリクロサンは、殺菌剤に配合されている。すなわち①は正しい記述である。ベンゾフェノン誘導体は、紫外線吸収剤に配合されているため、②の記述は誤りとなる。

【正解】①

【問題 2】

香粧品に配合される成分とその主な配合目的に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ヒアルロン酸ナトリウム－酸化防止剤
- ② パラオキシ安息香酸エステル－防腐剤

【解説】

ヒアルロン酸ナトリウムは保湿剤に配合されている。すなわち、①は誤った記述であり、パラオキシ安息香酸エステルは防腐剤に配合されているので、②は正しい記述である。よって、正解は②である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 一部が防腐剤などにも含まれる、塩素と他の元素の化合物のことを一般に何というか。
- 2) 日焼け止めに含まれる成分の一例としてあげられるものは何か。
- 3) ある化合物における一部分の変化によってできる化合物のことを何というか。

回次	分 野	テーマ
第16回	美容物理化学	3 皮脂汚れと清浄作用

【問題 1】

石けんに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 石けんは、界面活性剤の一種である。
- ② 石けんは、油脂を酸で加水分解して作る。

【解説】

界面とは、2つの性質の異なる物質の境界面のことである。界面活性剤は、このような界面に対して性質を変える物質のことを指す。石けんもこの界面活性剤の一種であるため、①は正しい記述である。また、石けんには粹練石けんと機械練石けんの2つがあります。

製造法は、油脂にアルカリを加えて加水分解するけん化法と油脂の構成成分である高級脂肪酸をアルカリと直接反応させる中和法がある。すなわち、②は誤った記述である。

【正解】 ①**【問題 2】**

石けんに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 硬質石けんは、水酸化ナトリウムを用いて作る。
- ② 軟質石けんは、水酸化ナトリウムを用いて作る。

【解説】

水酸化ナトリウムで作った石けんは、硬くなり、硬質石けんと言われる。すなわち、①は正しい記述である。水酸化カリウムで作った石けんは、柔らかく、軟質石けんというため、②は誤った記述である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 石けんは牛脂とヤシ油を混合し、水酸化ナトリウムや水酸化カリウムを加えて作ることができる。その際に起こる反応を特に何というか。
- 2) 硬質石けんに使用されるものを何というか。
- 3) 全行程を機械で作る一般の化粧石けんを何というか。

回次	分野	テーマ
第16回	美容物理化学	4 パーマ剤第1剤

【問題1】

パーマメントウェーブ用剤第1剤（1液）に含まれる還元剤は、次のうちどれか。

- ① シスチン
- ② チオグリコール酸

【解説】

パーマメントウェーブ用剤第1剤は、チオグリコール酸又はその塩類を有効成分としている。
よって正解は、②ということになる。

【正解】 ②

【問題2】

ナトリウムの臭酸化塩で、パーマメントウェーブ溶剤第2剤に使用されるものは、次のうちどれか。

- ① シスチン
- ② 臭酸素ナトリウム

【解説】

第2剤とは、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、過ホウ酸ナトリウム又はこれらの混合物の品質を保持することや、又は有用性を高めるために適当な溶解剤、浸透剤、湿潤剤、着色剤、乳化剤、香料その他の物質を添付又は添加したものである。正解は②である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) ナトリウムの臭酸化塩で、パーマメントウェーブ用剤第2剤に使用されるものの例として挙げられるものは何か。
- 2) ナトリウムの臭酸化塩で、パーマメントウェーブ溶剤第2剤に使用されるものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第16回	美容物理化学	5 永久染毛剤

【問題 1】

染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 酸化染毛剤は、1 回の洗髪で除去される。
- ② 染料中間体はカップラーとともに用いると、様々な色調に染毛できる。

【解説】

酸化染毛剤の特徴は以下の通りである。

- ・色は2～3か月持続する
- ・黒色の毛髪も明るく染毛できる
- ・紫外線による退色がある

【正解】 ②**【問題 2】**

染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 半永久染毛剤は、着色剤を毛髪の表面に付着させ着色する。
- ② 一時着色料は、着色剤を毛髪の表面に付着させて着色する。

【解説】

一時着色料は、一時的な着色料である。洗髪で簡単に洗い流すことが可能である。髪への負担が心配な方や、ヘアカラーでかぶれたことのある方でも使用可能であり、②が正解となる。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 染料中間体と反応させることで独自の色味を変化させて、たくさん色調を調整することが可能になるものを何というか。
- 2) 顔料などの着色剤を毛髪の表面に付着させて、髪を一時的に着色するものを何というか。
- 3) 顔料などの着色剤を毛髪の表面に付着させて、髪を一時的に着色するものを何というか。

回次	分野	テーマ
第17回	美容物理化学	1 サンケア製品

【問題1】

赤外線と紫外線に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ①赤外線は、可視光線より波長が長い。
- ②紫外線は、皮膚でビタミンCを生成する作用がある。

【解説】

電磁波のうち、人の目で見える波長のものを可視光線という。可視光線より波長が短くなっているものを紫外線と言ひ、長いものを赤外線という。よって、①は正しい記述である。紫外線を浴びることにより皮膚で生成されるのは、ビタミンCではなくビタミンDであるので、②は誤っている記述である。

可視光線に相当する電磁波の波長の短い方の限界はおおよそ360-400nm、長い方の限界はおおよそ760-830である。可視光線より波長が長くなっても短くなっても人の目には見ることができなくなってしまう。それを不可視光線という。

【正解】②

【問題2】

赤外線と紫外線に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 紫外線は、消毒・殺菌の作用がある。
- ② 赤外線は、血液循環に悪い影響を与える。

【解説】

紫外線の消毒・殺菌の構造は、まだ解明されていない部分が多いが、消毒・殺菌の作用があることは明らかである。よって、①は正しい記述である。赤外線は、熱作用と皮膚への数メートル程度の浸透により血液循環を促進させる働きを持っているので②は誤っている記述である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 可視光線より波長が長く、血液循環を促進する効果を持つものをなんというか。
- 2) 赤外線より波長が短く、紫外線より波長の長い、人の目で見える電磁波をなんというか。
- 3) 血液循環を促進する効果を持つものは何か。

回次	分 野	テーマ
第17回	美容物理化学	2 電気のエネルギー

【問題 1】

1000Wのヘアアイロンを100Vで毎日2時間ずつ25日間使用した場合の電力量[kWh]を求める計算式として正しいものは、次のうちどれか。

- ① $1000 \times 2 \times 25 \div 1000 = 50$ [kWh]
- ② $100 \times 2 \times 25 \div 1000 = 5$ [kWh]

【解説】

公式は、電力量 [Wh] = 電力 [W] × 時間 [h] である。この問題では、電力量の単位が [kWh] であるため、最後に1,000で割る必要がある。電力量を求める際には、電圧[V]は含まれない。よって、①が正解となる。

【正解】 ①**【問題 2】**

1000Wのヘアアイロンを100Vで毎日2時間ずつ25日間使用した場合の電力量[kWh]を求める計算式として正しいものは、次のうちどれか。

- ① $1000 \div 100 \times 2 \times 25 \div 1000 = 0.5$ [kWh]
- ② $1000 \times 2 \times 25 \div 1000 = 50$ [kWh]

【解説】

公式は、電力量 [Wh] = 電力 [W] × 時間 [h] である。この問題では、電力量の単位が [kWh] であるため、最後に1,000で割る必要がある。電力量を求める際には、電圧[V]は含まれない。よって、②が正解となる。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 仕事率を求める公式はどのようなものか。
- 2) 電流を流そうとする働きを電圧というが、その単位は何か。

回次	分野	テーマ
第17回	美容物理化学	3 電気のエネルギー／電流と磁界

【問題 1】

美容器具と電流の作用に関する次の記述のうち、誤っているものどれか。

- ① ヘアアイロンは、電流の熱作用を利用したものである。
- ② 赤外線灯は、電流の化学作用を利用したものである。

【解説】

ヘアアイロンは、電流の熱作用と磁気作用を利用して、暖かい空気を発生させている。よって、①は正しい記述である。赤外線灯は、赤外線を主として放射するように設計されたランプで、電流の化学作用を利用したものではない。よって、②は誤っている記述である。

【正解】 ②

【問題 2】

美容器具と電流の作用に関する次の記述のうち、誤っているものどれか。

- ① エレクトリッククリッパーは、電流の磁気作用を利用したものである。
- ② ヘアドライヤーは、電流の磁気作用と酸化作用を利用したものである。

【解説】

エレクトリッククリッパーは、モーターを用いているので磁気作用を利用している。よって、①は正しい記述である。ヘアドライヤーは、熱を発生させるので、熱作用を利用する。また、モーターも使うので磁気作用も利用する。しかし、酸化作用は利用しないので②は誤っている記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 電荷の流れを表すものを何というか。
- 2) ヘアアイロンで主として使われている作用を何というか。
- 3) ドライヤーのモーターで主として使われている作用を何というか。
- 4) 物質に化学変化を起こさせる作用を何というか。
- 5) 赤外線灯はどの作用を主に利用した製品であるか。

回次	分 野	テーマ
第17回	美容物理化学	4 刃物と力／熱の伝わり方

【問題 1】

金属の性質に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 白金は鉄に比べて酸化されやすい。
- ② 鉄は湿った空気中では赤さびがしやすい。

【解説】

白金の元素記号はPtで、プラチナと呼ばれ、酸化しにくい性質を持つ。鉄は比較的酸化しやすい性質を持つ。よって、①は誤りである。空気中に接触している水には空気中の炭酸ガスがとけてしまい、赤さびがしやすい状況ができます。よって、②は正しい。

金属の種類によって、イオン化傾向というイオンになりやすさを表す指標があり、イオン化傾向が大きい方がすぐ酸化され、イオン化傾向が小さい方が、酸化されにくい特徴がある。

【正解】 ①**【問題 2】**

金属の性質に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 金属は木材にくらべて熱の伝導率が小さい。
- ② 金属は線状や板状に加工できる。

【解説】

熱伝導率とは、ある物質について、熱の伝わりやすさが示された値のことである。一つの物質において温度差がある場合、温度の高い部分から低い部分に熱が移動する。金属は木材より伝導率が低いので、①は誤っている記述である。金属の性質には展性、延性、金属光沢の特徴があるので、②は正しい記述である。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 金属の性質として正しいものをあげよ。
- 2) 熱の伝わる速さを示したものを何というか。
- 3) 空気中で酸化せず、プラチナとも呼ばれる物質は何か。
- 4) 元素記号Feで表される、延性・展性を持つ金属を何というか。

回次	分野	テーマ
第17回	美容物理化学	5 酸と塩基の性質

【問題1】

次の酸と塩基の組み合わせのうち、弱酸と弱塩基の組み合わせはどれか。

- ① 酢酸－アンモニア水
- ② 硝酸－水酸化ナトリウム

【解説】

酢酸は、刺激臭と酸味とを持つ無色の液体で弱酸である。アンモニア水は、アンモニアを水に溶かし込んだ液体で弱塩基である。よって、①は正しい記述である。硝酸は、無色の液体で強酸性である。水酸化ナトリウムは、水によく溶け、水溶液は強酸性である。よって、②は誤っている記述である。

【正解】①

【問題2】

次の酸と塩基の組み合わせのうち、弱酸と弱塩基の組み合わせはどれか。

- ① 酢酸－水酸化ナトリウム
- ② 炭酸－アンモニア水

【解説】

酢酸は弱酸、水酸化ナトリウムは強塩基である。よって、①は誤っている記述である。炭酸は弱酸、アンモニア水は弱塩基である。よって、②は正しい記述である。

基本的に強酸は塩酸、硝酸、硫酸の3つが代表的であり、それ以外は弱酸、また、強塩基は水酸化バリウム、水酸化カルシウム、水酸化ナトリウムの4つしかないのもそれ以外は弱塩基である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 酢酸や炭酸は大まかにどのような性質（pH）を有しているか。
- 2) アンモニアは、大まかにどのような性質を（pH）を有しているか。
- 3) NH_3 を水溶液にしたものをなんというか。

回次	分 野	テーマ
第18回	美容物理化学	1 低分子化合物

【問題 1】

アルコールに関する次の記述のうち、誤っているものどれか。

- ① メタノールは、化粧水の原料に用いられる。
- ② エタノールは、皮膚を引き締める収れん作用がある。

【解説】

メタノールは最も簡単なアルコールである。かすかな刺激臭があり、化粧品などの原料には用いられない。よって、①は誤っている記述である。エタノールは、化粧水などに入っており、毛穴や肌の引き締めを行う収れん作用を持っている。よって、②は正しい記述である。

【正解】 ①**【問題 2】**

アルコールに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① プロピレングリコールやグリセリンは、保湿剤として利用される。
- ② 油脂はグリセリンと脂肪酸との乳化作用からなる。

【解説】

プロピレングリコールは、主に保湿、乳化などに使われる。有機化合物の一種である。グリセリンも、保湿成分として化粧水からクリームまで化粧品に幅広く使用されている。よって、①は正しい記述である。油脂は、グリセリンと脂肪酸のエステルからなる。よって、②は誤っている記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) アルコールに含まれないものは次のうちどれか。
- 2) 主にアルコールランプなどの燃料として使われているものは何か。
- 3) 保湿や乳化などに使われる有機化合物の一種は何か。
- 4) 脂肪酸とグリセリンのエステルでできるものとしてあげられるものは何か。
- 5) 炭素・水素・酸素から構成されているものの一例としてあげられるものは何か。
- 6) 有機酸と無機酸とアルコールから水が取れてできる形の化合物の総称を何というか。

回次	分野	テーマ
第18回	美容物理化学	2 硬水と軟水

【問題 1】

軟水と硬水に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① カリウムイオンやナトリウムイオンを多量に含有する水を、永久硬水という。
- ② 一時硬水は、煮沸するだけで酸化し、軟水となる。

【解説】

永久硬水とは、カルシウムやマグネシウムの硫酸塩を含み、煮沸しても軟水にならない水のことであるため①は誤っている記述である。一時硬水とは、煮沸すると軟水になる硬水のことであるので②は正しい記述である。

【正解】 ②

【問題 2】

軟水と硬水に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① カリウムイオンやナトリウムイオンを多量に含有する水を、永久硬水という。
- ② 軟水中では、石けんはよく泡立ち、効果的な洗浄作用を発揮する。

【解説】

永久硬水は、カルシウムやマグネシウムの硫酸塩を含み、煮沸しても軟水にならない水のことであるため①は誤っている記述である。軟水中では、石けんが泡立ちやすく、洗浄作用が効果的になるので②は正しい記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) カルシウム及びマグネシウムなどを含む硬水で、煮沸しても軟水になりにくい水を何というか。

回次	分 野	テーマ
第18回	美容物理化学	3 界面活性剤の種類

【問題 1】

界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 非イオン界面活性剤は、逆性石けんともいわれ、第四級アンモニウム塩も含まれる。
- ② 陰イオン界面活性剤には、洗浄力に優れているものが多く石けんや合成洗剤がある。

【解説】

非イオン系界面活性剤は、イオン性を示さない。逆性石けんは、陽イオン界面活性剤のことであり、第四級アンモニウムも陽イオン界面活性剤でよく使われることから、①は誤りである。陰イオン界面活性剤は、陰イオン性の親水基を持つ界面活性剤である。洗浄力が強く、優れた気泡性を持つため石けんや洗剤、シャンプーなどに使われる。したがって、②は正しい記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 陽イオン界面活性剤は、化粧品に含まれることもある。
- ② 両性界面活性剤は、水溶液中でイオン化しないので、クリームなどに乳化剤として用いられる。

【解説】

陽イオン界面活性剤は、水に溶かした時、イオンに解離して親水基の部分が陽性に帯電する界面活性剤のことである。柔軟仕上げ剤やリンス剤などで使用されているので、①は正しい記述である。両性界面活性剤は、両方の性質を持った界面活性剤である。水溶液中で陽イオンか陰イオンになるので、②は誤っている記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 分子内において、水分になじみやすい部分と油になじみやすい部分を持つ物質の総称を何というか。
- 2) 陰イオン性で親水基を持つ界面活性剤を何というか。
- 3) 洗浄力、気泡力、柔軟効果、帯電防止効果などを含む型のことを何というか。
- 4) 毒性、皮膚刺激または眼粘膜刺激性がほとんどなく、安全性が高い型のことを何というか。
- 5) 乳化や起泡、消泡などの目的で使われる薬剤の総称を何というか。

回次	分野	テーマ
第18回	美容物理化学	4 ヘアリンス剤／育毛・養毛剤／永久染毛剤

【問題1】

頭皮及び毛髪化粧品とその配合成分に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① ヘアリンス剤－陽イオン界面活性剤
- ② ヘアブリーチ剤－アセチルシステイン

【解説】

ヘアリンス剤の主成分として、陽イオン界面活性剤の第四級アンモニウム塩が用いられる。ヘアブリーチ剤は、アルカリ剤としてアンモニア水を用いた第一剤と、酸化剤として過酸化水素水（5～6％）を用いた第二剤から成る2剤型のものが多く、これらを混合して使用します。

【正解】②

【問題2】

頭皮及び毛髪化粧品とその配合成分に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- ① 育毛剤－抗男性ホルモン剤
- ② スタイル剤－パラフェニレンジアミン

【解説】

育毛剤には抗男性ホルモン剤という成分が配合されているため、①は正しい。パラフェニレンジアミンは、白髪染めなどに配合されているので、②は誤りである。

【正解】②

【確認問題】

- 1) アミノ酸の一つで、2-アミノ-3-スルファニルプロピレン酸であるものを何というか。

回次	分 野	テーマ
第18回	美容物理化学	5 パーマの原料とパーマ剤

【問題1】

パーマメントウェーブの原理に関する次の記述のうち、() に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

「毛髪を形成するケラチンの架橋構造の (A) 結合を第1剤に (1液) に含まれるチオグリコール酸などの (B) により切断し、次にカーリングロッドに毛髪を巻いて第2剤 (2液) を作用させると、含まれる (C) などの薬剤の働きにより架橋構造にズレを生じた状態で (A) 結合が復元し、ウェーブが固定される。」

- ① A－シスチン B－還元剤 C－臭素酸カリウム
 ② A－ペプチド B－酸化剤 C－アンモニア

【解説】

シスチンというアミノ酸は、システインというアミノ酸が2つ結合した形をしている。その結合は、システインに含まれる硫黄原子と硫黄原子の間に形成され、この結合をシスチン結合（ジスルフィド結合）と呼ぶ。ペプチド結合は、アミド結合のうちアミノ酸同士が脱水縮合して形成される結合です。この問題とは関係ないので、②は誤っている記述である。

また、チオグリコール酸は還元剤であり、カーリングの際に第2剤を作用させると、臭素酸カリウムの働きによりウェーブが固定される。

【正解】①**【問題2】**

パーマメントウェーブの原理に関する次の記述のうち、() に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

「毛髪を形成するケラチンの架橋構造の (A) 結合を第1剤に (1液) に含まれるチオグリコール酸などの (B) により切断し、次にカーリングロッドに毛髪を巻いて第2剤 (2液) を作用させると、含まれる (C) などの薬剤の働きにより架橋構造にズレを生じた状態で (A) 結合が復元し、ウェーブが固定される。」

- ① A－多重 B－中和剤 C－アンモニア
 ② A－シスチン B－還元剤 C－臭素酸カリウム

【解説】

シスチン結合は、還元剤により切断されやすいが、酸化によって再結合されたもとのシスチン結合に戻る性質がある。また、シスチン結合を用いる際に、酸化剤として臭素酸カリウムが用いられる。したがって①は正しい記述である。

還元剤とは、他の物質を還元させる作用がある。逆に酸化剤は、他の物質を酸化させる働きを持つ。シスチン結合を切断する還元剤は、チオグリコール酸またはその塩類、システインなどがある。シスチン結合を再結合する酸化剤に、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、過ホウ酸ナトリウムなどがある。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 高分子の構造を示すものとして挙げられる構造は何か。
- 2) メルカプト酢酸ともよばれ、激しい悪臭と刺激臭を示す無色の液体を何というか。
- 3) カリウムの臭素酸塩で、無機化合物であるものを何というか。
- 4) アミノ酸同士が脱水縮合して形成されたものの一例としてあげられるものは何か。
- 5) 常温常圧では無色の気体で特有の強い刺激臭を持ち、水によく溶ける性質を持つ物質を何というか。

回次	分 野	テーマ
第19回	美容物理化学	1 温度と熱／物質の状態変化

【問題 1】

温度と熱に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 一般に、地上における水の氷点は 0°C であり、沸点は 100°C であるとされている。
- ② 水と氷を入れた水枕は、氷が溶けきるまでの間に、融解による温度上昇が発生する。

【解説】

一般的に、地上における水の氷点は 0°C 、沸点は 100°C である。すなわち、①は正しい記述である。これは、言い換えれば、氷の最高温度は 0°C で、それを超えると水になるということになる。したがって、氷は、融解の途中にあっても、それが氷である限り温度は 0°C より上昇しないと捉えられる。すなわち、②は誤っている記述になる。

水が凍って氷として固まる温度（ 0°C ）を氷点、加熱されて沸騰する温度（ 100°C ）を沸点という。また、加熱等によって物質が固体から液体に状態変化することを融解、逆に液体から固体に状態変化することを凝固という。

【正解】 ①**【問題 2】**

温度と熱に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① タオルを煮沸消毒する場合、その湯が沸騰している間に、温度上昇が発生する。
- ② 冷えた空気は下方へ移動することから、冷房機器は部屋の上部に設置すると良いといえる。

【解説】

沸騰している液体の温度は、その液体の沸点にほぼ等しく、地上の通常の状態において穏やかに沸騰している間、その液体の温度は一定に保たれる。したがって、タオルを煮沸消毒する場合、その湯が沸騰している間、温度は 100°C （沸点）で保たれることになる。すなわち、①は誤っている記述である。次に、温かい空気は密度が低く、冷たい空気は密度が高いため、一定空間内において、冷たい空気は下方に溜まろうとする。したがって、エアコンなどの冷房機器を床に近い所に設置すると、そこから出る冷たい空気は部屋の下方に溜まったままで、冷却効率が悪くなってしまう。しかし、天井に近い所に冷房機器を設置すれば、そこから出る冷気は、天井付近を冷却しながら部屋の下方に広がり、部屋全体を均等に冷却することになる。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 1気圧のもとで水が凍る温度を0℃、沸騰する温度を100℃とした、温度目盛りのことを何というか。
- 2) 気圧の単位として、よくhPa（ヘクトパスカル）が用いられるが、1気圧は何hPaであるか。
- 3) 水が固体に変化し始める温度のことを何というか。
- 4) 液体が気体に変化し始める温度のことを何というか。
- 5) 固体から液体へと物質の状態が変化することを何というか。
- 6) 熱湯などに沈めて加熱することで、器具等の殺菌を行う方法を何というか。
- 7) 冷たい空気は、温かい空気と比べて密度が高い。一定時間内において、冷たい空気はどこに溜まろうとするか。

回次	分 野	テーマ
第19回	美容物理化学	2 電気のエネルギー

【問題 1】

電気と電気機器に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 水道水は絶縁体なので、濡れた電気機器のプラグをコンセントに差ししても感電の危険はない。
- ② ヘアアイロンにおいてコードよりもロッドが熱くなるのは、ロッド部分の電気抵抗がコード部分の電気抵抗よりも大きいからである。

【解説】

プラスチックなどの、電気等を通しにくい物質のことを絶縁体という。一般に、完全な純水が存在する場合には化学的に絶縁体であるといえるかもしれないが、水道水は絶縁体ではない。そのため、濡れた電気機器のプラグをコンセントに差したり、濡れた手でプラグをコンセントに差したりする行為は、感電する可能性があるため非常に危険である。すなわち、①は誤った記述である。ヘアアイロンとは、ロッド部分に流れる電流によって発生する熱の力を利用して、髪型を変える器具である。ヘアアイロンも電気機器であるため、もちろんコードはあるがコード部分に含まれる金属とロッド部分に含まれる金属では、その電気抵抗の値が大きく異なる。ロッド部分の電気抵抗の方が非常に大きいため、電流が流れる際に高温の熱が発生する。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ②**【問題 2】**

電気と電気機器に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 日本における交流の周波数は、地域によって30Hzと40Hzで異なっている。
- ② 500Wの電熱器を100Vの電源に繋いで、毎日4時間ずつ15日間使用すると、電力量は30kWhになる。

【解説】

日本の西側が60Hzで、東側が50Hzになっている。すなわち、①は誤りである。
電気がする仕事の量を意味する電力量は、「電力×時間」の式で求められる。一般的な電力量の単位としては「kWh」である。この式に問題文の数値を当てはめると「電力（500W）×時間（4時間×15日=60時間）」となり、30000Whになる。「1000Wh=1kWh」であることを踏まえると、答えは30kWhになる。すなわち、②は正しい。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) プラスチックなどの、電気や熱を通しにくい物質のことを何というか。
- 2) 物質における電気や熱の流れにくさを電気抵抗という。この電気抵抗を求めるための式はどのようなものか。
- 3) 電気抵抗の大きい金属に電流を通し、その発熱を利用することを目的とする器具を何というか。
- 4) 電流が単位時間あたりにする仕事のことを電力という。電力を求める式はどのようなものか。
- 5) 日本において、交流電源の周波数が概ね60Hzである地域はどのような場所か。

回次	分 野	テーマ
第19回	美容物理化学	3 刃物と力

【問題 1】

刃物に用いる鋼の原料として、一般に使用されるものは次のうちどれか。

- ① クロム
- ② ゲルマニウム

【解説】

鋼の原料としては、一般に炭素やケイ素・クロム・コバルト・ニッケルなどが使用されることが多い。ゲルマニウムが鋼に使用されることはほとんどない。すなわち、①は正しい記述であり、②が誤っている記述となる。

【正解】 ①**【問題 2】**

刃物に用いる鋼の原料として、一般に使用されるものは次のうちどれか。

- ① 炭素
- ② 亜鉛

【解説】

鋼の原料としては、一般に炭素やケイ素・クロム・コバルト・ニッケルなどが使用されることが多い。亜鉛が鋼に使用されることはない。すなわち、①は正しい記述であり、②が誤っている記述となる。

【正解】 ①**【確認問題】**

- 1) 優れた耐食性から、ステンレス鋼などの原料としても使用される元素を何というか。
- 2) ダイヤモンドやグラファイトなどが同素体として存在する、非金属元素のことを何というか。
- 3) 鋼の原料としても使用される元素で、塩化コバルト紙を用いて検出できるものを何というか。

回次	分野	テーマ
第19回	美容物理化学	4 界面活性剤の種類

【問題1】

界面活性剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 性質上、逆性石けんともよばれるものは、陽イオン界面活性剤である。
- ② 洗髪等に用いられるアルキル硫酸ナトリウムは、陽イオン界面活性剤である。

【解説】

水に溶かしたときに親水基が電離して陽イオンにイオン化する界面活性剤を、陽イオン界面活性剤という。一般的に「石けん」とよばれるものは陰イオン界面活性剤であるが、陽イオン界面活性剤は、これとは逆に帯電を行う。そのため、逆性石けんともよばれる。すなわち、①は正しい記述である。陽イオン界面活性剤として香粧品で用いられるものには、第四級アンモニウム塩とよばれるものが多く、アルキル硫酸ナトリウムなどの高級アルコール系は陰イオン界面活性剤に用いられます。つまり、②は誤っている記述である。

イオンとは、原子や分子が電子を得たり失ったりすることで電荷を帯びた状態のことである。電子を失ったイオンのことを陽イオン、電子を得たイオンのことを陰イオンと呼ぶ。イオン化する界面活性剤においては、イオン化した部分が陰イオンであれば陰イオン界面活性剤に、陽イオンであれば陽イオン界面活性剤になる。また、溶かした溶液が、酸性かアルカリ性によって陽イオンまたは陰イオンに変化するものがあり、それを両性界面活性剤という。また、イオン化しない界面活性剤のことは、非イオン界面活性剤という。

【正解】②

【問題2】

界面活性剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① グリセリン脂肪酸エステルなどの非イオン界面活性剤は、他と比べて毒性や皮膚刺激性が低い。
- ② 両性界面活性剤は、溶液の温度がおよそ60℃以下であるときに、陰イオン界面活性剤の性質を示す。

【解説】

非イオン界面活性剤は、水溶液中でイオンにならない界面活性剤である。毒性や皮膚刺激性がほとんどないため、多くの香粧品に古くから用いられている。すなわち、①は正しい記述である。また、両性界面活性剤は、溶液が酸性かアルカリ性によってイオン化の結果が異なる。溶液の温度はその性質との深い関わりはないため、②は誤っている記述である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 電子を得たり失ったりすることによって、原子や分子が電荷を帯びた状態のことを何というか。
- 2) 電子を失うことで、正の電荷を帯びた原子や分子のことを何というか。
- 3) 電子を得ることで、負の電荷を帯びた原子や分子のことを何というか。
- 4) 陽イオン界面活性剤は、その性質から何とよばれることがあるか。
- 5) 界面活性剤について、溶かした溶液が酸性かアルカリ性かによってイオン化する部分が異なるものを何というか。
- 6) 界面活性剤について、水に溶かしたときに親水基がイオン化しないものを何というか。

回次	分野	テーマ
第19回	美容物理化学	5 エタノールとその他の油井原料

【問題1】

アルコールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① セタノールは、撥水性を有するため、ヘアスプレーなどによく用いられる。
- ② エタノールには、皮膚組織を引き締める収れん作用がある。

【解説】

セタノールは、撥水性はない。そのため、ヘアスプレーに使用されることもない。すなわち、①は誤っている記述である。また、エタノールは揮発性が高く、皮膚に塗ると蒸発する前に熱を奪うので、皮膚の表面に冷感を与えて皮膚組織を引き締める。この作用を収れん作用という。つまり、②は正しい記述である。

【正解】①

【問題2】

アルコールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① グリセリンは、保湿剤としてよく用いられる。
- ② メタノールは、溶媒として化粧水やヘアトニックによく用いられる。

【解説】

グリセリンは、延展性の面で非常に優れている。粘性が低く、主に保湿剤として用いられています。すなわち、①は正しい記述である。それに対して、メタノールは毒性が強いため、化粧品等への配合は禁止されている。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 溶液において、物質を溶かすために用いる液体のことを何というか。
- 2) 皮膚組織を引き締める収れん作用をもつ、1価アルコールの例として挙げられるものは何か。
- 3) 保湿剤として用いられることもある、多価アルコールの例として挙げられるものは何か。
- 4) 乳液等の乳化助剤として用いられることもある、高級アルコールの例として挙げられるものは何か。

回次	分 野	テーマ
第20回	美容物理化学	1 高分子化合物の種類と特性／化粧品配合成分があたえる機能

【問題 1】

高分子化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① デンプンやセルロースなどは、合成高分子化合物である。
- ② ポリビニルピロリドンは、ヘアスプレーの皮膜形成剤として古くから用いられている。

【解説】

高分子化合物は、天然高分子化合物と半合成高分子化合物、合成高分子化合物に分類される。天然高分子化合物は、さらに植物系と動物系に分類でき、幹から採取できるアラビアゴムや、豚の真皮から採取できるコラーゲンなどが含まれる。セルロースの誘導体であるメチルセルロースなどは、半合成高分子化合物に分類される。したがって、①は誤りである。

合成高分子化合物であるポリビニルピロリドンは、吸湿性の粉末であり、水やアルコールに溶けやすい性質である。溶媒が蒸発すると蒸発すると柔らかい皮膜を形成するため、ヘアスプレーの皮膜形成剤としても用いられる。すなわち、②は正しい記述である。

【正解】 ①**【問題 2】**

高分子化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① コラーゲンは、皮膚の水分を保持するモイスター効果を持つ。
- ② ケラチンは、ほかのタンパク質と比べるとシスチンの含有量が圧倒的に少ない。

【解説】

コラーゲンは、豚の真皮から採取される、動物性の天然高分子化合物である。皮膚の保湿作用が強いため、クリームや乳液の配合によく用いられている。このような皮膚の保湿効果を、モイスター効果という。したがって、①は正しい記述です。毛髪等に含まれるケラチンは、シスチンを豊富に含むタンパク質であるため、②は誤っている記述である。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 原子が結合して生成される、化学的性質をもった最小の構成単位のことを何というか。
- 2) 天然高分子化合物の例として挙げられる、ヨウ素液によって反応するものは何か。

回次	分野	テーマ
第20回	美容物理化学	2 染毛剤の種類と染毛メカニズム

【問題1】

染毛剤や染毛料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 染毛剤・染毛料のうち、医薬部外品であるものの例として、ヘアブリーチ剤が挙げられる。
- ② 一時着色料は、染料が髪を表層部に浸透するが、シャンプーのたびに少しずつ除去されていく。

【解説】

普段使用される香粧品には、医薬品医療機器等法で定められている化粧品と、医薬部外品がある。ヘアブリーチ剤は、脱色・脱染剤であるため、医薬部外品に属される。したがって、①は正しい記述である。

一時着色料は、着色成分を毛髪の上に付着させることで染毛させるものです。着色成分は毛髪に浸透しないため、②は誤っている記述である。

【正解】①

【問題2】

染毛剤や染毛料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 半永久染毛料は、メラニンの脱色と、酸化剤による化学反応を利用した染毛を同時に行う。
- ② 酸化染毛剤を用いる際は、その度にパッチテストを行い、安全性を確認しなければならない。

【解説】

半永久染毛料は、着色成分を毛髪に浸透吸着させた染毛を行うので、①は誤っている記述である。永久染毛剤である酸化染毛剤は、脱色と染毛を同時に行う。つまり、①は酸化染毛剤に関する記述であるといえる。

酸化染毛剤に用いられる酸化染料（パラフェニレンジアミンなど）には、まれにアレルギー反応を起こすものがある。そのため、酸化染毛剤を用いる際には、その度ごとに使用に先立って、パッチテストを行うことが義務付けられている。したがって、②は正しい記述である。

【正解】②

【確認問題】

- 1) 水などの液体がしみとおることを意味する語を何というか。
- 2) 一般に、脱色剤によって分解される色素のことを何というか。
- 3) 物質に酸素が化合する、または物質が水素を奪われる反応のことを何というか。
- 4) 1種類またはそれ以上の分子が2つ以上結合して、分子量の大きな化合物を作することを何というか。
- 5) 医薬部外品である染毛剤は何か。

回次	分野	テーマ
第20回	美容物理化学	3 パーマの原理

【問題1】

毛髪とパーマネントウェーブの原理に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 水素の化合物が水素を失う反応のことを、酸化という。
- ② パーマネントウェーブ用剤第1剤（1液）の主成分の働きは、酸化である。

【解説】

水素の化合物が水素を失う反応のことを酸化といいます。すなわち、①は正しい記述である。パーマネントウェーブ用剤第1剤の主成分は還元剤であり、その還元剤の働きは、還元を起こさせることであるため、②は誤っている記述である。

【正解】①

【問題2】

毛髪とパーマネントウェーブの原理に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚や毛髪に多く含まれるたんぱく質であるケラチンは、極めて水に溶けにくい性質を持つ。
- ② ケラチンの主成分は、元素番号17の塩素である。

【解説】

毛髪にはケラチンが多く含まれていますが、それは非常に水に溶けにくい性質を有している。すなわち、①は正しい記述である。しかし、ケラチンに、塩素は多く含まれていない。したがって②は誤っている記述となる。

【正解】①

【確認問題】

- 1) 皮膚表面などの細胞の主要な成分で、収れん剤によって引き締められるものを何というか。
- 2) 水素やナトリウムなど、物質を構成する最小単位の要素のことを何というか。
- 3) 元素記号Hであらわされる、原子番号1の元素名を何というか。
- 4) 単一の元素が集まってできる物質を単体というが、2種類以上の元素が集まったものを特に何というか。

回次	分 野	テーマ
第20回	美容物理化学	4 無機顔料

【問題 1】

香粧品に用いられる色材とその分類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸化鉄は、着色顔料に分類される。
- ② 雲母チタンは、天然色素に分類される。

【解説】

香粧品には色材が用いられる。そのうち、酸化鉄は、着色顔料に分類されるので①は正しい記述である。雲母チタンは、光輝性顔料に分類される。したがって、②は誤っている記述である。

【正解】 ①**【問題 2】**

香粧品に用いられる色材とその分類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸化亜鉛（亜鉛華）は、光輝性顔料に分類される。
- ② タルクは、体質顔料に分類される。

【解説】

酸化亜鉛（亜鉛華）は、白色顔料に分類されるので、①は誤っている記述である。タルクは、体質顔料に分類される。したがって、②は正しい記述です。

【正解】 ②**【確認問題】**

- 1) 着色顔料として一般に使用されるものの一例として挙げられるものは何か。
- 2) 滑石を微粉碎することで生成できる、体質顔料としてよく使用されるものの名称を何というか。

回次	分野	テーマ
第20回	美容物理化学	5 シャンプー剤・ヘアリンス剤・育毛養毛剤・染毛剤

【問題1】

頭皮・毛髪用香粧品とその配合成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 酸化染毛剤における配合成分としては、パラフェニレンジアミンが一般的である。
- ② ヘアリンス剤における配合成分としては、臭素酸ナトリウムが一般的である。

【解説】

パラフェニレンジアミンは、酸化染毛剤における配合成分としては非常に一般的なものであり、①は正しい記述である。それに対し、臭素酸ナトリウムは、パーマ剤第2剤などによく用いられるものであり、一般にヘアリンス剤に用いられることはない。つまり、②は誤っている記述です。

【正解】 ②

【問題2】

頭皮・毛髪用香粧品とその配合成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 育毛剤における配合成分としては、センブリエキスが一般的である。
- ② シャンプー剤における配合成分としては、ジメチルエーテルが一般的である。

【解説】

センブリエキスは、育毛剤に使用されることがあるので、①は正しい記述である。それに対し、ジメチルエーテルは、エアゾールタイプのスタイリング剤における噴射剤として利用されることがあるが、シャンプー剤に用いられることはない。すなわち、②は誤っている記述である。

【正解】 ②

【確認問題】

- 1) 元素記号Naで表される、原子番号11のアルカリ土類金属元素を何というか。

【補遺】 各種資料

本章には、本事業の本年度成果物のうち、本書の本編で提示を保留した次のものを収載する。

- 調査報告
- 美容分野 職業キャリア教育プログラム テキスト教材（デザイン版）
- 美容分野 基礎学力教育プログラム 問題コンテンツ①〈練習問題〉
- 美容分野 基礎学力教育プログラム 問題コンテンツ②〈確認問題〉

◆ 美容分野 基礎学力教育プログラム 問題コンテンツ①〈練習問題〉

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
001	1	1	顔面筋と表情筋	1	顔面にある筋肉とその働きに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	鼻筋－鼻の両側に横皺を作る	眼輪筋－唇を横に伸ばす	①
002	1	1	顔面筋と表情筋	2	顔面にある筋肉とその働きに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	口輪筋－額に皺を寄せる	前頭筋－額に横皺作る	②
003	1	2	末梢神経とそのはたらき	1	次の器官のうち、体性運動神経によって支配されているものはどれか。	骨格筋	心臓	①
004	1	2	末梢神経とそのはたらき	2	次の器官のうち、体性運動神経によって支配されているものはどれか。	消化管	骨格筋	②
005	1	3	血液の循環経路	1	次の血液循環経路のうち、正しいものはどれか。	左心室→動脈	左心室→静脈	①
006	1	3	血液の循環経路	2	次の血液循環経路のうち、正しいものはどれか。	右心室→静脈	左心室→動脈	②
007	1	4	人体とホルモン	1	次の内臓器官のうち、内分泌器官はどれか。	副腎	膀胱	①
008	1	4	人体とホルモン	2	次の内臓器官のうち、内分泌器官はどれか。	尿道	膵臓	②
009	1	5	泌尿器系のはたらき	1	次の物質のうち、尿中に通常排泄されないものはどれか。	グルコース	アンモニア	①
010	1	5	泌尿器系のはたらき	2	次の物質のうち、尿中に通常排泄されないものはどれか。	尿素	セルロース	②
011	2	1	真皮	1	皮膚と皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	真皮の線維成分は、膠原線維がその大部分を占める。	色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の角化に参与する。	①

012	2	1	真皮	2	皮膚と皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	皮下組織には、皮脂腺によって作られる脂肪が蓄えられている。	角化細胞は表面から角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層に分けられる。	②
013	2	2	毛	1	皮膚と皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	いわゆるトリハダ反応は、皮膚の毛細血管の収縮によって引き起こされる。	エクリン腺は、全身のほとんどの皮膚に広く分布する。	①
014	2	2	毛	2	皮膚と皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	成人の平均的な頭毛数は、約10万本である。	健康的な成人の頭毛は、生長期が短く、休止期が長い。	②
015	2	3	対外保護作用・体温調節作用	1	皮膚と皮膚付属器官の生理機能にかんする次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮膚における皮脂の分泌は、高齢になると次第に増加してくる。	皮膚の表面には、汗と皮脂が混じり合った弱酸性の脂肪膜（皮脂膜）がある。	①
016	2	3	対外保護作用・体温調節作用	2	皮膚と皮膚付属器官の生理機能にかんする次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮膚で体温調節を積極的に行っているのは、毛細血管と汗腺である。	皮膚で体温調節を積極的に行っているのは、毛根である。	②
017	2	4	毛の保護と手入れ／皮膚の保護と手入れ	1	皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	胃腸病患者は、最近や真菌による皮膚疾患にかかりやすい。	サンスクリーン剤は、紫外線を吸収または散乱させる作用をもっている。	①

018	2	4	毛の保護と手入れ／皮膚の保護と手入れ	2	皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	油性のフケ症では、よくシャンプーして、汚れやフケを落とすことが重要である。	皮膚は、老化により皮膚の張りや弾力が増していく。	②
019	2	5	菌・害虫等による皮膚疾患	1	皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	尋常性毛瘡（カミソリカブレ）－細菌（化膿菌）	アタマジラミ症－ヒゼンダニ	①
020	2	5	菌・害虫等による皮膚疾患	2	皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	単純性疱疹（単純性ヘルペス）－真菌（カビ）	円形脱毛症－ストレス	②
021	3	1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1	口及び鼻とその周辺の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	上下の口唇の間に囲まれた空間を口裂という。	上唇の正中線を上下に走る溝を鼻唇溝という。	②
022	3	1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	2	口及び鼻とその周辺の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	鼻は顔面の中央にあり、前頭部から続く部位を鼻根という。	空気の通り道で、外部から観察できる部位を鼻孔という。	②
023	3	2	末梢神経とそのはたらき	1	次のうち、末梢神経はどれか。	脊髄神経	延髄	①
024	3	2	末梢神経とそのはたらき	2	次のうち、末梢神経はどれか。	小脳	脳神経	②
025	3	3	血液循環の仕組み	1	次の動脈のうち、頭部または頸部に存在しないものはどれか。	冠状動脈	上唇動脈	②

026	3	3	血液循環の仕組み	2	次の動脈のうち、頭部または頸部に存在しないものはどれか。	形状動脈	後頭動脈	①
027	3	4	肺の仕組みとガス交換	1	一酸化炭素中毒の原因に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	呼吸運動が抑制されるため。	ヘモグロビンと一酸化炭素が結合し、一酸化炭素ヘモグロビンが形成されるため。	②
028	3	4	肺の仕組みとガス交換	2	一酸化炭素中毒の原因に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	ヘモグロビンと酸素の結合を阻害するため。	組織での酸素の利用を阻害するため。	②
029	3	5	泌尿器系の仕組み	1	次の臓器のうち、長さが、男女間で顕著に異なるものはどれか。	尿道	直腸	①
030	3	5	泌尿器系の仕組み	2	次の臓器のうち、長さが、男女間で顕著に異なるものはどれか。	尿管	尿道	②
031	4	1	真皮	1	皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	皮膚は、上から表皮、真皮、皮下組織の3つの層からなる。	表皮は、上から角質層、有棘層、顆粒層、透明層、基底層の5つの細胞層からなる。	①
032	4	1	真皮	2	皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	真皮は、膠原線維がその大部分を占め、その間に弾性線維が混在している。	色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の色素であるケラチンを作る細胞である。	①
033	4	2	爪	1	皮膚及び皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	毛母は、毛球の毛乳頭に接している部分をいう。	爪は、真皮の角質層の変形したもので、成分はコラーゲンである。	②

034	4	2	爪	2	皮膚及び皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	脂腺は、短い排出管を持って毛包に開口している。	エクリン腺は、体全体にまんべんなく分布している。	②
035	4	3	脂腺	1	皮膚及び皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	皮膚の表面にある脂肪膜は、弱酸性である。	皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは、脂腺である。	①
036	4	3	脂腺	2	皮膚及び皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	脂腺の発育は、男性ホルモンの影響を強く受ける。	爪は、爪母が保存されていても、剥がれると再生しない。	①
037	4	4	皮膚の保護と手入れ	1	皮膚及び皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮膚の健康に必要な栄養は、常に体から血液などによって供給される。	サンスクリーン剤は、赤外線を吸収する成分あるいは反射・散乱させる成分を含んでいる。	②
038	4	4	皮膚の保護と手入れ	2	皮膚及び皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	油性のフケ症の人は、皮膚を刺激しないために、シャンプーによる洗髪回数をなるべく少なくする。	糖尿病では、細菌や真菌による皮膚疾患にかかりやすい。	①
039	4	5	化膿菌による皮膚疾患	1	皮膚疾患と病原体に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	伝染性膿痂疹 - 真菌（カビ）	青年性扁平疣贅 - ウイルス	①
040	4	5	化膿菌による皮膚疾患	2	皮膚疾患と病原体に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	尋常性毛瘡 - 化膿菌	頭部白癬 - ヒゼンダニ	①

041	5	1	血液のあらまし	1	次の血球のうち、血液凝固を引き起こすものはどれか。	赤血球	血小板	②
042	5	1	血液のあらまし	2	次の血球のうち、細菌などの異物を処理し、生体を外敵から防ぐ働きをしており、顆粒球の大部分を占めるものはどれか。	好中球	リンパ球	①
043	5	2	顔面筋と表情運動	1	顔面筋とその働きに関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	眼輪筋 - 目を閉じる	笑筋 - 眉間にしわをつくって、眉を細める	②
044	5	2	顔面筋と表情運動	2	顔面筋とその働きに関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	前頭筋 - 額にしわをつくる	口輪筋 - 唇を開く	②
045	5	3	気道	1	次の消化器官のうち、消化管に含まれるものはどれか。	咽頭	肝臓	①
046	5	3	気道	2	次の消化器官のうち、消化管に含まれるものはどれか。	胆嚢	食道	②
047	5	4	泌尿器系の仕組み	1	次の臓器のうち、泌尿器系に含まれないものはどれか。	腎臓	肝臓	②
048	5	4	泌尿器系の仕組み	2	次の臓器のうち、泌尿器系に含まれるものはどれか。	脾臓	膀胱	②
049	5	5	人体とホルモン	1	次のホルモンのうち、最も糖尿病に関係するものはどれか。	アドレナリン	インスリン	②
050	5	5	人体とホルモン	2	次のホルモンのうち、甲状腺ホルモンの一種はどれか。	パラトルモン	サイロキシン	②
051	6	1	内分泌器系の調節機構	1	皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	角化細胞は、表面より、角質層、透明層、顆粒層、有棘層、基底層の5つの細胞層からなる。	色素細胞が生成したエラスチンは、顆粒細胞に伝達される。	①

052	6	1	内分泌器系の調節機構	2	皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	ランゲルハンス細胞は、免疫に関与する細胞である。	真皮の繊維成分は、ケラチンというタンパク質からできた弾性繊維がその大部分を占める。	①
053	6	2	表皮	1	皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	毛は、その中心部から順に毛髄質、毛皮質、毛小皮の3層からなる。	頭毛には成長期、脱落期、休止期という生長周期がある。	②
054	6	2	表皮	2	皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	健康な成人の頭毛では、全体の85~90%が休止期である。	爪には、成長周期がなく、絶えず生長を続けている。	①
055	6	3	毛	1	皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	脂肪膜（皮脂膜）と角質層のケラチンには、外的化学的刺激に対する保護作用がある。	脂腺の発育は、女性ホルモンの刺激によるもので、女性は男性より皮脂の分泌が多い。	②
056	6	3	毛	2	皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮膚描記症は、蕁麻疹の出やすい人では、その反応は強く起こる。	皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは脂腺である。	②
057	6	4	体温調節作用	1	皮膚および皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	荒れ性の皮膚では、通常、真皮の水分が増加している。	乾性のフケ性の人には、シャンプーをしすぎないようにすることが重要である。	①

058	6	4	体温調節作用	2	皮膚および皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮膚の分泌作用や新陳代謝は、加齢に伴って低下する。	紫外線は、尋常性痤瘡（ニキビ）や円形脱毛症の原因となる。	②
059	6	5	皮膚と精神	1	皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	肝斑（シミ）－真菌（カビ）	癬－細菌（化膿菌）	②
060	6	5	皮膚と精神	2	皮膚疾患と関連の深い因子に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	単純性疱疹（単純性ヘルペス）－シラミ	尋常性毛瘡（カミソリカブレ）－化膿菌	②
061	7	1	主な骨格筋とそのはたらき	1	筋肉に関することで正しいものはどれか。	上腕の押し出す動作などに作用する筋肉は腹筋である。	体幹内腔を腰と腹腔とに二分する膜状の筋を横隔膜という。	②
062	7	1	主な骨格筋とそのはたらき	2	筋肉に関することで正しいものはどれか。	外腹斜筋と内腹斜筋は協同筋である。	頸部にある筋肉の一つで、腕を上げる時に働くのは胸鎖乳突筋である。	①
063	7	2	末梢神経とそのはたらき	1	体の仕組みについて正しい記述はどれか。	ホルモンを分泌することで体の調整を行うのが内分泌系である。	一日の行動を示したものを日内変動という。	①
064	7	2	末梢神経とそのはたらき	2	体の仕組みについて正しい記述はどれか。	一定の時間以内に心臓が拍動する回数を心拍数という。	一日の呼吸する回数を呼吸回数という。	①
065	7	3	聴覚	1	感覚器官に関して正しい記述はどれか。	平衡感覚に関する感覚器を鼓膜という。	嗅覚の刺激物質を受容する細部を嗅細胞という。	②

066	7	3	聴覚	2	感覚器官に関して正しい記述はどれか。	視覚に関する感覚器を嗅細胞という。	深部感覚に関する感覚器を筋紡錘という。	①
067	7	4	血液の循環経路	1	次のうち、動脈が流れている部位はどれか。	右心房	肺静脈	②
068	7	4	血液の循環経路	2	次のうち、動脈が流れている部位はどれか。	左心房	肺動脈	①
069	7	5	消化腺とそのはたらき	1	消化の機能に関することで正しい記述はどれか。	アミラーゼは消化酵素の一種で、でんぷんなどを分解する働きを持つ。	トリプシンは動物の胃で働くタンパク質分解酵素の1つである。	①
070	7	5	消化腺とそのはたらき	2	消化の機能に関することで正しい記述はどれか。	唾液に含まれる消化酵素は一種をペプシンという。	資質を構成するエステル結合を加水分解する酵素群をリパーゼという。	②
071	8	1	皮下組織	1	身体（皮膚の構造）に関する正しい記述はどれか。	指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線によりできる模様は毛様体である。	指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線によりできる模様は指紋である。	②
072	8	1	皮下組織	2	身体（皮膚の構造）に関する正しい記述はどれか。	皮下脂肪組織中に蓄積された集合体を皮下脂肪という。	皮下脂肪組織中に蓄積された集合体を基礎細胞という。	①
073	8	2	脂腺（皮脂腺）	1	皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	毛と同様に、爪にも成長期、退行期、休止期という成長周期が存在する。	脂腺は、短い排出管を持っており、毛包に開口している分泌線である。	②

074	8	2	脂腺（皮脂腺）	2	皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	健康な成人の頭毛は、その多くが休止期である。	アポクリン腺は、脇の下などに多く分布している。	②
075	8	3	対外保護作用	1	皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮膚で体温調節を積極的に行なっているのは、毛細血管と汗腺である。	皮膚の表面にある脂肪膜は、弱アルカリ性のため細菌や真菌の発育を抑制し死滅させる。	②
076	8	3	対外保護作用	2	皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	爪は、爪床が少しでも侵されると、その部分の爪は変形したり、再生できなくなる。	皮膚は、表皮の一部に欠損が生じてても、基底細胞が保持されていればきれいに再生する。	①
077	8	4	皮膚の水分と脂の状態	1	皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	皮脂の分泌は、高齢になるとともに次第に増加する。	爪にできる縦みぞの数や程度は、高齢になるにつれて著しくなる。	①
078	8	4	皮膚の水分と脂の状態	2	皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	脂肪膜（皮脂膜）は、皮脂や汗がお互いに混じり合って乳化した形で皮膚を保護している。	糖尿病患者が、皮膚疾患にかかりやすくなるということはない。	②
079	8	5	子どもたちのおしゃれによる皮膚トラブル	1	皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	尋常性毛瘡（カミソリカブレ）は、主にひげの毛包に真菌が感染することで、慢性の炎症を起こす。	円形脱毛症は、他人に感染することはない。	①

080	8	5	子どもたちのおしゃれによる皮膚トラブル	2	皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	脂漏性皮膚炎は、フケ症の人に多くみられ、黄色調の紅斑に落屑を伴う。	染毛剤によるアレルギー性のカブレでは、同じ染毛剤でも低濃度であれば、再びかぶれることはない。	②
081	9	1	血液のあらまし	1	次の血球のうち、免疫を担うものはどれか。	リンパ球	顆粒球	①
082	9	1	血液のあらまし	2	次の血球のうち、酸素の運搬を担うものはどれか。	赤血球	血小板	①
083	9	2	骨格器系とそのはたらき	1	次の骨のうち、頭蓋に含まれるものはどれか。	仙骨	上顎骨	②
084	9	2	骨格器系とそのはたらき	2	次の骨のうち、上肢骨に含まれるものはどれか。	脛骨	鎖骨	②
085	9	3	末梢神経とそのはたらき	1	副交感神経が優位になったときに起こる現象は、次のうちどれか。	瞳孔の散大	心拍数の減少	②
086	9	3	末梢神経とそのはたらき	2	副交感神経が優位になったときに起こる現象は、次のうちどれか。	皮膚血管の拡張	消化機能の抑制	①
087	9	4	心臓と血管のはたらき	1	循環器に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	心臓の収縮時の血圧のことを、最低血圧とよぶ。	血液を流す構造を血管とよび、リンパを流す構造をリンパ管とよぶ。	①
088	9	4	心臓と血管のはたらき	2	循環器に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	心臓の拍動による波動のことを、脈拍とよぶ。	心臓の運動による電気現象を記録したものを、X線写真とよぶ。	②

089	9	5	消化腺とそのはたらき	1	次の内分泌線とホルモンに関する記述のうち、正しいものはどれか。	甲状腺からは、グルココルチコイドが分泌される。	膵臓からは、インスリンが分泌される。	②
090	9	5	消化腺とそのはたらき	2	次の内分泌線とホルモンに関する記述のうち、正しいものはどれか。	卵巣からは、成長ホルモンが分泌される。	副腎髄質からは、アドレナリンが分泌される。	②
091	10	1	真皮	1	皮膚の構造に関する記述のうち、正しいものはどれか。	皮膚は、表面により表皮、真皮、皮下組織の順で3つの層からなっている。	角化細胞とは、メラニンと呼ばれている皮膚の色素をつくる細胞である。	①
092	10	1	真皮	2	皮膚の構造に関する記述のうち、正しいものはどれか。	真皮の線維成分は、コラーゲンというたんぱく質からできた膠原線維が、その大部分を占める。	ランゲルハンス細胞とは、皮下組織内に分布する触覚に関与する細胞のことである。	①
093	10	2	毛	1	皮膚付属器官の構造に関する記述のうち、誤っているものはどれか。	ヒトの頭毛の数は、約130万～140万本であるとされている。	毛の細胞は、細胞分裂が盛んに行われる毛母と呼ばれる個所でつくられる。	①
094	10	2	毛	2	皮膚付属器官の構造に関する記述のうち、誤っているものはどれか。	毛のうち、皮膚の内側にある部分を毛幹という。	毛は、中心部から毛髄質、毛皮質、毛小皮の3つの層よりなっている。	①

095	10	3	爪	1	皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	皮膚で体温調節を行っているのは、エクリン腺などの汗腺である。	皮膚の表面に分泌される皮脂は、脂肪細胞でつくられる。	①
096	10	3	爪	2	皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	日焼けによって皮膚が黒くなるのは、赤外線的作用によるものである。	爪をつくる爪母の一部が侵されると、その部分の爪は変形したり、再生できなくなる。	②
097	10	4	皮膚の保護と手入れ	1	皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	高齢になると、皮膚の分泌作用や新陳代謝が低下して、皮膚の乾燥を引き起こす。	健康な皮膚の表面は、弱アルカリ性を示す。	②
098	10	4	皮膚の保護と手入れ	2	皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	老化に伴って、皮膚のハリと弾力が失われると、皮膚にたるみが生じるためシワとなる。	糖尿病は感染症ではないため、糖尿病患者が真菌などによる皮膚の感染症にかかりやすくなることはない。	②
099	10	5	毛と爪の疾患	1	皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	接触皮膚炎（カブレ）の原因を見出すには、プリックテストが最も確実な方法である。	青年性扁平疣贅は、その原因がウイルスで、顔面などに多くみられる。	①
100	10	5	毛と爪の疾患	2	皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	円形脱毛症は、その原因がウイルスであるため、感染する可能性がある。	伝染性膿痂疹（トビヒ）は、その原因が化膿菌であるため、感染する可能性がある。	①

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
101	11	1	光の性質	1	光に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	光の速度は一般に真空中で一定である。	姿見で全身を映すには、鏡と人の距離には関係なく身長と同じ長さの鏡が必要である。	①
102	11	1	光の性質	2	光に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	蛍光灯のような光を出す光源の明るさを、照度という。	平面鏡を用いることで、鏡に映る照明の反射光の分だけ明るさが増す。	②
103	11	2	サンケア製品	1	紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	紫外線は窓ガラスによっては通過しないものがあるので、ガラス戸の内側では日光消毒ができない。	紫外線には熱作用がある。	①
104	11	2	サンケア製品	2	紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	紫外線には、皮膚でケラチンを形成する化学作用がある。	紫外線には、殺菌効果の化学作用がある。	②
105	11	3	化学結合	1	物質と化学結合に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	水－共有結合	水素－水素結合	①
106	11	3	化学結合	2	物質と化学結合に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	アルミニウム－イオン結合	塩化カルシウム－イオン結合	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
107	11	4	パーマ剤	1	酸化剤と還元剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	過酸化水素水は、ヘアブリーチ剤や染毛剤などに酸化剤として用いられる。	システインは、パーマメントウェーブ用剤の第2剤（2液）に配合される。	①
108	11	4	パーマ剤	2	酸化剤と還元剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	チオグリコール酸は、パーマメントウェーブ用剤の第1剤（1液）に配合される。	次亜塩素酸ナトリウム水溶液には酸化作用がある。	①
109	11	5	無機顔料	1	香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	酸化クロムは、着色顔料である。	β -カロチンは、タール色素である。	①
110	11	5	無機顔料	2	香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	カオリンは、体質顔料である。	酸化亜鉛は、体質顔料である。	①
111	12	1	高分子化合物の種類と特性	1	高分子化合物に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	合成高分子化合物－キトサン	天然高分子化合物（動物系）－コラーゲン	①
112	12	1	高分子化合物の種類と特性	2	高分子化合物に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	半合成高分子化合物－コラーゲン	天然高分子化合物（植物系）－アラビアゴム	①
113	12	2	界面活性剤の種類と香粧品配合成分があたえる機能	1	香粧品原料とその効果に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	ヒアルロン酸ナトリウム塩－保湿効果	パラオキシ安息香酸エステル－日焼け防止効果	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
114	12	2	界面活性剤の種類と香粧品配合成分があたえる機能	2	香粧品原料とその効果に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	陽イオン界面活性剤の第4アンモニウム塩－毛髪の帯電防止効果	高級アルコール系合成洗剤－毛髪の帯電防止効果	②
115	12	3	高分子化合物	1	次の高分子化合物とそれを構成する単位低分子の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	デンプン－エタノール	ケラチン－アミノ酸	②
116	12	3	高分子化合物	2	次の高分子化合物とそれを構成する単位低分子の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	セルロース－グルコース	ポリエチレン－イソプレン	①
117	12	4	パーマ剤・染毛剤の種類と染毛メカニズム	1	次の香粧品のうち、医薬部外品として分類されているものはどれか。	サンスクリーン剤	染毛剤	②
118	12	4	パーマ剤・染毛剤の種類と染毛メカニズム	2	次の香粧品のうち、医薬部外品として分類されているものはどれか。	アストリンゼントローション	パーマネントウェーブ用剤	②
119	12	5	制汗・防臭剤	1	制汗・脱臭剤による体臭の防止方法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	殺菌剤により発汗を抑える。	収れん剤を用いて発汗を抑える。	①
120	12	5	制汗・防臭剤	2	制汗・脱臭剤による体臭の防止方法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	香料を利用して悪臭をマスキングする。	キレート剤を用いて金属イオンを封鎖する。	②
121	13	1	刃物と力	1	力による物体の変形に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	引っ張るように力が働くときに物体は、伸びる。	引っ張るように力が働くときに物体は、縮む。	①

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
122	13	1	刃物と力	2	力による物体の変形に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	ずれは、物体の上面と下面に、同じ向きの力が平行に働くときに生ずる変形である。	たわみは、伸びと縮みが組み合わさって生ずる変形である。	②
123	13	2	物質の状態変化	1	物質の三態について、分子運動の小さい（不活発な）ものから大きい（活発な）ものの順に列記したものは、次のうちどれか。	個体 < 液体 < 気体	気体 < 液体 < 個体	①
124	13	2	物質の状態変化	2	物質の三態について、分子運動の小さい（不活発な）ものから大きい（活発な）ものの順に列記したものは、次のうちどれか。	水蒸気 < 水 < 氷	氷 < 水 < 水蒸気	②
125	13	3	紫外線の性質	1	紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	紫外線を人工的に照射する紫外線灯は、殺菌灯として用いられる。	紫外線は、赤色光の外側の長波長側に分布する領域の光である。	①
126	13	3	紫外線の性質	2	紫外線に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	紫外線は、皮膚でビタミンDを生成する作用がある。	太陽光の熱作用は、紫外線の放射によるものである。	①
127	13	4	物質の構成	1	物質の構成に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	塩化ナトリウムは、ナトリウムとの塩素の化合物である。	エタノール、デンプン、タンパク質は、無機化合物である。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
128	13	4	物質の構成	2	物質の構成に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	自然界に存在する空気や海水は、混合物である。	窒素、水素などは、ただ1種類の元素から成り立つ物質で、化合物である。	②
129	13	5	酸と塩某の性質	1	次の酸のうち、有機酸に該当するものはどれか。	硫酸	フェノール	②
130	13	5	酸と塩某の性質	2	次の酸のうち、有機酸に該当するものはどれか。	酢酸	塩酸	①
131	14	1	酸と塩某の性質	1	酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	フェノールフタレインは、酸性溶液中で無色である。	フェノールフタレインは、アルカリ性の溶液中では青色である。	①
132	14	1	酸と塩某の性質	2	酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	赤色リトマス試験紙は、アルカリ性の水溶液で青色に変化する。	青色リトマス試験紙は、アルカリ性の水溶液で赤色に変化する。	①
133	14	2	天然色素	1	香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	タルクは、滑石を原料として作られる体質顔料である。	化粧品に使用できるタール色素は、厚生省令で定められてない。	②
134	14	2	天然色素	2	香粧品に用いられる色材に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	微粒子酸化チタンは、紫外線遮断剤として用いられている。	天然色素は、タール色素に比べて、着色力や耐光性、耐薬品性が優れている。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
135	14	3	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	1	香粧品に用いられる配合成分とその配合目的に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	パラオキシ安息香酸エステルは、殺菌剤一つである。	ベンザルコニウム塩化物やトリクロサンは、殺菌剤の一つである。	①
136	14	3	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	2	香粧品に用いられる配合成分とその配合目的に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	ジブチルヒドロキシルエンは、抗酸化剤である。	クロルヘキシジンは、紫外線遮断剤である。	②
137	14	4	高分子物質を基材とするスタイリング剤	1	頭皮・毛髪に使用する香粧品に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	エアゾールタイプのスタイリング剤には、噴射剤として可燃性のポリエチレンが用いられる。	皮膜形成剤を配合したスタイリング剤に対しては、合成粘液質のポリビニルピロリドンが用いられている。	①
138	14	4	高分子物質を基材とするスタイリング剤	2	頭皮・毛髪に使用する香粧品に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	ヘアリンス剤に用いられる陽イオン界面活性剤の第4級アンモニウム塩は、毛髪の帯電防止効果がある。	ムース状のスタイリング剤、陰イオン界面活性剤の高級アルコール系合成洗剤が主成分である。	②
139	14	5	ヘアカラーの種類と染毛メカニズム	1	酸化染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	酸化染毛剤は、染着の仕組みの違いによる分類では永久染毛剤に属する。	酸化染毛剤は、化粧品である。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
140	14	5	ヘアカラーの種類と染毛メカニズム	2	酸化染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	パラフェニレンジアミンは、酸化染毛剤に使用される有効成分の一つである。	酸化染毛剤は、一度だけパッチテストを行う必要がある。	②
141	15	1	てこ	1	てこを用いて物体を動かすとき、作用点から支点までの距離が2cm、支点から力点までの距離が10cmであった場合において次の記述のうち、正しいものはどれか。	作用点にかかる力は、力点にかける力の5倍である。	作用点にかかる力は、力点にかける力の20倍である。	①
142	15	1	てこ	2	てこの原理において、次の記述のうち、正しいものはどれか。	作用点から支点までの距離を伸ばすことで少ない力で物体を動かすことができる。	力点から支点までの距離を伸ばすことで少ない力で物体を動かすことができる。	②
143	15	2	電気のエネルギー	1	100ボルトの電圧で、消費電力1200ワットのヘアドライヤーを使用したとき、流れている電流の値として正しいものはどれか。	12アンペア	1200アンペア	①
144	15	2	電気のエネルギー	2	1000ワットの消費電力のヘアドライヤーを使用したとき、流れている電流は5アンペアだった。このときの電圧で正しいものはどれか。	100ボルト	200ボルト	②
145	15	3	酸と塩基の性質	1	酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	塩基性溶液のpHは7より小さい。	塩基性溶液のpHは7より大きい。	②
146	15	3	酸と塩基の性質	2	酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	酢酸は強酸である。	酢酸は無機酸である。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
147	15	4	高分子化合物	1	天然高分子化合物とその分類に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	ケラチン－硬タンパク質	セルロース－可溶性タンパク質	①
148	15	4	高分子化合物	2	天然高分子化合物とその分類に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	ヘモグロビン－単純タンパク質	コラーゲン－単純タンパク質	②
149	15	5	硬水と軟水	1	硬水と軟水に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	一時硬水は、煮沸すると軟化する。	永久硬水とは、カルシウムイオンやマグネシウムイオンが炭酸水素塩として含まれる水をいう。	②
150	15	5	硬水と軟水	2	硬水と軟水に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	軟水とはカルシウムイオンやマグネシウムイオンをあまり含まない硬度の低い水をいう。	軟水とはカルシウムイオンやマグネシウムイオンを多量に含む硬度の高い水をいう。	②
151	16	1	刃物と力	1	金属とさびに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	特殊鋼は、さびにくくするために鋼に他の成分を混ぜて作られた合金である。	黒さびは、鉄そのものを腐食させ、ポロポロにする性質を持つ。	②
152	16	1	刃物と力	2	金属とさびに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	鉄の赤さびは、質が緻密で内部を保護する働きがある。	金属のさびを防ぐためには、乾燥した場所での保存めっきなどの方法がある。	①

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
153	16	2	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	1	香粧品に配合される成分とその主な配合目的に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	ベンザルコニウム塩化物（塩化ベンザルコニウム）－殺菌剤	ベンゾフェノン誘導体－保湿剤	①
154	16	2	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	2	香粧品に配合される成分とその主な配合目的に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。	ヒアルロン酸ナトリウム－酸化防止剤	パラオキシ安息香酸エステル－防腐剤	②
155	16	3	皮脂の汚れと清浄作用	1	石けんに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	石けんは、界面活性剤の一種である。	石けんは、油脂を酸で加水分解し作る。	①
156	16	3	皮脂の汚れと清浄作用	2	石けんに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	硬質石けんは、水酸化ナトリウムを用いて作る。	軟質石けんは、水酸化ナトリウムを用いて作る。	①
157	16	4	パーマ剤第1剤	1	パーマネントウェーブ用剤第1剤（1液）に含まれる還元剤は、次のうちどれか。	シスチン	チオグリコール酸	②
158	16	4	パーマ剤第1剤	2	ナトリウムの臭酸化塩で、パーマネントウェーブ溶剤第2剤に使用されるものは、次のうちどれか。	シスチン	臭酸素ナトリウム	②
159	16	5	永久染毛剤	1	染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	酸化染毛剤は、1回の洗髪で除去される。	染料中間体はカップラーとともに用いると、様々な色調に染毛できる。	②
160	16	5	永久染毛剤	2	染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	半永久染毛剤は、着色剤を毛髪の表面に付着させて着色する。	一時着色料は、着色剤を毛髪の表面に付着させて着色する。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
161	17	1	サンケア製品	1	赤外線と紫外線に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	赤外線は、可視光線より波長が長い。	紫外線は、皮膚でビタミンCを生成する作用がある。	②
162	17	1	サンケア製品	2	赤外線と紫外線に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	紫外線は、消毒・殺菌の作用がある。	赤外線は、血液循環に悪い影響を与える。	②
163	17	2	電気のエネルギー	1	1000Wのヘアアイロンを100Vで毎日2時間ずつ25日間使用した場合の電力量[kWh]を求める計算式として正しいものは、次のうちどれか。	$1000 \times 2 \times 25 \div 1000 = 50[\text{kWh}]$	$100 \times 2 \times 25 \div 1000 = 5[\text{kWh}]$	①
164	17	2	電気のエネルギー	2	1000Wのヘアアイロンを100Vで毎日2時間ずつ25日間使用した場合の電力量[kWh]を求める計算式として正しいものは、次のうちどれか。	$1000 \div 100 \times 2 \times 25 \div 1000 = 0.5[\text{kWh}]$	$1000 \times 2 \times 25 \div 1000 = 50[\text{kWh}]$	②
165	17	3	電気のエネルギー／電流と磁界	1	美容器具と電流の作用に関する次の記述のうち、誤っているものどれか。	ヘアアイロンは、電流の熱作用を利用したものである。	赤外線灯は、電流の化学作用を利用したものである。	②
166	17	3	電気のエネルギー／電流と磁界	2	美容器具と電流の作用に関する次の記述のうち、誤っているものどれか。	エレクトリッククリッパーは、電流の磁気作用を利用したものである。	ヘアドライヤーは、電流の磁気作用と酸化作用を利用したものである。	②
167	17	4	刃物と力／熱の伝わり方	1	金属の性質に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	白金は鉄に比べて酸化されやすい。	鉄は湿った空気中では赤さびがしやすい。	①

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
168	17	4	刃物と力／熱の伝わり方	2	金属の性質に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	金属は木材にくらべて熱の伝導率が小さい。	金属は線状や板状に加工できる。	①
169	17	5	酸と塩某の性質	1	次の酸と塩基の組み合わせのうち、弱酸と弱塩基の組み合わせはどれか。	酢酸－アンモニア水	硝酸－水酸化ナトリウム	①
170	17	5	酸と塩某の性質	2	次の酸と塩基の組み合わせのうち、弱酸と弱塩基の組み合わせはどれか。	酢酸－水酸化ナトリウム	炭酸－アンモニア水	②
171	18	1	低分子化合物	1	アルコールに関する次の記述のうち、誤っているものどれか。	メタノールは、化粧水の原料に用いられる。	エタノールは、皮膚を引き締める収れん作用がある。	①
172	18	1	低分子化合物	2	アルコールに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	プロピレングリコールやグリセリンは、保湿剤として利用される。	油脂はグリセリンと脂肪酸との乳化作用からなる。	②
173	18	2	硬水と軟水	1	軟水と硬水に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	カリウムイオンやナトリウムイオンを多量に含有する水を、永久硬水という。	一時硬水は、煮沸するだけで参加し、軟水となる。	②
174	18	2	硬水と軟水	2	軟水と硬水に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	カリウムイオンやナトリウムイオンを多量に含有する水を、永久硬水という。	軟水中では、石けんはよく泡立ち、効果的な洗浄作用を発揮する。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
175	18	3	界面活性剤の種類	1	界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	非イオン界面活性剤は、逆性石けんともいわれ、第四級アンモニウム塩も含まれる。	陰イオン界面活性剤には、洗浄力に優れているものが多く、石けんや合成洗剤がある。	②
176	18	3	界面活性剤の種類	2	界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	陽イオン界面活性剤は、化粧品に含まれることもある。	両性界面活性剤は、水溶液中でイオン化しないので、クリームなどに乳化剤として用いられる。	①
177	18	4	ヘアリンス剤／育毛・養毛剤／永久染毛剤	1	頭皮及び毛髪化粧品とその配合成分に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	ヘアリンス剤－陽イオン界面活性剤	ヘアブリーチ剤－アセチルシステイン	②
178	18	4	ヘアリンス剤／育毛・養毛剤／永久染毛剤	2	頭皮及び毛髪化粧品とその配合成分に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。	育毛剤－抗男性ホルモン剤	スタイリング剤－パラフェニレンジアミン	②
179	18	5	パーマの原理とパーマ剤	1	パーマネントウェーブの原理に関する次の記述のうち、□に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。 「毛髪を形成するケラチンの架橋構造の__A__結合を第1剤に（1液）に含まれるチオグリコール酸などの__B__により切断し、次にカーリングロッドに毛髪を巻いて第2剤（2液）を作用させると、含まれる__C__などの薬剤の働きにより架橋構造にズレを生じた状態で__A__結合が復元し、ウェーブが固定される。」	A－シスチン B－還元剤 C－臭素酸カリウム	A－ペプチド B－酸化剤 C－アンモニア	①

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
180	18	5	パーマの原理とパーマ剤	2	「毛髪を形成するケラチンの架橋構造の__A__結合を第1剤に（1液）に含まれるチオグリコール酸などの__B__により切断し、次にカーリングロッドに毛髪を巻いて第2剤（2液）を作用させると、含まれる__C__などの薬剤の働きにより架橋構造にズレを生じた状態で__A__結合が還元し、ウェーブが固定される。」	A－多重 B－中和剤 C－アンモニア	A－シスチン B－還元剤 C－臭素酸カリウム	②
181	19	1	温度と熱／物質の状態変化	1	温度と熱に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	一般に、地上における水の氷点は0℃であり、沸点は100℃であるとされている。	水と氷を入れた水枕は、氷が溶けきるまでの間に、融解による温度上昇が発生する。	①
182	19	1	温度と熱／物質の状態変化	2	温度と熱に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	タオルを煮沸消毒する場合、その湯が沸騰している間に、温度上昇が発生する。	冷えた空気は下方へ移動することから、冷房機器は部屋の上部に設置すると良いといえる。	②
183	19	2	電気のエネルギー	1	電気と電気機器に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	水道水は絶縁体なので、濡れた電気機器のプラグをコンセントに差ししても感電の危険はない。	ヘアアイロンでコードよりロッドが熱くなるのは、ロッド部分の電気抵抗がコード部分の電気抵抗より大きいからである。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
184	19	2	電気のエネルギー	2	電気と電気機器に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	日本における交流の周波数は、地域によって30Hzと40Hzで異なっている。	500Wの電熱器を100Vの電源に繋いで、毎日4時間ずつ15日間使用すると、電力量は30kWhになる。	②
185	19	3	刃物と力	1	刃物に用いる鋼の原料として、一般に使用されるものは次のうちどれか。	クロム	ゲルマニウム	①
186	19	3	刃物と力	2	刃物に用いる鋼の原料として、一般に使用されるものは次のうちどれか。	炭素	亜鉛	①
187	19	4	界面活性剤の種類	1	界面活性剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	性質上、逆性石けんともよばれるものは、陽イオン界面活性剤である。	洗髪等に用いられるアルキル硫酸ナトリウムは、陽イオン界面活性剤である。	②
188	19	4	界面活性剤の種類	2	界面活性剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	グリセリン脂肪酸エステルなどの非イオン界面活性剤は、他と比べて毒性や皮膚刺激性が低い。	両性界面活性剤は、溶液の温度が約60℃以下であるときに、陰イオン界面活性剤の性質を示す。	②
189	19	5	エタノールとその他の油井原料	1	アルコールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	セタノールは、撥水性を有するため、ヘアスプレーなどによく用いられる。	エタノールには、皮膚組織を引き締める収れん作用がある。	②

No.	回	テーマ		問	問 題	選択肢①	選択肢②	正解
190	19	5	エタノールとその他の油井原料	2	アルコールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	グリセリンは、保湿剤としてよく用いられる。	メタノールは、溶媒として化粧水やヘアトニックによく用いられる。	①
191	20	1	高分子化合物の種類と特性／香粧品配合分があたえる機能	1	高分子化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	デンプンやセルロースなどは、合成高分子化合物である。	ポリビニルピロリドンは、ヘアスプレーの皮膜形成剤として古くから用いられている。	①
192	20	1	高分子化合物の種類と特性／香粧品配合分があたえる機能	2	高分子化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	コラーゲンは、皮膚の水分を保持するモイスチャー効果を持つ。	ケラチンは、ほかのタンパク質と比べるとシスチンの含有量が圧倒的に少ない。	②
193	20	2	染毛剤の種類と染毛メカニズム	1	染毛剤や染毛料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	染毛剤・染毛料のうち、医薬部外品であるものの例として、ヘアブリーチ剤が挙げられる。	一時着色料は、染料が髪を表層部に浸透するが、シャンプーのたびに少しずつ除去されていく。	①
194	20	2	染毛剤の種類と染毛メカニズム	2	染毛剤や染毛料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	半永久染毛料は、メラニンの脱色と、酸化剤による化学反応を利用した染毛を同時に行う。	酸化染毛剤を用いる際は、その度にパッチテストを行い、安全性を確認しなければならない。	②

195	20	3	パーマの原理	1	毛髪とパーマネントウェーブの原理に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	水素の化合物が水素を失う反応のことを、酸化という。	パーマネントウェーブ用剤第1剤（1液）の主成分の働きは、酸化である。	①
196	20	3	パーマの原理	2	毛髪とパーマネントウェーブの原理に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	皮膚や毛髪に多く含まれるタンパク質であるケラチンは、極めて水に溶けにくい性質を持つ。	ケラチンの主成分は、元素番号17の塩素である。	①
197	20	4	無機顔料	1	香粧品に用いられる色材とその分類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	酸化鉄は、着色顔料に分類される。	雲母チタンは、天然色素に分類される。	①
198	20	4	無機顔料	2	香粧品に用いられる色材とその分類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。	酸化亜鉛（亜鉛華）は、光輝性顔料に分類される。	タルクは、体質顔料に分類される。	②
199	20	5	シャンプー剤・ヘアリンス剤・育毛養毛剤・染毛剤	1	頭皮・毛髪用香粧品とその配合成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	酸化染毛剤における配合成分としては、パラフェニレンジアミンが一般的である。	ヘアリンス剤における配合成分としては、臭素酸ナトリウムが一般的である。	②
200	20	5	シャンプー剤・ヘアリンス剤・育毛養毛剤・染毛剤	2	頭皮・毛髪用香粧品とその配合成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。	育毛剤における配合成分としては、センブリエキ스가一般的である。	シャンプー剤における配合成分としては、ジメチルエーテルが一般的である。	②

◆ 美容分野 基礎学力教育プログラム 問題コンテンツ② 〈確認問題〉

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
001	1	1	1	眼輪筋	眼の周囲を取り巻いて走っている、眼を閉じる時に働く筋肉を何と言うか。	眼輪筋	口輪筋	前頭筋	①
002	1	1	2	口輪筋	人間の頭部の浅頭筋のうち、口唇周辺にかけての口筋の中で、口の周囲を前方に尖らせる筋肉を何と言うか。	前頭筋	口輪筋	耳介筋	②
003	1	1	3	前頭筋	人間の頭部の浅頭筋のうち、頭蓋周囲の頭蓋表筋（後頭前頭筋）に含まれる筋肉を何と言うか。	上腕二頭筋	前頭筋	三角筋	③
004	1	2	1	骨格筋	動物の筋肉の一分類で、骨格を動かす筋肉を何と言うか。	骨格筋	内臓筋	浅頭筋	①
005	1	2	2	心臓	血液循環の原動力となる器官を何と言うか。	肺	肝臓	心臓	③
006	1	2	3	血管	血液を身体各所に送るための通路を何と言うか。	膀胱	気管	血管	③
007	1	2	4	消化管	口から肛門までの食物の通路を何と言うか。	消化官	気管	血管	①
008	1	3	1	左心室	心臓の4つの部屋のうち、全身に広く流れる血液を送るポンプの役割を果たしている部屋のことを何と言うか。	右心室	左心室	右心室	②
009	1	3	2	動脈	酸素と栄養分に富む動脈血を身体各部に運ぶ血管を何と言うか。	動脈	気管	静脈	①
010	1	3	3	毛細血管	小動脈が非常に細かく枝分かれして網目状になった血管を何と言うか。	毛細血管	動脈	静脈	①
011	1	3	4	静脈	各臓器、組織から心臓のほうに血液を戻す血管を何と言うか。	静脈	気管	動脈	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
012	1	3	5	右心房	心臓の4つの部屋のうち、全身からの静脈血を受け右心室に送る役割を果たしている部屋のことを何と言うか。	左心房	左心室	右心房	③
013	1	3	6	左心房	心臓の4つの部屋のうち、肺から送られた新鮮な血液を左心室へ送り出す役割を果たしている部屋のことを何と言うか。	右心房	左心房	右心室	②
014	1	3	7	右心室	心臓の4つの部屋のうち、右心房から静脈血を受け肺動脈へ送り出す役割を果たしている部屋のことを何と言うか。	左心室	左心房	右心室	③
015	1	3	8	肺動脈	心臓から肺に静脈血を送る動脈を何と言うか。	肺動脈	肝静脈	右心室	①
016	1	4	1	食道	消化管の一部で、咽頭から胃に至る管状の消化器官を何と言うか。	食道	胃	小腸	①
017	1	4	2	膀胱	腎臓でつくられる尿を一時的にたくわえておく筋性の袋状の器官を何と言うか。	肝臓	膀胱	肺	②
018	1	4	3	尿道	膀胱内の尿を体外に排出する管を何と言うか。	器官	小腸	尿管	③
019	1	4	4	副腎	左右の腎臓の上に接して1個ずつ存在する、内分泌器官を何と言うか。	副腎	肝臓	大腸	①
020	1	5	1	尿素	尿中の成分のうち、水分を除く固形成分で一番多いものを何と言うか。	尿酸	尿素	クレアチニン	②
021	1	5	2	アンモニア(美容保健)	刺激臭のある無色の気体で、水によく溶けるアルカリ性のものを何と言うか。	アンモニア	グルコース	ナトリウム	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
022	1	5	3	グルコース	単糖類の一つで、ブドウ糖ともいわれるものを何と言うか。	クレアチニン	グルコース	ナトリウム	②
023	1	5	4	クレアチニン	一般に筋肉で生成され、腎臓から尿中に排泄されるものを何と言うか。	グルコース	尿素	クレアチニン	③
024	2	1	1	角化細胞	表皮最下層の基底層で分裂して順次皮膚表面へと移行し、最後は垢となる過程をとる、表皮のケラチン生成細胞を何と言うか。	色素細胞	マスト細胞	角化細胞	③
025	2	1	2	色素細胞(メラノサイト)	皮膚の色素であるメラニンをつくる細胞で、基底細胞の間に点々と存在し、長い細胞突起をもつものを何と言うか。	色素細胞	角化細胞	肥満細胞	①
026	2	1	3	真皮	皮膚の表皮の下の結合組織層を何と言うか。	弾性繊維	真皮	メラニン	②
027	2	1	4	コラーゲン(美容保健)	動物の骨、軟骨、腱、皮膚などの結合組織を構成する主要なたんぱく質を何と言うか。	アミラーゼ	コラーゲン	メラニン	②
028	2	1	5	膠原繊維	結合組織を構成する線維の一種で、腱・靱帯・骨などに多く含まれている、コラーゲンからなるもののことを何と言うか。	膠原繊維	スクロース	エクリン腺	①
029	2	1	6	皮脂腺	皮脂の内層にあって、毛孔を通すことで蓄積した脂質を皮脂として体表に分泌する腺を何と言うか。	アポクリン腺	皮脂腺	弾性繊維	②
030	2	2	1	エクリン腺	汗を出して体温調節をする腺を何と言うか。	アポクリン腺	エクリン腺	色素細胞	②
031	2	3	1	脂肪膜(皮脂膜)	皮膚表面の汗と皮脂が混じり合っでできた膜で、皮膚の表面に存在するものを何と言うか。	脂肪膜(皮脂膜)	横隔膜	筋膜	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
032	2	3	2	汗腺	汗を分泌する皮膚腺を何と言うか。	唾液腺	甲状腺	汗腺	③
033	2	3	3	水疱	漿液（しょうえき）がたまって皮膚の表皮下にできる発疹を何と言うか。	かさぶた	口内炎	水疱	③
034	2	3	4	色素沈着	生体内の細胞に色素が貯留し、色調が変化することを示す語を何と言うか。	アナフィラキシーショック	色素沈着	アレルギー	②
035	2	4	1	フケ症	頭皮表面の角質細胞が多く脱落する症状を何と言うか。	感染症	フケ症	炎症	②
036	2	4	2	真菌	菌類のうち、細菌や粘菌を除くものの総称を何と言うか。	真菌	微生物	バクテリア	①
037	2	5	1	尋常性毛瘡（カミソリカブレ）	カミソリでそったあとに生じる皮膚の炎症を何と言うか。	尋常性毛瘡	口内炎	虫垂炎	①
038	2	5	2	アタマジラミ症	シラミが寄生することによって、かゆみがともなう症状を何と言うか。	ストレス症	アタマジラミ症	自律神経失調症	②
039	2	5	3	単純性疱疹	単純ヘルペスウイルスの感染で生じる病気を何と言うか。	自律神経失調症	胃潰瘍	単純性疱疹	③
040	3	1	1	口裂	上下の口唇の間に囲まれた空間を何と言うか。	口裂	鼻唇溝	唇	①
041	3	1	2	鼻唇溝	鼻翼の外側縁から口角の外側縁に向かうものを何と言うか。	鼻唇溝	唇	口裂	①
042	3	1	3	鼻根	顔面の中央にある、前頭部から続く部位を何と言うか。	口裂	延髄	鼻根	③
043	3	1	4	外鼻孔	空気の通り道のうち、外部から観察できる部位を何と言うか。	鼻根	外鼻孔	鼻唇溝	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
044	3	2	1	大脳	脳の中で最も主要な部分で、溝によって前頭葉、側頭葉などがあるものを何と言うか。	小脳	中脳	大脳	③
045	3	2	2	延髄	生命を維持する上で極めて重要な中枢がいくつかあり、脊椎動物の脳の最下部にあるものを何と言うか。	骨髄	延髄	脊髄	②
046	3	2	3	小脳	運動機能の調整や、平衡・眼球運動の調整を司る、脳の部位を何と言うか。	小脳	中脳	大脳	①
047	3	2	4	脳神経	脊椎動物の神経系に属する器官で、脳から直接出ている末梢神経の総称を何と言うか。	骨髄	脳神経	延髄	②
048	3	2	5	末梢神経	体の各部位に存在する神経繊維を何と言うか。	視神経	脳神経	末梢神経	③
049	3	3	1	冠状動脈	心臓に血液を供給するための血管を何と言うか。	冠状動脈	後頭動脈	内頸動脈	①
050	3	3	2	上唇動脈	頭頸部の動脈の1つで、顔面動脈の枝であり、曲がりくねっている動脈を何と言うか。	後頭動脈	内頸動脈	上唇動脈	③
051	3	3	3	内頸動脈	上行大動脈からは左右の総頸動脈が分岐してできている。この総頸動脈から分岐する動脈のことを何と言うか。	冠状動脈	内頸動脈	後頭動脈	②
052	3	3	4	後頭動脈	顔面動脈と同じ高さで後側より起こり、頸二腹筋後腹の下方を通して後頭部へと向かうものを何と言うか。	後頭動脈	冠状動脈	内頸動脈	①
053	3	4	1	一酸化炭素中毒	ヘモグロビンと酸素の結合を阻止することで起こるものを何と言うか。	脳卒中	貧血	一酸化炭素中毒	③
054	3	4	2	肺胞	血液とガスの交換の場を何と言うか。	脳下垂体	肺胞	気管支	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
055	3	4	3	ヘモグロビン (美容保健)	動物の血液中に見られる、赤血球の中に存在するたんぱく質を何と言うか。	ヘモグロビン	ペプシン	ニコチン	①
056	3	5	1	尿管	腎で作った尿を膀胱に運ぶ管腔臓器を何と言うか。	尿管	尿道	食道	①
057	3	5	2	直腸	肛門直前の腸の部分を何と言うか。	小腸	直腸	大腸	②
058	4	1	1	表皮	多細胞生物の最も外側を覆う組織で、内部を保護する役割を担っているものを何と言うか。	真皮	皮下組織	表皮	③
059	4	1	2	皮下組織	外からの衝撃を和らげて体の内部を守ったり、体温を保つための断熱材のような働きをしているものとして最も適しているものを何と言うか。	皮下組織	真皮	表皮	①
060	4	2	1	毛母	毛球の毛乳頭に接している部分を何と言うか	毛中	毛包	毛母	③
061	4	2	2	毛包	毛を産生する哺乳類の皮膚付属器官を何と言うか	毛伸	毛包	毛母	②
062	4	3	1	脂腺	男性ホルモンの影響を強く受けて発育するものを何と言うか。	アポクリン腺	脂腺	エクリン腺	②
063	4	3	2	爪母	爪を作り出すために最も重要なものを何と言うか。	爪母	爪甲	爪床	①
064	4	4	1	糖尿病	患うことで、細菌や真菌による皮膚疾患にかかりやすくなってしまう疾患の一例は何か。	糖尿病	イタイイタイ病	痛風	①
065	4	5	1	皮膚疾患	皮膚などが痒くなったり、水ぶくれなどができてしまう疾患の総称を何と言うか。	粘膜性疾患	皮膚炎	皮膚疾患	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
066	4	5	2	伝染性膿痂疹	ヒゼンダニと深い関連がある皮膚疾患の一例は何か。	青年性扁平疣贅	頭部白癬	伝染性膿痂疹	③
067	4	5	3	青年性扁平疣贅	ウイルスと深い関連がある皮膚疾患の一例は何か。	青年性扁平疣贅	頭部白癬	伝染性膿痂疹	①
068	4	5	4	頭部白癬	真菌（カビ）と深い関連がある皮膚疾患の一例は何か。	青年性扁平疣贅	頭部白癬	伝染性膿痂疹	②
069	5	1	1	好中球	細菌などの異物を処理し、生体を外敵から防ぐ働きをしており、顆粒球の大部分を占めるものを何と言うか。	好中球	赤血球	好酸球	①
070	5	1	2	血液凝固	生体には血を止める止血機構が備わっているが、その働きのことを何と言うか。	遊走	溶血	血液凝固	③
071	5	2	1	顔面筋	表情を作る筋肉（表情筋）または皮筋とも呼ばれている筋肉を何と言うか。	顔面筋	眼輪筋	笑筋	①
072	5	2	2	眼輪筋	顔面の表情筋の一つで、眼裂の周囲を輪状に取り囲み、まぶたを閉じさせる働きをする筋肉を何と言うか。	顔面筋	眼輪筋	笑筋	②
073	5	2	3	笑筋	人間の頭部の浅頭筋のうち、口唇周囲にかけての口筋の中でえくぼを作る筋肉を何と言うか。	顔面筋	眼輪筋	笑筋	③
074	5	3	1	咽頭	人間の鼻腔・口腔に続いて、喉頭、食道に至るまでの管状の器官を何と言うか。	喉仏	咽頭	甲状腺	②
075	5	3	2	肝臓	代謝作用、解毒作用、消化の三つの機能をもつ内臓を何と言うか。	膵臓	肝臓	胃	②
076	5	3	3	胆嚢	肝臓で作られた胆汁を溜める場所を何と言うか。	膵臓	咽頭	胆嚢	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
079	5	4	1	泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱、尿道が含まれており、尿の生成及び排泄に関わる器官系を何と言うか。	泌尿器系	循環器系	神経系	①
080	5	4	2	腎臓	血液を濾過し、余分な老廃物や塩分を取り除く働きをもつ内臓を何と言うか。	肝臓	脾臓	腎臓	③
081	5	4	3	脾臓	リンパ系の臓器であり、リンパ球の生成や老朽赤血球の破壊、さらに、血液の貯留などの機能をもつものを何と言うか。	脾臓	胃	十二指腸	①
082	5	5	1	アドレナリン	副腎髄質から分泌されるホルモンの一つで、交感神経の作用が高まると分泌され、血糖量の上昇や心拍数の増加などを起こすものを何と言うか。	ノルアドレナリン	アドレナリン	インスリン	②
083	5	5	2	インスリン	膵臓から分泌されるホルモンの一つで、血液中の血糖値を調節する働きがあるものを何と言うか。	アドレナリン	インスリン	ステロイドホルモン	②
084	5	5	3	パラトルモン	血液中のカルシウム濃度を上昇させる副甲状腺ホルモンを何と言うか。	ステロイドホルモン	インスリン	パラトルモン	③
085	6	1	1	エラスチン	コラーゲンの繊維を支える役割を持ち、弾性繊維とも呼ばれるものを何と言うか。	セプチン	ケラチン	エラスチン	③
086	6	1	2	顆粒細胞	小脳皮質に存在する神経細胞で、細胞内に顆粒が多くみえる細胞を何と言うか。	頂端細胞	顆粒細胞	プルキンエ細胞	②
087	6	1	3	ケラチン(美容 保健)	硬タンパク質の一つで、繊維状で髪の毛や爪などの成分でもあるものを何と言うか。	セプチン	ケラチン	エラスチン	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
088	6	2	1	皮膚付属器官	視線、汗腺、毛、爪が含まれ、体温調整作用や自己浄化作用、科学的刺激や光線に対する保護作用などの生理機能を持つものを何と言うか。	皮膚付属器官	細胞層	角質層	①
089	6	2	2	生長周期	人間の生長周期に関する記述で誤っているものはどれか。	爪は生長周期がなく、絶えず成長を続けている。	頭毛は成長期が長く、休止期が短い。	生長周期は成長期・後退期・休止期と、成長・停止・脱毛を繰り返す。	①
090	6	3	1	角質層	皮膚の最も外側の層のことで、ケラチンを含み、核のない扁平細胞の重なりから形成されているものを何と言うか。	基底層	顆粒層	角質層	③
100	6	3	2	経皮吸収	皮膚から物質を吸収することを何と言うか。	皮膚描記症	経皮吸収	皮膚付属器官	②
101	6	3	3	皮膚描起症	発症すると、皮膚を軽く掻いただけで、掻いた痕が赤くなり、蕁麻疹のようにミミズ腫れが起こる疾患を何と言うか。	皮膚描記症	尋常性痤瘡	フケ症	①
102	6	4	1	荒れ性	脂肪分の欠乏により肌が荒れやすくなっていることを何と言うか。	脂性	フケ症	荒れ性	③
103	6	4	2	フケ症	次の空欄に共通して当てはまるものを何と言うか。 ・油性の（ ）はよく洗髪し、汚れやフケを落とすことが大切である。 ・乾性の（ ）はあまり洗髪しすぎないことが大切である。	荒れ性	フケ症	蕁麻疹	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
104	6	4	3	尋常性痤瘡	顔や背、胸に見られる炎症性皮膚疾患の一つで、一般的にニキビと呼ばれるものを何と言うか。	尋常性乾癬	尋常性痤瘡	フケ症	②
105	6	5	1	肝斑	女性ホルモンや紫外線、ストレスが原因として顔に淡褐色のシミとして現れることを何と言うか。	肝斑	尋常性痤瘡	癬	①
106	6	5	2	癬	黄色ブドウ球菌の感染により発症する膿皮症の一つで、毛包の化膿性炎症を何と言うか。	肝斑	尋常性痤瘡	癬	③
107	6	5	3	細菌(化膿菌)	毛包が皮膚の中で膿が溜まって炎症を起こし、癬の原因となるものを何と言うか。	細菌	シラミ	ヒゼンダニ	①
108	7	1	1	大胸筋	胸の前部左右にあり扇型をしていて、上腕の押し出す動作などに利用する筋肉を何と言うか。	三角筋	大胸筋	広背筋	②
109	7	1	2	横隔膜	体幹内腔を胸腔と腹腔とに二分する膜状の筋を何と言うか。	胸膜	膜	横隔膜	③
110	7	1	3	胸鎖乳突筋	頸部にある筋肉の一つで、首を曲げ回転させる働きを持つものを何と言うか。	胸鎖乳突筋	三角筋	腹直筋	③
111	7	1	4	内腹斜筋	頸部にある筋肉の一つで、首を曲げ回転させる働きを持つものを何と言うか。	胸筋	内腹斜筋	上腕三頭筋	②
112	7	2	1	内分泌系	ホルモンをつくって分泌することで、体のさまざまな機能の調節や制御を行う腺や器官の集まりを何と言うか。	循環器系	消化器系	内分泌系	③
113	7	2	2	心拍数	一定の時間内に心臓が拍動する回数を表したものを何と言うか。	呼吸回数	PA指数	心拍数	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
114	7	2	3	日内変動	体温・心拍数・血圧等の値や、覚醒-睡眠のリズムが一日中変動することを表すものを何と言うか。	日内変動	物質代謝	恒常性	①
115	7	3	1	鼓膜	空気中の音を捉えるための器官を何と言うか。	味蕾	水晶体	鼓膜	③
116	7	3	2	平衡感覚	生体が運動している時や重力に対して傾いた状態にある時に、これを察知する働きをするものを何と言うか。	内臓感覚	嗅覚	平衡感覚	③
117	7	3	3	味蕾	舌や軟口蓋にある、食べ物の味を感じる小さな器官を何と言うか。	下垂体	消化器官	味蕾	③
118	7	3	4	味覚	人間の五感のうち、基本味が認知されるものを何と言うか。	視覚	味覚	聴覚	②
119	7	3	5	嗅細胞	嗅覚の刺激物質を受容する細胞を何と言うか。	嗅細胞	角質細胞	ランゲルハンス細胞	①
120	7	3	6	筋紡錘	筋肉の収縮状態を神経に伝えることで、脊髄反射を介しての姿勢・運動の調節に重要な役割を果たしているものを何と言うか。	広背筋	口輪筋	筋紡錘	③
121	7	3	7	深部感覚	筋紡錘や腱紡錘のほか、関節包や触覚の受容器などによって生じる、総合的な感覚として適しているものを何と言うか。	皮膚感覚	内臓感覚	深部感覚	③
122	7	5	1	アミラーゼ	消化酵素の一種で、でんぷんなどを分解するはたらきをもつものを何と言うか。	リパーゼ	アミラーゼ	プロテアーゼ	②
123	7	5	2	ペプシン	動物の胃で働くタンパク質分解酵素の一つを何と言うか。	グリコール	アミノ	ペプシン	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
124	7	5	3	トリプシン	膵液に含まれる消化酵素の一種を何と言うか。	ホルモン	ビタミン	トリプシン	③
125	7	5	4	リパーゼ	脂質を構成するエステル結合を加水分解する酵素群を何と言うか。	リパーゼ	アドレナリン	サイロキシン	①
126	8	1	1	指紋	指先の皮膚にある汗腺の開口部が隆起した線（隆線）により出来る紋様を何と言うか。	横紋様	毛様体	指紋	③
127	8	1	2	皮下脂肪	皮下組織中に蓄積された脂肪細胞の集合体を何と言うか。	皮下脂肪	基底細胞	ランゲルハンス細胞	①
128	8	2	1	皮下付属器官	皮膚の付属器において、毛包、脂腺、アポクリン腺、エクリン腺、爪など、様々な働きをもった組織を何と言うか。	皮下付属器官	膠原線維	泌尿器系	①
129	8	2	2	脂腺	皮膚の表面に皮脂を分泌する線を何と言うか。	汗腺	脂腺	脂肪膜	②
130	8	2	3	アポクリン腺	動物の外分泌腺の一様式で、離出分泌腺とも呼ばれるものを何と言うか。	胸腺	アポクリン腺	甲状腺	②
131	8	3	1	基底細胞	皮膚の外細胞である表皮の下層（基底部）に存在する小さな円形の細胞を何と言うか。	色素細胞	基底細胞	顆粒細胞	②
132	8	5	1	脂漏性皮膚炎	皮脂腺が多く皮脂の分泌の多い頭皮や顔に起こりやすい疾患を何と言うか。	アトピー性皮膚炎	脂漏性皮膚炎	結膜炎	②
133	8	5	2	染毛剤(美容保健)	パラフェニレンジアミンなどの酸化染料で、毛髪を染める働きを持つものを何と言うか。	染毛剤	クレンジング剤	保湿剤	①
134	9	1	1	赤血球	血液中の成分で、主に酸素を運搬するものを何と言うか。	赤血球	白血球	血小板	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
135	9	1	2	血小板	血液中に含まれる成分のうち、主に傷口を塞ぎ止血を行うものを何と言うか。	赤血球	白血球	血小板	③
136	9	1	3	リンパ球	白血球は、体の防衛に大きく貢献している。 白血球のうち、特に免疫反応に関与しているものを何と言うか。	単球	リンパ球	好酸球	②
137	9	2	1	頭蓋	脊柱の上部にある骨格で、脳などの保護を行うものを何と言うか。	頭蓋	胸郭	上肢骨	①
138	9	2	2	仙骨	骨盤部分に存在する骨の一例として挙げられるものは何か。	尺骨	仙骨	腓骨	②
139	9	2	3	脛骨	下肢骨に含まれる骨の一例として挙げられるものは何か。	肋骨	肩甲骨	脛骨	③
140	9	2	4	鎖骨	上肢骨に含まれる骨の一例として挙げられるものは何か。	胸骨	鎖骨	膝蓋骨	②
141	9	2	5	上顎骨	その形態や構造によって含気骨に属するものを何と言うか。	坐骨	椎骨	上顎骨	③
142	9	3	1	副交感神経	優位になることで心拍数の減少や心臓の収縮力抑制が起こる神経を何と言うか。	交感神経	副交感神経	知覚神経	②
143	9	3	2	瞳孔の散大	次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。 「瞳孔の散大」	交感神経	副交感神経	知覚神経	②
144	9	3	3	心拍数	心拍数の増加は、どの神経が優位になることで発生するか。	交感神経	副交感神経	運動神経	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
145	9	3	4	消化機能の抑制	次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。 「消化機能の抑制」	交感神経	副交感神経	知覚神経	①
146	9	3	5	皮膚血管の収縮	次の現象は、どの神経が優位になることで発生するか。 「皮膚血管の収縮」	交換神経	副交感神経	運動神経	①
147	9	4	1	リンパ管	毛細血管から移動した組織液を血液循環に戻す役目をもつものを何と言うか。	動脈	静脈	リンパ管	③
148	9	4	2	最低血圧	「最低血圧」の表す意味はどのようなものか。	睡眠時の血圧	心臓の収縮時の血圧	心臓が緩んだ時の血圧	③
149	9	4	3	心電図	心臓の運動によって生じる電位差を記録したものを何と言うか。	X線写真	心電図	血糖値	③
150	9	5	1	甲状腺	サイロキシンを分泌する内分泌腺を何と言うか。	甲状腺	上皮小体	副腎皮質	①
151	9	5	2	サイロキシシン	甲状腺が分泌するホルモンを何と言うか。	グルココルチコイド	サイロキシシン	プロゲステロン	②
152	9	5	3	膵臓	インスリンを分泌する内分泌腺を何と言うか。	卵巣	精巣	膵臓	③
153	9	5	4	卵巣	エストロゲンを分泌する内分泌腺を何と言うか	卵巣	精巣	松果体	①
154	9	5	5	成長ホルモン	下垂体で分泌され、体組織に作用するホルモンを何と言うか。	アドレナリン	パラトルモン	成長ホルモン	③
155	10	1	1	ランゲルハンス細胞	表皮に関する細胞のうち、特に免疫を司るものを何と言うか。	角化細胞(ケラチノサイト)	ランゲルハンス細胞	メルケル細胞	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
156	10	1	2	メラニン(美容 保健)	色素細胞は、皮膚の色素をつくる細胞である。この色素細胞がつくる色素を何と言うか。	メラニン	ケラチン	セラミド	①
157	10	2	1	毛幹	ヒトの毛について表皮の外側に出ている部分を何と言うか	毛母	毛幹	毛根	②
158	10	2	2	毛根	ヒトの毛について皮膚の内部にある部分を何と言うか	毛髄質	毛幹	毛根	③
159	10	2	3	毛小皮	毛の断面をみると、3つの層からなっていることがわかる。 この層のうち、最も外側（表面）の部分を何と言うか。	毛皮質	毛髄質	毛小皮	③
160	10	2	4	毛髄質	毛の断面をみると、3つの層からなっていることがわかる。この層のうち、中心をなす部分を何と言うか。	毛皮質	毛髄質	毛小皮	②
161	10	2	5	毛皮質	毛の断面をみると、3つの層からなっていることがわかる。この層のうち、角化した細胞が密着してできる、毛の主な部分をなすものを何と言うか。	毛皮質	毛髄質	毛小皮	①
162	10	3	1	皮脂	皮膚の付属器官である脂腺によって分泌されるものを何と言うか。	皮脂	汗	唾液	①
163	10	3	2	日焼け	皮膚が日焼けしたときに色を黒くする作用を及ぼすものを何と言うか。	赤外線	紫外線	可視光線	②
164	10	4	1	皮膚の表面	健康な皮膚の表面におけるおおまかな性質（pH）はどのようなものか。	強酸性	弱酸性	弱塩基性	②
165	10	5	1	接触皮膚炎(カ ブレ)	一般にカブレともいわれる、外部からの化学物質などが皮膚に接触することによって起こる炎症を何と言うか。	アトピー性皮膚 炎	ヴィタール苔癬	接触皮膚炎	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
166	10	5	2	パッチテスト (美容保健)	アレルギー等の検査において、原因と推定される物質を表皮に貼る検査方法を何と言うか。	皮内テスト	ブリックテスト	パッチテスト	③
167	10	5	3	円形脱毛症	感染の可能性がない疾患の一例として挙げられるものは何か。	円形脱毛症	水痘	帯状疱疹	①
168	10	5	4	伝染性膿痂疹 (トビヒ)	化膿菌によって引き起こされる皮膚疾患を何と言うか。	尋常性瘡瘡	伝染性膿痂疹	雀卵斑	②
169	11	1	1	光速	光が伝播する速さを何を何と言うか。	光速	時速	光源	①
170	11	1	2	媒質	波動が伝播する場となる物質・物体のことを何と言うか。	体質	媒質	容量	②
171	11	1	3	平面鏡	平面鏡を用いることでどのような効果が得られるか。	鏡に映る照明の分だけ照度が減る。	光の速度が遅くなる。	鏡に映る照明の反射光の分だけ照度が増す。	③
172	11	1	4	光源	光を出すものを何を何と言うか。	光源	反射	光速	①
173	11	2	1	紫外線	可視光線より波長の短い不可視光線のことを何と言うか。	赤外線	紫外線	熱線	②
174	11	2	2	熱線	熱せられた金属線のことを何と言うか。	温度	熱線	蒸気	②
175	11	2	3	殺菌灯	殺菌力を持つ波長域の光源を照射する光源の総称のことを何と言うか。	殺菌灯	蛍光灯	LED	①
176	11	3	1	化学結合	原子と原子の結びつきのことを何と言うか	融解	吸収	化学結合	③
177	11	3	2	イオン結合	陽イオンと陰イオンの電氣的な引力の結合を何と言うか。	分子結合	共有結合	イオン結合	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
178	11	3	3	共有結合	原子間での電子対の共有を伴う化学結合を何と言うか。	共有結合	分子結合	イオン結合	①
179	11	3	4	水素結合	正電気を帯びた水素原子と負電気を帯びた酸素原子の間の弱い電気的な結合のことを何と言うか。	水素結合	共有結合	イオン結合	①
180	11	3	5	金属結合	金属で見られる化学結合のことを何と言うか。	共有結合	イオン結合	金属結合	③
181	11	4	1	酸化剤	反応する物質に酸素をあたえ、水素を奪う物質のことを何と言うか。	還元剤	酸化剤	H ₂ O	②
182	11	4	2	還元剤	反応する物質から酸素を奪い、酸素をあたえる物質のことを何と言うか。	還元剤	酸化剤	H ₂ O	①
183	11	4	3	過酸化水素	化粧品で用いられる酸化剤の一例は何か。	シスチン	過酸化水素	チオグリコール酸	②
184	11	4	4	シスチン結合	イオウ（硫黄）どうしの共有結合のことを何と言うか。	水素結合	ケラチン結合	シスチン結合	③
185	11	4	5	還元	物質が酸素を失うことを何と言うか。	消化	還元	酸化	②
186	11	5	1	体質顔料	無機顔料のうち、タルク、カオリン、マイカなどのことを何と言うか。	光輝性顔料	白色顔料	体質顔料	③
187	11	5	2	光輝性顔料	パールのような光沢あるいは金属性の光沢をあたえる顔料の総称を何と言うか。	光輝性顔料	無機顔料	天然色素	①
188	11	5	3	着色顔料	化粧品の顔料で耐光性、耐熱性にすぐれ、変色や退色を起こさない効果をもつものを何と言うか。	着色顔料	光輝性顔料	有機顔料	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
189	12	1	1	天然高分子化合物（動物性）	天然高分子化合物で動物系のものを何と言うか。	クインスシード	コラーゲン	ロジン	②
190	12	1	2	天然高分子化合物（植物性）	天然高分子化合物で植物系のものを何と言うか。	キトサン	アラビアゴム	キチン	②
191	12	1	3	半合成高分子化合物	香粧品原料に用いられ、ほとんどがセルロースの誘導体である化合物のことを何と言うか。	半合成高分子化合物	天然高分子化合物	合成高分子化合物	①
192	12	1	4	合成高分子化合物	香粧品原料として用いられ、ビニル系とアクリル系のものが多い化合物のことを何と言うか。	半合成高分子化合物	天然高分子化合物	合成高分子化合物	③
193	12	2	1	陽イオン界面活性剤	石けんとは逆に帯電することで逆性石けんともいわれるものは何か。	陽イオン界面活性剤	陰イオン界面活性剤	非イオン界面活性剤	①
194	12	2	2	第四級アンモニウム塩	陽イオン界面活性剤で香粧品に用いられるものの一例は何か。	アルキル硫酸ナトリウム	第四級アンモニウム塩	アスベスト	②
195	12	2	3	帯電	摩擦電気が発生し電気をもつことを何と言うか。	導体	帯電	待機電流	②
196	12	2	4	高級アルコール系合成洗剤	高級アルコール系合成洗剤の主成分を何と言うか。	陽イオン界面活性剤	植物性ポマード	陰イオン界面活性剤	③
197	12	2	5	ヒアルロン酸ナトリウム塩	保湿剤の原料として使われているものは何か。	トリクロサン	ヒアルロン酸ナトリウム塩	クロルヘキシジン	②
198	12	3	1	高分子化合物	高分子化合物とは分子量がいくつ以上の化合物のことをいうか。	一万	千	百	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
199	12	3	2	単位低分子	高分子化合物を構成するものを何と言うか。	飽和	単位低分子	水溶性	②
200	12	3	3	アミノ酸	ケラチンを構成する単位低分子を何と言うか。	エタノール	グリセリン	アミノ酸	③
201	12	3	4	イソプレン	天然ゴムの構成分子であるものは何か。	イソプレン	エタノール	グリセリン	①
202	12	4	1	医学部外品	日本の薬事法に定められた人体に対する作用の穏やかなもので、全成分の表示義務がないものを何と言うか。	化粧品	医学部外品	医学品	②
203	12	4	2	サンスクリーン剤	皮膚に当たる紫外線をブロックすることにより日焼けや皮膚の老化を防止するためのものを何と言うか。	サンスクリーン剤	染毛剤	アストリンゼントローション	①
204	12	4	3	染毛剤（物理化学）	医薬部外品として規制されているものの一例として挙げられるものは何か。	アストリンゼントローション	染毛剤	サンスクリーン剤	②
205	12	4	4	パーマネントウェーブ用剤	毛髪に化学反応を用いて人工的な縮毛を形成する際に用いるものを何と言うか。	パーマネントウェーブ用剤	エタノール	界面活性剤	①
206	12	4	5	アストリンゼントローション	収れん性化粧水に属するものの一例として挙げられるものは何か。	エタノール	カラミンローション	アストリンゼントローション	③
207	12	5	1	殺菌剤	細菌を殺すために用いるものを何と言うか。	殺菌剤	抗酸化剤	収れん剤	①
208	12	5	2	金属イオン	キレート剤は何を不活性化させるためのものであるか。	金属イオン	マイナスイオン	紫外線	②
209	12	5	3	収れん剤	皮膚表面のタンパク質を一時的に引き締め、それによって汗腺や皮脂腺の開口部をふさいで汗や皮脂の分泌を抑制する目的に用いられるものを何と言うか。	エモリエント効果	保湿効果	マスキング効果	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
210	12	5	4	マスキング	臭気を抑える効果を何と言うか。	エモリエント効果	保湿効果	マスキング効果	③
211	13	1	1	物体の変形	ある物体が外から何らかの力を受けて形が変化することを何と言うか。	物体の変形	物体の変化	物体の進化	①
212	13	1	2	伸び	物体を引っ張るように力が働くときに生じる変形を何と言うか。	縮み	伸び	たわみ	①
213	13	1	3	縮み	物体を押さえつけるように力が働くときに生じる変形を何と言うか。	縮み	伸び	たわみ	①
214	13	1	4	ずれ	物体の上面と下面に、逆向きの力が平行に働くときに生じる変形を何と言うか。	たわみ	摩擦	ずれ	③
215	13	1	5	たわみ	伸びと縮みが組み合わさることで生ずる変形を何と言うか。	たわみ	摩擦	ずれ	①
216	13	2	1	分子運動	液体や気体に見られる分子が移動することを何と言うか。	分子移動	分子結合	分子運動	③
217	13	2	2	物質の三態	物質は気体、液体、個体の状態があるが、これらをまとめて何と言うか。	物質の三態	物質の変化	物質の形態	①
218	13	2	3	気体	分子運動が激しく、気圧、気温次第では体積が無限に広がるものを何と言うか。	気体	液体	個体	①
219	13	2	4	液体	分子運動は見られるが、ある程度体積が一定となるものを何と言うか。	気体	液体	個体	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
220	13	2	5	固体	分子運動が安定しており、定まった形と体積を持つものを何と言うか	気体	液体	固体	③
221	13	3	1	紫外線灯	殺菌などに用いられる、紫外線を照射するものを何と言うか。	蛍光灯	赤外線灯	紫外線灯	③
222	13	3	2	波長	光や音などが波として伝わる、周期的な長さを何と言うか。	波長	振幅	波数	①
223	13	4	1	物質の構成	元素が組み合わさってできた単体や化合物を物質の〇〇という。〇〇に該当する語は何であるか。	合体	進化	構成	③
224	13	4	2	無機化合物	銅、カリウム、硫黄、銀などは、その特徴から何と呼ばれているか。	有機化合物	無機化合物	金属元素	②
225	13	4	3	混合物	自然界に存在する海水や空気などは、その特徴からどのように分類できるか。	混合物	化合物	単体	①
226	13	4	4	単体	窒素や水素など、ただ一つの物質からできているものを何と言うか。	単体	元素	分子	①
227	13	5	1	有機酸	有機化合物の酸の名称を何と言うか。	有機酸	スルホン酸	カルボン酸	①
228	13	5	2	硫酸	H_2SO_4 で表記され、硫黄が含まれているものを何と言うか。	酢酸	硝酸	硫酸	③
229	13	5	3	硝酸	HNO_3 で表記され、窒素が含まれているものを何と言うか。	硝酸	塩酸	酢酸	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
230	13	5	4	酢酸	CH ₃ COOHで表記され、簡単なカルボン酸の一種であるものを何と言うか。	硫酸	硝酸	酢酸	③
231	13	5	5	塩酸	HClで表記され、代表的な酸の一つで、強い酸性を示すものを何と言うか。	硫酸	塩酸	硝酸	②
232	14	1	1	酸	pH（水素イオン指数）においてpH7未満を何と言うか。	酸	中性	塩基	①
233	14	1	2	塩基	pH（水素イオン指数）においてpH7より大きいものを何と言うか。	酸	中性	塩基	③
234	14	1	3	フェノールフタレイン	酸性溶液、中性溶液中では白色でありアルカリ性の溶液で赤色を示すものを何と言うか。	フェノールフタレイン	赤色リトマス試験紙	青色リトマス試験紙	①
235	14	1	4	赤色リトマス試験紙	アルカリ性の溶液に使うと青色に反応を示すものを何と言うか。	フェノールフタレイン	赤色リトマス試験紙	青色リトマス試験紙	②
236	14	1	5	青色リトマス試験紙	酸性の溶液に使うと赤色に反応を示すものを何と言うか。	フェノールフタレイン	赤色リトマス試験紙	青色リトマス試験紙	③
237	14	2	1	香粧品	食品以外全般に使用される香料を何と言うか。	化粧品	香粧品	食料香料	②
238	14	2	2	タール色素	染料あるいは合成着色料の一種で、芳香族化合物を原料としているものを何と言うか。	天然色素	タール色素	黒色色素	②
239	14	2	3	紫外線遮断剤	微粒子酸化チタンが用いられる一例として挙げられるものは何か。	紫外線遮断剤	抗酸化剤	防腐剤	①
240	14	2	4	天然色素	食品や生物から抽出された色素を何と言うか。	天然色素	タール色素	黒色色素	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
241	14	3	1	防腐剤	パラオキシ安息香酸エステルが用いられる一例として挙げられるものは何か。	紫外線遮断剤	抗酸化剤	防腐剤	③
242	14	3	2	抗酸化剤	ジブチルヒドロキシルエーテルが用いられる一例として挙げられるものは何か。	紫外線遮断剤	抗酸化剤	防腐剤	②
243	14	3	3	金属イオン封鎖剤	クロルヘキシジンが用いられる一例として挙げられるものは何か。	金属イオン封鎖剤	抗酸化剤	紫外線遮断剤	①
244	14	4	1	噴射剤	可燃性の液化石油ガスやジメチルエーテルがよく用いられるものは何か。	合成洗剤	噴射剤	皮膚膜形成剤	②
245	14	4	2	皮膚膜形成剤	合成粘液質のポリビニルピロリドンがよく用いられるものは何か。	合成洗剤	噴射剤	皮膚膜形成剤	③
246	14	5	1	パラフェニレンジアミン	酸化染毛剤に使用される有効成分の一つを何と言うか。	パラフェニレンジアミン	ポリビニルピロリドン	クロルヘキシジン	①
247	14	5	2	パッチテスト (物理化学)	酸化染毛剤を用いる前に行うべきことがあるが、それは何か。	水分補給	パッチテスト	血液検査	②
248	15	1	1	てこの原理	支点と作用点間の距離や支点と力点間の距離を変えることにより、より少ない力で物を動かそうとする力を何と言うか。	右ねじの法則	慣性の法則	てこの原理	③
249	15	1	2	作用点	てこの原理において、力が作用している点のことを何と言うか。	作用点	力点	支点	①
250	15	1	3	力点	てこの原理において、力を加える点のことを何と言うか。	作用点	力点	支点	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
251	15	1	4	支点	てこの原理において、運動の中心となる点のことを何と言うか。	作用点	力点	支点	③
252	15	2	1	アンペア (A)	電流の強さの単位を何と言うか。	ボルト (V)	アンペア (A)	ワット (W)	②
253	15	3	1	塩基性水溶液	塩基性を持つ水溶液を何と言うか。	塩基性水溶液	アルカリ性水溶液	アンモニア水溶液	①
254	15	3	2	pH (水素イオン指数)	酸性からアルカリ性の間に0~14の目盛りをつけて、その度合いを数字に表した物を何と言うか。	BMI指数	モル濃度	pH (水素イオン濃度)	③
255	15	4	1	ヘモグロビン	タンパク質以外と結合した複合タンパク質に分類されるタンパク質を何と言うか。	ケラチン	ヘモグロビン	コラーゲン	②
256	15	4	2	コラーゲン (物理化学)	水や水溶液に対して不溶性を持つ、硬タンパク質に分類されるタンパク質を何と言うか。	コラーゲン	ヘモグロビン	カゼイン	①
257	15	4	3	ケラチン (物理化学)	アミノ酸だけからなる単純タンパク質に分類されるタンパク質を何と言うか。	カゼイン	ケラチン	ムチン	②
258	15	4	4	セルロース	天然高分子化合物の中でも、多糖類とよばれるものを何と言うか。	ケラチン	コラーゲン	セルロース	③
259	15	5	1	軟水	カルシウムやマグネシウムの金属イオンをあまり含まない水を何と言うか。	硬水	炭酸水	軟水	③
260	15	5	2	硬水	カルシウムやマグネシウムの金属イオンを多く含む水を何と言うか。	硬水	炭酸水	軟水	①

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
261	15	5	3	一時硬水	煮沸すると軟水になる硬水を何と言うか。	炭酸水	永久硬水	一時硬水	③
262	15	5	4	炭酸水素塩	炭酸水素イオンを含む水素塩の一種を何と言うか。	硬水	炭酸水素塩	リチウム	②
263	16	1	1	さび	金属を乾燥した場所での保存やメッキ加工することで防げるものを何と言うか	さび	ひび割れ	軟化	①
264	16	1	2	特殊鋼	鉄に炭素以外のさまざまな元素を加えることでさびなどに強くなる合金を何と言うか。	特殊鋼	青銅	金	①
265	16	1	3	赤さび	鉄が水や酸素に触れることによって発生し、鉄を腐食させるさびを何と言うか。	黒さび	赤さび	緑青	②
266	16	2	1	塩化物	一部が殺菌剤などにも含まれる、塩素と他の元素の化合物のことを一般に何と言うか。	塩化物	水酸化物	炭酸塩	①
267	16	2	2	紫外線吸収剤	日焼け止めに含まれる成分の一例として挙げられるものは何か。	酸化防止剤	防腐剤	紫外線吸収剤	③
268	16	2	3	誘導体	ある化合物における一部分の変化によってできる化合物のことを何と言うか。	誘導体	異性体	反応中間体	①
269	16	3	1	加水分解	石けんは牛脂とヤシ油を混合し、水酸化ナトリウムや水酸化カリウムを加えて作ることができる。その際に起こる反応を特に何と言うか。	加水分解	化学分解	発酵	①
270	16	3	2	水酸化ナトリウム	硬質石けんに使用されるものを何と言うか。	エタノール	水酸化ナトリウム	水酸化カリウム	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
271	16	3	3	機械練石けん	全工程を機械で作る一般の化粧石けんを何と言うか。	機械練石けん	枠練り石けん	化粧水	①
272	16	4	1	シスチン	皮膚や角や毛と同様に、卵や乳製品や全粒穀物のような多くの食品に含まれているものを何と言うか。	シスチン	チオグリコール酸	サステイン	①
273	16	4	2	臭酸素ナトリウム	ナトリウムの臭酸化塩で、パーマネントウェーブ溶剤第2剤に使用されるものを何と言うか。	ヨウ素ナトリウム	水酸化ナトリウム	臭酸素ナトリウム	③
274	16	5	1	染料中間体	カップラーと反応することで独自の色味を変化させ、様々な色調を調整することが可能になるものを何と言うか。	染料中間体	誘導体	顔料	①
275	16	5	2	カップラー	染料中間体と反応することで独自の色味を変化させ、様々な色調を調整することが可能になるものを何と言うか。	ニトロ染料	カップラー	顔料	②
276	16	5	3	一時着色料	顔料などの着色剤を毛髪の表面に付着させて、髪を一時的に着色するものを何と言うか	永久染毛剤	半永久染毛剤	一時着色料	③
277	17	1	1	赤外線	可視光線より波長が長く、血液循環を促進する効果を持つものを何と言うか。	紫外線	赤外線	可視光線	①
278	17	1	2	可視光線	赤外線より波長が短く、紫外線より波長の長い、人の目で見える電磁波を何と言うか。	可視光線	不可視光線	赤外線灯	①
279	17	1	3	血液循環	血液循環を促進する効果をもつものは何か。	可視光線	紫外線	赤外線	③
280	17	2	1	W (ワット)	「W (ワット)」を求める公式はどのようなものか	電圧 V × 電流 I ÷ 時間	電圧 V / 電流 I ÷ 時間	電流 I × 抵抗 R ÷ 時間	①
281	17	2	2	V (ボルト)	電圧の単位は何か。	A (アンペア)	V (ボルト)	J (ジュール)	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
282	17	3	1	電流	電荷の流れを表すものを何と言うか。	電力	電流	抵抗	②
283	17	3	2	熱作用	ヘアアイロンで主として使われている作用を何と言うか。	熱作用	分散作用	乳化作用	①
284	17	3	3	磁気作用	ドライヤーのモーターで主として使われている作用を何と言うか。	反作用	清浄作用	磁気作用	③
285	17	3	4	化学作用	物質に化学変化を起こさせる作用を何と言うか。	化学作用	磁気作用	熱作用	①
286	17	3	5	赤外線灯	赤外線灯は、どの作用を主に利用した製品であるか。	化学作用	熱作用	乳化作用	②
287	17	4	1	金属	金属の性質として正しいものを挙げよ。	熱作用がない	電気を通す	展延性がない	②
288	17	4	2	熱伝導率	熱の伝わる速さを示したものを何と言うか。	電気伝導率	発熱率	熱伝導率	①
289	17	4	3	白金	空気中で酸化せず、プラチナとも呼ばれる物質は何か。	白金	金	銅	①
290	17	4	4	鉄	元素記号Feで表される延性・展性を持つ金属を何と言うか。	鉄	銀	マグネシウム	①
291	17	5	1	弱酸	酢酸や炭酸は、おおまかにどのような性質（pH）を有しているか。	弱塩基	強酸	弱酸	③
292	17	5	2	弱塩基	アンモニアは、おおまかにどのような性質（pH）を有しているか。	弱塩基	強塩基	弱酸	①
293	17	5	3	アンモニア水	NH ₃ を水溶液にしたものを何と言うか。	石灰	アンモニア水	水酸化ナトリウム水溶液	②
294	18	1	1	アルコール	アルコールに含まれないものは次のうちどれか。	メタノール	グリセリン	メチルオレンジ	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
295	18	1	2	メタノール	主にアルコールランプなどの燃料として使われているものは何か。	メタノール	油脂	アンモニア水	①
296	18	1	3	プロピレングリコール	保湿や乳化などに使われる有機化合物の一種は何か。	プロピレングリコール	プラスチック	メタノール	①
297	18	1	4	油脂	脂肪酸とグリセリンのエステルでできるものとして挙げられるものは何か。	石けん	アルコール	油脂	③
298	18	1	5	脂肪酸	炭素・水素・酸素から構成されているものの一例として挙げられるものは何か。	アンモニア	脂肪酸	塩酸	②
299	18	1	6	エステル	有機酸と無機酸とアルコールから水が取れてできる形の化合物の総称を何と言うか。	エステル	カルボキシル基	エタノール	①
300	18	2	1	永久硬水	カルシウム及びマグネシウムなどを含む硬水で、煮沸しても軟水になりにくい水を何と言うか。	石灰水	永久硬水	一時硬水	②
301	18	3	1	界面活性剤	分子内において、水分になじみやすい部分と油になじみやすい部分を持つ物質の総称を何と言うか。	界面活性剤	エステル	アルコール	①
302	18	3	2	陽イオン界面活性剤	陽イオン性で親水基を持つ界面活性剤を何と言うか。	合成界面活性剤	陽イオン界面活性剤	硫黄イオン	②
303	18	3	3	ペタイン型	洗浄力、気泡力、柔軟効果、帯電防止効果などを含む型のことを何と言うか。	ペタイン型	イミダゾリン型	レシチン	①
304	18	3	4	イミダゾリン型	毒性、皮膚刺激または眼粘膜刺激性がほとんどなく、安全性が高い型のことを何と言うか。	ペタイン型	イミダゾリン型	メタノール	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
305	18	3	5	乳化剤	乳化や起泡、消泡などの目的で使用される薬剤の総称を何と言うか。	還元剤	酸化剤	乳化剤	③
306	18	4	1	システイン	アミノ酸の1つで、2-アミノ-3-スルファニルプロピレン酸であるものを何と言うか。	システイン	ベタイン	炭酸水	①
307	18	5	1	架橋構造	高分子の構造を示すものとして挙げられる構造は何か。	原子構造	単結合	架橋構造	③
308	18	5	2	チオグリコール酸	メルカプト酢酸とも呼ばれ、激しい悪臭と刺激臭を示す無色の液体を何と言うか。	チオグリコール酸	アンモニア	塩酸	①
309	18	5	3	臭素酸カリウム	カリウムの臭素酸塩で、無機化合物であるものを何と言うか。	水酸化カリウム	臭素酸カリウム	チオグリコール酸	②
310	18	5	4	ペプチド	アミノ酸同士が脱水縮合して形成されたものの一例として挙げられるものは何か。	ペプチド	アミノ酸	シスチン	①
311	18	5	5	アンモニア（物理化学）	常温常圧では無色の気体で特有の強い刺激臭を持ち、水によく溶ける性質を持つ物質を何と言うか。	酸素	臭素	アンモニア	③
312	19	1	1	セルシウス温度	1気圧のもとで水が凍る温度を0℃、沸騰する温度を100℃とした、温度目盛りのことを何と言うか。	絶対温度	セルシウス温度（摂氏）	ファーレンハイト温度（華氏）	②
313	19	1	2	1気圧	気圧の単位として、よくhPa（ヘクトパスカル）が用いられる。1気圧として最も適した値を何と言うか。	1000hPa	1013hPa	1024hPa	②
314	19	1	3	氷点	水が固体に変化し始める温度のことを何と言うか。	氷点	零点	固点	①
315	19	1	4	沸点	液体が気体に変化し始める温度のことを何と言うか。	岐点	沸点	融点	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
316	19	1	5	融解	固体から液体へと物質の状態が変化することを何と言うか。	融解	溶解	昇華	①
317	19	1	6	煮沸消毒	熱湯などに沈めて加熱することで、器具等の殺菌を行う方法を何と言うか。	濾過消毒	水中消毒	煮沸消毒	③
318	19	1	7	冷えた空気	冷たい空気は、温かい空気と比べて密度が高い。一定空間内において、冷たい空気はどこに溜まろうとするか。	上方	下方	壁面	②
319	19	2	1	絶縁体	プラスチックなどの、電気や熱を通しにくい物質のことを何と言うか。	導体	半導体	絶縁体	③
320	19	2	2	電気抵抗	物質における電流の流れにくさのことを電気抵抗という。この電気抵抗を求める式はどのようなものか。	電圧÷電流	電流÷電圧	電圧×電流	①
321	19	2	3	電熱器	電気抵抗の大きい金属に電流を通し、その発熱を利用することを目的とする器具を何と言うか。	熱交換器	交流器	電熱器	③
322	19	2	4	電力	電流が1秒間にする仕事のことを電力という。この電力を求める式はどのようなものか。	電流÷抵抗	抵抗×電流	電圧×電流	③
323	19	2	5	交流の周波数	日本において、交流電源の周波数は東西によって異なる。周波数が概ね60Hzである地域はどこか。	日本の東側	日本の西側	そんな地域はない	②
324	19	3	1	クロム	優れた耐食性から、ステンレス鋼などの原料としても使用される元素を何と言うか。	亜鉛	クロム	ゲルマニウム	②
325	19	3	2	コバルト	塩化コバルト紙を用いて検出できるものはどれか。	フッ素	窒素	炭素	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
326	19	3	3	炭素	ダイヤモンドやグラファイトなどが同素体として存在する、非金属元素のことを何と言うか。	フッ素	窒素	炭素	③
327	19	4	1	イオン	電子を得たり失ったりすることによって、原子や分子が電荷を帯びた状態のことを何と言うか。	イオン	クラスター	クォーク	①
328	19	4	2	陽イオン	電子を失うことで、正の電荷を帯びた原子や分子のことを何と言うか。	陽イオン	陰イオン	中性子	①
329	19	4	3	陰イオン	電子を得ることで、負の電荷を帯びた原子や分子のことを何と言うか。	陽イオン	陰イオン	中性子	②
330	19	4	4	逆性石けん	陽イオン界面活性剤は、その性質から何と呼ばれることがあるか。	普通石けん	逆性石けん	複合石けん	②
331	19	4	5	両性界面活性剤	界面活性剤について、溶かした溶液が酸性か塩基性かによってイオン化部分が異なるものを何と言うか。	陽イオン界面活性剤	陰イオン界面活性剤	両性界面活性剤	③
332	19	4	6	非イオン界面活性剤	界面活性剤について、水に溶かしたときに親水基がイオン化しないものを何と言うか。	陽イオン界面活性剤	陰イオン界面活性剤	非イオン界面活性剤	③
333	19	5	1	溶媒	溶液において、物質を溶かすために用いる液体のことを何と言うか。	溶質	溶媒	溶解	②
334	19	5	2	エタノール	皮膚組織を引き締める収れん作用を持つ1価アルコールとして挙げられるものの一例は何か。	エタノール	エチレングリコール	グリセリン	①
335	19	5	3	グリセリン	保湿剤として用いられることもある多価アルコールとして挙げられるものの一例は何か。	エタノール	メタノール	グリセリン	③

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
336	19	5	4	セタノール	乳液等の乳化助剤として用いられることがある高級アルコールとして挙げられるものの一例は何か。	エタノール	メタノール	セタノール	③
337	20	1	1	分子	原子が結合して生成される、化学的性質をもった最小の構成単位のことを何と言うか。	粒子	分子	陽子	②
338	20	1	2	デンプン	天然高分子化合物の例として挙げられるものは何か。	ポリエチレン	デンプン	ナイロン	②
339	20	2	1	浸透	水などの液体がしみとおることを意味する語を何と言うか。	拡散	飽和	浸透	③
340	20	2	2	メラニン（物理化学）	一般に、脱色剤によって分解される色素を何と言うか。	メラニン色素	タール色素	カラメル色素	①
341	20	2	3	酸化	物質に酸素が化合する、または物質が水素を奪われる反応のことを何と言うか。	酸化	還元	重合	①
342	20	2	4	重合	1種類またはそれ以上の分子が2つ以上結合して、分子量の大きな化合物を作ることを何と言うか。	酸化	還元	重合	③
343	20	2	5	永久染毛剤	医薬部外品である染毛剤は何か。	一時着色料	永久染毛剤	半永久染毛剤	②
344	20	3	1	タンパク質	収れん剤によって引き締められている、皮膚表面の成分のことを何と言うか。	タンパク質	脂質	ビタミン	①
345	20	3	2	元素	水素やナトリウムなど、物質を構成する最小単位の要素のことを何と言うか。	電子	元素	核	①
346	20	3	3	水素	元素記号Hで表される、原子番号1の元素名を何と言うか。	水素	ヘリウム	リチウム	②

No.	回	テーマ	問	キーワード	問 題	選択肢①	選択肢②	選択肢③	正解
347	20	3	4	化合物	単一の元素が集まってできる物体を単体というが、2種類以上の元素が集まったものを特に何と言うか。	有機物	化合物	添加物	②
348	20	4	1	酸化鉄	着色顔料として一般に使用されるものの一例として挙げられるものは何か。	フッ化ナトリウム	硫化マグネシウム	酸化鉄	③
349	20	4	2	タルク	滑石を微粉砕することで生成できる、体質顔料としてよく使用されるものの名称を何と言うか。	雲母チタン	タルク	ベンガラ	②
350	20	5	1	ナトリウム	元素記号Naで表される、原子番号11のアルカリ金属元素を何と言うか。	ニッケル	鉛	ナトリウム	③

美容専門教育に必要な人材基盤力を 養成する教育プログラムに関する調査

2016年11月



1. 調査概要

1.調査概要

■目的

本調査は美容師養成施設各校における基礎学力教育、職業キャリア教育についての実態調査を実施し、美容分野の職業キャリアと基礎学力の教育プログラムを開発・実施することにより、美容分野において学ぶ生徒の学習と成長を支える基盤力の強化を図っていくことを目的としております。

■対象

公益社団法人 日本理容美容教育センターが公開している全国養成施設一覧に載っている美容課程がある学校

■方法

全国の美容師養成施設254校へ質問紙を郵送、回収しました。

■有効回答

分析対象として有効だった回答票は、123票(回収票数:123票, 無効票数:0票)でした。
※無効票は、正確な回答が得られなかった票です。

■その他

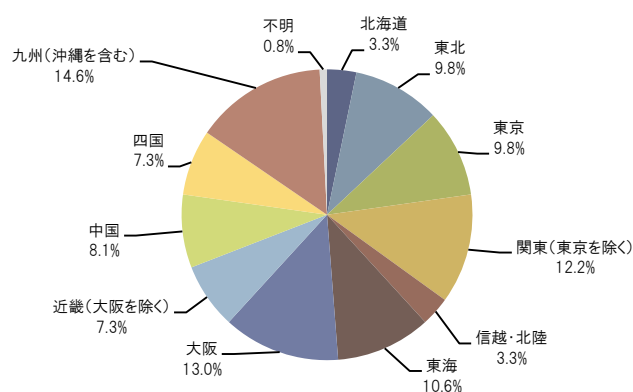
- ・ 本報告書では、集計結果の数値を小数点第2位で四捨五入しているため、各回答の合計が100%に一致しないことがあります。
- ・ 自由記述については、誤字脱字の修正と、個人が特定されないための最低限の修正を加えています。

1. 調査概要

■ 回答者の属性

Q1_1 所在するエリア

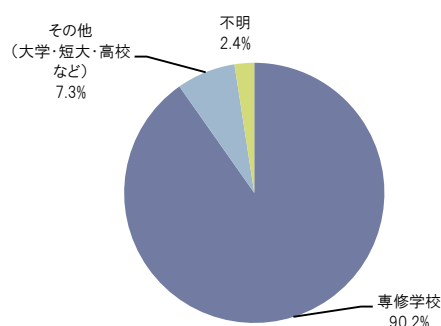
	度数	%
北海道	4	3.3
東北	12	9.8
東京	12	9.8
関東(東京を除く)	15	12.2
信越・北陸	4	3.3
東海	13	10.6
大阪	16	13.0
近畿(大阪を除く)	9	7.3
中国	10	8.1
四国	9	7.3
九州(沖縄を含む)	18	14.6
不明	1	0.8
合計	123	100.0



・回答者の学校所在地は「九州(沖縄を含む)」が最も多く14.6%、次いで「大阪」13.0%、「関東(東京を除く)」12.2%である。

Q1_2 養成施設のタイプ

	度数	%
専修学校	111	90.2
その他(大学・短大・高校など)	9	7.3
不明	3	2.4
合計	123	100.0

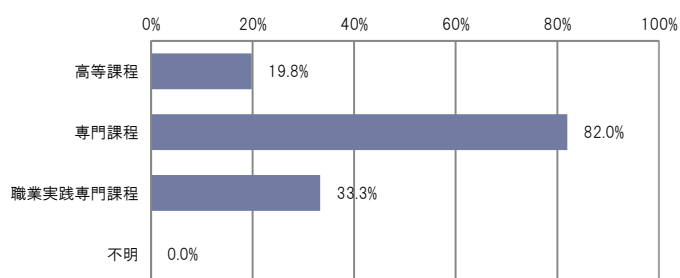


・養成施設のタイプは「専修学校」が90.2%、「その他(大学・短大・高校など)」が7.3%である。

Q1_2SQ 設置課程

(複数回答)

	度数	%
高等課程	22	19.8
専門課程	91	82.0
職業実践専門課程	37	33.3
不明	0	0.0
母数	111	100.0



・養成施設のタイプが「専修学校」とした回答者の中で、設置課程については「専門課程」が82.0%と最も多く、次いで「職業実践専門課程」が33.3%、「高等課程」19.8%となっている。

高等課程×他の課程

	度数	%
【高等課程あり】	22	19.8
高等課程のみ	2	1.8
高等課程・専門課程	17	15.3
高等課程・職業実践専門課程	0	0.0
高等課程・専門課程・職業実践専門課程	3	2.7
【高等課程なし】	89	80.2
専門課程のみ	55	49.5
専門課程・職業実践専門課程	16	14.4
職業実践専門課程のみ	18	16.2
合計	111	100.0

2. 美容師養成施設全体の傾向

2. 美容師養成施設全体の傾向

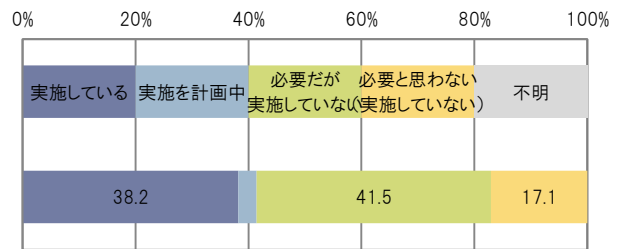
2-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_1 書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業

	度数	%
実施している	47	38.2
実施を計画中	4	3.3
必要だが実施していない	51	41.5
必要と思わない(実施していない)	21	17.1
不明	0	0.0
合計	123	100.0

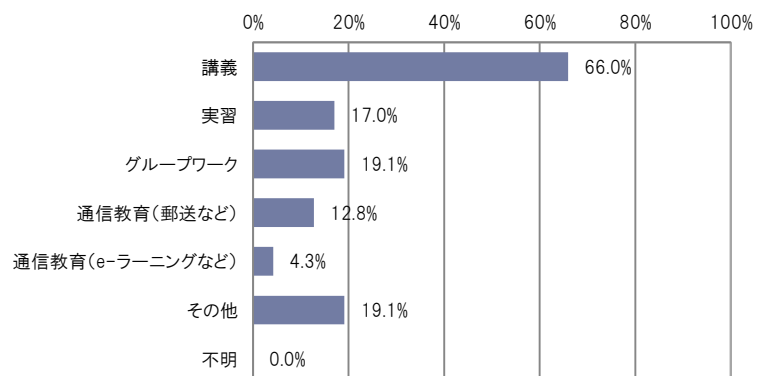


- ・国語の力をつける授業を「実施している」と回答した学校は38.2%である。
- ・「必要だが実施していない」と回答した学校が41.5%である。

Q2_1SQ 実施方法

	度数	%
講義	31	66.0
実習	8	17.0
グループワーク	9	19.1
通信教育(郵送など)	6	12.8
通信教育(e-ラーニングなど)	2	4.3
その他	9	19.1
不明	0	0.0
母数	47	100.0

※Q2_1「1.実施している」回答者のみ



- ・授業を実施している学校の中で、実施方法は「講義」と回答した学校が最も多く66.0%、次いで「グループワーク」が19.1%、「実習」が17.0%となっている。

<その他回答>

高校国語授業
 漢字ドリル
 各担任の指導
 演習
 作文
 読書感想文、レポート提出
 入学準備テキスト配布・解説

2. 美容師養成施設全体の傾向

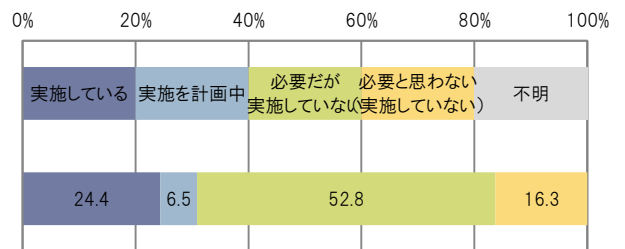
2-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_2 基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業

	度数	%
実施している	30	24.4
実施を計画中	8	6.5
必要だが実施していない	65	52.8
必要と思わない(実施していない)	20	16.3
不明	0	0.0
合計	123	100.0

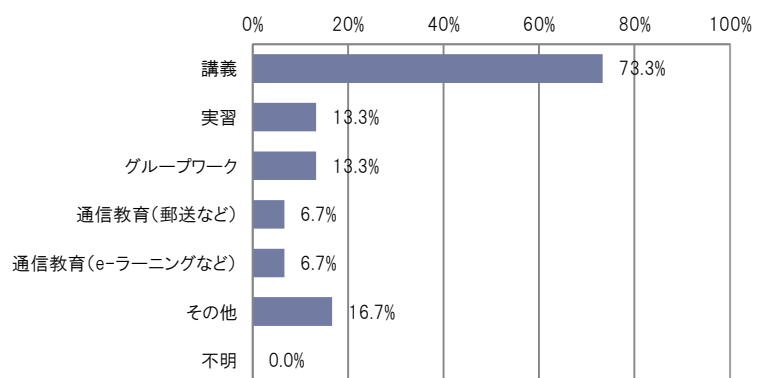


- ・数学の力をつける授業を「実施している」学校は24.4%である。
- ・「必要だが実施していない」学校は52.8%と多い。

Q2_2SQ 実施方法

	度数	%
講義	22	73.3
実習	4	13.3
グループワーク	4	13.3
通信教育(郵送など)	2	6.7
通信教育(e-ラーニングなど)	2	6.7
その他	5	16.7
不明	0	0.0
母数	30	100.0

※Q2_2「1.実施している」回答者のみ



- ・実施している学校の中で、実施方法は「講義」と回答した学校が73.3%と最も多い。

<その他回答>

高校数学授業
 計算ドリル
 各担任の指導
 演習
 入学準備テキスト配布・解説

2. 美容師養成施設全体の傾向

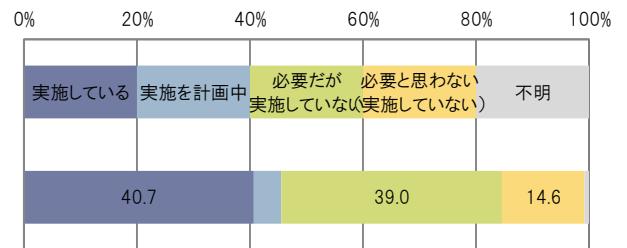
2-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_3 歴史、世の中のしくみなどの社会の力をつける授業

	度数	%
実施している	50	40.7
実施を計画中	6	4.9
必要だが実施していない	48	39.0
必要と思わない(実施していない)	18	14.6
不明	1	0.8
合計	123	100.0

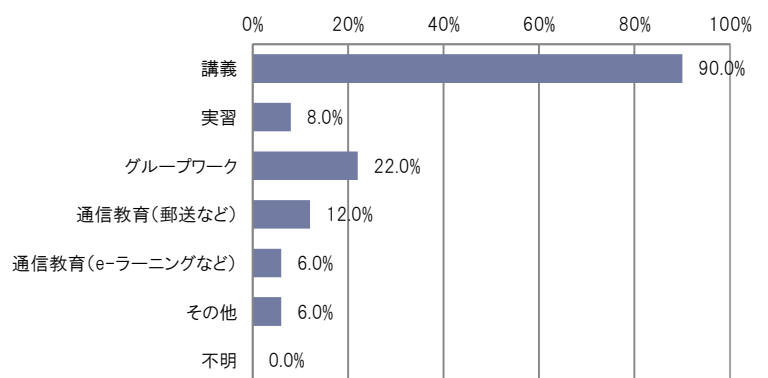


・社会の力をつける授業を「実施している」学校は40.7%、「必要だが実施していない」学校は39.0%である。

Q2_3SQ 実施方法

	度数	%
講義	45	90.0
実習	4	8.0
グループワーク	11	22.0
通信教育(郵送など)	6	12.0
通信教育(e-ラーニングなど)	3	6.0
その他	3	6.0
不明	0	0.0
母数	50	100.0

※Q2_3「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が90.0%と最も多く、次いで「グループワーク」が22.0%、「通信教育(郵送など)」が12.0%となっている。

<その他回答>

高校の授業

レポート

入学準備テキスト配布・解説

2. 美容師養成施設全体の傾向

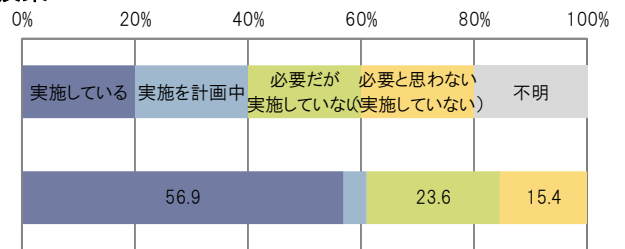
2-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_4 身近な物理現象、電流や化学変化などの理科の力をつける授業

	度数	%
実施している	70	56.9
実施を計画中	5	4.1
必要だが実施していない	29	23.6
必要と思わない(実施していない)	19	15.4
不明	0	0.0
合計	123	100.0

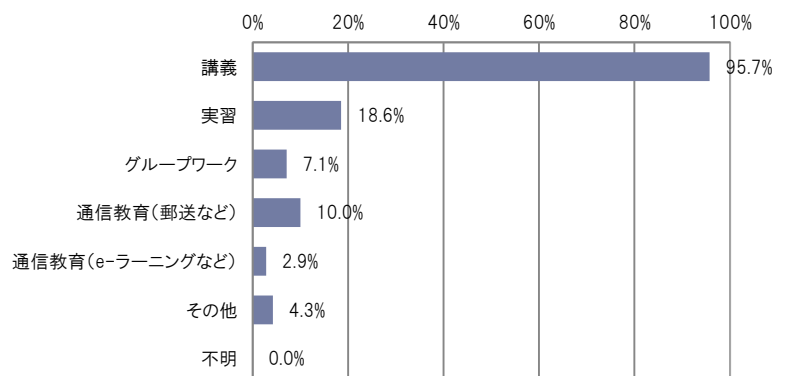


・理科の力をつける授業を「実施している」学校は56.9%、「必要だが実施していない」学校は23.6%である。

Q2_4SQ 実施方法

	度数	%
講義	67	95.7
実習	13	18.6
グループワーク	5	7.1
通信教育(郵送など)	7	10.0
通信教育(e-ラーニングなど)	2	2.9
その他	3	4.3
不明	0	0.0
母数	70	100.0

※Q2_4「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が95.7%と最も多く、次いで「実習」18.6%、「通信教育(郵送など)」10.0%となっている。

<その他回答>

レポート

2. 美容師養成施設全体の傾向

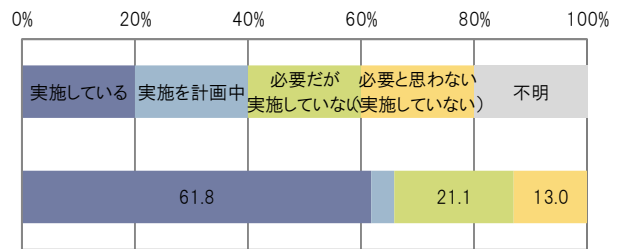
2-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_5 体のしくみや健康などの保健の力をつける授業

	度数	%
実施している	76	61.8
実施を計画中	5	4.1
必要だが実施していない	26	21.1
必要と思わない(実施していない)	16	13.0
不明	0	0.0
合計	123	100.0

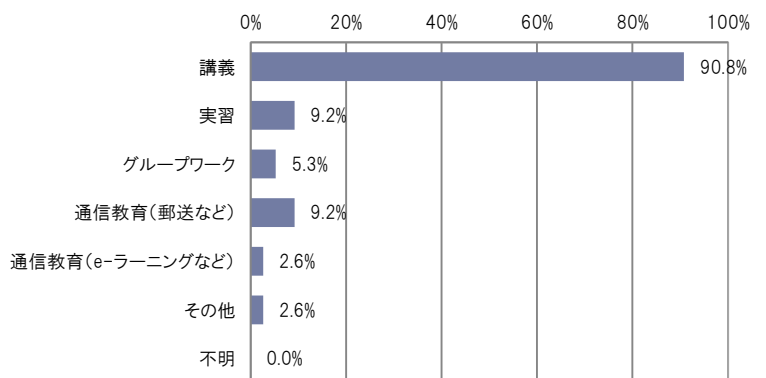


・保健の力をつける授業を「実施している」学校は61.8%、「必要だが実施していない」学校は21.1%である。

Q2_5SQ 実施方法

	度数	%
講義	69	90.8
実習	7	9.2
グループワーク	4	5.3
通信教育(郵送など)	7	9.2
通信教育(e-ラーニングなど)	2	2.6
その他	2	2.6
不明	0	0.0
母数	76	100.0

※Q2_5「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が90.8%と最も多い。

<その他回答>

レポート

2. 美容師養成施設全体の傾向

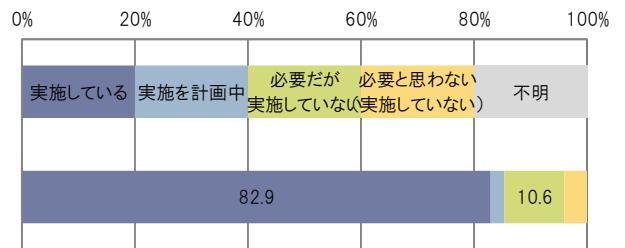
2-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_6 色彩や被服・ファッションなどの美術・家庭の力をつける授業

	度数	%
実施している	102	82.9
実施を計画中	3	2.4
必要だが実施していない	13	10.6
必要と思わない(実施していない)	5	4.1
不明	0	0.0
合計	123	100.0

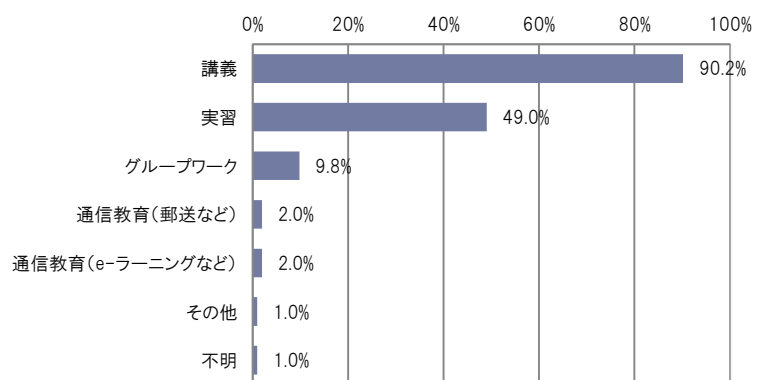


・美術・家庭の力をつける授業を「実施している」学校は82.9%と多い。「実施を計画中」「必要だが実施していない」を合わせると95.9%の学校が実施、もしくは必要だと感じている。

Q2_6SQ 実施方法

	度数	%
講義	92	90.2
実習	50	49.0
グループワーク	10	9.8
通信教育(郵送など)	2	2.0
通信教育(e-ラーニングなど)	2	2.0
その他	1	1.0
不明	1	1.0
母数	102	100.0

※Q2_6「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が最も多く90.2%、次いで「実習」が49.0%である。

<その他回答>

課外ゼミ

2. 美容師養成施設全体の傾向

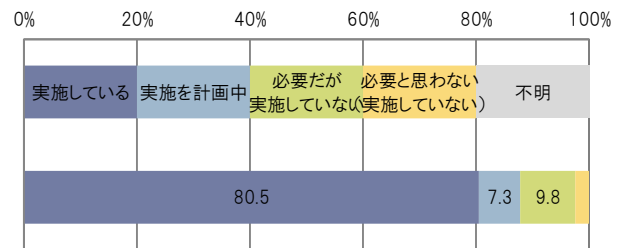
2-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_7 働くことの目的や意義、職業観についての授業

	度数	%
実施している	99	80.5
実施を計画中	9	7.3
必要だが実施していない	12	9.8
必要と思わない(実施していない)	3	2.4
不明	0	0.0
合計	123	100.0

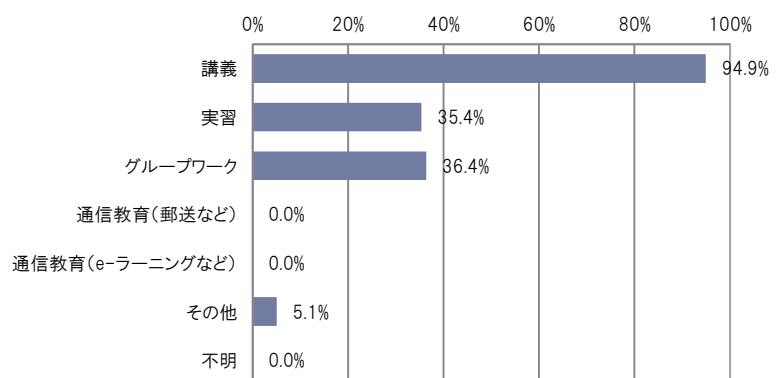


・働くことの目的や意義、職業観についての授業を「実施している」学校は80.5%である。

Q2_7SQ 実施方法

	度数	%
講義	94	94.9
実習	35	35.4
グループワーク	36	36.4
通信教育(郵送など)	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0
その他	5	5.1
不明	0	0.0
母数	99	100.0

※Q2_7「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が94.9%と最も多く、次いで「グループワーク」が36.4%、「実習」が35.4%である。

<その他回答>

説明会

セミナー

講話・講演等

外郭セミナー

2. 美容師養成施設全体の傾向

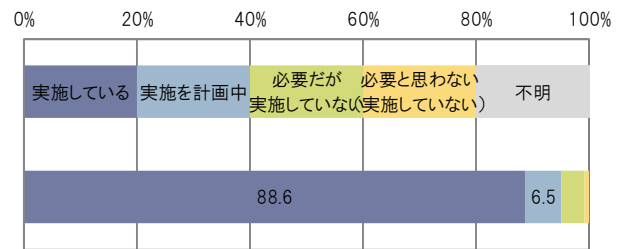
2-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_8 職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業

	度数	%
実施している	109	88.6
実施を計画中	8	6.5
必要だが実施していない	5	4.1
必要と思わない(実施していない)	1	0.8
不明	0	0.0
合計	123	100.0

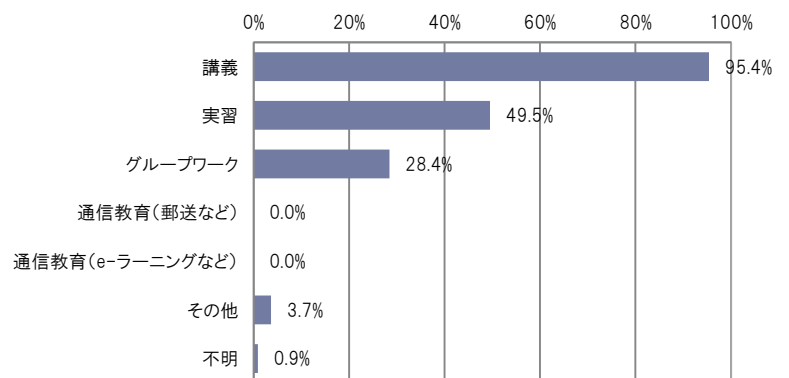


・職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業を「実施している」学校は88.6%であり、「実施を計画中」と合わせると95.1%の学校が実施もしくは計画中と回答している。

Q2_8SQ 実施方法

	度数	%
講義	104	95.4
実習	54	49.5
グループワーク	31	28.4
通信教育(郵送など)	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0
その他	4	3.7
不明	1	0.9
母数	109	100.0

※Q2_8「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」は95.4%と多く、次いで「実習」49.5%、「グループワーク」28.4%となっている。

<その他回答>

接遇、マナー資格試験実施

セミナー

講話・講演等

2. 美容師養成施設全体の傾向

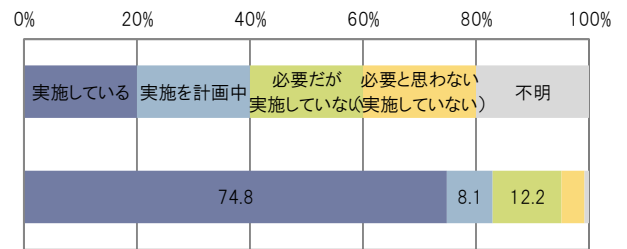
2-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_9 社会における職業の意味についての授業

	度数	%
実施している	92	74.8
実施を計画中	10	8.1
必要だが実施していない	15	12.2
必要と思わない(実施していない)	5	4.1
不明	1	0.8
合計	123	100.0

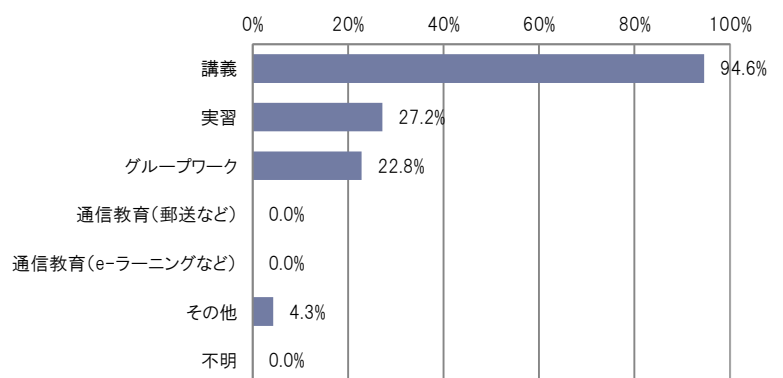


・社会における職業の意味についての授業を「実施している」と回答した学校は74.8%である。

Q2_9SQ 実施方法

	度数	%
講義	87	94.6
実習	25	27.2
グループワーク	21	22.8
通信教育(郵送など)	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0
その他	4	4.3
不明	0	0.0
母数	92	100.0

※Q2_9「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が94.6%と多く、次いで「実習」が27.2%、「グループワーク」が22.8%である。

<その他回答>

研修授業実施

セミナー

講話・講演等

2. 美容師養成施設全体の傾向

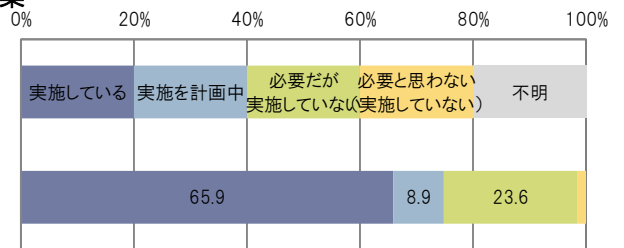
2-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_10 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業

	度数	%
実施している	81	65.9
実施を計画中	11	8.9
必要だが実施していない	29	23.6
必要と思わない(実施していない)	2	1.6
不明	0	0.0
合計	123	100.0

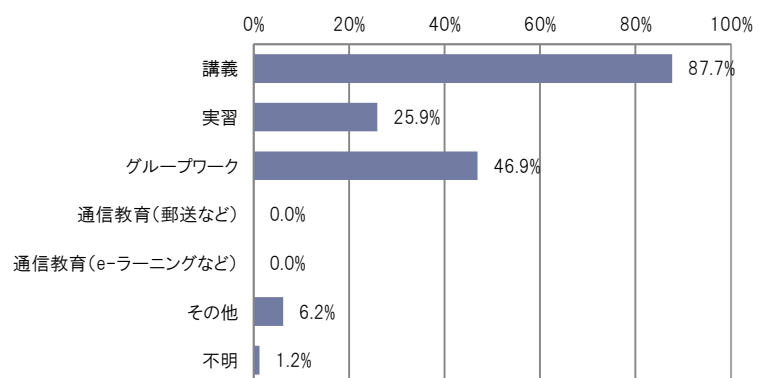


- ・自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業を「実施している」学校は65.9%である。
- ・「必要だが実施していない」学校は23.6%である。

Q2_10SQ 実施方法

	度数	%
講義	71	87.7
実習	21	25.9
グループワーク	38	46.9
通信教育(郵送など)	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0
その他	5	6.2
不明	1	1.2
母数	81	100.0

※Q2_10「1.実施している」回答者のみ



- ・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が87.7%と最も多く、次いで「グループワーク」が46.9%、「実習」が25.9%である。

<その他回答>

研修授業の実施

講話・講演等

実習に関する反省会

面談

個人面談等

2. 美容師養成施設全体の傾向

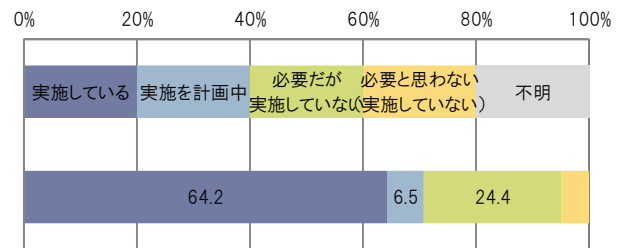
2-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_11 チームワークの大切さについての授業

	度数	%
実施している	79	64.2
実施を計画中	8	6.5
必要だが実施していない	30	24.4
必要と思わない(実施していない)	6	4.9
不明	0	0.0
合計	123	100.0

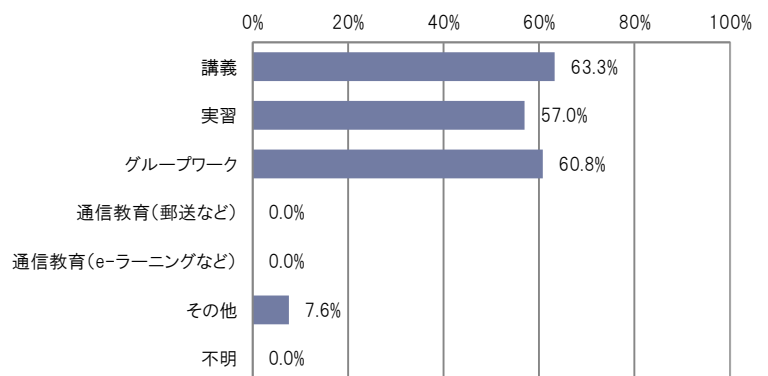


- ・チームワークの大切さについての授業を「実施している」学校は64.2%である。
- ・「必要だが実施していない」と回答した学校は24.4%である。

Q2_11SQ 実施方法

	度数	%
講義	50	63.3
実習	45	57.0
グループワーク	48	60.8
通信教育(郵送など)	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0
その他	6	7.6
不明	0	0.0
母数	79	100.0

※Q2_11「1.実施している」回答者のみ



- ・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が最も多く63.3%、次いで「グループワーク」が60.8%、「実習」が57.0%となっている。

<その他回答>

研修授業の実施

講話・講演等

体育祭などイベント

行事等

ヘアショー

2. 美容師養成施設全体の傾向

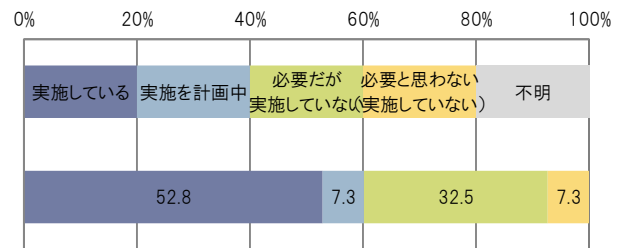
2-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_12 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業

	度数	%
実施している	65	52.8
実施を計画中	9	7.3
必要だが実施していない	40	32.5
必要と思わない(実施していない)	9	7.3
不明	0	0.0
合計	123	100.0

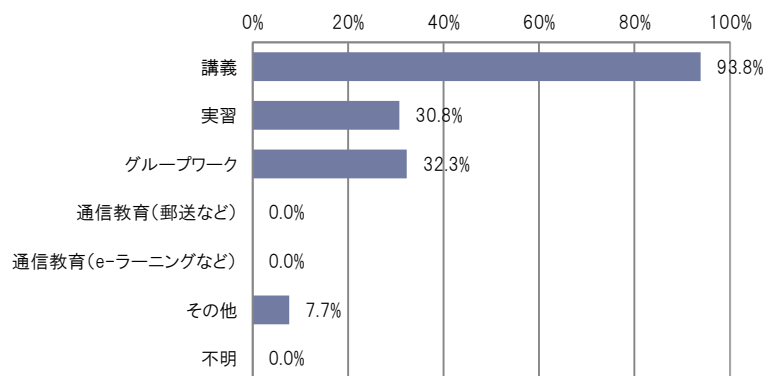


- ・働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業を「実施している」学校は52.8%である。
- ・「必要だが実施していない」と回答した学校は32.5%である。

Q2_12SQ 実施方法

	度数	%
講義	61	93.8
実習	20	30.8
グループワーク	21	32.3
通信教育(郵送など)	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0
その他	5	7.7
不明	0	0.0
母数	65	100.0

※Q2_12「1.実施している」回答者のみ



- ・実施している学校の中で、実施方法は「講義」が最も多く93.8%、次いで「グループワーク」が32.3%、「実習」30.8%となっている。

<その他回答>

研修授業の実施

講話・講演等

インターンシップ

入学準備テキスト配布・解説

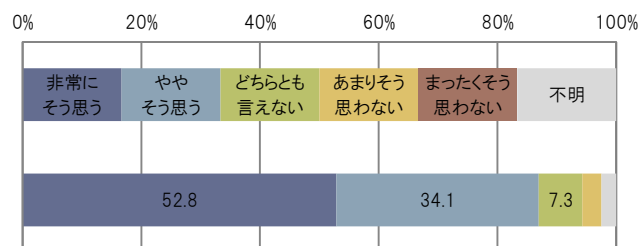
2. 美容師養成施設全体の傾向

2-3.基礎学力教育と職業キャリア教育の重要度について

重要度

Q3_1「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である

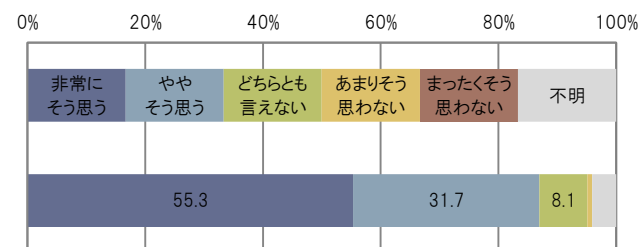
	度数	%
非常にそう思う	65	52.8
ややそう思う	42	34.1
どちらとも言えない	9	7.3
あまりそう思わない	4	3.3
まったくそう思わない	0	0.0
不明	3	2.4
合計	123	100.0



・”「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である”に対して、「非常にそう思う」は52.8%、「ややそう思う」は34.1%である。

Q4_1「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である

	度数	%
非常にそう思う	68	55.3
ややそう思う	39	31.7
どちらとも言えない	10	8.1
あまりそう思わない	1	0.8
まったくそう思わない	0	0.0
不明	5	4.1
合計	123	100.0



・”「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である”に対して、「非常にそう思う」は55.3%、「ややそう思う」は31.7%である。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

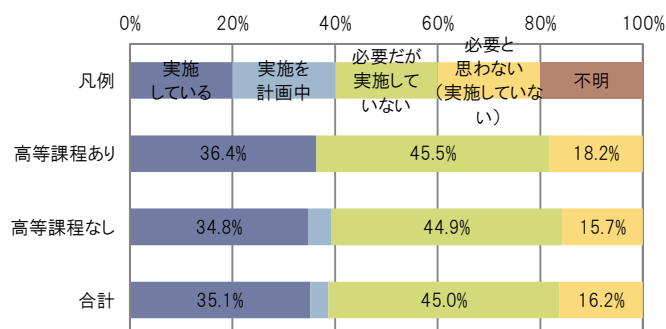
3-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_1 書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施して いない)	不明	合計
高等課程 あり	8 36.4%	0 0.0%	10 45.5%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	31 34.8%	4 4.5%	40 44.9%	14 15.7%	0 0.0%	89 100.0%
合計	39 35.1%	4 3.6%	50 45.0%	18 16.2%	0 0.0%	111 100.0%



・国語の力をつける授業について、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは36.4%、「必要だが実施していない」のは45.5%である。「必要と思わない(実施していない)」学校は18.2%である。

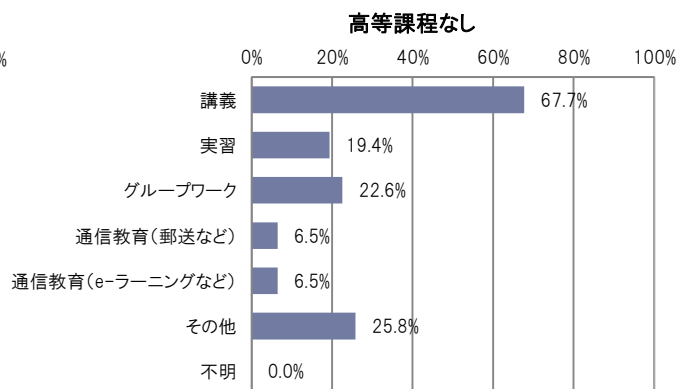
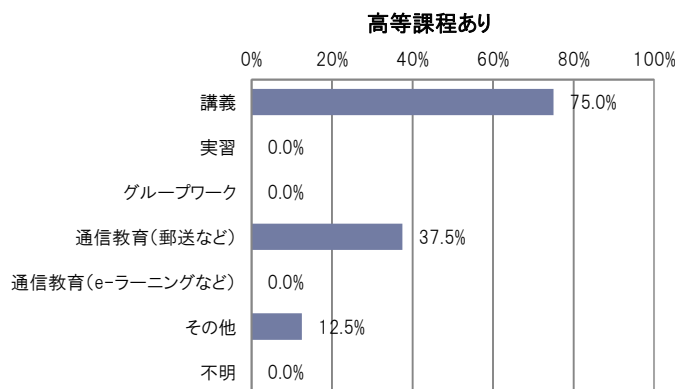
・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のが34.8%、「必要だが実施していない」のは44.9%である。

Q2_1SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	6	75.0	21	67.7
実習	0	0.0	6	19.4
グループワーク	0	0.0	7	22.6
通信教育(郵送など)	3	37.5	2	6.5
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	2	6.5
その他	1	12.5	8	25.8
不明	0	0.0	0	0.0
母数	8	100.0	31	100.0

※Q2_1「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が75.0%と最も多く、次いで「通信教育(郵送など)」が37.5%となっている。

・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」67.7%が最も多く、次いで「グループワーク」が22.6%、「実習」が19.4%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

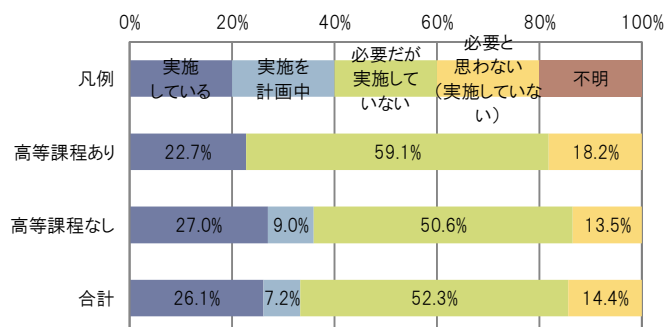
3-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_2 基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施し ていない)	不明	合計
高等課程 あり	5 22.7%	0 0.0%	13 59.1%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	24 27.0%	8 9.0%	45 50.6%	12 13.5%	0 0.0%	89 100.0%
合計	29 26.1%	8 7.2%	58 52.3%	16 14.4%	0 0.0%	111 100.0%



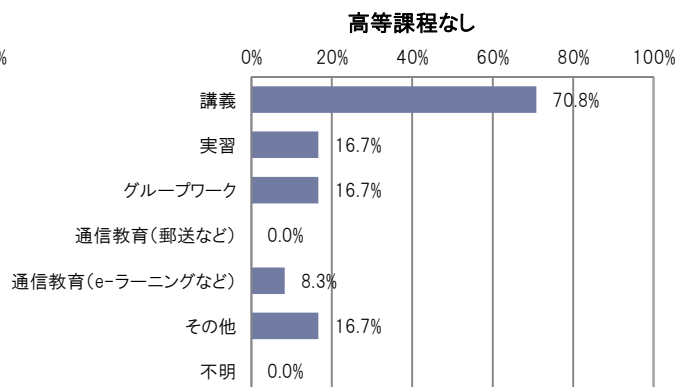
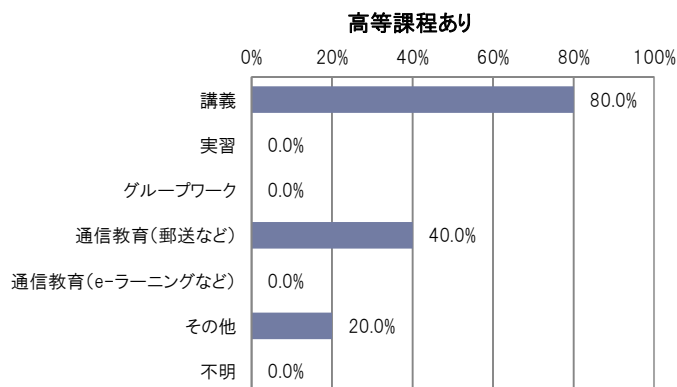
・数学の力をつける授業について、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは22.7%、「必要だが実施していない」学校は59.1%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のは27.0%、「必要だが実施していない」のは50.6%である。

Q2_2SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	4	80.0	17	70.8
実習	0	0.0	4	16.7
グループワーク	0	0.0	4	16.7
通信教育(郵送など)	2	40.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	2	8.3
その他	1	20.0	4	16.7
不明	0	0.0	0	0.0
母数	5	100.0	24	100.0

※Q2_2「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が80.0%、「通信教育(郵送など)」が40.0%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が70.8%、「グループワーク」「実習」がそれぞれ16.7%である。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

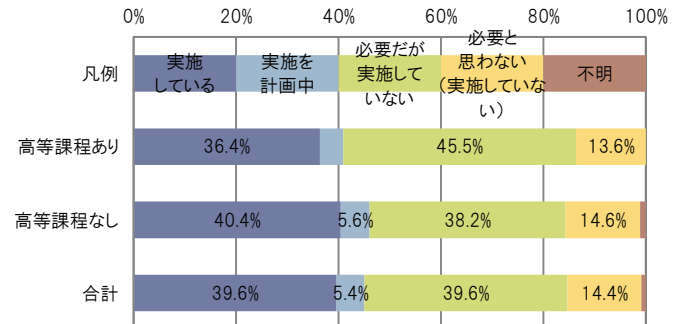
3-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_3 歴史、世の中のしくみなどの社会の力をつける授業

	上段：度数		下段：%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施 して いない)	不明	合計
高等課程 あり	8 36.4%	1 4.5%	10 45.5%	3 13.6%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	36 40.4%	5 5.6%	34 38.2%	13 14.6%	1 1.1%	89 100.0%
合計	44 39.6%	6 5.4%	44 39.6%	16 14.4%	1 0.9%	111 100.0%



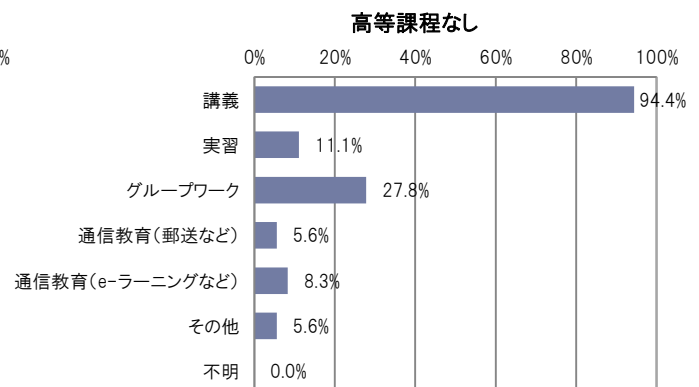
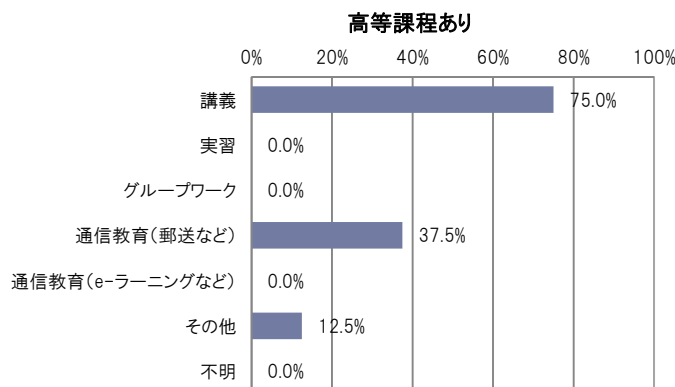
・社会の力をつける授業について、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは36.4%、「必要だが実施していない」学校は45.5%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のは40.4%、「必要だが実施していない」のは38.2%である。

Q2_3SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	6	75.0	34	94.4
実習	0	0.0	4	11.1
グループワーク	0	0.0	10	27.8
通信教育(郵送など)	3	37.5	2	5.6
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	3	8.3
その他	1	12.5	2	5.6
不明	0	0.0	0	0.0
母数	8	100.0	36	100.0

※Q2_3「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が75.0%、「通信教育(郵送など)」が37.5%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が94.4%と最も多く、次いで「グループワーク」27.8%、「実習」11.1%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

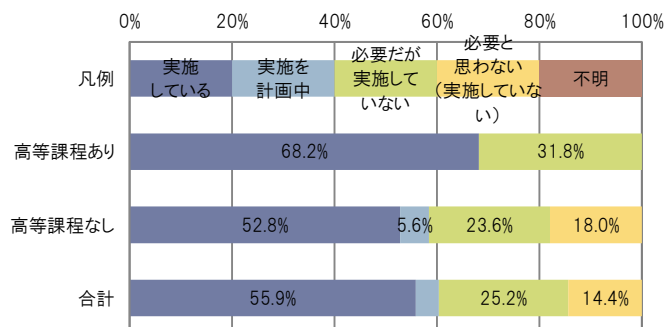
3-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_4 身近な物理現象、電流や化学変化などの理科の力をつける授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施 して いない)	不明	合計
高等課程 あり	15 68.2%	0 0.0%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	47 52.8%	5 5.6%	21 23.6%	16 18.0%	0 0.0%	89 100.0%
合計	62 55.9%	5 4.5%	28 25.2%	16 14.4%	0 0.0%	111 100.0%



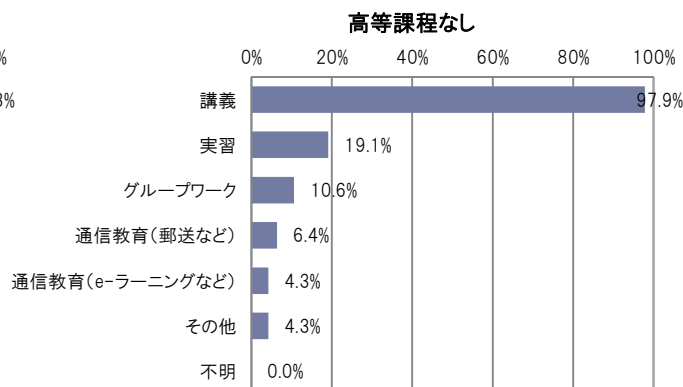
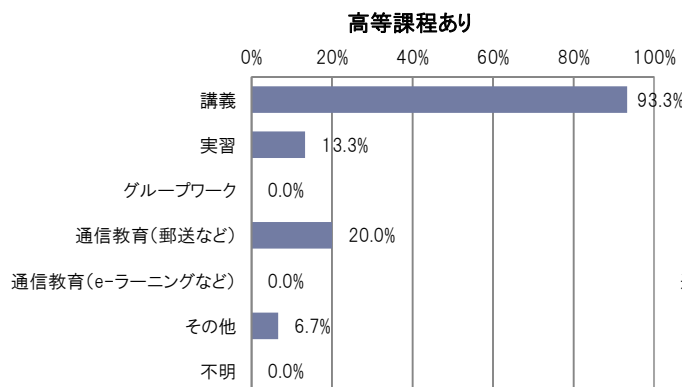
・理科の力をつける授業について、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは68.2%、「必要だが実施していない」学校は31.8%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のは52.8%、「必要だが実施していない」のは23.6%である。一方で、「必要と思わない(実施していない)」学校は18.0%である。

Q2_4SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	14	93.3	46	97.9
実習	2	13.3	9	19.1
グループワーク	0	0.0	5	10.6
通信教育(郵送など)	3	20.0	3	6.4
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	2	4.3
その他	1	6.7	2	4.3
不明	0	0.0	0	0.0
母数	15	100.0	47	100.0

※Q2_4「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が93.3%、「通信教育(郵送など)」が20.0%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が97.9%と最も多く、次いで「実習」が19.1%、「グループワーク」が10.6%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

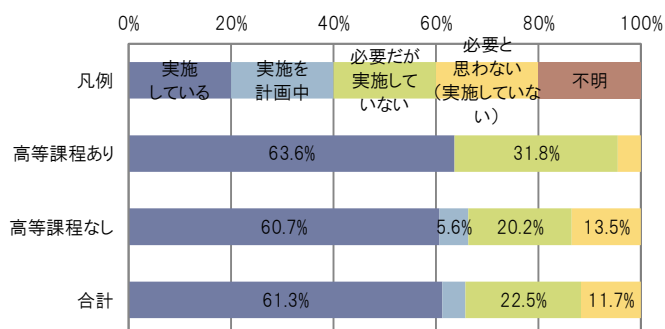
3-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_5 体のしくみや健康などの保健の力をつける授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施 してい ない)	不明	合計
高等課程 あり	14 63.6%	0 0.0%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	54 60.7%	5 5.6%	18 20.2%	12 13.5%	0 0.0%	89 100.0%
合計	68 61.3%	5 4.5%	25 22.5%	13 11.7%	0 0.0%	111 100.0%



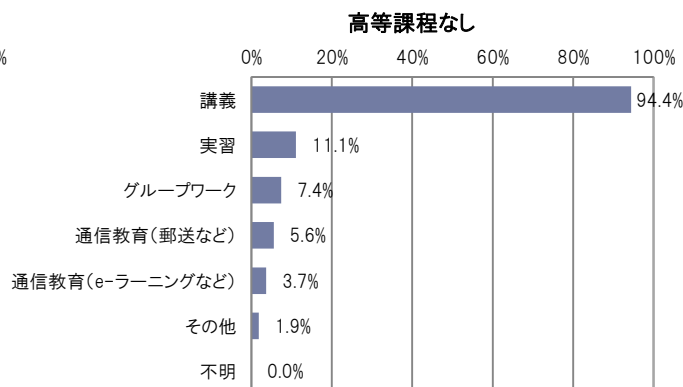
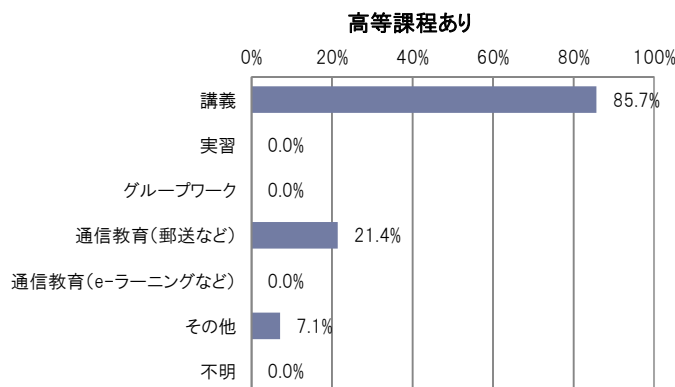
・保健の力をつける授業について、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは63.6%、「必要だが実施していない」学校は31.8%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のは60.7%、「必要だが実施していない」のは20.2%である。「必要と思わない(実施していない)」学校は13.5%である。

Q2_5SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	12	85.7	51	94.4
実習	0	0.0	6	11.1
グループワーク	0	0.0	4	7.4
通信教育(郵送など)	3	21.4	3	5.6
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	2	3.7
その他	1	7.1	1	1.9
不明	0	0.0	0	0.0
母数	14	100.0	54	100.0

※Q2_5「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が85.7%、「通信教育(郵送など)」が21.4%となっている。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が94.4%と最も多く、次いで「実習」が11.1%、「グループワーク」が7.4%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

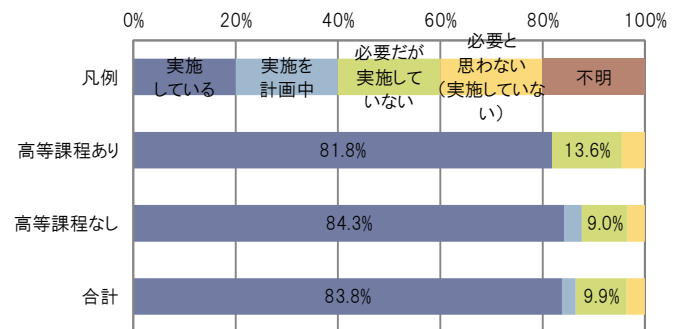
3-1.基礎学力教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_6 色彩や被服・ファッションなどの美術・家庭の力をつける授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施 して いない)	不明	合計
高等課程 あり	18	0	3	1	0	22
	81.8%	0.0%	13.6%	4.5%	0.0%	100.0%
高等課程 なし	75	3	8	3	0	89
	84.3%	3.4%	9.0%	3.4%	0.0%	100.0%
合計	93	3	11	4	0	111
	83.8%	2.7%	9.9%	3.6%	0.0%	100.0%



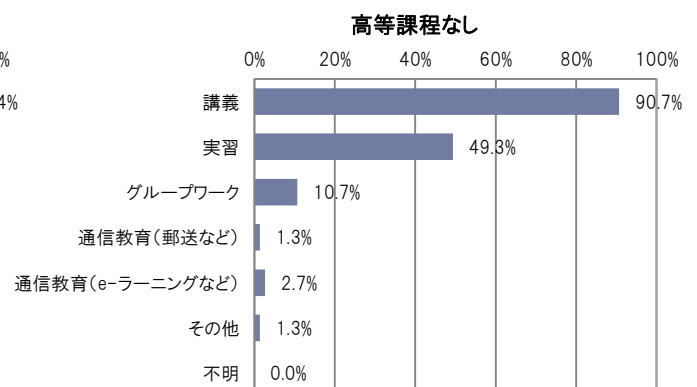
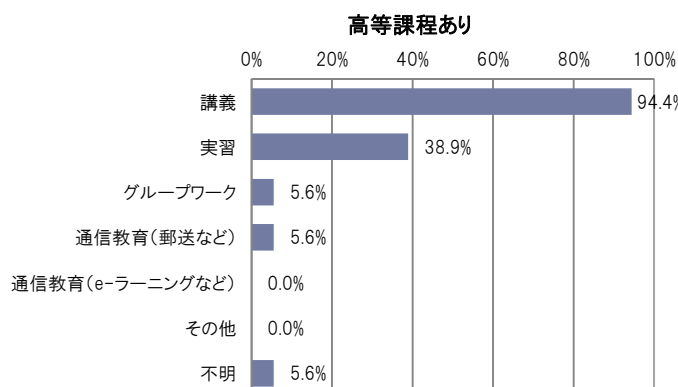
・美術・家庭の力をつける授業について、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは81.8%、「必要だが実施していない」は13.6%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」84.3%、「実施を計画中」は3.4%であり、9割近くの学校で実施もしくは計画中である。

Q2_6SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	17	94.4	68	90.7
実習	7	38.9	37	49.3
グループワーク	1	5.6	8	10.7
通信教育(郵送など)	1	5.6	1	1.3
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	2	2.7
その他	0	0.0	1	1.3
不明	1	5.6	0	0.0
母数	18	100.0	75	100.0

※Q2_6「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が94.4%、「実習」が38.9%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が90.7%、「実習」が49.3%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

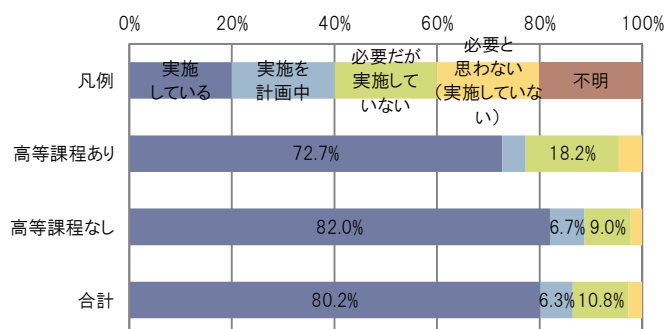
3-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_7 働くことの目的や意義、職業観についての授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施 して いない)	不明	合計
高等課程 あり	16 72.7%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	73 82.0%	6 6.7%	8 9.0%	2 2.2%	0 0.0%	89 100.0%
合計	89 80.2%	7 6.3%	12 10.8%	3 2.7%	0 0.0%	111 100.0%



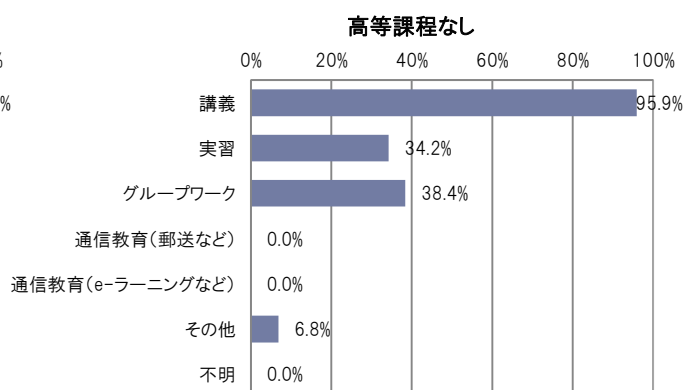
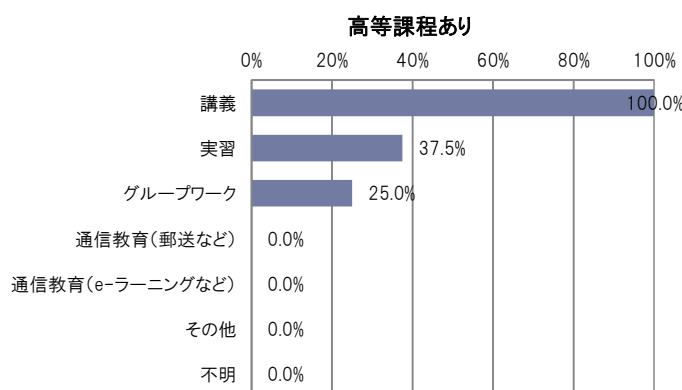
・働くことの目的や意義、職業観についての授業を、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは72.7%、「必要だが実施していない」のは18.2%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「実施している」のが82.0%である。「実施を計画中」6.7%を合わせると、88.7%の学校で実施もしくは計画中である。

Q2_7SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	16	100.0	70	95.9
実習	6	37.5	25	34.2
グループワーク	4	25.0	28	38.4
通信教育(郵送など)	0	0.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	5	6.8
不明	0	0.0	0	0.0
母数	16	100.0	73	100.0

※Q2_7「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では全ての学校が「講義」で実施と回答、次いで「実習」が37.5%、「グループワーク」が25.0%となっている。
 ・「高等課程なし」の学校では、「講義」が95.9%と最も多く、次いで「グループワーク」が38.4%、「実習」が34.2%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

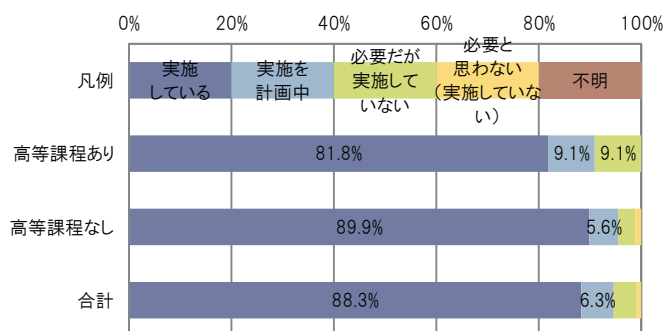
3-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_8 職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業

	上段：度数		下段：%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施して いない)	不明	合計
高等課程 あり	18 81.8%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	80 89.9%	5 5.6%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	89 100.0%
合計	98 88.3%	7 6.3%	5 4.5%	1 0.9%	0 0.0%	111 100.0%



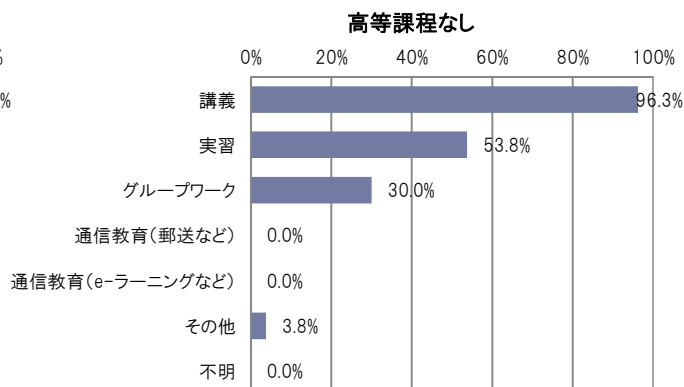
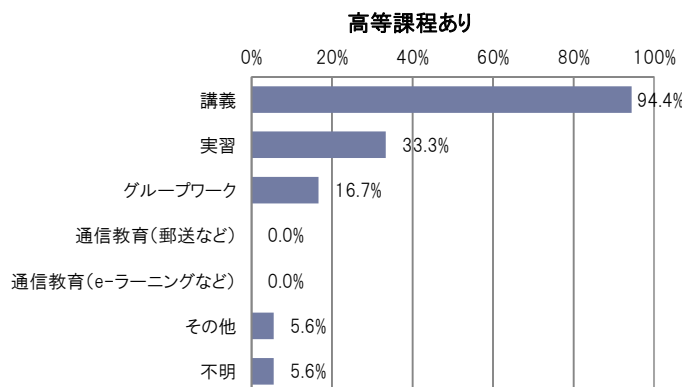
・マナーやキャリアマインドについての授業を、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは81.8%、「実施を計画中」が9.1%であり、合わせると90.9%の学校で実施もしくは計画中である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のが89.9%、「実施を計画中」が5.6%であり、合わせると95.5%の学校で実施もしくは計画中である。

Q2_8SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	17	94.4	77	96.3
実習	6	33.3	43	53.8
グループワーク	3	16.7	24	30.0
通信教育(郵送など)	0	0.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	0	0.0
その他	1	5.6	3	3.8
不明	1	5.6	0	0.0
母数	18	100.0	80	100.0

※Q2_8「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が94.4%と最も多く、「実習」33.3%、「グループワーク」16.7%と続く。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が96.3%と最も多く、次いで「実習」が53.8%、「グループワーク」が30.0%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

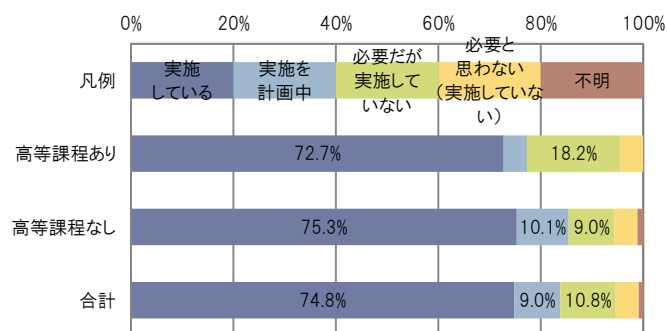
3-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_9 社会における職業の意味についての授業

	上段:度数 下段:%					
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施して いない)	不明	合計
高等課程 あり	16 72.7%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	67 75.3%	9 10.1%	8 9.0%	4 4.5%	1 1.1%	89 100.0%
合計	83 74.8%	10 9.0%	12 10.8%	5 4.5%	1 0.9%	111 100.0%



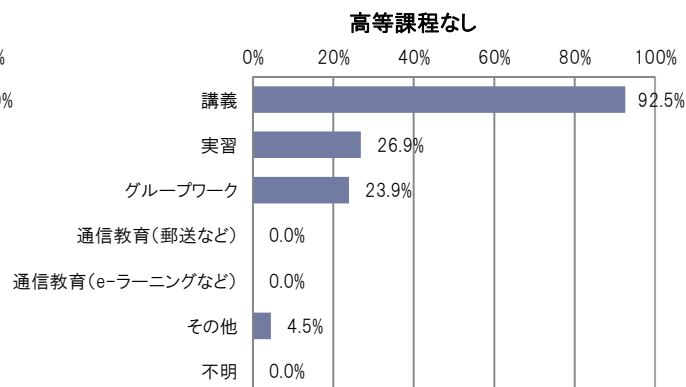
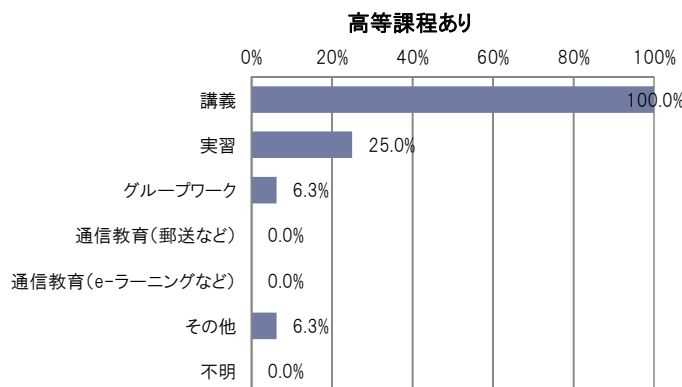
・社会における職業の意味についての授業に関して、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは72.7%、「必要だが実施していない」のは18.2%である。
 ・「高等課程なし」の専修学校では「実施している」のは75.3%、「実施を計画中」10.1%であり、合わせると85.4%の学校が実施もしくは計画中である。

Q2_9SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	16	100.0	62	92.5
実習	4	25.0	18	26.9
グループワーク	1	6.3	16	23.9
通信教育(郵送など)	0	0.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	0	0.0
その他	1	6.3	3	4.5
不明	0	0.0	0	0.0
母数	16	100.0	67	100.0

※Q2_9「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では全ての学校が「講義」で実施と回答、「実習」が25.0%となっている。
 ・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が92.5%と最も多く、次いで「実習」が26.9%、「グループワーク」が23.9%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

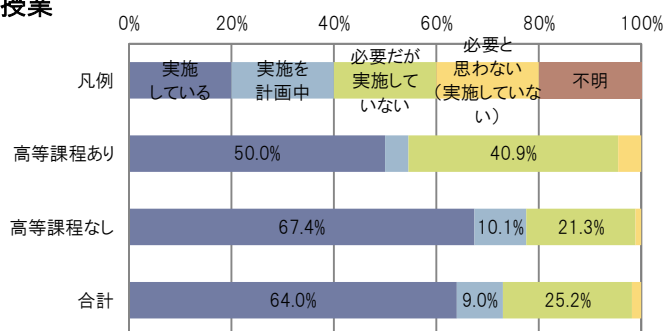
3-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_10 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施 して いない)	不明	合計
高等課程 あり	11 50.0%	1 4.5%	9 40.9%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	60 67.4%	9 10.1%	19 21.3%	1 1.1%	0 0.0%	89 100.0%
合計	71 64.0%	10 9.0%	28 25.2%	2 1.8%	0 0.0%	111 100.0%



・自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業に関して、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは50.0%、「必要だが実施していない」のは40.9%である。

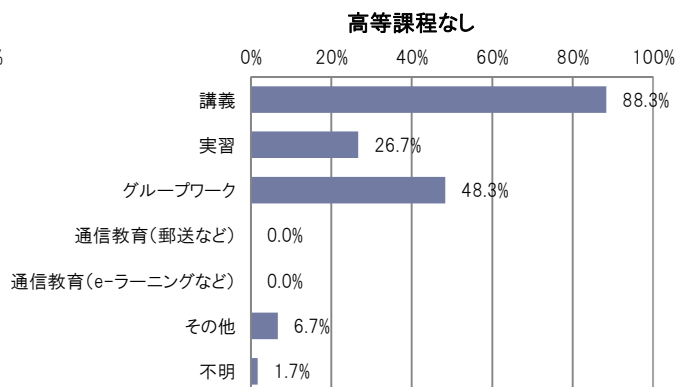
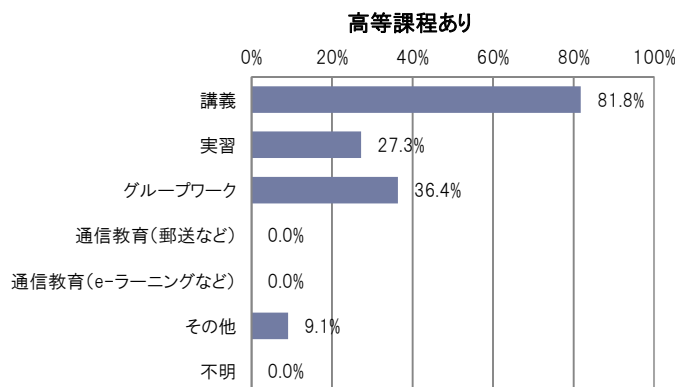
・「高等課程なし」の専修学校では、「実施している」のは67.4%、「実施を計画中」の学校は10.1%である。「必要だが実施していない」学校は21.3%である。

Q2_10SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	9	81.8	53	88.3
実習	3	27.3	16	26.7
グループワーク	4	36.4	29	48.3
通信教育(郵送など)	0	0.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	0	0.0
その他	1	9.1	4	6.7
不明	0	0.0	1	1.7
母数	11	100.0	60	100.0

※Q2_10「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が81.8%と最も多く、次いで「グループワーク」が36.4%、「実習」が27.3%となっている。

・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が88.3%と最も多く、次いで「グループワーク」が48.3%、「実習」が26.7%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

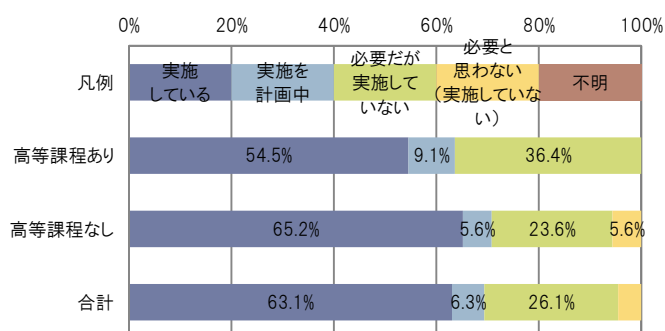
3-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_11 チームワークの大切さについての授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施して いない)	不明	合計
高等課程 あり	12 54.5%	2 9.1%	8 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	58 65.2%	5 5.6%	21 23.6%	5 5.6%	0 0.0%	89 100.0%
合計	70 63.1%	7 6.3%	29 26.1%	5 4.5%	0 0.0%	111 100.0%



・チームワークの大切さについての授業に関して、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは54.5%、「必要だが実施していない」のは36.4%である。

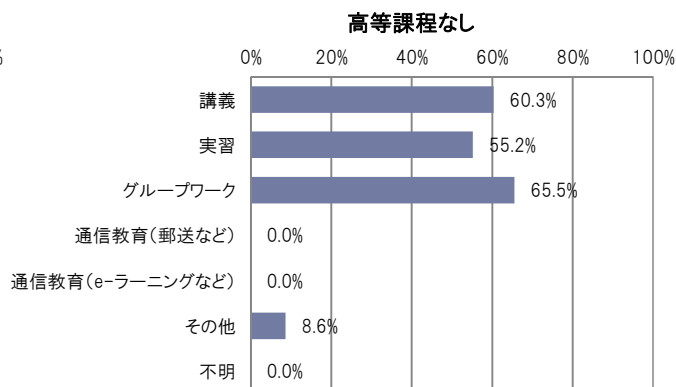
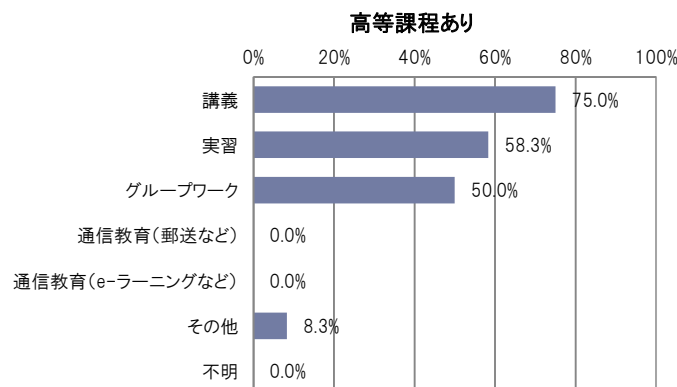
・「高等課程なし」の専修学校で「実施している」のは65.2%、「必要だが実施していない」学校は23.6%である。

Q2_11SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	9	75.0	35	60.3
実習	7	58.3	32	55.2
グループワーク	6	50.0	38	65.5
通信教育(郵送など)	0	0.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	0	0.0
その他	1	8.3	5	8.6
不明	0	0.0	0	0.0
母数	12	100.0	58	100.0

※Q2_11「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では「講義」が75.0%、「実習」が58.3%、「グループワーク」が50.0%となっている。

・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が60.3%、「グループワーク」が65.5%、「実習」が55.2%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

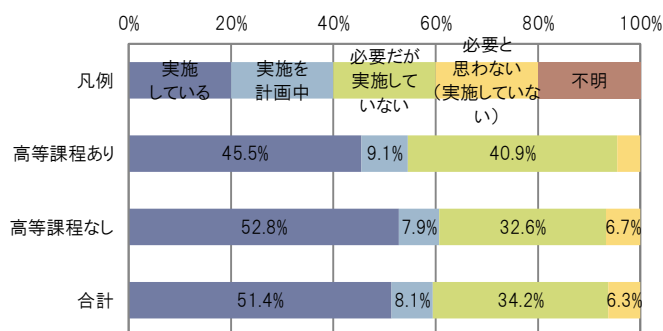
3-2.職業キャリア教育の実施状況について

実施状況

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

Q2_12 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業

	上段:度数		下段:%			
	実施 している	実施を 計画中	必要だが 実施して いない	必要と 思わない (実施して いない)	不明	合計
高等課程 あり	10 45.5%	2 9.1%	9 40.9%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
高等課程 なし	47 52.8%	7 7.9%	29 32.6%	6 6.7%	0 0.0%	89 100.0%
合計	57 51.4%	9 8.1%	38 34.2%	7 6.3%	0 0.0%	111 100.0%



・働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業に関して、「高等課程あり」の専修学校で「実施している」のは45.5%、「必要だが実施していない」のは40.9%である。

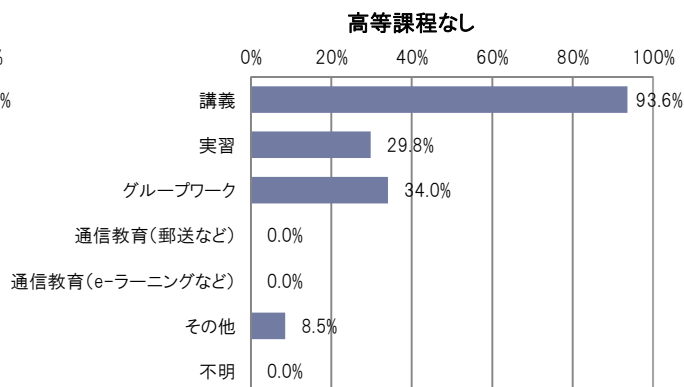
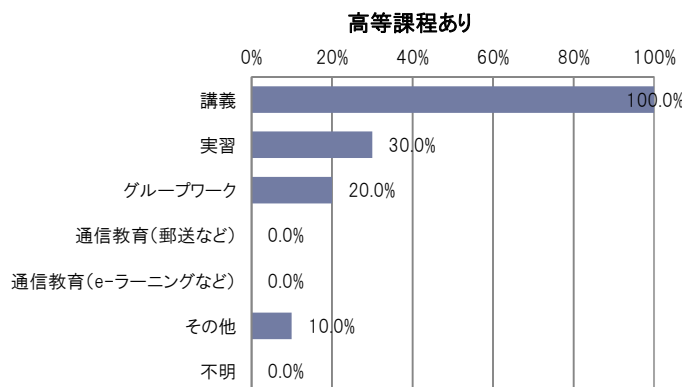
・「高等課程なし」の専修学校で「実施している」のは52.8%、「必要だが実施していない」学校は32.6%である。

Q2_12SQ 実施方法

(複数回答)

	高等課程あり		高等課程なし	
	度数	%	度数	%
講義	10	100.0	44	93.6
実習	3	30.0	14	29.8
グループワーク	2	20.0	16	34.0
通信教育(郵送など)	0	0.0	0	0.0
通信教育(e-ラーニングなど)	0	0.0	0	0.0
その他	1	10.0	4	8.5
不明	0	0.0	0	0.0
母数	10	100.0	47	100.0

※Q2_12「1.実施している」回答者のみ



・実施している学校の中で、「高等課程あり」の専修学校では全ての学校で「講義」で実施と回答、「実習」が30.0%、「グループワーク」が20.0%となっている。

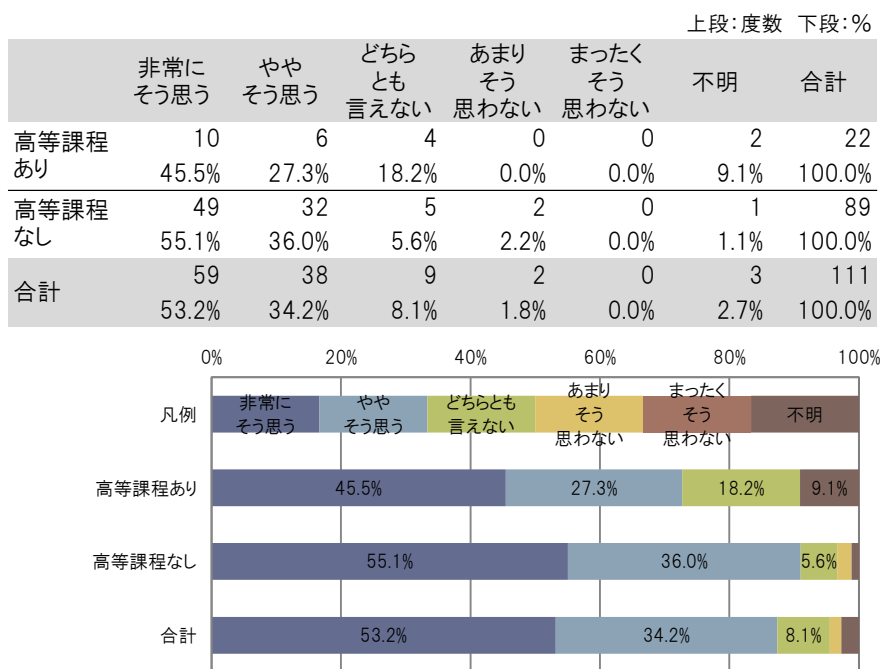
・「高等課程なし」の専修学校では、「講義」が93.6%、「グループワーク」が34.0%、「実習」が29.8%となっている。

3. 専修学校(高等課程あり／なし)の傾向

3-3.基礎学力教育と職業キャリア教育の重要度について

重要度

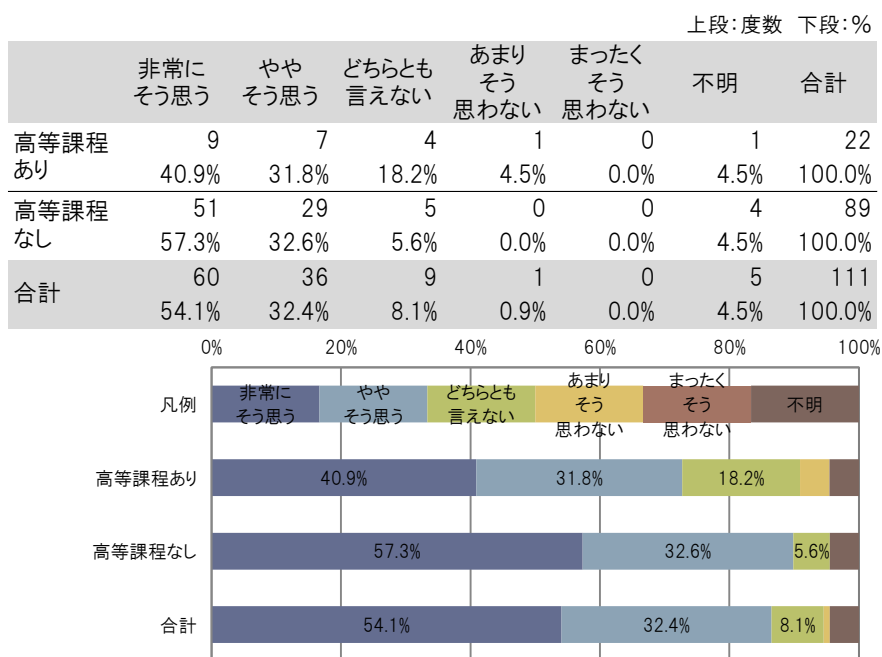
Q3_1「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である



・”「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である”に対して、「高等課程あり」の専修学校で「非常にそう思う」は45.5%、「ややそう思う」は27.3%である。

・「高等課程なし」の専修学校では、「非常にそう思う」は55.1%、「ややそう思う」は36.0%であり、合わせると91.0%の学校が重要であると回答している。

Q4_1「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である



・”「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である”に対して、「高等課程あり」の専修学校で「非常にそう思う」は40.9%、「ややそう思う」は31.8%である。

・「高等課程なし」の専修学校では、「非常にそう思う」は57.3%、「ややそう思う」は32.6%であり、合わせると89.9%の学校が重要であると回答している。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の 実施についてのご意見

＜自由回答＞

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-1.課題について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

1.学生のレベル差

高等課程

個人の能力差がありすぎる為、基準をどの水準にもっていくのが課題である。

おのおのの年齢が一定でない為、一般常識もそなわっている者との差があり、非常に難しい。

中卒、高卒、その他(専門学校／短大卒業)の生徒が混在し、基礎学力にレベル差がある。

個人差が大きい

高等課程以外

学力の力に、かたよがりがある。

基礎学力といってもレベルを把握する必要がある

個人差が大きいため、統一的な授業等で向上を図りづらい。

学生ごとのレベルの差があり、画一的な授業は難しいということ

在学生の基礎学力に差があり、レベルの設定が課題である。

入学もない時期の学力格差の是正

義務教育レベルの知識に差がありすぎる

基礎学力の差が大きい

学力レベルの差や学科で必要としている基礎知識が異なるため全員が共通の教材を使用することができない

入学時の学生一人ひとりの学力の幅が大きいこと。

1人1人の学力差が大きいくレベルを統一するのが難しい

個人差がある

個々によるレベルの違い(高校レベル)

基礎学力がある学生とない学生の差と、分布

個々の基礎学力の違い

入学時点における、基礎学力の程度は学生個々人でかなりの差があるため、低いレベルに合わせることに困難がある。

授業の進捗の違いに影響しています。

基礎学力の個人差があり一律には行い難い部分

出身高の違いによって学力の差も大きい中で国家試験の合格率を上げることは大きな課題と思います。

入学者の学力が様々であるので美容師国家試験を学ぶにあたって個人差がある

クラス内での学力の差が大きく苦慮している 読み、書き、計算以外の基本的な知識や能力が数年前より下がっているように思われ、生活、経験、活動が狭くなっている。その為今までの常識が通用しない。

個人に差がありすぎるのでどこまで個別に対応すべきなのか

生徒の能力知識に格差がありすぎる

生徒の能力に格差がありすぎる 標準化は出来ない

基礎学力に生徒によってばらつきがあるので、その点の対応に課題があると思います。

学生間のレベルの差

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-1.課題について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

基礎学力(実力)の個人差が大きく、学習レベル設定が難しい。

学生、出身学校により基礎学力に差がある。

・入学者の学力に大きな差を感じるため、一律に行うことの難しさを感じる

本校は様々な学歴(主に高卒)であるので個人の学力によって成績の高い学生、低い学生の幅の違いが感じられる事がある。学科の学力より、実習の理解度の方が難しく感じることもある

学生間の学力の差が著しい。全く必要のない者もいるが、どう教えたらいいのか困惑する者もいる 学力差は技術力の差と連動。

個々の能力に大きな差があるため一斉講義では難しい面がある。

また、算数を理解させる必要があります。ただ、ここ数年全員入学の状況下でトップから末端までの差がありすぎ、どこに照準を合わせて指導するかがむずかしい現状があります。

個人差があり、どのレベルに合わせて授業を行うべきかの判断に迷う。

個別対応が必要

個々の学生の能力差が大きいためポイント設定が難しい。

普通高校と通信制高校での学力の差が大きく、どこを基準にするかが問題だと思う。

本校は高卒、中卒、社会人を経験した生徒等、基礎学力のレベルが様々な為、一律に行うことが難しい

学力の差が歴然としており、下位の指導、能力別クラス編成など手間隙がかかる点が大変となる。

在学生の個々の能力の差

基礎学力に個人差がある為、一律に授業をする事が困難である。

2.基礎学力の低さ

高等課程

低すぎる学生の対応は、ほとんどお手上げ状態となる

入学以前の学びの質や程度も気になる。基礎学力が低く、学ぶ喜びや、楽しさを感じる者も少ない。これをどう感じられるようにしてゆくかも考えたい。

上記2つのことに向け、改めて基礎学力の必要を感じる

美容(師)業の社会的地位向上の為にはある程度の基礎学力は、必要不可欠である。

通信性の高校卒者は、基礎学力が大きく落ちている。

高等課程で読み・書き・読解力

日本語力、基礎科目の理解が不十分である。

高等課程以外

中学生程度の学力のない学生もいる

簡単に計算問題等が解けず、物理・化学の授業が理解

「1cm切りなさい」と言って1cmが理解できていない学生がいる。九九が言えないなど、授業が進まないで基礎学力は必要

一般教養において、中学程度の基礎学力を身に付けさせるため授業に取り組んではいるが、理解力の低い学生もいる。

必要最低限の読み、書き、計算。

言葉に対する知識等

高校卒業時まで基礎学力をつけて入学してきてほしいです。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-1.課題について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

理解度が低い

読みと書き

字の意味ectの理解度。

勉強が好きではないから、美容の道を選んだという生徒が多く、基礎学力が不足している生徒が多い。

漢字が読めない。意味がわからない等、基礎学力の低さがめだちます。

本来は、家庭～高等学校までに、最低限の学力は養うべきもの。確かに、入学時から、学力差があり、理解度の幅がありすぎる。ただ、専門学校は専門分野の質の向上が目的ではないか。やる気になれば、国家試験レベルの学力は、大半の学生は身に付く。

日本人としての国語力が全体的に低いのは問題。

基礎学力がもともとそなわっていてからではないと何をするにも(他の業種の職業にしても)社会人としてやっていけないと考える。

専門学校で、基礎学力をつける授業をしなければならないのか？と疑問である。高校までで基礎学力はつけておくべきだと考えている。

小学～中学までで、そこを徹底して教えてもらいたい。あくまで、専門学校は専門教育の場であるとする

基礎学力とは小・中・高等学校で学ばなければ、身につけなければならない学力と考えますが、まず1つは日本語の意味を理解させる

基礎学力をつける授業は重要であると感じております。

本来ならば高等学校までにつけておかなければいけないはずですが、出来てない学生が多いのが現実です。

漢字が書けない。読めない

漢字の苦手な生徒、の教科書理解力不足

国語力…教科書への読解力をつける。文章を書くときの基礎力

計算力…%、足し算、引き算、割り算、分数、かけ算 計算問題のある教科

読書習慣が少なく読解力が弱い

3.意欲、モチベーション

高等課程

入学以降の若者の学習意欲をいかに保つべきか

自主的に課題に取り組む意欲が低い。

高等課程以外

勉強の仕方がわからない。学習意欲が低い。

学習の動機付け

学生のモチベーションの低さ

学生がその重要性に気付かず前向きでない。

意欲を持たせること。

自主的な学習をしていくことが難しい生徒が一定数いる。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-1.課題について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

4.生活習慣・学習態度

高等課程

授業時間中の集中力の継続が難しい。

高等課程以外

何かと調べるといふ事を面倒がるので、解らない事はスマホで検索させます。

勉強の仕方を知らない 勉強アレルギー

小学校～中学・高校までの学習姿勢がそのまま影響するので専門学校の中だけではあまり変化はのぞめない印象。

復習が出来ていない

基礎学力の不足だけでなく、基本的な生活習慣が出来ていない学生が多く、学力の指導まで、手がまわらない

基礎学力の大切さがなかなか理解してもらえない為、身につけにくい(美容＝技術職、知識は必要ないと考える生徒もいる)

5.時間の不足

高等課程以外

養成課程の法定時間の中での授業時間の確保

専門的なことを学ぶのに必死なので基礎学力を学ぶ授業時間はなかなかとれない。

時間的余裕

通常授業で時間に余裕がない。

各科目の履修時間が決まっている為、時間が足りない。

養制学校としての時間では難しい…(時間不足)

・限られた時間数の中で専門以外を多く取り入れることは困難と思われる

美容専門教育のカリキュラムの内容と、学校が独自で、生徒達にスキルアップを目指してもらい為に勉強してもらいカリキュラムをこなしていく事で、手一杯になっている

時間数の確保が困難である。

カリキュラム的に時間数に余裕がない

長い時間を割くことがカリキュラム上できないため学生全員の理解を待たずに、授業を進めざるを得ない。

基礎学力をつけたいけれど、国家試験の為の授業に集中しなければならず、その時間的に余裕がないのが現実です。

法定の時間数をこなすのがいっぱい組み込めない

教科時限数内で、基礎学力にあてる時限数の確保が難しい

非常に重要であるが、中学・高校で学ぶべき事。専門学校の教科の中で、重複、反復しなければならない部分もあるが、その程度で良いと思う。専門的部分で教えるべき事が山積みで、この件に費やす時間は無いと考えます。

実施する上で授業時間をもうける余裕がない

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-1.課題について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

6.指導者の確保

高等課程以外

講師の手配

ほとんどの養成施設教員は中高校教員のような基礎学力をつける授業ができるような研究等を受けたことがないため、非常勤講師に頼るか、独自で学習して対応することになると思います。

指導方法

教える、職員、講師の手配。

指導者の人選

7.指導カリキュラム、テキスト

高等課程

効率的に分化されたカリキュラムの中では教科間、実習・座学間を超えた統合的な実践的教育をする課題を感じている。

理解力を深めるために、個人的少人数での指導

高等課程以外

具体的な基礎学力向上のためのカリキュラムの作成

テキスト(教材)

実施方法の具体性

入学後にすぐ授業が始まるので入学前に基礎学力をつける授業を行わなければ最初の授業についていけないと感じる。

日本は、聞く事を評価する、学力評価が無い。ペーパーテスト中心

指導する教員の確保

入学前に実施が必要

入学準備テキストを配布し、入学説明会時に解説を行なっている。全20ページの構成であるが、全ての基本事項が網羅できているわけではない。毎年、内容の精選に苦慮している。

国試合格率開示以降、各美容学校において国試合格が至上命令のようになり2年かけて国試の予備校的な内容になり、基礎学力や人間力、実践的スキルを身につける機会が減っている。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-1.課題について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

8.その他

高等課程

国家試験に向けた学習の積み重ねのさを理解させるか

高卒の在校生に関しては、おおよそ基礎学力がついている為、課題を感じない

漢字は書くよりも、読める事を始める。(フリガナをふる)

筆記試験の合格率が低い

高等課程以外

高校迄の必要な基礎学力の不足分は各教科の授業時に教育している。

人間間に差異はなく、現状で対応中。

専門教育も基礎学力がなければ、学習効果は上がらず、合格率も低迷する。国数理英社など主要科目の評準テストを行ない、低辺20%を学習合宿(1~2泊で)をさせてみたいものである。毎年10%程度の精神的強加を図るうえで合宿を実施してみようと思う。

考える力を育てる

記述式試験(選択テストをやめる)

優先順位の高いものが、その他にも多数ある。

実施したいが出来ない。

特になし

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-2.教材について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような教材を使用されていますか

1.オリジナル

高等課程

講師の先生方が独自の教材を使って授業をされているので内容までは不明です。

入学前教育テキスト

個別で学習ノートを作成している

高等課程以外

講師のオリジナル

各教科の授業的に必要なプリントを作成し、理解を求めている。

課題を与え、作文提出(国語、考える力をつける)

校内作成のオリジナル教材(問題集)。

特別講座を組む。

独自で準備

・選択科目として、「英会話」、「教養講座」等を設定して、(1)講師による教材や、教員自主作成教材、外部(大学、団体)の資料を使用するなど

学園独自の教材

2.教材(具体名あり)

高等課程

漢字検定・数学検定を参考に

漢字検定3級のテキスト

高等課程は美容教育センターの講習テキスト(現代社会、保健、化学)

教育センターの報告課題

国語便覧

国語総合。

高等課程以外

漢字検定等検定教材の活用

ウイネット専門学校生のための就職試験対策問題集

ウイネット、Webトレーニング。

教材は基本理容師美容師試験センターの教科書です

「日本理容美容教育センター」発行の教科書・DVDを使用。

「オリジナルスクラップ作り」「美容技術実践レポート」;美容への興味付

「中学レベルの基礎学力」「接客マナー」「美容用具の名称」;売司への基礎知識

SBS接遇、マナーの基礎を教授している。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-2.教材について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような教材を使用されていますか

3.教材(具体名無し)

高等課程以外

レベルに合わせた漢字ドリル、計算ドリルを使用する場合がある。

小学校のドリル。

小学4年～5年 漢字ドリル 算数ドリル

小学生用の国語、算数のドリル 読書、作文作成 上記以外の教材としては特に無く、Web上にて引用している

各教科の教科書。

教科書

教科書を開くことから

学校の教科書

一般常識問題集

テキストや問題集を使い、外部講師(塾の講師)に依頼

テキスト(中学程度の国語・数学の参考書及び問題流)

中学生の問題集を買い、それから抜すい。それを切りとり、話たもの。

ビジネストレーニングの問題集など。

国家試験の問題集等

検定試験において入門級の受験を目標とし、それぞれに該当するテキストを使用している。

ワークブック

プリント

配色カード

色彩パネル

色彩

実習に於いては見本作品・映像など視覚的に違いがわかるもの

ドレープ

スケッチブック

美容保健

美容物理・化学

美容文化論など

美容の各科目の教科書

美容理論、ビジネスマナー検定資料、中学各教科書より、今後必要となるものを精選し、全20ページ(表紙・目次は除く)の冊子にまとめたものを課題として配布している。内容としては、

eラーニングを活用し、学生の都合に合わせて学べる。

学科など座学は映像教材、視覚教材、グループワークによる、

模型やスライド

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-2.教材について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような教材を使用されていますか

人体模型

美容保健にて人体模型を使用

実験用具(しくみの完成品)

4.その他

高等課程

新聞に報じられる身近なテーマを教材にしたり、一般常識に近い内容を教材に活用している。

高等課程以外

特別な教材では無く読めない漢字などをひとつずつ調べさせています。

新聞。

最新のウィッグ(使用可能であっても、残余分は翌期に持越さない)

年度ごとに話題になったニュース等を抜粋し問題を作成している

実習等で使う薬剤。

パワーポイント

テーマを与え、各自が資料を集めることから始める

値段とクオリティー

読解力や表現力を養うため、度々、レポート提出。

新聞や専門書、一般雑誌、Webなどからの一部引用

相互授業などの取組み

TV等で放送されたもので、内容があうものを使用。

検討中

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-3.工夫について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような工夫をされていますか

1.興味関心をひく工夫

高等課程

新聞記事の中の良い文章を教材化する。

美容に関連付けながら指導。

高等課程以外

検定等自分の成長が目に見えてわかる様に

小さな事でもひとつ前進する度に褒めるようにしています。

受講生の「調べ」を中心に授業展開

話題になっている時事問題を取り入れ、学生の興味をひくよう工夫している。

学生が興味を持つように。

講義で説明後実際に教材を使い実物を見せる。

検定講習

ヘアデザイン創り

化学実験

全てに触れて本物を使用します

計算してと思わせない。勉強していると思わせない。

美容実習や、授業の中に取り入れて、学ばせる。

図や映像など視聴覚教材を多く取り入れる。

スマホを使って、ゲーム感覚で気軽にいつでも、どこでも学べる内容にしている。

学生が模型などをさわれるようにする。

机上授業に限らず、興味をそそる実験道具を使い、教科書の内容を確認する

教科書の内容を皆が理解できるよう話をほり下げ、わかりやすい授業となるよう工夫

全員受験を目指し、切磋琢磨できる環境づくりをする。

解説部分には、読んでわかるように、図解・写真等を多く取り入れている。そのために総量がへってしまい、毎年悩みがつかない。

2.グループ学習

高等課程

先生方から習うだけではなく、グループ学習

同級生に教えてもらうとより理解しやすい面もある

高等課程以外

グループワーク等自由に発言できるように

同じレベルの学生でグループ形成して劣等感を持たせないようにしている

グループ内での発表から、大人数での発表の場へとステップアップさせていく

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-3.工夫について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような工夫をされていますか

授業を行う教員がアクティブラーニングの授業形式で学生達が自分達で学ぶ様な工夫を取り入れています。

グループワーク。

3.個別指導

高等課程

個別学習(少人数での学習を実施)

高等課程以外

個別フォロー

放課後に個別指導を行っています。

統一の定期的な学力チェックを行い、ある一定レベルに達しない学生は補習授業を実施

放課後の個別指導

成績不振者には、マン・ツー・マン指導する

4.反復・習慣づけ

高等課程

個人ノートのチェック、評価

高等課程以外

反復学習にも力を入れている

とにかく毎週1回など続けること＋定期テスト

板書を多くして、ノートを回収、ノート点をつける

朝のHRにて実施。

難易度のレベルを吟味して、くり返しやらせる事により、学習することの楽しさを自覚させる。

読んだり、書いたり、反復練習を大切にしている。

5.知識の定着

高等課程以外

定期試験・期末試験の実施により、知識の確認

再試験をして理解度をチェックしている。

複数回の模擬試験。

時間終了後の小テスト

読めない漢字等、意味がわからないものは調べさせる。または、授業の中で教える。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-1.基礎学力教育についてのご意見

4-1-3.工夫について

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような工夫をされていますか

6.その他

高等課程

能の活性化の書物の中から引用して教材化する。など

講師の先生方が独自の教材を使って授業をされているので内容までは不明です。

職員が採点している。

前後に入学前ガイダンスを実施している。

物理、化学等の難解な授業については、ポイントを平易に極力わかり易く説明するようにしている。

履歴書の書き方、手紙(礼状)の書き方、面接の心得(話し方聞き方)等 実践に即した指導を通じて、学ばせている。

高等課程以外

入学前リメディアル教育の実施

カリキュラムに組み込み。

入学時に学力試験、適性診断、自己発見検査の実施。

教科書を音読

読ませる。分からない場所はふりがなをつけさせる。

薬剤の配合量なども計算させる。

ボランティア

相当にかみくだき、特別モデルを選び試してみている。全入に近い仲で、書かせたり読ませたりだが、困難な学生もいる。国家試験100%合格は至難のことである。

ノートから試験問題を作る。

ルビを入れさせる。(教科書)。居残り授業。宿題として各教員からのプリント等。

理解出来ない場合は、各教科の講師に解説して頂くなど

就職活動に先んじて、ガイダンスを行い、マナー、ルールなどについて確認している。

実施状況をチェックして、声をかける。

年度毎に学生の反応を見ながらレベルを調整している。

(2)外部(大学、団体等)に依頼したり、特に必要と思われる内容等について職員間で調整して担当したしている。

成績別クラス編成をしたり、

検討中

教材は各担当者による選拓。高等課程と専門課程がありますので、各教科担当からのアドバイスを受けています。直接指導含む。

授業中本読みをさせる。

漢字で書かせる。

部位等の関連制を分かりやすく理解できる様心がけている

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-1.課題について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

1.将来・就職への意識・ビジョン

高等課程以外

職場意識に学生ごとに差がある点

なかなか自覚の出来ない学生には自覚を促すべく折にふれ各教師共努力している。

なぜ働く必要があるのか、という、根本的な考えを教えていくのがむずかしい。

将来へのモチベーション(生徒たちの社会へ出る上での不安の払拭)

就職についての意識の差が大きい

まず最初の動機づけの難かしさを感じています。自分のキャリアプランを立てるなどの重要性を実習させることに気をつけていますが、失敗をするとそれ以降のキャリア教育の授業は、うまくいかないことが多いと感じます。またクラス担任が一部の授業を受けもったとき、個人差が大きいと感じます。

就職に対して実感が沸かない学生の興味づけ

10年後20年後のビジョンや目的を持たせにくい 実際に、今日、明日の行動に反映できていない。

学生気分が抜けず、絵空事のように捉えている事がある

本人にとって5年後、10年後といった将来に渡るビジョンが明確でないためキャリア形成に興味を示さない傾向がみられる。

実務実習を行っても、直接的学びであることの実感が無い。

学生の就職を教えるにあたり、職業感、仕事感を自分の事として考える事に個人差がある

働くことへの意義、社会貢献への認識の甘さ、不足。

幼児期から、家庭内や義務教育の中でも、競争意識が薄れ、学習や習い事への欲求が減少傾向にあるため、現状に満足し、向上心が欠如している学生が多い。そのまま、学生生活を送り、社会に出た時、ギャップに打ちのめされている。社会に出る前に、現実の厳しさへの順応力を鍛えたい。

イメージを沸かせること。

将来性を感じさせること。

学生なので、まだ職業に対しての意識が高いとはいえず、その大切さを理解してもらう方法に苦労しています。できるだけ身近なたとえでわかりやすく伝えていくよう工夫しておりますが、もっと意識を高めたいです。

意識が学生によって差が大きい

いかに、学生→社会人へスムーズに成長していけるか。

学生の気持ちや、「社会人」というところまでなかなかいかない 団体行動、チームワークというのが苦手な学生が多い

個々の理解度に差がある。

早い段階で将来の目標を持つことの大切さを強く感じているが、意識の低い学生にはなかなか意図が伝わらず、退学者の減少にもつながっていない。

美容学校に入学したのに美容をしなくてもいいと考えている学生がいる。

学生の半数が学びたい意欲が弱い

必要性を感じている生徒が少ない

働くことの意味をよく理解させ、まずは生活の基本となる収入を得られること。また、働くことの目的として、“やりがい”を感じられることへの確認、理解させる。

職業についてイメージで捉える面があり、どう具現化できるかが問題です。

実際にサロンで働く自分をイメージできない。

例えば、社会人としてあたり前のことがなかなか理解できない。

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-1.課題について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

2.専門学校 の 制度や体制

高等課程

キャリア教育は重要と考えながらも、就職指導な要素が大きいという課題認識がある

高等課程以外

技術や専門知識以外で、様々な教育を行いたい、時間の制約や、成績などの付け方が、あいまい。

絶対的な予算の不足！縮少も、限界であり、市、町からも積極的に行われるべき。

自己分析やチームワークをつける授業において専門知識を有する講師が必要である

基本的な教育が不十分な為、専門技術、知識、サロンワークに関する教育を行うと時間が有りない。

将来の職業を具体的に決めて入学してきてはいても、業界について知ることが少ない場合は多い。実務実習、インターンシップなど、現場を体験する必要がある。本校は公立であり、これが就職活動と混同してしまうと困る面もある。(個人的には働きながら通学がよいと思っている。)

教育の確保。

カリキュラムのどこに入れるか。

まずは労働者として職業を選択し働らくということがどのようなことなのか、アルバイトではないことを伝え、教えることから初めなければならない。職業人としての喜びや楽しみ苦しみを感じさせてあげたいが、実際には体験させることが出来ていない。言葉だけでは説得力不足。

サロン等の会社と連携を図り、働く意義であったりを指導していくべきとは思いますが、一定の規程がない為、何を基準に対処していけばよいかわからない

3.指導教員について

高等課程

サロンの店主又はチーフの方の講義等、来校してもらって受ける事が良いと思う。

高等課程以外

現場から招く講師との内容調整

教職員の資質向上も同時に行っていかなければならないと思う。

経験豊かな、その道のプロに講話や実習を指導して頂く事は重要な事ではあるが、人選が難しい。

4.サロン・就職先との対応

高等課程

理容、美容業界の福利厚生を改善していかないと、キャリアプランなどは、「絵に描いた餅」になってしまう。

専門学校として国家試験合格を目指す授業内容と店舗経営する美容室の求める美容師(技量、レベル等)との間にミスマッチがあるように感じる。

・美容業の場合、ほぼ卒業後美容室勤務(個人店)になるので、独立することを(将来)目指すのが多い。独立までのスピードは、店長(オーナー)の考え方に左右される。ので一概に言えないところ。

就職対策での授業に対しては必要と実感しています。しかし、就職後に関する離職率の対策として今後の課題として今後の課題と思っております。現在のサロンが従業者に対して、雇用管理等または労働条件に対する認識を持って、もらう必要があるように思います。

高等課程以外

美容の場合、学生の希望する職種、職場にバラツキがある。全員の希望を聞き入れ、考慮すると内容が薄くなってしまう

就職意識の向上のため、合同企業説明会を実施しているが、学生の希望サロンに偏りができる傾向にある

現実のサロンの現状が把握しづらい

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-1.課題について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

働き方や情報が多様化している点。

サロンは、学生に実践力を期待してきている。卒業後、できる限り、サロンですぐに活躍できるような学生を育てられるようカリキュラムをより実践的なものに変えていく必要がある。

就職先によって事情が千差万別なので…

私個人の意見としては、キャリア教育はあってもいいとは思いますが、専門学校でより高度なキャリア教育が、行われるようになると(例: サロン、スタイリスト並みの実習とか)、実際にサロンへ就職した時、そのまま自分が学んできたスキルと平行しながら新たに学ぶ事を喜びながら仕事ができる人(素直な人)なら良いが、変に勘違いし、自分は出来ると思い込み、新しく学ぶ事がむずかしくなる人も出てくるのではないかと思う。なので専門学校ではキャリア教育に関しては実習を多めより知識としての教育を多めに取り入れるくらいであれば良いのではと思う。

実務実習を絡めて話をしたりするが、実際に接することができる職業の幅がせまい。

5.コミュニケーション能力の低下

高等課程

バイトの経験がない学生は接客が苦手。

高等課程以外

SNSの普及により、コミュニケーション能力の低下

コミュニケーション能力や、価値感の違いなどの差をある一定のラインにすること。

自分自身の考えを上手く表現出来ていない。

6.キャリア知識が身に付かない

高等課程

講座やグループ学習で学んだことを定着できない(その時には、良く伝わり、前向きに感じるが…)

高等課程以外

本校にキャリアセンターにより、職種に対しての知識を身に付けさせてはいるが、なかなか身に付かない

一方通行の教育になっている

理屈は理解しているが、実践出来ていない。

卒業生やサロンの講話、企業等のグループワーク等を取り入れているが、その時だけで終わっている部分がある。

内容が幅広く、抽象的なものもあり、具体化して学ぶと目的の相違が生まれる。(職業観を育てるのではなく、知識の習得だけになりやすい)

教員の指導では不十分かと思い、校外より講師を招き、講話等実施しているが、学生への定着度が低い。

7.仕事上のマナー

高等課程

言葉使いや笑顔等

美容に限らず、挨拶や接遇、言葉づかいなど人としてのマナーをしっかり、学ばせたい。コミュニケーション能力の不足を感じる。

高等課程以外

マナーの授業の中で、職業についてイメージさせている。

文書や宛て名の正しい書き方

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-1.課題について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

敬語の使い方

8.その他

高等課程

固定的なのかもしれないが、本校の場合、現美容師になりたい者が来ていると思っているが…実情はそうでもない点も…。…なる為に必要なこと、要件を徹底したいのだが？

どこまで踏み込んだことを伝えるべきか。

学校教育上のいわゆる優等生を育成するのではなく、社会でいかに、生きていけるのか“生きる力”を持った人材を育成しなければ、ならない

美容に関しては、他の業種とちがって、特殊と考えています。

高等課程以外

学生の理解力に、かたよりが大きい

高度情報の時代。その情報を受け取り方、選択方法等は、難しくなっていると感じる。

基本的生活習慣の欠如

モデルウィックを使う授業を止める

大好きになる事！！

生きるとは…

キライにさせない

ぜったいに！！

職人とは…

技術力向上が一番の教育と理解している

まだまだ技術力向上が一番の教育と、教員も生徒も理解している。

価値観の多様化により、学生への影響力に差がある。

仕事に関する教育は、小学校時間から必要。

必要性は重要だと感じています但本校に至っては進学時に進路が固まった状態で入学をしてくるので進学＝職業に直結している為、大きな課題は特にありません

地方のため、講師を招くにしても、美容のショーやコンテストに参加するにしても不便を感じる。

現在の普通高校では大学進学が中心だが、高等学校の段階から基礎教育だけでなく、職業キャリア教育に取り組むことで、専門学校入学前からの意識向上につながるのではないと思う。

親(保護者)の考え「本人にまかせている」「口は出来さない」という態度

検討中

専門士としての教育をしっかりとできるよう努めています。

自分の選んだ職業について、目標を決めて挑戦して行くことは大事だと思います。

「職業キャリア教育」の名の下で、資格や認定の商売化が目に見えます。本当に必要なスキルは在学中に無償で教えるべきものです。

左記に同じ(Q3-2:在学生の個々の能力の差,実施する上で授業時間をもうける余裕がない,指導者の人選の3つ?)

高校卒業までの間のキャリア教育が少ないと感じます。(高校が大学進学を推進していることも原因なのでは?)

保護者も情報や理解が乏しく安易に考えている人が多い

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-2.教材について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような教材を使用されていますか

1.オリジナル

高等課程以外

講師のオリジナル

学園内のキャリア教育研究部署が製作したテキスト

本校のキャリアセンターより、独自にワークブックを作成している

外部講師、内職員ともに自主教材

講師の先生の作成された資料。

学園独自の教材。

JBCAのテキストやオリジナルのテキストを使用

2.教材(具体名あり)

高等課程

サービス接遇や社会常識検定など

「美容文化論」として日本理容美容教育センターの教科書を使用している。

やる気の根っ子より一部利用。(ジョハリの窓口)

高等課程以外

就活NAVIノート

ウイネット. 就職筆記試験対策問題集。

ウイネット. 勝つための就職ガイドSOCCESS

社会でいきる実践ビジネスマナー

社会人常識マナー検定テキスト(3級取得)

JBCA3級テキスト

ビューティーコーディネーター検定資料

「職業とキャリア」一般財団法人職業教育・キャリア教育財団を使用

教科書に出てくる内容(運営管理が主)でそれにまじえて話(経験談)をする。(専門誌等、抜粋したものをを用いて)

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-2.教材について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような教材を使用されていますか

3.教材(具体名無し)

高等課程

市販の書籍(著作権とのかかわりも?)

ビデオ、DVDなどの活用

高等課程以外

業者からの小冊子やプリントを利用している。

テキストのプリント

費用(教材・講習・受験・申請など)とカリキュラム(時間的にも)を比較検討し、生徒の負担が少ないものを選んでいきます。

各講師からの資料、映像、音響等

実践に生きる、現場で使えるプリント教材等を各担当者が選拓しています。

ピータードラッカーの本を教材として活用し、仕事をする姿勢などについて考えるよう意識づけしています。

自己発見検査などを使用している

自己分析シート

運営管理

就職活動マニュアル

働くときの基礎知識

マナーや社会常識などのテキスト等を使用し、まず知識としての職業関連知識を増やしてもらう。

美容業は接客業でもあるので、接客(マナー)のテキストを活用し、講義、実習、ロールプレーをして頂いている。

特別な教材はありませんが、卒業生や、プロの理・美容師、エステティシャンの方々に講義や、授業に入ってもらったり、オリエンテーリングで職業に対しての現場でのリアルタイムなことを講義して頂くなど

”一生美容に変える会”のセミナー参加

実務記録を作成し、実習先との連携指導に役立てている。

4.その他

高等課程

良い教材があれば参考にしたいです。

高等課程以外

なるべく現実の“モノ”を使用している。

人間モデルで授業。

本物を見る目。

今期プロジェクター・電子黒板の導入を行った。

パワーポイント

パワーポイントの資料を使い講義を行う。

パワーポイント

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-2.教材について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような教材を使用されていますか

サロンへの実務実習

サロンパンフレット

外部講師を招聘し、講義してもらっている。

その為の教員のスキル向上。

現役美容師

教員だけで実施するのは、困難なため、外部に委託して実施している。

TV等放送されたもので、内容が良いもの。

特別にそのための教材は用意していないが普段から現場で使える程度のもを使っている。

新入社員研修で使うゲーム的なオリエンテーション等

データや情報などを就職課から提出してもらいできるかぎり具体的な情報として学生に知らせています。

検討中である。

特に教材はありません。

教材は特にない

特になし。

検討中

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-3.工夫について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような工夫をされていますか

1.興味関心をひく工夫

高等課程

実習時間にロールプレイを取り込む様にしている

高等課程以外

サロンの方からの情報を常に取り入れ、タイムリーな事を学生に伝えるようにしている。

本物を使用。

美容業だけに限らず、セミナーやボランティアに参加させる。

実際にキャリアプランを作って、イメージさせる。

卒業後の自分を明確にイメージしてもら。

視聴覚教材を多く取り入れている。

行事やイベントなどと絡めて授業を行うことが多い。

より具体的に、社会人を経験したことのない生徒に理解してもらえるよう、イメージさせる

サロンで働く自分をイメージさせるため、ロールプレイ等を実施している。

2.グループ学習

高等課程

グループワークで皆で考える楽しさ大切さを理解させる(辞めない事、辞めない為には何が大切か、今何をするべきかを考えさせる事といったテーマで)

高等課程以外

グループワーク等自由に発言できる様に

アクティブラーニングを行なうなど。

様々な専門家による、グループワークの実施

レポート作成と発表 グループ討議

グループ学習やクラス発表を行い、全員が参加できるようにしています。

入学から卒業までの2年間教員の一方的な指導ではなく課題を出す→自分達で考える→発表形式です。

チームでディスカッションをして、いろいろ視点から物事を考えることができるよう工夫しています。

1から学生に考えてもらう。それをグループワークで行う。

グループワーク等、演習形式で実施している。

一方的でなくグループワーク等を通じ意見を出し合う中で、自分のあり方を考えさせる

3.個別指導

高等課程以外

面談

個別指導

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-3.工夫について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような工夫をされていますか

4.実践を通じた学習

高等課程

関係領域の外部講師の招へい！！

インターンシップ先サロンを選択するプロセスに働く上での価値感を反影させるカテゴリーを設け、考えるポイントにしている。

サロン実習等を取り入れて、現場で学び、その必要性を実感してもらうようにしている。

高等課程以外

インターンシップの導入

企業、サロン講和

サロン現場体験

インターンシップを数回行う

訪問美容の実践

実務実習に対し、事前にガイダンスを行い、反省会を開き、反省文を作成している。

企業ガイダンスでの講和

業界の方を入れてのキャリア、指導を年、4回実施。

5.現場や身近な社会人との交流

高等課程

卒業生の話をついなるジャンルに分けて聞かせる

卒業生のステータスも経営者のみでなく、若い人の話もとっている。

業界人の立場の違い(オーナー、店長、新人、3年目etc)による講話

高等課程以外

外部の講師を呼んで授業を行う。

卒業生やそれぞれの学科のプロに来校してもらい講話をしてもらうなどを行っています。

実際に面接をするなど、より実践的なトレーニングをしている。合同企業説明会では、卒業生との交流ができるようにし、質疑応答をしやすいような雰囲気づくりをしている

現場研修(サロンワーク)

社会保険労務士による「出前授業」実施

実際に現場で働いている美容師さんの講話

卒業生の体験等の講和

外部の方の講和

近い卒業生の体験談などを語ってもらう

卒業生の指導、を、年、2回。

長年続いているのは、外部施設でのボランティア活動で、様々な方との対応で、プロとしての意識をもつ機会を得ている。

上記に記載した通り。(75-1長年続いているのは、外部施設でのボランティア活動で、様々な方との対応で、プロとしての意識をもつ機会を得ている。)

4. 基礎学力教育と職業キャリア教育の実施についてのご意見 <自由回答>

4-2.職業キャリア教育についてのご意見

4-2-3.工夫について

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような工夫をされていますか

社会経験の豊富な方やそれぞれの立場に立っている人を講師として片やらない幅広い講話をしてもらう機会をもつこと。

実際に働いている力を講師に招き、講話をお願いしている。

現場の美容師の方々によるセミナーの導入

6.その他

高等課程

良い教材があれば参考にしたいです。

日頃より美容室店舗情報の収集に努めると共に、学校運営に協力いただける店舗育成に努めている。

高等課程以外

「誰」から「どの様に」伝えるかを考えている。

カリキュラムに組み込む。

一般常識、PC(ワード&エクセル)、ビジネスマナー、接遇の授業を全科導入している→検定取得へ繋げる

1人1人を面談したいが時間がとれない為、アンケートなどをこまめにとっている。

なかなかできず反省

将来が自紙なので、新校舎の移転を含め、現在の狭いなかでは、アイデアが収容されずにいる。

美容の仕事内容は広く、その専門分野(例、ネイル、エステ)と対等に知識と技術を提供しなければなりません。例えば協会、団体で開催の試験に挑戦し、資格取得に努力しています。

キャリアセンターの教員が年、4回実施(キャリアデザイン計画)。

オリエンテーション時、その後半年に一回程度実施。

発言させる。

考える時間をとる。

検討中

5. 総括

5.総括

本章では、「美容専門教育に必要な人材基盤力を養成する教育プログラムに関する調査」の結果を基に、全体の傾向について述べる。

■基礎学力教育について＜全体＞

基礎学力をつける授業の実施状況において、2-1の結果（6項目）から、「実施している」、「必要だが実施していない」という選択肢のどちらかを選択している学校が多く、必要度は高いと推測できる。また、2-3「基礎学力教育は専門学校教育を学ぶにあたり重要である」という問いでは「非常にそう思う（52.8%）」、「ややそう思う（34.1%）」と肯定的な意見を合わせると、9割近くが重要視していることが分かった。

「実施している」授業については、美術・家庭の力をつける授業が最も高く、82.9%であった。一方、「実施している」と答えた割合が24.4%と低い数学の授業では、「必要だが実施していない」の割合が52.8%と最も高く、必要性が高いが実施できていないという現状が見られた。

実施方法については、講義形式が最も多く、ついで実習、グループワークが多く見られた。美術・家庭の力をつける授業では、実習が49.0%と他の授業に対し多く見られた。

■基礎学力教育について＜高等課程あり/なし＞

＜高等課程あり/なし＞による、基礎学力をつける授業の取り組みや意識の差について、理科の力をつける授業では「実施している」の割合について＜高等課程あり＞（68.2%）と＜高等課程なし＞（52.8%）では15.4%の差が見られた。それ以外の基礎学力教育については、全体の傾向と大きな差は見られなかった。

「基礎学力教育は専門学校教育を学ぶにあたり重要である」という問いでは＜高等課程あり＞「非常にそう思う（45.5%）」「ややそう思う（27.3%）」、＜高等課程なし＞「非常にそう思う（55.1%）」「ややそう思う（36.0%）」と、肯定的な意見にやや差があり、＜高等課程なし＞の学校の方が基礎学力教育を重要視している割合が高い結果となった。

■職業キャリア教育について＜全体＞

全体傾向からみた職業キャリア教育の実施状況は、調査項目のうち、どの授業科目についても「実施している」と回答した割合が5割以上であった。特に「働くことの目的や意義、職業観についての授業（Q2.7）」を「実施している」学校は80.5%、「職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業（Q2.8）」を「実施している」学校は88.6%と高い実施率を占めていることが分かった。

上記以外の8割を下回る授業科目については、「実施している」に加え、「必要だが実施していない」という選択肢を選ぶ回答が多かった。必要性を感じているものの実施には至っていない現状であることが推測できる。

教育の重要度を示す調査項目「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である（Q4.1）」については、「非常にそう思う」が55.3%、「ややそう思う」が31.7%であり、肯定的な意見を合わせると「基礎学力教育」の重要度より0.1%高いだけであり、ほとんど差がみられなかった。

実施方法については、講義形式がほぼ9割を占めており、最も多い回答であった。ただし、「チームワークの大切さについての授業（Q2.11）」については、講義が63.3%、実習が57.0%、グループワークが60.8%という結果であった。実習とグループワークを取り入れていることが、他の授業科目に対し多く見られた。

■職業キャリア教育について＜高等課程あり/なし＞

＜高等課程あり/なし＞からみた職業キャリア教育の実施状況は、＜高等課程あり＞では、どの授業科目についても「実施している」との回答が4割以上であった。＜高等課程なし＞では、どの授業科目についても「実施している」との回答が5割以上であった。また、それぞれの科目ごとで＜高等課程あり/なし＞の割合を比較すると、すべての授業科目について、＜高等課程なし＞のほうが＜高等課程あり＞よりも「実施している」との回答が高く、実施率が上回っていることが分かった。

次に、授業科目別に実施状況を見てみると、特に「自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業（Q2.10）」の回答に差異が見られた。＜高等課程あり＞では「実施している（50.0%）」、「必要だが実施していない（40.9%）」であった。対して、＜高等課程なし＞では「実施している（67.4%）」、「必要だが実施していない（21.3%）」であった。＜高等課程あり/なし＞を比較すると、「実施している」の回答に17.4%の差が見られた。

教育の重要度を示す調査項目「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である（Q4.1）」については、＜高等課程あり＞の「非常にそう思う」が40.9%、＜高等課程なし＞の「非常にそう思う」が57.3%であった。

「基礎学力教育」の＜高等課程あり/なし＞の重要度と比較すると、いずれも＜高等課程なし＞のほうが＜高等課程あり＞よりも上回っていることが分かった。

実施方法については、＜高等課程なし＞の「チームワークの大切さについての授業（Q2.11）」についてのみ、講義（60.3%）がグループワーク（65.5%）を上回る結果であった。それ以外の授業科目の実施方法では＜高等課程あり/なし＞ともに、どの授業科目についても講義形式が最も多い回答であった。

■まとめ

基礎学力教育の実施状況では、「実施している」割合が全体傾向として高い結果であったものの、「必要だが実施していない」（＝必要性を感じているものの実施に至っていない）に高い割合を示す授業科目がいくつか見られ、科目の実施状況に差が見られた。

基礎学力教育＜全体＞の授業科目のうち、以下の2科目はいずれも、「必要だが実施していない」のほうが「実施している」より上回る結果である。一つ目は「書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業（Q2_1）」で、「必要だが実施していない」が41.5%（「実施している」は38.2%）であった。二つ目は「基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業（Q2_2）」で、「必要だが実施していない」が39.0%（「実施している」は24.4%）であった。これらの科目では特に、必要度が高いが実施できていない現状が顕著にうかがえる。

その理由として、自由記述（＜自由回答＞4-1-1.課題について）から以下の意見が挙げられている。それは「1.学生のレベル差」が個人間で大きいこと、「2.基礎学力の低さ」が目立つこと、「3.意欲、モチベーション」の差があること、「5.時間の不足」（通常授業以外に時間が取れないこと）などである。これらを理由のすべてとみなすことは出来ないが、総じて意見が多く見られた。

職業キャリア教育の実施状況では、「実施している」割合は全体傾向として高い結果であり、「必要だが実施していない」のほうが「実施している」より上回るものはなかった。

しかし「必要だが実施していない」に2割以上の高い割合を示す授業科目が3科目見られ、科目の実施状況に差が見られた。

職業キャリア教育＜全体＞の授業科目のうち、まず「自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業（Q2_10）」の「必要だが実施していない」23.6%であった。次に「チームワークの大切さについての授業（Q2_11）」の「必要だが実施していない」24.4%であった。さらに「働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業（Q2_12）」の「必要だが実施していない」32.5%であった。

考えられる理由として、自由記述（＜自由回答＞4-2-1.課題について）から以下の意見が挙げられている。それは「1.将来・就職への意識・ビジョン」が学生それぞれで多様であり、かつ差が見られることである。

結論として、基礎学力教育・職業キャリア教育を実施する上で、課題点が見られること、必要性を感じているものの実施に至っていない現状があることが分かった。また自由記述から、これらの理由や背景、さらには解決したいという意見が見られた。教員が取り組んでいる教育内容の実態や、**学校**が感じている潜在的な問題を発見できたという点で、本調査の実施は大いに意義があったと言える。

そして、調査から見てきた基礎学力教育・職業キャリア教育の課題の解決やさらなる実施率向上のために、それらの改善を支援する教育プログラムの開発が必要であることが分かった。

具体的には、実施率をあげるための工夫として、自由記述の意見を参考に授業方法を支援するプログラム取り入れることと、生徒の学力・意欲などに合わせて、個人別、レベル別などで教育プログラムを作成して、実施することなどが考えられる。

また、このような職業観と基礎学力は、美容分野の専門知識・技術の習得と並行して身につけなければならない。生徒の基礎学力が低いままであると、美容分野の専門知識・技術の習得にも影響を及ぼし、ひいては学習するモチベーションを維持すること自体が難しくなる。さらにモチベーションが低い生徒に対しては、キャリア意識を育てにくくなる。このことは現在、美容業界全体の障壁となっている。

しかし、学力差やモチベーションの異なる生徒の対応を、教員の授業内容や方法から解決するには限界がある。このような現状から、全体でプログラムを構築することが急がれる。生徒ひとりひとりの学習と成長に合わせた支援や対策を目的とした教育プログラムの開発・実施が必要なのである。

6. 単純集計数表

単純集計 数表

Q1_1 所在するエリア

		Q1_1 所在するエリア											合計	
		Q1_1 所在するエリア												
		北海道	東北	東京	関東（東京を除く）	信越・北陸	東海	大阪	近畿（大阪を除く）	中国	四国	九州（沖縄を含む）		不明
全体	度数 %	4 3.3%	12 9.8%	12 9.8%	15 12.2%	4 3.3%	13 10.6%	16 13.0%	9 7.3%	10 8.1%	9 7.3%	18 14.6%	1 0.8%	123 100.0%

Q1_2 養成施設のタイプ

		Q1_2 養成施設のタイプ			合計
		専修学校	その他（大学・短大・高校など）	不明	
全体	度数 %	111 90.2%	9 7.3%	3 2.4%	123 100.0%

Q1_2_1 高等課程

		Q1_2_1 高等課程		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	22 19.8%	89 80.2%	111 100.0%

Q1_2_2 専門課程

		Q1_2_2 専門課程		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	91 82.0%	20 18.0%	111 100.0%

Q1_2_3 職業実践専門課程

		Q1_2_3 職業実践専門課程		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	37 33.3%	74 66.7%	111 100.0%

Q1_2SQ 不明

		Q1_2SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	111 100.0%	111 100.0%

Q2_1 書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業

		Q2_1 書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業					合計
		実施している	実施を計画中	必要だが実施していない	必要と思わない（実施していない）	不明	
全体	度数 %	47 38.2%	4 3.3%	51 41.5%	21 17.1%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_1_1 講義

		Q2_1_1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	31 66.0%	16 34.0%	47 100.0%

単純集計 数表

Q2_1.2 実習

		Q2_1.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	8 17.0%	39 83.0%	47 100.0%

Q2_1.3 グループワーク

		Q2_1.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	9 19.1%	38 80.9%	47 100.0%

Q2_1.4 通信教育（郵送など）

		Q2_1.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	6 12.8%	41 87.2%	47 100.0%

Q2_1.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_1.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 4.3%	45 95.7%	47 100.0%

Q2_1.6 その他

		Q2_1.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	9 19.1%	38 80.9%	47 100.0%

Q2_1SQ 不明

		Q2_1SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	47 100.0%	47 100.0%

Q2_2 基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業

		Q2_2 基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
全体	度数 %	30 24.4%	8 6.5%	65 52.8%	20 16.3%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_2.1 講義

		Q2_2.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	22 73.3%	8 26.7%	30 100.0%

単純集計 数表

Q2_2.2 実習

		Q2_2.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	4 13.3%	26 86.7%	30 100.0%

Q2_2.3 グループワーク

		Q2_2.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	4 13.3%	26 86.7%	30 100.0%

Q2_2.4 通信教育（郵送など）

		Q2_2.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 6.7%	28 93.3%	30 100.0%

Q2_2.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_2.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 6.7%	28 93.3%	30 100.0%

Q2_2.6 その他

		Q2_2.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	5 16.7%	25 83.3%	30 100.0%

Q2_2SQ 不明

		Q2_2SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	30 100.0%	30 100.0%

Q2_3 歴史、世の中のしくみなどの社会の力をつける授業

		Q2_3 歴史、世の中のしくみなどの社会の力をつける授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
全体	度数 %	50 40.7%	6 4.9%	48 39.0%	18 14.6%	1 0.8%	123 100.0%

Q2_3.1 講義

		Q2_3.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	45 90.0%	5 10.0%	50 100.0%

単純集計 数表

Q2_3.2 実習

		Q2_3.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	4 8.0%	46 92.0%	50 100.0%

Q2_3.3 グループワーク

		Q2_3.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	11 22.0%	39 78.0%	50 100.0%

Q2_3.4 通信教育（郵送など）

		Q2_3.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	6 12.0%	44 88.0%	50 100.0%

Q2_3.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_3.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	3 6.0%	47 94.0%	50 100.0%

Q2_3.6 その他

		Q2_3.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	3 6.0%	47 94.0%	50 100.0%

Q2_3SQ 不明

		Q2_3SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	50 100.0%	50 100.0%

Q2_4 身近な物理現象、電流や化学変化などの理科の力をつける授業

		Q2_4 身近な物理現象、電流や化学変化などの理科の力をつける授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
全体	度数 %	70 56.9%	5 4.1%	29 23.6%	19 15.4%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_4.1 講義

		Q2_4.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	67 95.7%	3 4.3%	70 100.0%

単純集計 数表

Q2_4.2 実習

		Q2_4.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	13 18.6%	57 81.4%	70 100.0%

Q2_4.3 グループワーク

		Q2_4.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	5 7.1%	65 92.9%	70 100.0%

Q2_4.4 通信教育（郵送など）

		Q2_4.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	7 10.0%	63 90.0%	70 100.0%

Q2_4.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_4.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 2.9%	68 97.1%	70 100.0%

Q2_4.6 その他

		Q2_4.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	3 4.3%	67 95.7%	70 100.0%

Q2_4SQ 不明

		Q2_4SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	70 100.0%	70 100.0%

Q2_5 体のしくみや健康などの保健の力をつける授業

		Q2_5 体のしくみや健康などの保健の力をつける授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
全体	度数 %	76 61.8%	5 4.1%	26 21.1%	16 13.0%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_5_1 講義

		Q2_5_1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	69 90.8%	7 9.2%	76 100.0%

単純集計 数表

Q2_5.2 実習

		Q2_5.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	7 9.2%	69 90.8%	76 100.0%

Q2_5.3 グループワーク

		Q2_5.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	4 5.3%	72 94.7%	76 100.0%

Q2_5.4 通信教育（郵送など）

		Q2_5.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	7 9.2%	69 90.8%	76 100.0%

Q2_5.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_5.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 2.6%	74 97.4%	76 100.0%

Q2_5.6 その他

		Q2_5.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 2.6%	74 97.4%	76 100.0%

Q2_5SQ 不明

		Q2_5SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	76 100.0%	76 100.0%

Q2_6 色彩や被服・ファッションなどの美術・家庭の力をつける授業

		Q2_6 色彩や被服・ファッションなどの美術・家庭の力をつける授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
全体	度数 %	102 82.9%	3 2.4%	13 10.6%	5 4.1%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_6.1 講義

		Q2_6.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	92 90.2%	10 9.8%	102 100.0%

単純集計 数表

Q2_6.2 実習

		Q2_6.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	50 49.0%	52 51.0%	102 100.0%

Q2_6.3 グループワーク

		Q2_6.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	10 9.8%	92 90.2%	102 100.0%

Q2_6.4 通信教育（郵送など）

		Q2_6.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 2.0%	100 98.0%	102 100.0%

Q2_6.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_6.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	2 2.0%	100 98.0%	102 100.0%

Q2_6.6 その他

		Q2_6.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	1 1.0%	101 99.0%	102 100.0%

Q2_6SQ 不明

		Q2_6SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	1 1.0%	101 99.0%	102 100.0%

Q2_7 働くことの目的や意義、職業観についての授業

		Q2_7 働くことの目的や意義、職業観についての授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施していない	必要と思 わない （実施して いない）	不明	
全体	度数 %	99 80.5%	9 7.3%	12 9.8%	3 2.4%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_7.1 講義

		Q2_7.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	94 94.9%	5 5.1%	99 100.0%

単純集計 数表

Q2_7.2 実習

		Q2_7.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	35 35.4%	64 64.6%	99 100.0%

Q2_7.3 グループワーク

		Q2_7.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	36 36.4%	63 63.6%	99 100.0%

Q2_7.4 通信教育（郵送など）

		Q2_7.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	99 100.0%	99 100.0%

Q2_7.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_7.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	99 100.0%	99 100.0%

Q2_7.6 その他

		Q2_7.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	5 5.1%	94 94.9%	99 100.0%

Q2_7SQ 不明

		Q2_7SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	99 100.0%	99 100.0%

Q2_8 職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業

		Q2_8 職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業					合計
		実施している	実施を計画中	必要だが実施していない	必要と思わない（実施していない）	不明	
全体	度数 %	109 88.6%	8 6.5%	5 4.1%	1 0.8%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_8.1 講義

		Q2_8.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	104 95.4%	5 4.6%	109 100.0%

単純集計 数表

Q2_8.2 実習

		Q2_8.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	54 49.5%	55 50.5%	109 100.0%

Q2_8.3 グループワーク

		Q2_8.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	31 28.4%	78 71.6%	109 100.0%

Q2_8.4 通信教育（郵送など）

		Q2_8.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	109 100.0%	109 100.0%

Q2_8.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_8.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	109 100.0%	109 100.0%

Q2_8.6 その他

		Q2_8.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	4 3.7%	105 96.3%	109 100.0%

Q2_8SQ 不明

		Q2_8SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	1 0.9%	108 99.1%	109 100.0%

Q2_9 社会における職業の意味についての授業

		Q2_9 社会における職業の意味についての授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施していない	必要と思 わない （実施して いない）	不明	
全体	度数 %	92 74.8%	10 8.1%	15 12.2%	5 4.1%	1 0.8%	123 100.0%

Q2_9.1 講義

		Q2_9.1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	87 94.6%	5 5.4%	92 100.0%

単純集計 数表

Q2_9.2 実習

		Q2_9.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	25 27.2%	67 72.8%	92 100.0%

Q2_9.3 グループワーク

		Q2_9.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	21 22.8%	71 77.2%	92 100.0%

Q2_9.4 通信教育（郵送など）

		Q2_9.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	92 100.0%	92 100.0%

Q2_9.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_9.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	92 100.0%	92 100.0%

Q2_9.6 その他

		Q2_9.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	4 4.3%	88 95.7%	92 100.0%

Q2_9SQ 不明

		Q2_9SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	92 100.0%	92 100.0%

Q2_10 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業

		Q2_10 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施していない	必要と思 わない （実施して いない）	不明	
全体	度数 %	81 65.9%	11 8.9%	29 23.6%	2 1.6%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_10_1 講義

		Q2_10_1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	71 87.7%	10 12.3%	81 100.0%

単純集計 数表

Q2_10_2 実習

		Q2_10_2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	21 25.9%	60 74.1%	81 100.0%

Q2_10_3 グループワーク

		Q2_10_3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	38 46.9%	43 53.1%	81 100.0%

Q2_10_4 通信教育（郵送など）

		Q2_10_4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	81 100.0%	81 100.0%

Q2_10_5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_10_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	81 100.0%	81 100.0%

Q2_10_6 その他

		Q2_10_6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	5 6.2%	76 93.8%	81 100.0%

Q2_10SQ 不明

		Q2_10SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	1 1.2%	80 98.8%	81 100.0%

Q2_11 チームワークの大切さについての授業

		Q2_11 チームワークの大切さについての授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施していない	必要と思 わない （実施して いない）	不明	
全体	度数 %	79 64.2%	8 6.5%	30 24.4%	6 4.9%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_11_1 講義

		Q2_11_1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	50 63.3%	29 36.7%	79 100.0%

単純集計 数表

Q2_11_2 実習

		Q2_11_2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	45 57.0%	34 43.0%	79 100.0%

Q2_11_3 グループワーク

		Q2_11_3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	48 60.8%	31 39.2%	79 100.0%

Q2_11_4 通信教育（郵送など）

		Q2_11_4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	79 100.0%	79 100.0%

Q2_11_5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_11_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	79 100.0%	79 100.0%

Q2_11_6 その他

		Q2_11_6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	6 7.6%	73 92.4%	79 100.0%

Q2_11SQ 不明

		Q2_11SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	79 100.0%	79 100.0%

Q2_12 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業

		Q2_12 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業					合計
		実施している	実施を計画 中	必要だが 実施していない	必要と思 わない （実施して いない）	不明	
全体	度数 %	65 52.8%	9 7.3%	40 32.5%	9 7.3%	0 0.0%	123 100.0%

Q2_12_1 講義

		Q2_12_1 講義		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	61 93.8%	4 6.2%	65 100.0%

単純集計 数表

Q2_12.2 実習

		Q2_12.2 実習		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	20 30.8%	45 69.2%	65 100.0%

Q2_12.3 グループワーク

		Q2_12.3 グループワーク		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	21 32.3%	44 67.7%	65 100.0%

Q2_12.4 通信教育（郵送など）

		Q2_12.4 通信教育（郵送など）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	65 100.0%	65 100.0%

Q2_12.5 通信教育（e-ラーニングなど）

		Q2_12.5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	65 100.0%	65 100.0%

Q2_12.6 その他

		Q2_12.6 その他		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	5 7.7%	60 92.3%	65 100.0%

Q2_12SQ 不明

		Q2_12SQ 不明		合計
		はい	いいえ	
全体	度数 %	0 0.0%	65 100.0%	65 100.0%

Q3_1 「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である

		Q3_1 「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である						合計
		非常に 思う	やや 思う	どちら とも言 ない	あまり そう 思わ ない	まっ た く そう 思 わ ない	不明	
全体	度数 %	65 52.8%	42 34.1%	9 7.3%	4 3.3%	0 0.0%	3 2.4%	123 100.0%

Q4_1 「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である

		Q4_1 「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である						合計
		非常に 思う	やや 思う	どちら とも言 ない	あまり そう 思わ ない	まっ た く そう 思 わ ない	不明	
全体	度数 %	68 55.3%	39 31.7%	10 8.1%	1 0.8%	0 0.0%	5 4.1%	123 100.0%

7. クロス集計数表

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q1_1 所在するエリア のクロス表

			Q1_1 所在するエリア												合計
			北海道	東北	東京	関東（東京を除く）	信越・北陸	東海	大阪	近畿（大阪を除く）	中国	四国	九州（沖縄を含む）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	1	2	1	3	0	2	4	2	2	1	4	0	22
		%	4.5%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	4.5%	18.2%	0.0%	100.0%
	いいえ	度数	3	10	11	10	3	9	8	7	7	7	13	1	89
		%	3.4%	11.2%	12.4%	11.2%	3.4%	10.1%	9.0%	7.9%	7.9%	7.9%	14.6%	1.1%	100.0%
合計		度数	4	12	12	13	3	11	12	9	9	8	17	1	111
		%	3.6%	10.8%	10.8%	11.7%	2.7%	9.9%	10.8%	8.1%	8.1%	7.2%	15.3%	0.9%	100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q1_2 養成施設のタイプ のクロス表

			Q1_2 養成施設のタイプ			合計
			専修学校	その他（大学・短大・高校など）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	22	0	0	22
		%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	いいえ	度数	89	0	0	89
		%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	111	0	0	111
		%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q1_2_2 専門課程 のクロス表

			Q1_2_2 専門課程		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	20	2	22
		%	90.9%	9.1%	100.0%
	いいえ	度数	71	18	89
		%	79.8%	20.2%	100.0%
合計		度数	91	20	111
		%	82.0%	18.0%	100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q1_2_3 職業実践専門課程 のクロス表

			Q1_2_3 職業実践専門課程		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	3	19	22
		%	13.6%	86.4%	100.0%
	いいえ	度数	34	55	89
		%	38.2%	61.8%	100.0%
合計		度数	37	74	111
		%	33.3%	66.7%	100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1 書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業 のクロス表

			Q2_1 書くこと・読むことなどの国語の力をつける授業					合計
			実施している	実施を計画中	必要だが実施していない	必要と思わない（実施していない）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	8	0	10	4	0	22
		%	36.4%	0.0%	45.5%	18.2%	0.0%	100.0%
	いいえ	度数	31	4	40	14	0	89
		%	34.8%	4.5%	44.9%	15.7%	0.0%	100.0%
合計		度数	39	4	50	18	0	111
		%	35.1%	3.6%	45.0%	16.2%	0.0%	100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1_1 講義 のクロス表

			Q2_1_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	6	2	8
		%	75.0%	25.0%	100.0%
	いいえ	度数	21	10	31
		%	67.7%	32.3%	100.0%
合計		度数	27	12	39
		%	69.2%	30.8%	100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1_2 実習 のクロス表

			Q2_1_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数	0	8	8
		%	0.0%	100.0%	100.0%
	いいえ	度数	6	25	31
		%	19.4%	80.6%	100.0%
合計		度数	6	33	39
		%	15.4%	84.6%	100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1_3 グループワーク のクロス表

			Q2_1_3 グループワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	7 22.6%	24 77.4%	31 100.0%
合計		度数 %	7 17.9%	32 82.1%	39 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_1_4 通信教育（郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 37.5%	5 62.5%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	2 6.5%	29 93.5%	31 100.0%
合計		度数 %	5 12.8%	34 87.2%	39 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_1_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	2 6.5%	29 93.5%	31 100.0%
合計		度数 %	2 5.1%	37 94.9%	39 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1_6 その他 のクロス表

			Q2_1_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 12.5%	7 87.5%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	8 25.8%	23 74.2%	31 100.0%
合計		度数 %	9 23.1%	30 76.9%	39 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_1SQ 不明 のクロス表

			Q2_1SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	31 100.0%	31 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	39 100.0%	39 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2 基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業 のクロス表

			Q2_2 基本的な計算、正と負、割合などの数学の力をつける授業					合計
			実施している	実施を計画中	必要だが実施していない	必要と思わない（実施していない）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	5 22.7%	0 0.0%	13 59.1%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	24 27.0%	8 9.0%	45 50.6%	12 13.5%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	29 26.1%	8 7.2%	58 52.3%	16 14.4%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2_1 講義 のクロス表

			Q2_2_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	4 80.0%	1 20.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	17 70.8%	7 29.2%	24 100.0%
合計		度数 %	21 72.4%	8 27.6%	29 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2_2 実習 のクロス表

			Q2_2_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	4 16.7%	20 83.3%	24 100.0%
合計		度数 %	4 13.8%	25 86.2%	29 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2_3 グループワーク のクロス表

			Q2_2_3 グループワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	4 16.7%	20 83.3%	24 100.0%
合計		度数 %	4 13.8%	25 86.2%	29 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_2_4 通信教育（郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	2 40.0%	3 60.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	24 100.0%	24 100.0%
合計		度数 %	2 6.9%	27 93.1%	29 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_2_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	2 8.3%	22 91.7%	24 100.0%
合計		度数 %	2 6.9%	27 93.1%	29 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2_6 その他 のクロス表

			Q2_2_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 20.0%	4 80.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	4 16.7%	20 83.3%	24 100.0%
合計		度数 %	5 17.2%	24 82.8%	29 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_2SQ 不明 のクロス表

			Q2_2SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	24 100.0%	24 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	29 100.0%	29 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3 歴史、世の中のしくみなどの社会の力をつける授業 のクロス表

			Q2_3 歴史、世の中のしくみなどの社会の力をつける授業					合計
			実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	8 36.4%	1 4.5%	10 45.5%	3 13.6%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	36 40.4%	5 5.6%	34 38.2%	13 14.6%	1 1.1%	89 100.0%
合計		度数 %	44 39.6%	6 5.4%	44 39.6%	16 14.4%	1 0.9%	111 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3_1 講義 のクロス表

			Q2_3_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	6 75.0%	2 25.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	34 94.4%	2 5.6%	36 100.0%
合計		度数 %	40 90.9%	4 9.1%	44 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3_2 実習 のクロス表

			Q2_3_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	4 11.1%	32 88.9%	36 100.0%
合計		度数 %	4 9.1%	40 90.9%	44 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3_3 グループワーク のクロス表

			Q2_3_3 グループ ワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	10 27.8%	26 72.2%	36 100.0%
合計		度数 %	10 22.7%	34 77.3%	44 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_3_4 通信教育 （郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 37.5%	5 62.5%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	2 5.6%	34 94.4%	36 100.0%
合計		度数 %	5 11.4%	39 88.6%	44 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_3_5 通信教育 （e-ラーニングな ど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	3 8.3%	33 91.7%	36 100.0%
合計		度数 %	3 6.8%	41 93.2%	44 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3_6 その他 のクロス表

			Q2_3_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 12.5%	7 87.5%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	2 5.6%	34 94.4%	36 100.0%
合計		度数 %	3 6.8%	41 93.2%	44 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_3SQ 不明 のクロス表

			Q2_3SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	8 100.0%	8 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	36 100.0%	36 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	44 100.0%	44 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4 身近な物理現象、電流や化学変化などの理科の力をつける授業 のクロス表

			Q2_4 身近な物理現象、電流や化学変化などの理科の力をつける授業					合計
			実施している	実施を計画中	必要だが実施していない	必要と思わない(実施していない)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	15 68.2%	0 0.0%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	47 52.8%	5 5.6%	21 23.6%	16 18.0%	0 0.0%	89 100.0%
合計			62 55.9%	5 4.5%	28 25.2%	16 14.4%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4_1 講義 のクロス表

			Q2_4_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	14 93.3%	1 6.7%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	46 97.9%	1 2.1%	47 100.0%
合計			60 96.8%	2 3.2%	62 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4_2 実習 のクロス表

			Q2_4_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	2 13.3%	13 86.7%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	9 19.1%	38 80.9%	47 100.0%
合計			11 17.7%	51 82.3%	62 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4_3 グループワーク のクロス表

			Q2_4_3 グループワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	15 100.0%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	5 10.6%	42 89.4%	47 100.0%
合計			5 8.1%	57 91.9%	62 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_4_4 通信教育（郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 20.0%	12 80.0%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	3 6.4%	44 93.6%	47 100.0%
合計			6 9.7%	56 90.3%	62 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_4_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	15 100.0%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	2 4.3%	45 95.7%	47 100.0%
合計			2 3.2%	60 96.8%	62 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4_6 その他 のクロス表

			Q2_4_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 6.7%	14 93.3%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	2 4.3%	45 95.7%	47 100.0%
合計			3 4.8%	59 95.2%	62 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_4SQ 不明 のクロス表

			Q2_4SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	15 100.0%	15 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	47 100.0%	47 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	62 100.0%	62 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5 体のしくみや健康などの保健の力をつける授業 のクロス表

			Q2_5 体のしくみや健康などの保健の力をつける授業					合計
			実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない (実施し ていな い)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	14 63.6%	0 0.0%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	54 60.7%	5 5.6%	18 20.2%	12 13.5%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	68 61.3%	5 4.5%	25 22.5%	13 11.7%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5_1 講義 のクロス表

			Q2_5_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	12 85.7%	2 14.3%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	51 94.4%	3 5.6%	54 100.0%
合計		度数 %	63 92.6%	5 7.4%	68 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5_2 実習 のクロス表

			Q2_5_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	14 100.0%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	6 11.1%	48 88.9%	54 100.0%
合計		度数 %	6 8.8%	62 91.2%	68 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5_3 グループワーク のクロス表

			Q2_5_3 グループ ワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	14 100.0%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	4 7.4%	50 92.6%	54 100.0%
合計		度数 %	4 5.9%	64 94.1%	68 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_5_4 通信教育 (郵送など)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 21.4%	11 78.6%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	3 5.6%	51 94.4%	54 100.0%
合計		度数 %	6 8.8%	62 91.2%	68 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_5_5 通信教育 (e-ラーニングな ど)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	14 100.0%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	2 3.7%	52 96.3%	54 100.0%
合計		度数 %	2 2.9%	66 97.1%	68 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5_6 その他 のクロス表

			Q2_5_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 7.1%	13 92.9%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	1 1.9%	53 98.1%	54 100.0%
合計		度数 %	2 2.9%	66 97.1%	68 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_5SQ 不明 のクロス表

			Q2_5SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	14 100.0%	14 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	54 100.0%	54 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	68 100.0%	68 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6 色彩や被服・ファッションなどの美術・家庭の力をつける授業 のクロス表

			Q2_6 色彩や被服・ファッションなどの美術・家庭の力をつける授業					合計
			実施して いる	実施を計 画中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない (実施し ていな い)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	18 81.8%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	75 84.3%	3 3.4%	8 9.0%	3 3.4%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	93 83.8%	3 2.7%	11 9.9%	4 3.6%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6_1 講義 のクロス表

			Q2_6_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	17 94.4%	1 5.6%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	68 90.7%	7 9.3%	75 100.0%
合計		度数 %	85 91.4%	8 8.6%	93 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6_2 実習 のクロス表

			Q2_6_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	7 38.9%	11 61.1%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	37 49.3%	38 50.7%	75 100.0%
合計		度数 %	44 47.3%	49 52.7%	93 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6_3 グループワーク のクロス表

			Q2_6_3 グループ ワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 5.6%	17 94.4%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	8 10.7%	67 89.3%	75 100.0%
合計		度数 %	9 9.7%	84 90.3%	93 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_6_4 通信教育 (郵送など)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 5.6%	17 94.4%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	1 1.3%	74 98.7%	75 100.0%
合計		度数 %	2 2.2%	91 97.8%	93 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6.5 通信教育（e-ラーニングなど）のクロス表

			Q2_6.5 通信教育 (e-ラーニングなど)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	18 100.0%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	2 2.7%	73 97.3%	75 100.0%
合計		度数 %	2 2.2%	91 97.8%	93 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6.6 その他 のクロス表

			Q2_6.6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	18 100.0%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	1 1.3%	74 98.7%	75 100.0%
合計		度数 %	1 1.1%	92 98.9%	93 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_6SQ 不明 のクロス表

			Q2_6SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 5.6%	17 94.4%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	75 100.0%	75 100.0%
合計		度数 %	1 1.1%	92 98.9%	93 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7 働くことの目的や意義、職業観についての授業 のクロス表

			Q2_7 働くことの目的や意義、職業観についての授業					合計
			実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない (実施し ていな い)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	16 72.7%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	73 82.0%	6 6.7%	8 9.0%	2 2.2%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	89 80.2%	7 6.3%	12 10.8%	3 2.7%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7_1 講義 のクロス表

			Q2_7_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	16 100.0%	0 0.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	70 95.9%	3 4.1%	73 100.0%
合計		度数 %	86 96.6%	3 3.4%	89 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7_2 実習 のクロス表

			Q2_7_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	6 37.5%	10 62.5%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	25 34.2%	48 65.8%	73 100.0%
合計		度数 %	31 34.8%	58 65.2%	89 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7_3 グループワーク のクロス表

			Q2_7_3 グループ ワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	4 25.0%	12 75.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	28 38.4%	45 61.6%	73 100.0%
合計		度数 %	32 36.0%	57 64.0%	89 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_7_4 通信教育 (郵送など)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	73 100.0%	73 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	89 100.0%	89 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_7_5 通信教育 (e-ラーニングなど)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	73 100.0%	73 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	89 100.0%	89 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7_6 その他 のクロス表

			Q2_7_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	5 6.8%	68 93.2%	73 100.0%
合計		度数 %	5 5.6%	84 94.4%	89 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_7SQ 不明 のクロス表

			Q2_7SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	73 100.0%	73 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	89 100.0%	89 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8 職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業 のクロス表

			Q2_8 職業人としてのマナーやキャリアマインドに についての授業					合計
			実施して いる	実施を計 画中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない (実施し ていな い)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	18 81.8%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	80 89.9%	5 5.6%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	98 88.3%	7 6.3%	5 4.5%	1 0.9%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8_1 講義 のクロス表

			Q2_8_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	17 94.4%	1 5.6%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	77 96.3%	3 3.8%	80 100.0%
合計		度数 %	94 95.9%	4 4.1%	98 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8_2 実習 のクロス表

			Q2_8_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	6 33.3%	12 66.7%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	43 53.8%	37 46.3%	80 100.0%
合計		度数 %	49 50.0%	49 50.0%	98 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8_3 グループワーク のクロス表

			Q2_8_3 グループワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 16.7%	15 83.3%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	24 30.0%	56 70.0%	80 100.0%
合計		度数 %	27 27.6%	71 72.4%	98 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_8_4 通信教育（郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	18 100.0%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	80 100.0%	80 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	98 100.0%	98 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_8_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	18 100.0%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	80 100.0%	80 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	98 100.0%	98 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8_6 その他 のクロス表

			Q2_8_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 5.6%	17 94.4%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	3 3.8%	77 96.3%	80 100.0%
合計		度数 %	4 4.1%	94 95.9%	98 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_8SQ 不明 のクロス表

			Q2_8SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 5.6%	17 94.4%	18 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	80 100.0%	80 100.0%
合計		度数 %	1 1.0%	97 99.0%	98 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9 社会における職業の意味についての授業 のクロス表

			Q2_9 社会における職業の意味についての授業					合計
			実施している	実施を計画中	必要だが実施していない	必要と思わない（実施していない）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	16 72.7%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	67 75.3%	9 10.1%	8 9.0%	4 4.5%	1 1.1%	89 100.0%
合計		度数 %	83 74.8%	10 9.0%	12 10.8%	5 4.5%	1 0.9%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9_1 講義 のクロス表

			Q2_9_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	16 100.0%	0 0.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	62 92.5%	5 7.5%	67 100.0%
合計		度数 %	78 94.0%	5 6.0%	83 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9_2 実習 のクロス表

			Q2_9_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	4 25.0%	12 75.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	18 26.9%	49 73.1%	67 100.0%
合計		度数 %	22 26.5%	61 73.5%	83 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9_3 グループワーク のクロス表

			Q2_9_3 グループワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 6.3%	15 93.8%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	16 23.9%	51 76.1%	67 100.0%
合計		度数 %	17 20.5%	66 79.5%	83 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_9_4 通信教育（郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	67 100.0%	67 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	83 100.0%	83 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_9_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	67 100.0%	67 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	83 100.0%	83 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9_6 その他 のクロス表

			Q2_9_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 6.3%	15 93.8%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	3 4.5%	64 95.5%	67 100.0%
合計		度数 %	4 4.8%	79 95.2%	83 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_9SQ 不明 のクロス表

			Q2_9SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	16 100.0%	16 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	67 100.0%	67 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	83 100.0%	83 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業 のクロス表

			Q2_10 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業					合計
			実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない （実施し ていな い）	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	11 50.0%	1 4.5%	9 40.9%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	60 67.4%	9 10.1%	19 21.3%	1 1.1%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	71 64.0%	10 9.0%	28 25.2%	2 1.8%	0 0.0%	111 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10_1 講義 のクロス表

			Q2_10_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	9 81.8%	2 18.2%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	53 88.3%	7 11.7%	60 100.0%
合計		度数 %	62 87.3%	9 12.7%	71 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10_2 実習 のクロス表

			Q2_10_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 27.3%	8 72.7%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	16 26.7%	44 73.3%	60 100.0%
合計		度数 %	19 26.8%	52 73.2%	71 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10_3 グループワーク のクロス表

			Q2_10_3 グループワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	4 36.4%	7 63.6%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	29 48.3%	31 51.7%	60 100.0%
合計		度数 %	33 46.5%	38 53.5%	71 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_10_4 通信教育（郵送など）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	11 100.0%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	60 100.0%	60 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	71 100.0%	71 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_10_5 通信教育（e-ラーニングなど）		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	11 100.0%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	60 100.0%	60 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	71 100.0%	71 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10_6 その他 のクロス表

			Q2_10_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 9.1%	10 90.9%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	4 6.7%	56 93.3%	60 100.0%
合計		度数 %	5 7.0%	66 93.0%	71 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_10SQ 不明 のクロス表

			Q2_10SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	11 100.0%	11 100.0%
	いいえ	度数 %	1 1.7%	59 98.3%	60 100.0%
合計		度数 %	1 1.4%	70 98.6%	71 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11 チームワークの大切さについての授業 のクロス表

			Q2_11 チームワークの大切さについての授業					合計
			実施している	実施を計画 中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない (実施し ていな い)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	12 54.5%	2 9.1%	8 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	58 65.2%	5 5.6%	21 23.6%	5 5.6%	0 0.0%	89 100.0%
合計			70 63.1%	7 6.3%	29 26.1%	5 4.5%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11_1 講義 のクロス表

			Q2_11_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	9 75.0%	3 25.0%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	35 60.3%	23 39.7%	58 100.0%
合計			44 62.9%	26 37.1%	70 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11_2 実習 のクロス表

			Q2_11_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	7 58.3%	5 41.7%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	32 55.2%	26 44.8%	58 100.0%
合計			39 55.7%	31 44.3%	70 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11_3 グループワーク のクロス表

			Q2_11_3 グループ ワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	6 50.0%	6 50.0%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	38 65.5%	20 34.5%	58 100.0%
合計			44 62.9%	26 37.1%	70 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_11_4 通信教育 (郵送など)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	12 100.0%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	58 100.0%	58 100.0%
合計			0 0.0%	70 100.0%	70 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_11_5 通信教育 (e-ラーニングな ど)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	12 100.0%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	58 100.0%	58 100.0%
合計			0 0.0%	70 100.0%	70 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11_6 その他 のクロス表

			Q2_11_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 8.3%	11 91.7%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	5 8.6%	53 91.4%	58 100.0%
合計			6 8.6%	64 91.4%	70 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_11SQ 不明 のクロス表

			Q2_11SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	12 100.0%	12 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	58 100.0%	58 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	70 100.0%	70 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業 のクロス表

			Q2_12 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業					合計
			実施して いる	実施を計 画中	必要だが 実施して いない	必要と思 わない (実施し ていな い)	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	10 45.5%	2 9.1%	9 40.9%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	47 52.8%	7 7.9%	29 32.6%	6 6.7%	0 0.0%	89 100.0%
合計		度数 %	57 51.4%	9 8.1%	38 34.2%	7 6.3%	0 0.0%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12_1 講義 のクロス表

			Q2_12_1 講義		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	44 93.6%	3 6.4%	47 100.0%
合計		度数 %	54 94.7%	3 5.3%	57 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12_2 実習 のクロス表

			Q2_12_2 実習		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	3 30.0%	7 70.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	14 29.8%	33 70.2%	47 100.0%
合計		度数 %	17 29.8%	40 70.2%	57 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12_3 グループワーク のクロス表

			Q2_12_3 グループ ワーク		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	2 20.0%	8 80.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	16 34.0%	31 66.0%	47 100.0%
合計		度数 %	18 31.6%	39 68.4%	57 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12_4 通信教育（郵送など） のクロス表

			Q2_12_4 通信教育 (郵送など)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	10 100.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	47 100.0%	47 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	57 100.0%	57 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12_5 通信教育（e-ラーニングなど） のクロス表

			Q2_12_5 通信教育 (e-ラーニングな ど)		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	10 100.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	47 100.0%	47 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	57 100.0%	57 100.0%

クロス集計 数表

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12_6 その他 のクロス表

			Q2_12_6 その他		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	1 10.0%	9 90.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	4 8.5%	43 91.5%	47 100.0%
合計		度数 %	5 8.8%	52 91.2%	57 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q2_12SQ 不明 のクロス表

			Q2_12SQ 不明		合計
			はい	いいえ	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	0 0.0%	10 100.0%	10 100.0%
	いいえ	度数 %	0 0.0%	47 100.0%	47 100.0%
合計		度数 %	0 0.0%	57 100.0%	57 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q3_1 「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である のクロス表

			Q3_1 「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である						合計
			非常にそ う思う	やや思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	10 45.5%	6 27.3%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	49 55.1%	32 36.0%	5 5.6%	2 2.2%	0 0.0%	1 1.1%	89 100.0%
合計		度数 %	59 53.2%	38 34.2%	9 8.1%	2 1.8%	0 0.0%	3 2.7%	111 100.0%

Q1_2_1 高等課程 と Q4_1 「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である のクロス表

			Q4_1 「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である						合計
			非常にそ う思う	やや思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	不明	
Q1_2_1 高等課程	はい	度数 %	9 40.9%	7 31.8%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	22 100.0%
	いいえ	度数 %	51 57.3%	29 32.6%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.5%	89 100.0%
合計		度数 %	60 54.1%	36 32.4%	9 8.1%	1 0.9%	0 0.0%	5 4.5%	111 100.0%

文部科学省委託事業

「美容専門教育プログラムに関するアンケート」の趣旨とお願い

拝啓 秋麗の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、文部科学省委託事業『美容専門教育に必要な人材基盤力を養成する教育プログラムの開発と実証』の一貫として、皆様にアンケートをお願いしております。 ※本事業内容については、別紙補足資料をご覧ください。

美容専門学校業界の発展のため、ぜひともご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【背景】

本調査および教育プログラム開発の背景として、美容分野は若者に根強い人気があり、美容業界関連の職に就きたいと考える学生の多くは進路として美容師養成施設を選択していると存じます。

しかしながら、職業・仕事に対して踏み込んで考えている生徒は少ないのが現状であり、そのため入学後（あるいは入学決定から入学までの期間）に美容の専門知識・技術習得と並行して職業観や働くことの意味・意義についても考えさせる職業キャリア教育の充実化を図る必要性があると考えられます。

また、2003年のOECDによる学生の学習到達度調査では、学生の学力低下が教育的な課題となって久しく、専修学校などにおいても美容の専門教育を学ぶための基礎学力が学生の中で十分に培われていないのが実情であり、入学決定後から入学前までの期間も含め基礎学力について対応していく必要があるといえます。

【目的】

このような背景を踏まえ、美容師養成施設各校における基礎学力教育、職業キャリア教育についての実態調査を実施し、美容分野の職業キャリアと基礎学力の教育プログラムを開発・実施することにより、美容分野において学ぶ生徒の学習と成長を支える基盤力の強化を図っていくことを目的としております。

つきましては、ご多用中のところ恐縮ではございますが、「美容専門教育プログラムに関するアンケート」を同封いたしますので、ご回答いただけますと幸甚に存じます。

ご回答いただいた方で、集計結果（速報）をご希望の方には後日、お送りいたします。

ご不明な点、疑問に感じられた点がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

敬具

調査責任者：学校法人 大美学園 大阪美容専門学校 副校長 谷本 佳隆

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目28-27
TEL: 06-6761-6559 FAX: 06-6761-3726
E-mail: y.tanimoto@daibi.ac.jp

ー 美容専門教育プログラムに関するアンケート ー

アンケートにご協力くださり、ありがとうございます。

このアンケートは、美容師養成施設各校における「基礎学力教育」、「職業キャリア教育」についての実態調査を実施し、美容分野の職業キャリアと基礎学力の教育プログラムを開発・実施することにより、美容分野に学ぶ生徒の学習と成長を支える基盤力の強化を図っていくことを目的としております。

授業やカリキュラム内容の編成や検討を行う教務責任者様・ご担当者様がご回答ください。

<アンケート記入上の注意点>

※アンケート所要時間は約10分です。

※ご記入いただいた回答は、調査・研究上の目的以外に使用することはありません。

※アンケートは**無記名**であり、個々の学校の回答が特定されることはありません。

※回答の正誤を判断するものではありませんので、率直にありのままをお答えください。

※いただいた回答用紙は調査責任者のもとで厳重に保管し、一定期間経過後に適切に処分いたします。

※ご希望の方には、アンケートで得られた結果をまとめ、お知らせいたします。

ご記入済みのアンケートは同封した返送用封筒に入れてお送りください。

Q1 貴校について教えてください

■ 所在するエリア（あてはまるもの1つに○）

1. 北海道 2. 東北 3. 東京 4. 関東（東京を除く） 5. 信越・北陸 6. 東海
7. 大阪 8. 近畿（大阪を除く） 9. 中国 10. 四国 11. 九州（沖縄を含む）

■ 養成施設のタイプ（あてはまるもの1つに○）

1. 専修学校 →
2. その他（大学・短大・高校など）

専修学校 とお答えの方、設置課程を教えてください（複数可）

1. 高等課程 2. 専門課程 3. 職業実践専門課程

Q2 貴校では以下のような教育を行っているか教えてください

「基礎学力教育（中学校程度）」について

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（**入学前教育を含む**）

■ 書くこと・読むことなどの

国語の力をつける授業：

（あてはまるもの1つに○）

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
（実施していない）

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください

- （複数可） 1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育（郵送など）
5. 通信教育（e-ラーニングなど）
6. その他 【 】

■ 基本的な計算、正と負、割合などの

数学の力をつける授業：

（あてはまるもの1つに○）

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
（実施していない）

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください

- （複数可） 1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育（郵送など）
5. 通信教育（e-ラーニングなど）
6. その他 【 】

■ 歴史、世の中のしくみなどの
社会の力をつける授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

■ 身近な物理現象、電流や化学変化などの
理科の力をつける授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

■ 体のしくみや健康などの
保健の力をつける授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

■ 色彩や被服・ファッションなどの
美術・家庭の力をつける授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

「職業キャリア教育」について

以下のようなカリキュラム・授業内容を行っていますか（入学前教育を含む）

■働くことの目的や意義、職業観についての授業：

（あてはまるもの1つに○）

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
（実施していない）

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
（複数可）

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育（郵送など）
5. 通信教育（e-ラーニングなど）
6. その他 【 】

■職業人としてのマナーやキャリアマインドについての授業：

（あてはまるもの1つに○）

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
（実施していない）

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
（複数可）

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育（郵送など）
5. 通信教育（e-ラーニングなど）
6. その他 【 】

■社会における職業の意味についての授業：

（あてはまるもの1つに○）

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
（実施していない）

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
（複数可）

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育（郵送など）
5. 通信教育（e-ラーニングなど）
6. その他 【 】

■ 自己分析・美容業界におけるキャリアプランについての授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

■ チームワークの大切さについての授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

■ 働く上で基礎的な学習の大切さを教える授業：

(あてはまるもの1つに○)

1. 実施している →
2. 実施を計画中
3. 必要だが実施していない
4. 必要と思わない
(実施していない)

実施している とお答えの方、実施方法を教えてください
(複数可)

1. 講義
2. 実習
3. グループワーク
4. 通信教育 (郵送など)
5. 通信教育 (e-ラーニングなど)
6. その他 【 】

Q3 「基礎学力教育」についてお答えください

<重要度について>

■「基礎学力教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である

(あてはまるもの 1 つに○)

非常に そう思う	...	やや そう思う	...	どちらとも 言えない	...	あまり そう思わない	...	まったく そう思わない
↓		↓		↓		↓		↓
1		2		3		4		5

<課題について>

基礎学力をつける授業を行うにあたり、どのような課題を感じていますか

実施時に困っていることや改善したい点など / 実施したいが出来ない理由など
どんなことでも構いません。あなたのご意見をお聞かせください。(自由記述)

・
.....
・
.....
・
.....
・
.....
・
.....

<教材や工夫について> ※実施されていない場合はご回答の必要はありません。

基礎学力をつける授業を行うにあたり、①どのような教材を使用されたり、②工夫をされていますか

教材名など / 内容や気を付けられていることなど

あなたのご意見をお聞かせください。(自由記述)

①どのような教材を使用されていますか (なるべく具体的にご記入ください)

・
.....
・
.....
・
.....
・
.....
・
.....

②どのような工夫をされていますか

・
.....
・
.....
・
.....
・
.....
・
.....

Q4 「職業キャリア教育」についてお答えください

＜重要度について＞

■「職業キャリア教育」は美容専門教育を学ぶにあたり重要である

(あてはまるもの1つに○)

非常に そう思う	...	やや そう思う	...	どちらとも 言えない	...	あまり そう思わない	...	まったく そう思わない
↓		↓		↓		↓		↓
1		2		3		4		5

＜課題について＞

職業キャリア教育を行うにあたり、どのような課題を感じていますか
実施時に困っていることや改善したい点など / 実施したいが出来ない理由など
どんなことでも構いません。あなたのご意見をお聞かせください。(自由記述)

・
.....
・
.....
・
.....
・
.....
・
.....

＜教材や工夫について＞ ※実施されていない場合はご回答の必要はありません。

職業キャリア教育を行うにあたり、①どのような教材を使用されたり、②工夫をされていますか
教材名など / 内容や気を付けられていることなど
あなたのご意見をお聞かせください。(自由記述)

①どのような教材を使用されていますか (なるべく具体的にご記入ください)

・
.....
・
.....
・
.....
・
.....
・
.....

②どのような工夫をされていますか

・
.....
・
.....
・
.....
・
.....
・
.....

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

アンケートの結果をご希望の方は以下にご連絡ください。後日集計結果（速報）をお送りいたします。

調査責任者：学校法人 大美学園 大阪美容専門学校 副校長 谷本 佳隆

E-mail: y.tanimoto@daibi.ac.jp

ご記入いただいた個人情報は調査に関するご報告・情報提供にのみ利用し、他の目的での利用や第三者へ譲渡・開示することはありません。

美容分野 職業キャリア教育



もくじ・・・・・・・・・・

① 美容分野 職業理解

P02

- 1.1 美容職とは何か ― 美容職の役割・意義と職種を知る
- 1.2 美容業界の最新動向 ― 社会の動きと美容業界の動向を知る

② 美容分野 職業意識

P08

- 2.1 美容人材の職業意識 1 ― 組織・社会の一員としての美容人材の心構えを学ぶ
- 2.2 美容人材の職業意識 2 ― 個人としての美容人材の心構えを学ぶ

③ 美容分野 職業人コンピテンシー

P16

- 3.1 美容人材に必要な能力 1 ― チームワークで働く美容人材が習得すべき能力を考える
- 3.2 美容人材に必要な能力 2 ― 専門職業人として日々の研鑽が必要な美容人材が習得すべき能力を考える

④ 美容分野 職業キャリア形成

P24

- 4.1 美容人材のキャリア形成 1 ― 様々な美容職のキャリアパスを知る
- 4.2 美容人材のキャリア形成 2 ― 美容人材としての自分のキャリアを考える

1 美容分野 職業理解

1.1 美容職とは何か

美容職の役割・意義と職種を知る

美容職の歴史

美容職の歴史は、今から3000年以上前に遡ると言われます。

その頃にエジプトでヘアカッティングの仕事が誕生しましたが、日本にその技術が伝来したのはごく最近のことです。近代以前の日本では、髪を束ねたり結ったりして頭頂に髷もみぢうを象った「髷」が主流である伝統的なヘアスタイル文化であったため、カッティングの必要がなかったからです。

この時代のヘアケアに関する施術は、美容より、むしろ理容に近いものでした。美容としての技術が普及してきたのは大正時代に入ってからです。その頃から、女性を主対象にしたヘアカッティング・パーマントウェービング等の施術が行われるようになりました。そして、昭和32年(1957年)に制定された「美容師法」で美容が「パーマントウェーブ、結髪、化粧等の方法により、容姿を美しくすること」と定義されたことで、美容職の業務が拡大されました。ヘアスタイルに関する施術だけでなく、化粧(メイクアップ)、さらにネイルケア・エステティック等の技術も含まれるようになったのです。

日本で最初的美容学校である東京女子美髪学校は、美容師法の制定より40年以上前の大正2年(1913年)に設立されました。そこでは、それまで行われてきた髪結に関する教科は言うまでもなく、エステティックに近い内容も教授され、当時から既に美容に関する広範のカリキュラムが組まれていました。この東京女子美髪学校設立後、各地に美容学校が増え、メイクアップ等の教科も追加され、美容に関する学びを更に深められるようになりました。

その後も、ヘアスタイルの流行の変化と共に、美容技術は次々に進化してきました。そうした最新の流行スタイルや美容技術に敏感であることは、美容職にとって大切な職業意識の一つです。

美容職の役割

美容職の役割は美容師法の定める範囲内で、人の容姿に関する美しさを追求し、その結果をお客様に提供することです。ただし、自分の考える形を押し付けることではありません。お客様とのコミュニケーションをとおして、お客様自身の求めるイメージを具体的な形にすることが美容職の役割です。

また、「時、所、場合」(TPO)に応じた美容のアドバイスをすることも重要な業務です。例えば、会社の命運を左右するような商談に臨む時はどうか、お見合いに行く時はどうか、結婚式に出席するときはどうか等々、それぞれのTPOに応じたアドバイスができれば、お客様とのコミュニケーションが深くなり、顧客満足度も向上します。TPOとしては七五三、晴れ着での初詣、入学式、卒業式、成人式、入社式、昇進、人事異動、同窓会、各種パーティ、授業参観、法事など、美容院へ行く機会はたくさんあります。

ほかに、和装に合う伝統的な髪型を継承してゆくことも重要な役割の一つです。日本では平安時代からの髪型にかんする様式が伝わっており、現代でも皇室には古来の髪型を結って臨む宮中行事があります。近世から続く日本髪も日本舞踊など伝統芸能を行う人や芸者など花柳界の人々が受継いでおり、結婚式では髷を使わず自分の髪で結う人がいます。こうした需要に応え続けることも美容職ならではの役割です。



美容職の仕事

美容職の仕事は近年になって多様化しています。人々が個性を求めるようになったこと、美容職の技術が向上したこと、美容院の増加による競争激化などを背景として、それぞれの店が独自のサービスを開発しているからです。今後も仕事内容の高度化は続くと考えられており、最新動向の情報収集は必須です。

… 近年の美容職の主な仕事には次のようなものがあります。…

- ☑ カウンセリング … お客様の要望をヒアリングし、アドバイスをする仕事
- ☑ シャンプー …… 清潔を保つと共に、お客様が快適に感じる洗髪を行う仕事
- ☑ ヘアカット …… 仕上がり进行を想定しながら、適切な方法を用いて髪をカットする仕事
- ☑ カラーリング …… 微妙な色の違いを見分け、お客様が要望する髪の色に仕上げる仕事
- ☑ パーマ …… 適切な方法によって髪にウェーブをかける仕事
- ☑ ブロー …… 濡れた髪をタオルやドライヤーで乾かし整える仕事
- ☑ ヘアセット …… 髪型をお客様の要望にそった形に仕上げる仕事
- ☑ スキンケア …… さまざまな理由で痛んだ肌を健康的な状態にする仕事
- ☑ メイクアップ …… お客様の要望にそって顔に化粧をほどこす仕事
- ☑ ネイル …… ネイルケアやネイルアートなど爪の手入れと美容を行う仕事
- ☑ 着付け …… 和服を自分で着ることのできない人のために適切な着用法を指導する仕事

以上が美容職の一般的な仕事です。

ネイル関連は資格をもたなくてもサービスできますが、美容師資格のほかにネイリスト検定等を取って技術の幅を広げておくのは、仕事をするうえで役に立ちます。

美容職の職場

美容職が働く場所は一様に美容院、美容室、ヘアーサロン、ビューティサロン等と呼ばれています。美容師法による正式名称は「美容所」と定めていますが、店名に用いることは減多にありません。店舗内は清潔で美しく、換気が十分にされ、整理整頓がゆきとどいた働きやすい環境です。これは経営者の方針によるものだけではなく、美容師法第十三条の定めに従った結果でもあります。

※ 美容師法 (美容所について講ずべき措置)

第十三条
美容所の開設者は、美容所につき、次に掲げる措置を講じなければならない。

- 一 常に清潔に保つこと。
- 二 消毒設備を設けること。
- 三 採光、照明及び換気を充分にすること。
- 四 その他都道府県が条例で定める衛生上必要な措置

店の規模は小さな個人経営が70～80%をしめており、残りが株式会社や有限会社です。従業員数も5人未満が全体の約70%であり、少人数経営が主流となっています。

また、美容師は美容法に基づいて届け出た施設でのみ施術を行えますが、「政令で定める特別の事情がある場合」は他の場所で施術を行うことができます。具体的には美容師法施行令の第四条に規定されており、「疾病その他の理由により、美容所に来ることができない者に対して美容を行う場合」「婚礼その他の儀式に参列する者に対してその儀式の直前に美容を行う場合」があり、その他に地域が特別に定めたケースも可能です。一般には山間部などの過疎地域、高齢者福祉施設、俳優や芸人など芸能人の控え室が対象となります。出張美容施術を主要に行う会社もあり、東京や大阪等の大都市を中心に活動しています。

出張美容施術が可能な場所については地方公共団体ごとに定めがあり、東京都の条例では「疾病その他の理由により」出張できますが、単に高齢を理

由にして「面倒だから来てもらう」という場合は出張できないとしています。式場や神社などで行う結婚式や七五三参りなどの儀式にも出張できますが、儀式が伴わない単なる記念撮影が目的の場合は出張できません。これらの条例に違反した場合は罰金や業務停止命令、あるいは免許取り消しになることがあります。

職場のスタッフ体制は最も少人数の場合、美容師が1人で全ての業務を行います。福祉施設等に出張するときは一時的に店を閉めます。美容師が2人の場合、技術が同等レベルのケースや一方がアシスタントのケースがあります。3人以上の場合、無資格者が案内・会計・掃除等を行うケースもあり、分業が進みます。

また、美容職をスタイリスト・トップスタイリスト等に分けるのは各店の規則であり、公的資格制度に基づく区分ではありません。大型店になると、店長やマネージャーといった美容師を管理する役職もあります。



1.2 美容業界の最新動向

社会の動きと美容業界の動向を知る

美容を巡る社会の動き

現在の日本は極端な高齢化社会を迎えています。昭和25年(1950年)に4.9%であった65歳以上の高齢者人口が、平成27年(2015年)に26.7%となりました。前年より約90万人増え、割合、人口ともに過去最高を記録しました。65年間で5倍以上も増加し、日本人の4人に1人が高齢者となったのです。この傾

向は今後も続き、平成47年(2035年)には33.4%になると予測されています。日本人の3人に1人が高齢者となるのです。

さらに、平成27年には総人口も減少しました。1年間に生まれる子どもの数が長期的に減り続けており、近年の出生数は100万人程度で推移しています。戦後最も多かった昭和24年(1949年)の出生数は約270万人ですから、当時と比較して40%弱しか子どもが

型を整えることだけが目的ではなく、より幸福になりたい、より特別な存在になりたい、より美しくなりたい等といった奥深い目的も潜んでいるとの認識が背景にあります。美容院に行けば「快適で幸せな時間を過ごせる」「大切な人間として扱ってもらえる」「みんなが注目してくれるようになったと思える」、そのような接客を心がけるようになりました。

高級店でなくても出迎え、見送りは当然となり、常連でなくても名前を覚えてもらえます。自分の要望を否定されることもありません。熱心に傾聴してもらえうえに、専門家からのアドバイスも含めたコミュニケーションにより、漠然とした要望が具体的になります。上から目線で決めつけるのではなく、穏やかに話し合った結果です。どれだけ腕が良くても、無愛想な命令口調ではダメなのだ気づくようになりました。

近年はさらに品質の向上をめざし「接客に正解はない」という段階を目標とする考え方もあります。個性化社会においては100人のお客様がいれば、100通りの接客法があり、同じお客様でも毎回同じ接客ではないというものです。

また、今後の重要な対策として高齢化社会への対応が必要です。人口の多い団塊の世代が高齢にさしかかっていることもあり、大きなマーケットになってきました。オシャレで活動的なタイプが多く、会社員として堅実に働いてきた人は十分な貯金があり、年金も充実しています。趣味等に多くのお金を使える世代なので、いかにも年寄りくさい髪型ではなく、「上質な品性を感じさせる」「高い教養がにじみ出ている」「フ



生まれていません。「少子高齢化総人口減少」が人口の長期トレンドとなっています。

経済の高度成長も見込めないことから、今後の国内市場は縮小し続けると予測されており、多くの業界では対応に知恵を絞っています。ポイントは海外などの「新しい市場」に進出するか、国内で「新しい市場」を創造することです。例えば核家族化が定着し、未婚率が上昇している背景から単身世帯が増加し「お一人さ

イルドだが清潔感もある」といったような、一人ひとりの個性にあった多様なスタイルの開発が求められています。

高齢者の来店を促す設備面での対策としては「転びにくいよう入り口や店内の段差をなくす」「階段やトイレに手すりを設置する」「車椅子での利用ができるよう店内を改装する」等があります。「安全、快適、便利」の充実を基本としながら、アンチエイジング、ヘルスケア、一人ひとりの個性に対応する個別化、体験型の消費行動など、時代のトレンドを取り入れることも必要です。

一方、人口が減り続けている若者世代は節約志向が顕著であり、見栄による消費が少ない傾向があります。便利な都市部に住む若者の自動車購買意欲が減少していることから分かるように、バブル崩壊以降に育った人々は無駄なお金を使いません。合理的で説得力のある対応が必要です。例えば「髪を痛めないパーマ技術を商品化する」「品質を落とさずに施術時間を短縮する」「お客様自身でメンテナンスしやすいスタイルを開発する」「お客様の要望を正確に把握できる能力を向上させる」などが上げられます。インターネット等で判断力を磨いている人も多く、一見すると安そうに感じるが結果的には高額になるといったまやかし商法は長続きしません。誠実に対処することが肝心です。

美容事業経営の方向性

社会変化に対応した経営の方向性としてはカリス

マ市場」が成長しています。大人数で利用するのが常識であった焼肉店が1人用のカウンター席を設けたり、数人分の惣菜パックを売っていたスーパーが1人用の惣菜パックも品揃えするなど、各業界が進出しています。街の電器店が地域の高齢者宅等を巡回営業し、電球の交換も行うサービスをすることで部屋に入れてもらい、家電製品の売上を伸ばした例も「お一人さま市場」進出の応用です。

マ美容師を擁する等して高価格帯を目指すタイプと、サービス内容を限定して低価格帯を目指すタイプが近年には目立っており、従来からある経営手法の店は価格帯がその中間に位置します。

高価格帯を目指す店はカリスマ美容師を育てるなどして、ブランドの構築を行います。メディアに取り上げられるカリスマ美容師はほとんどが男性で、俳優、モデル、タレント等を顧客にもっていることをアピールします。高額な収益が得られる反面、激しい競争を生き抜く力も必要で浮き沈みも多い世界です。

低価格帯を目指す店はメニュー全体の価格を適正化する手法やメニューの数を絞り込む手法等を採用しており、集客率向上、リピート率向上などに力を入れて収益をあげています。単なる値下げでは品質低下に陥って倒産になりかねません。高品質のサービスを割安感のある価格で提供するのがポイントです。集客のために割引券を配布する方法は定番化していますが、割引を止めて売り込みたいメニューの期間限定無料サービスなどを実施するという考え方もあります。

他に各種美容業務を取り入れたトータルビューティーサロンの進出も近年の傾向です。従来の定番サービスに加えて、ヘッドスパ、ネイルアート、ボディエステ等を加えた大型施設の業態で、本格的なメイクアップも取り入れています。

以上のように美容業をとりまく環境は厳しい状況ですが、独立志向の美容師が多く、新しい発想の経営手法やサービス等の登場に期待できる業界でもあります。

美容業界の動向

美容師数・美容所数・美容市場規模等の最新数値

こうした環境のなか、美容業は店舗数が増え続けており激しい競争状態となっています。美容院の総店舗数は平成11年(1999年)に20万1千件であったのが、平成27年には23万8千件となっており、ゆるやかに増え続けています。同年のコンビニエンスストア総店舗数が5万5千件ですから、その4倍以上です。

美容業の市場規模は平成27年の推計で1兆5千億円程度とされています。平成22年(2010年)の推計は1兆3千億円なので増加傾向にあります。

店で働く人のうち、受付、会計、掃除等の業務は資格を問いませんが、お客様に施術を行う業務は美容師の国家資格が必要です。美容師の人数は平成11年に45万3千人であったのが、平成27年には49万7千人に達しており、これもゆるやかに増加しています。

社会変化に伴う美容業界の動向

少子高齢化が進行し、総人口が減少するなか、美容院の件数および美容師の人数は増え続けています。一方、社会全体で節約志向が定着しており、急激な消費拡大は見込めそうにありません。その結果、業界内の競争は激しさを増し、新たな対策が求められるようになりました。

主な対策として業界全体に浸透しているのは接客の品質向上です。お客様が来店するのは髪を切り、髪

2 美容分野 職業意識

2.1 美容人材の職業意識 ①

組織・社会の一員としての美容人材の心構えを学ぶ

社会的責任を担う美容職の心構え



社会における専門職の倫理と規範

専門職として、正しいことを正しく行うのが職業倫理です。何が正しいのかについては、専門職ごとの関連法規や職能団体による倫理規定等で定められていますが、共通する社会常識もあります。例えば、最優先すべき倫理として安全の確保があります。未熟な技術、仕事の手抜き、過重労働による注意力散漫、道具や設備の劣化および不備等によって人の健康を害したり、怪我をさせてはいけません。

そのため、専門技術や専門知識をしっかりと習得したうえで、安全講習を受けてから勤務します。美容師をはじめとして、介護士、看護師、医師、弁護士等のように国家資格が無ければ職務に就けない分野では専門教育機関で規定の学習を行い、技術、知識、倫理を学んだ後に国家資格を取得し、その上で先輩について現場の経験をふみ、一人前と認められてから独り立ちします。これを怠り、半人前の段階で現場をまかされるようなことがあれば、安全を損なうリスクが高まり、職業倫理に反します。

また、専門職は自分の立場を利用して意図的に人を騙すことができます。例えば、自分のミスによって人に損害や危害を与えたとき、それを隠すことがあります。損害賠償等で自分が不利益になる場合は特に顕著です。素人がミスを見破って証明するのは極めて困難であるため、専門職個人の職業倫理がとても重要となります。

その他、個人情報を扱う専門職は情報の保護に全力をつくさなければなりません。悪意をもって名簿業者等に売り渡すのは明らかに犯罪ですが、不注意でコンピューターウイルスに感染して流出したり、ハッキングされやすいパスワードを使っていたりするのも悪い結果を生じさせるリスクな

ので十分な対策が必要です。パスワードをメモして自分のパソコンや机に張っておくのは不注意以前の問題であり、職務怠慢です。また、知人との世間話で悪気なく個人情報漏らすことはよくあることなので、専門職としての自覚をもって個人情報保護に努めなければなりません。



美容職に規定される倫理

美容師は人体に直接触れ、薬剤を用いたりする他、カルテ等の個人情報を扱います。また、美容院を利用しない人は誤解しやすいのですが、刃物を用いた顔そりも美容師だけではなく美容師も行います。昭和23年(1948年)に当時の厚生省から「化粧に附随した軽い程度の「顔そり」は化粧の一部として美容師が行ってもさしつかえない」との通達が出されており、カミソリ等を直接皮膚にあてます。

こうしたことから、美容師法によって様々な規定が設けられ、美容師の国家資格をもたない者が仕事として施術を行ってはならないと決められています。美容師は美容師法を守り、これに違反した場合は美容師免許の取り消しもありえます。

安全確保に関する義務としては、美容師法に次のような清潔と消毒の定めがあります。

美容師法

(美容の業を行う場合に講ずべき措置)

第八条 美容師は、美容の業を行うときは、次に掲げる措置を講じなければならない。

- 一 皮ふに接する布片及び皮ふに接する器具を清潔に保つこと。
- 二 皮ふに接する布片を客一人ごとに取り替え、皮ふに接する器具を客一人ごとに消毒すること。
- 三 その他都道府県が条例で定める衛生上必要な措置

「皮ふに接する布片」には乾燥タオル、蒸しタオル、枕カバー、カットやシャンプーに用いるクロス等があります。紙を用いた場合はそのつど廃棄する必要があります。「皮ふに接する器具」にはハサミ、カミソリ、クリップ、くし(コム)、ヘアックリップ、ブラシ、ヘアアイロン等があり、カミソリのように血液が付着する可能性のある用具は煮沸あるいはアルコールによる消毒が美容師法施行規則によって義務づけられています。これを怠ると感染症を広げてしまう恐れがありますので、社会的な責任も重大です。

その他の詳細については各都道府県が条例で定めています。例えば、お客様と顔を近づけて施術する場合は、風邪等をうつすことがないようマスクの着用を義務づけている都道府県があります。咳が出るようなときはマスクをしていてもお客様を不快にしてストレスを与える可能性がありますので、風邪をひかないようにする健康管理が必要です。

顧客指向とコンプライアンス

近年の美容業界ではお客様の要望を可能な限り実現できるよう、個人情報やカルテに記録し、保存する例があります。記録内容は店舗によってさまざまですが、住所、氏名、年齢、誕生日、職業、施術内容等を基本にして、家族構成、趣味、性格、好みのファッション、好きな食べ物、よく行く店や街、話し好きかどうか等、多彩な内容を把握しています。これによって質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上を図ることが狙いです。

ただし、これらの個人情報は取り扱いに注意が必要です。お客様のプライバシーですから、外部に漏れるようなことがあってはなりません。例えば、お客様Aさんの知り合いが来店したときに、雑談で「Aさんがエルメスのバッグを買ったそうです」と経済的な豊かさを誉めるつもりで言ったとしても、Aさんはその知人に知られたくないと思っている可能性があります。次に来店したとき「なぜ余計なことを言ったのか？」と叱責を受けることがありますから逆効果です。

内容によっては「個人情報の保護に関する法律」(略称「個人情報保護法」)違反となることもあります。同法では個人情報をデータベース等に保存し、

事業で利用する者を「個人情報取り扱い事業者」と定めており、多くの義務を課しています。例えば、個人情報の利用目的を本人に伝えて了解を得る、利用目的以外に情報を使わない、情報内容を見せるよう本人から要請があった場合は原則として従う必要がある等々、厳しく規定しています。「悪意の無い噂話」がお客様を傷つけ、法律に違反することもありますので注意が必要です。

個人情報保護法の他に、「消費者基本法」「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」などは美容業に関連するため学習しておかなければなりません。また、地方公共団体が衛生措置、出張業務、店舗開設などに関して条例を定めていますので、営業している都道府県の条例も学習しておきます。

近年は法令遵守をコンプライアンスと表現し、重要視するようになりました。消費者の立場が向上したほか、グローバル競争を行っている先進国では情報の透明性、公平な競争条件、公正な活動が必要だからです。こうした背景を知った上で、法令遵守の精神を養います。



チームワークにおける美容職の心構え

美容職に就く者が2以上の職場で働く場合は必ずチームワークが要求されます。スタッフの連携がとれていないと効率が悪くなったり、トラブルが起きやすくなったりしてお客様に迷惑をかける等、経営に悪影響がでるからです。そのため、スタッフ間のコミュニケーションをスムーズに行うよう心がけます。

互いに敵対しないよう仲間を尊重する姿勢をもって、挨拶や返事を丁寧に行うことから始め、必要事項の連絡や報告を正確に行います。店のルールを守ること、法令を遵守することもチームワークに影響します。守らない者がいるとチーム全体の不利益になりますから、守っている者と対立がおこりチームワークが乱れます。「自分一人く

らいが守らなくても問題は起きないだろう」という考えをもってはいけません。

チームワークは効果的に機能すれば1+1が3にも4にもなりえますが、対立ばかりしているとマイナスに働き「自分一人で行動したほうがいい」という意識になりがちです。疑心暗鬼にならず、相手の気持を好意的にとらえる努力をし、協調性を養うことが大切です。

特にアシスタントをしている期間は叱られることが多く、荒んだ気持ちになりがちですが、注意を受けることは成長するために必要なことです。自分が叱る立場になったとき、そのありがたさがわかります。

2.2 美容人材の職業意識 ②

個人としての美容人材の心構えを学ぶ

専門職としての美容職の心構え

プロ意識、顧客のライフスタイルに影響することを自覚

一億総中流社会と言われた高度成長期の日本では、多くの人が似たようなライフスタイルで生きていました。昭和30年代には電気洗濯機、電気掃除機、電気冷蔵庫を三種の神器と称し、それらを買そろえることが皆の目標でした。昭和40年代にはカー、クーラー、カラーテレビを3Cあるいは新三種の神器と称し、新たな目標としました。少年の髪型は坊ちゃん刈りで、会社員の髪型は七三分けです。女性はもう少し多様でしたが、美容院に行くのは一年に一回という人も珍しくありません。ライフスタイルという言葉すら一般化していない時代でした。

しかし、平成に入ると少しずつ個性を重視する意識が広まり、平成15年(2003年)には「世界に一つだけの花」という歌がシングルカットされて大ヒットするほど、多くの人々が個性的なライ

フスタイルを目指すようになりました。近年では髪型、服装、持ち物、家具、住まい等をトータル・コーディネートする意識が高まっています。

そのため、美容業ではお客様の個性を尊重する接客が求められています。美容師は多様なファッションやライフスタイルに関する情報を収集し、お客様の要望を理解できる知識を持ち、適切なアドバイスをできる能力が必要です。ただし、アドバイスの内容は選択肢を提案することであって、結論を押し付けることではありません。あくまでも、決定するのはお客様であるという心構えが大切です。

モノでなくサービスを提供する職業であることを自覚

美容、旅行、教育、医療等の業務で、人間が直接行うサービスは物を製造する仕事と異なる特徴があります。サービス業の主要な特徴としては次の5つをあげることができます。

1 サービスそのものには形が無い

美容院でカットやパーマを行った場合、結果として髪型の形は残りますが、美容師によるサービスそのものには形がありません。テレビを売るのであれば商品を事前に見て、性能や品質を確認してから購入できますが、美容院で美容師の技術を体験したり、サービスの品質を確認してから施術を受けることは原則としてできないのです。サービスを受けた後にしか善し悪しがわかりません。これを「無形性」と言います。初めて来店するお客様は特に不安がありますので、安心できるような配慮が必要です。

2 サービスの品質は変化する

美容院でカットをした場合、「前回と同じにしてください」と要望しても全く同じにはなりません。同じ美容師であっても、その時々の健康状態や精神状態の違い、あるいは繁閑の状態等がサービス内容に影響するからです。最高の技術をもったベテランでも失敗はありえます。これを「品質変動性」と言います。工業製品で重大な欠陥があれば交換できますが、サービスは交換できません。短く切り過ぎてしまったら元には戻せないのです。お客様とのコミュニケーションを密にして、品質を確認しながらサービスを行う心がけが大切です。

3 忙しい時と閑な時がある

どのような業界にも忙しい時と閑な時はありますが、美容院のようなサービス業は特にその影響を強く受けます。電気製品等であれば倉庫に保管する量で対応できますが、美容院ではスタッフの人数を簡単に増減することができないからです。これを「需要変動性」と言います。月、曜日、時間帯などによる繁閑を極力平均化する誘導策を考えたり、スタッフの勤務形態をフレキシブルにするなど、なんらかの対策が必要です。

4 サービス提供者が現場に必要

パソコン等の商品は多くの部品によって製造されますが、製造に関わった人々が販売店にいる必要はありません。ネットで販売すれば、販売員も店にいない必要がないのです。一方、美容院では美容師がお客様と同じ場所にいないとビジネスが成立しないという特徴があります。これを「不可分性」と言います。したがって、美容師の高付加価値化を目指すのか、業務を単純化して効率化を目指すのかなど、明確な経営戦略が重要となります。

5 サービスは提供した時点で消滅する

形のある商品は倉庫や店舗などに在庫を蓄え、仕入れた当日に売れなくても翌日以降に売ることができます。生鮮食品であっても管理を適切に行えば可能です。一方、飛行機の予約席は飛んでしまったら売ることができません。売れ残りを翌日に売ることができないのです。しかも、たまたま乱気流にあって怖い思いをしたとしても、別の商品と交換することもできません。サービスの提供とサービスの消費が同時に行われるからです。美容業も同様に、売れ残った予約時間を在庫として保管することはできず、スタッフの不注意で不愉快な思いをさせてしまったら、交換は困難です。これを「消滅性」と言います。「サービスは提供した時点で消滅する」という意味です。そのため、一期一会の精神でサービスを行い、お客様を店のファンにする努力が必要です。



対人サービス業としての美容職の心構え

近年ではサービス業に限らず、あらゆる業界で顧客満足度の向上が課題となっています。先進国では適度な自由競争が浸透し、顧客満足度の低い製品やサービスはお客様に受け入れられず、顧客満足度の高い製品やサービスに負けてしまうからです。

そのため、美容業でも顧客ニーズに応えてリピーターを増やすこと、市場調査やお客様へのヒアリングを行い潜在ニーズを掘り起こすこと、技術やサービスのイノベーションを行って競合店に差をつけること等、さまざまな取り組みを行っています。

また自分たちがお客様にとって不必要なサービスを行っていないかという検討も常にしなければなりません。異なる業種の例ですが、4000円の理容室に通っていたお客様で、洗髪や髭剃りが不要だと思っていた人は1000円のカット店が近所にできればそちらに流れてしまいます。ある時期に常識であったサービスも、新しいサービスの登場によって非常識になってしまうことがある

のです。お客様のためと思って行っていることが、実は自分たちの都合であることが珍しくありません。日々の点検が必要です。

こうしたことを理解した上で、心のこもったホスピタリティの精神をもって誠実に業務を行います。また、何をもって「満足」とするかは個人によって異なりますので、可能な限りお客様がこうあってほしいと期待する配慮や態度で接客します。施術中の会話が好きな人と嫌いな人がおり、好きな人でも会話の内容について好みが分かりますから、お客様個人個人の好みを察したコミュニケーションがとても重要です。このとき、会話の内容とともに注意を払う必要があるのは非言語コミュニケーションです。声の大きさ、顔や目の表情、身振手振、微妙な距離、沈黙の仕方、身嗜み、臭い、ファッションセンスにもメッセージが込められていますので、その効果について学習しておくコミュニケーション能力が向上します。



美容職の自己管理に関する心構え

時間管理

美容院の多くは予約制を採用していますので、スタッフ個人個人の時間管理は必須の能力です。例えば30分遅刻をただで、予約のお客様に大きな迷惑をかけてしまいます。お客様は30分待つが、予約を取り直して別の日にするかを考えなければなりません。その後のスケジュール調整もしなければなりません。何より、自分には何の落ち度も無いのに不愉快な思いをして、ストレスを溜め込むのです。どうしても待てない場合は代わりの美容師に施術をしてもらえないか交渉が必要です。それがダメならすぐに予約がとれる近くの美容院を探さなければなりません。こうした遅刻よりも最悪なのは当日の連絡による欠勤です。仮に4人の予約客を担当する予定であれば、想像を絶する混乱が起こります。

迷惑をこうむるのはお客様だけではなく、店長をはじめとしたスタッフたちも同様です。自分の担当する仕事以外に、遅刻や欠勤したスタッフのお客様への対応を余儀なくされるのです。業務を実行するときの時間管理だけではなく、こうした不慮の事態が起こらないようにする時間管理は極めて大切です。

健康管理

時間管理をしっかりと行うためにも、体調不良や病気をしないための健康管理を怠らないようにします。持病がある人は別にして、若いときに風邪等で遅刻したり欠勤するのは原則として本人の責任です。十分な睡眠、栄養バランスの取れた食事、適度な運動を心がけて、病気にならないよう予防することが最善の策です。その上で定期的な健康診断を受け、問題が発見されたら早期治療をして大病を防ぎます。

近年はファストフードやコンビニ弁当が普及しています。しかし、油が劣化したり、添加物が多く使われている商品もありますので、あくまでも臨時の食事として利用すべきです。常食にしないよう心がける必要があります。

また、美容業ではシャンプー、カラー等で薬剤を頻繁に扱うため、手荒れやアレルギーのリスクがあります。同じ作業、同じ姿勢の持続による疾病の可能性もありますので、事前に対策法を学習しておきます。



3 美容分野 職業人コンピテンシー

3.1 美容人材に必要な能力 ①

チームワークで働く美容人材が習得すべき能力を考える

美容職のビジネススキル

コミュニケーション力

美容師にとって美容技術と共に重要なのがコミュニケーション力です。接客では来店時の出迎え、待ち時間のおもてなし、要望のヒアリング、サービス中の会話、会計、終了後の見送り等があり、それぞれの場面で適切なコミュニケーションが必要です。具体的には言葉遣い、顔の表情、身振り手振り、接する態度等をさしますが、正解が一つではありません。お客様の接客に対す要望は多様です。話し好きの人がいれば、会話が嫌いな人もいます。自分のやり方を強制するのではなく、お客様の好みを察することが大切で、極論を言えば100人の相手には100通りの対応があると言えます。

コミュニケーションの重要性は職場の人間関係でも同様です。同僚に何かを頼むとき、同じ内容でも言い方一つで受け入れてもらえたり、拒否されたりすることがあります。美容師の仕事に必須の能力と考え、身につける必要があります。

また、日々の業務を管理するためのコミュニケーションとしては「報告、連絡、相談」が基本です。略して「報連相」とも言います。例えばお客様とのトラブルに関する上司への報告、予約時間変更の担当者への連絡、接客方法に関する先輩への相談など、さまざまなケースが毎日のように発生します。「報連相」がきちっとできる人は上司や仲間から信頼されますので、キャリアアップのためには必要不可欠です。

ほかに業務日報や顧客管理データなどもコミュニケーションの手段です。その日の重要なできごと等を業務日報に記録しておく、売上の多い日には何があったのか、逆に低い日には何があったのか把握できて、そうした情報を職場内で共有できます。顧客管理データも毎回記録しておけば、

予約が入ったときに確認できるほか、担当が代わったときにも役立ちます。お客様は自分の好み等を覚えてもらっていると嬉しく思い、再び来店する動機の一つになります。したがって、顧客管理データはコミュニケーション手段であると同時に、売上を伸ばすための情報であり、店にとっての財産でもあります。

タイムマネジメント力

近年では多くの美容室で予約制を採用しています。きちっと機能すればお客様にも、店にもメリットがあります。お客様は待ち時間がほとんどなくなり、店は計画的に営業することができるからです。そのため、予約制を上手に運営するタイムマネジメントの必要性が増しています。

例えば、予約時間どおりに来店したお客様を待たせたのでは逆効果になりますから、決められた時間内にサービスが終了できるよう時間配分をしなければなりません。また、急ぐあまりに大きな失敗をしたり、サービスの質を落としたのでは店の評判がさがります。決められた時間内に一定の品質を保った仕事ができるような訓練を、日頃から心がけていると効果的です。

ただし、いつも必要な時間を確保できるとは限りません。予約時間に遅れてきたお客様への対応で、時間短縮を余儀なくされることは珍しくないのです。多くの店では一定時間以上遅れた場合の対応が規定されています。たとえば連絡なしに15分以上遅れた場合は予約を取り直してもらうなど、厳しく設定している店もあります。しかし、10分以内の遅れでは受け入れるケースが多く、次の予約者に迷惑がかからないよう業務時間を短縮します。

このときの対応として、業務内容に優先順位をつけることがタイムマネジメントでは有効です。優先順位の高い業務に時間を多く配分し、優先順位の低い業務の時間を削ります。場合によっては事前にお客様の了解をとった上で、省いてもいい業務を決めておくスムーズに運びます。お客様の考えもありますから、十分にコミュニケーションをとって決定します。予約時間どおりに来店した場合でも、急いでやって欲しいと言われることがありますので、そうした場合の対応でもタイムマネジメントは有効です。

ある程度の経験を積んだ後の対応としては業務速度の柔軟性が求められます。例えば、60分で行うべき業務を45分で実行できる能力を身につけておけば、非常時には45分で対応できるほか、通常は15分をサービス向上につなげる時間として使えます。お客様の許可が得られれば、仕上がり写真を撮って顧客データとして保存しておく、次に来店したときのコミュニケーションに役立つほか、要望を聞くときも参照できます。

🔧 クリンリネス管理力

クリンリネスとは一般に清潔を意味します。ただし、接客業ではより深く解釈し、お客様やスタッフにとって安全な状態であるか、なおかつ清潔で快適であるか、さらには美しいか等の理解も必要とされます。

例えば、お客様が来店したとき、最初に見るのは店の外観です。窓が汚れていないか、看板が曲がっていないか、ドアの取っ手に手垢がついていないか等々、常連の人でも気になります。入り口のマットがめくれてつまづきそうになり、危険を感じることもあります。この段階でお客様が嫌悪感をもってしまうと、怒りっぽい感情を抱えて店に入ってしまう、少しのことでクレームになりかねません。かかとの高いピンヒールを履いた女性でも安全に入店できる配慮も必要です。

店内のクリンリネスも、立って動き回っているスタッフと座席に腰掛けているお客様では視線の位置が異なりますので、開店前に清掃をするときは隅々まで目を凝らして点検します。とくに埃は清潔感を失うだけでなく、呼吸器系に害を与え

る可能性があり、衛生上の問題もありますので、細心の注意が必要です。さらに、トイレやフロアは営業中も清掃しますが、忙しいと注意深く点検する余裕を失いがちです。白い調度品に落ちた白髪等も見えにくいのですが、ソファに座って手持ち無沙汰なお客様には見えてしまうことが少なくありません。あらゆる所に落とし穴がありますので、美容技術とは関係ないと軽視せず、接客業の基本として位置づけます。美しく磨き抜かれた店内はお客様に感動を与えることもあり、リピーターの獲得にもつながるのです。

また、店内の整理整頓やこまめな清掃はスタッフの安全にかかわるほか、作業効率にも影響します。動線に物を置くとぶつかる危険が生じ、そのつと移動すると効率が落ちるのは日常でも経験しますが、タイル地の床に少しでも水がこぼれていると滑って転ぶ等、さまざまなリスクが潜んでいます。整理整頓ができない人は道具の管理や手入れも悪くなりがちですから、プロ意識をもって取り組むべき課題です。



チームワークを強化する人間対応力

🔧 人間分析力

美容の仕事は一人の美容師が全てを行う小さな個人経営がある一方、業務を細分化してチームワークを行う経営形態もあります。一般的な分業としては美容師をスタイリストとアシスタントに分け、顧客対応と主要業務をスタイリストが行い、指示に従ってカラーを行ったりシャンプーするのがアシスタントになります。大きな店ではさらに細分化し、案内、レジ係、仕入れ担当、清掃担当等さまざまな役割を分担します。

こうしたチームワークによる連携を必要とする職場環境では、個々人の性格、長所、短所、思考傾向等を観察して把握し、柔軟に対応する必要があります。たとえ自分がトップスタイリストであったとしても、アシスタントが指示を理解できなければお客様に迷惑をかけてしまいます。したがって、どのように伝えれば、どのように動くのかというアシスタント個々人の個性を知らなければなりません。反対に、アシスタントはスタイリストの個性を把握して指示を聞かなければ、失敗をして店に損害を与えたり、スタイリストに嫌われて使ってもらえなくなる可能性があります。

こうした関係をプロジェクトでは相互依存と言いますが、チームワークでは互いに協力してくれる相手を必要としているのです。一人ひとりに協力関係がうまくいくような能力開発が求められています。例えば、指示を受けた時は言葉だけを鵜呑みにするのではなく、相手が何を望んでいるのかについて察知する洞察力が大切です。チームメンバーの個性を理解した上で、どのような流れで指示が出されたのかといった前後関係や背景を知

る観察力も要求されます。アシスタントについて、ときも、ボーッと見ているのではなく、次に何が行われ、そのためには何が必要かというシミュレーションをしながら観察していると、ミスが少なくなり、相手から信頼を得ることができます。

🔧 場の空気を読む力

日本では「空気を読む」という能力が重視されます。例えば、誰かが失敗してお客様が怒っているような場面では、それ以上お客様を怒らせないようにし、気を取り直してもらうために皆が協力しあう空気ができています。そんなときに、お客様の落ち度を指摘して正論を述べるような行為をすると、せっかく皆が努力して問題解決に向かうために作った空気が壊れてしまいます。お客様が激昂して収拾がつかない事態にもなりかねません。このようなときに上司から「空気を読め」と叱られます。

たとえ正しい発言であったとしても効果的な場合と逆効果な場合があり、それを決定する重要な要因の一つに空気があるわけです。チームワークがよい職場では皆が空気を読む能力をもっていて、全てを語らなくても意思統一ができます。これを「阿吽の呼吸」と言い、協調して何かを成し遂げるには大きな武器となります。

ただし、「空気」の全てが正しいわけではありません。お客様を騙したり、法律を破ったりしているときの「空気」は、あえて壊す勇気も必要です。協調し合って良い方向に向かう場合は力を発揮しますが、間違っている時は状況を悪化させる方向に力が働きます。「悪い空気に流される」ことのないよう注意する心がけも大切です。

3.2 美容人材に必要な能力 ②

専門職業人として日々の研鑽が必要な美容人材が習得すべき能力を考える

美容職のラーニングスキル

トレンドの理解と情報収集

美容職はヘア・ファッションの動向について、常に敏感でなければなりません。髪の毛の長さはベリーショートからスーパーロングまで小刻みに分類されており、それぞれに新しいアレンジが創作されます。カッティング、ヘアカラー、パーマなどを組み合わせますので膨大な種類の髪型が存在し、短期間で変化し続けています。

そのため、最先端のヘア・ファッションは何か、現在人気があるヘア・ファッションは何かといった情報を収集する必要があります。流行している髪型は地域、年齢、職業などによって微妙に異なりますので、チェックを怠るとお客様から知識が乏しい美容職とみなされ、リピーターになってももらえない可能性もでてきます。

知識の情報収集は専門誌のほか、女性向けファッション誌、インターネットの関連情報サイト等をこまめにチェックしていれば、かなりの程度はカバーできます。ただし、メディア情報が常に正しいとは限りませんので、街に出て自分の目で確かめるフィールドワークは欠かせません。街にも集まる人々の特徴によって個性がありますから、一か所に限定するのではなく、異なる個性の街を数か所選択します。

また、次ぎにくる流行の予測も大切です。一般に「トレンドを読む」という活動を指しますが、的確に予測するためには地道な努力が求められます。前述の情報収集を行うほか、メディアの人気ベスト10などを継続的にチェックし、順位が上昇している髪型、あるいは下がり始めた髪型を把握して、定期的に街に出て確認すると情報が正確になってゆきます。ファッション関連のショップに行き、店員から話を聞くのも有効です。

こうして集めた情報は必ず時系列に整理し、紙媒体であればスクラップを行い、デジタルデータであれば、検索しやすいようなファイル名やフォルダ名をつけて保存します。最終的には情報を読み込んだ後の直感が効果を発揮しますので、論理的な思考だけではなく、感性を磨いておくことで予測能力が向上します。

多様なブランドの理解と情報収集

次ぎにくるトレンド予測の情報として、ファッション関連ブランドの広告等も役に立ちます。ファッション雑誌等を読む時は記事だけではなく、広告に登場する女性の髪型も必ずチェックするようにします。有名ブランドの商品を持っている人はトータルイメージを重視していますので、それが衣類、靴、下着、各種グッズのブランドであってもモデルの髪型は記憶に残りやすいです。

また、実際に来店したお客様の靴や靴等を見て、外観からブランドがわかれば会話のきっかけとなるだけではなく、広告モデルの髪型について話しをするなかで様々なアドバイスを求められるかもしれません。お客様はヘアスタイルを整えることだけが目的で来店するわけではなく、より魅力的になりたい、より美しくなりたい、より自分らしくなりたいといった目的も持っています。そうした重要な目的達成に協力してくれる人とみなされれば、信頼関係が深まり、リピーターになる確率は高まります。

ファッションの歴史の理解

ヘア・ファッションのトレンドを知るためには過去の情報を学ぶことも大切です。現代のヘア・ファッションは独立して突然あらわれたのではなく、過去の歴史の上に成り立っているからです。

まず、美容師に相当する女髪結いが初めて登場するのは江戸時代のことで、主なお客様は花魁など花柳界の女性でした。彼女たちは浮世絵にも描かれるほどの人気者であり、ファッションリーダーでもあったのです。こうした背景のもと、髪型が多様になり、自分では結えないほど複雑になってゆき、豊かになった庶民も女髪結いのもとへ通うようになりました。

ヘア・ファッションへのこだわりは女髪結いの登場より古くからあり、例えば平安貴族の女性は大垂髪と呼ばれる長い髪がトレンドでした。あまり動くことのない上流貴族では足元まで届くような長さです。しかし、武家の時代になると女性も動き回ることが多くなり、長さは腰の辺りまでとなって、髪が顔にかぶさってじゃまにならないよう耳を出すようになりました。さらに活動的な女性は髪の毛の長さを背中の中程まで短くし、後ろで結わえるなどの工夫をしました。

やがて、戦国時代を経て江戸時代に入ると人々の生活にゆとりが生まれ、より多様な髪型が考案されるようになりました。その数は諸説ありますが数百種類あったとされ、日本髪は原形が整います。現代でも有名な島田髷の名称が登場するのもこの頃です。

その後、明治維新を経て西洋文化が浸透するなかで、衣類、靴、化粧などと共に髪型も徐々に西洋化していきます。大正時代になると女性解放運動が起こると共に、モダンガールと呼ばれる人々が都会に現れ、西洋の機能的な髪型が普及するようになりました。

太平洋戦争が終わると西洋化はさらに進み、パーマントウェーブが大流行したほか、それまでは世間に認知されなかったショートカットが広まります。日本の女優が映画で披露したのがきっかけとされ、女優は時代のファッションリーダーとなります。現代はこれに歌手、モデル、テレビタレントが加わり、1980年代に流行した「聖子ちゃんカット」はアイドル歌手の名前が髪型名となりました。

このようにヘア・ファッションは時代によってトレンドがあり、社会的背景やファッションリーダーの影響が強く反映していることがわかります。また、近年はマスメディアに加えてインターネットが有力な情報源となっており、好みの細分化も進んでトレンドが読みにくくなってきました。

以上、ヘア・ファッションの大きな流れについて概観しました。美容職はカッティング、カラー、スタイリング、エステ、メイク等のほか、ファッション全体についても歴史を学習する必要があります。日本では平安時代からのファッション史が書籍等にまとめられていますので、流行の背景を理解し、日々の敏感なアンテナ張りを怠らないようにすることが大切です。

印象のよい聴き方

美容職はお客様から話を聞く機会がとて多くあります。出迎え、案内、要望のヒアリング、施術中の会話、環境の快適さ等、よりよいサービスを提供するためには欠かせません。そこで技術が必要になるのが話しの聞き方です。漢字では一般に「聞く」と書きますが、熱心に聞くときは傾聴という言葉があるように「聴く」と表記します。この違いは傾聴する側の心構えによるもので、話し手への共感が基本です。親身になって相手の言う内容を受け止めようとする態度が共感の第一歩であり、話し手が自分の言うことに共感してもらったと感ずるようになれば関係が深まります。会話で大切なのは話すことではなく、聴くことであるというのが大原則ですから、しっかり身につける必要があります。

正しい敬語表現

日本語の主要な特徴の一つに敬語があります。上品に話そうとして何にでも「お」をつけてしまうと滑稽になり、「おパーマをおかけになりますか」と言われたお客様は吹き出してしまふかもしれません。尊敬語も用法が難しく、例えば上司が部下に対して店の店長の出勤を伝えるとき、「社長がもうすぐいらっしゃる」と言うのは正しいのですが、お客様に対して同じ使い方をするのは誤りです。「店長がもうすぐ参ります」というのが正しい敬語です。新人のころは尊敬語と謙譲語の使い分けがなかなかできず、恥をかくことがよくありますので注意が必要です。

電話応対

美容職は予約の電話を受けることがよくあります。この対応で店の印象が決まりますので、きちっとしたマナーを身につけておかなければなりません。基本はベルが3回鳴るまでに受話器をとる、店の名を名乗る、敬語で対応する、要件をメモする、締めくくりの言葉を述べる等です。例えば、締めくくりの言葉として「わかりました」では無愛想なので「ご来店をお待ちしております」等、相手に喜んでもらえる言葉が必要です。

接客7大定型句

接客を行う職業で必ず覚えなければならない共通用語に接客7大定型句があります。

1. ありがとうございます
2. かしこまりました
3. いらっしゃいませ
4. 少々お待ちください
5. お待たせ致しました
6. 恐れ入ります
7. 申し訳ございません

の7つです。順番や言い回しは諸説ありますが、基本形は同様です。これは知っているだけでは意味がなく、お客様の前で言葉にだしてこそ価値があります。店によっては開店前の朝礼等で復誦しますが、そうでない場合は一人でも声に出して練習しておく効果があります。

非言語コミュニケーション

人と人とのコミュニケーションは言葉の意味だけではなく、声の高低、目や顔の表情、身振り手振り等も重要です。例えば、お客様に「ありがとうございます」と言うときに、一度も目線が合わなかったり、硬い表情では感謝の気持ちが十分に伝わりません。心のこもった笑顔と共に述べてこそ、感謝の気持ちお客様に届きます。

ホスピタリティ精神ともてなし行為

ホスピタリティは病院を意味するホスピタルと同源の言葉です。心身の痛みや疲れを癒すことが、その精神です。一方、「もてなし」はお客様に対する対応の在り方を意味し、一期一会の精神をもって至高の一時を提供することと目的とします。したがって、お客様の個性によって「もてなし」の在り方が変わります。この両方を理解して接客する方法の模索が近年は大きな課題となっています。

4 美容分野 職業キャリア形成

4.1 美容人材のキャリア形成 ①

様々な美容職のキャリアパスを知る

美容職に就くまでのキャリアパス

美容師として美容院等で働くには国家資格試験である美容師試験に合格し、厚生労働大臣の美容師免許を取得する必要があります。美容師法によって「美容師でなければ、美容を業としてはならない」(第6条)と定められているからです。

美容師試験を受験するには厚生労働大臣の認可を受けた養成施設に入学し、定められた課程を修了しなければなりません。平成10年(1998年)4月1日以降に入学する人の基準は次のようになっています。

高等学校卒業者および
同等資格保有者の場合

昼間課程：2年以上

夜間課程：2年以上

通信課程：3年以上

中学校卒業者の場合

養成施設の入学資格は一般に高等学校卒業者ですが、中学校卒業者でも受験できる養成施設があります。学校教育法が定める専修学校の高等課程です。その場合は美容師試験受験資格のほか、高等学校卒業と同等の資格を得るため、昼間課程でも3年間学びます。

美容師試験は実技試験と筆記試験があり、一方だけしか合格できなかった場合は次回の試験に限り、合格した方の試験が免除されます。

試験は1年に2回行われます。

第34回試験は実技が平成28年(2016年)8月1日から、
筆記が9月4日、合格発表は9月30日。

第35回試験は実技が平成29年(2017年)2月1日から、
筆記が3月5日、合格発表は3月31日でした。





美容職に就いてからのキャリアパス

小規模店のキャリアパス

美容師免許を取得してからのキャリアパスは多様です。小規模な個人店に就職した場合は、アシスタントから始めて、一人前の能力を身につけた後にスタイリストとなり、さらに経験を積んで管理能力のある人は店長となります。アシスタントやスタイリストの詳細な業務内容は店によって異なり、個人の資質も考慮されますので一概ではありません。

一般論としてのアシスタントの役割は店舗内外の清掃、開店準備、スタイリストの業務補助、洗濯、後片付けなどが中心です。業務の流れを覚え、業務補助ができるようになると、スタイリスト指導のもとにシャンプーを行うケースが多く見られます。その後はブロー、パーマ、カラー、カットなどの実践力を段階的

に身に付け、道具の手入れや接客技術も一人前と認められてスタイリストとなり、アシスタントがつきます。スタイリストはお客様の要望を聴いたり、カウンセリングを行うなど、アシスタント時代に経験していない役割があります。アシスタントを一人前にするための教育指導もスタイリストの役割です。個人店では業務の全てをできなければなりません。

平成22年(2010年)の調査によれば美容業の従業員数は1人が30%、2人が21%、3人が12%、4人が6%となっており、4人以下で69%を占めています(小数点以下は四捨五入)。小規模な個人店が就職先として有力な候補であることがわかります。



大規模店のキャリアパス

大規模な店に就職した場合は、アシスタントとスタイリストの間にワンステップ入ることがあります。アシスタントリーダー、あるいはジュニアスタイリストなど名称はさまざまですが、もう少しでスタイリストになれるレベルに達した人が選考されます。アシスタントを統率し、教育も行えるほか、スタイリストの補助は何でもこなせる人材です。

スタイリストは、その上位にトップスタイリストを配置することがあります。単にキャリアが長いだけではなく、技術レベルが高い美容師です。ヘアファッションの知識も豊富で、お客様の細かい要望にも応えることができます。容姿は原則として関係ありませんが、予約客の指名は影響しますのでお客様に信頼されるファッションセンスはある方が有利です。

店舗の大小とは別に、チェーン展開している企業規模の大きな店では経営に携わるポストがあります。名称は企業によってさまざま

ですが、店の売上に責任を持つ役割を担っている統括責任者です。支配人あるいはマネージャーなどの名称があります。店舗数が多い企業では複数の店を管理するエリアマネージャーもありえます。こうした企業では各店舗以外に本部があり、一般企業のようなセクションが置かれています。

平成22年の調査によれば美容業の従業員数5~9人が15%、10~19人が6%、20人以上が2%となっています。割合は少ないものの、雇用している人数が多いことから就職先としては十分検討に値する数です。経営者上の問題点を問うアンケートに対して「人手不足・求人難」をあげた割合は株式会社が32%、有限会社が26%、個人経営が10%となっています。また、会社組織の割合が多く、20人以上の美容業では株式会社が60%、有限会社が40%となっており、雇用保険や年金制度の充実が期待できます(小数点以下は四捨五入)。

✂ 独立する場合のキャリアパス

美容師は独立志向の強い人が多いと推定されています。平成22年の調査によれば30歳未満の経営者が2.2%、30～39歳の経営者が15.3%となっており、比較的若い経営者が多く存在します。2.2%といっても平成27年(2015年)の美容業数は23万8千件ありますから、5000人以上が20歳代の経営者ということになります。

独立するタイミングは人それぞれですが、アシスタントを経てスタイリストになり、技術に自信がつき、一定数の指名客がついてから具体的に検討するのが妥当です。勤め先のオーナーともよく相談し、合意の上で独立するのがベストであり、けんか別れして独立するのは懸命ではありません。どのような仕事でも業界での人間関係が成長を助けてくれるし、危機を救ってくれます。一人前のスタイリストが辞職するのはオーナーにとって大きなダメージとなりますので、後継者を育ててから辞めるなどの配慮も必要です。自分を指名

してくれるお客様が気持ちよく新店舗に来られるような心配りも忘れてはなりません。

独立開業に際しては2名以上で店を開く場合、管理美容師の資格者を置かなければなりません。資格を取得するには「美容師の免許を受けた後三年以上美容の業務に従事し、かつ、厚生労働大臣の定める基準に従い都道府県知事が指定した講習会の課程を修了した者」という美容師法の定めがあります。自分に資格がなくても、管理美容師を採用すれば開業の届け出ができます。店の広さや施設・設備に関しては各地方公共団体が規則を設けていますので、それを満たす必要があります。

開業資金は規模や立地等によって大きく異なりますが、一般に1000万円程度は必要とされます。そのほか、黒字になるまでの運転資金を用意しますが、これは生活レベルと経営能力によって異なり、家庭をもっている場合は子どもの教育費なども計算に入れておかなければなりません。新規出店も多いかわりに、廃業も多い業界なので十分な準備をしてから独立するのが懸命です。

✂ 美容師以外の美容職

美容職には美容師以外に、メイク、ネイル、スキンケア、着付などに進む道もあります。メイク技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、メイクアップアート専門のコースもあります。主な就職先はヘアメイク事務所、エステサロン、化粧品メーカーなどです。必須ではありませんが日本メイクアップ技術検定などの資格があります。ネイル技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、ネイルアート専門のコースもあります。主な就職先はネイルサロン、エステサロンなどです。必須ではありませんがネイリスト技能検定などを取得していると就職に有利です。スキンケア技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、エステ専門のコースもあります。主な就職先はエステサロン、化粧品メーカーなどです。必須ではありませんが、スキンケアアドバイザー、スキンケアカウンセラーなどの資格を取得していると就職に有利です。着付技術は美容関連専門学校の美容師コースで学べるほか、着付専門のコースや着付学校があります。主な就職先は結婚式場、着物販売業などです。必須ではありませんが、着付に関連する資格が10種以上あり、資格を取得していると就職に有利です。

また、美容師としても美容院への勤務以外に、訪問美容師、福祉施設美容師等の道があり、各種式場やテレビ局等のスタイリストになる選択肢もあります。



4.2 美容人材のキャリア形成②

美容人材としての自分のキャリアを考える

美容人材のキャリアプラン

キャリアプランとは自分の職業生活において、将来どのようにになりたいかという目標を定め、目標達成に必要なプロセスを明確化することを意味します。厚生労働省が就職やキャリアアップに役立つツールとして推進するジョブ・カード制度でも、キャリアプラン(職業生活設計)の作成を推奨しています。

学生のキャリアプラン作成は職種選びからスタートするのですが、ここでは美容職に決めたことを前提とし、自分の適性を客観的に理解することから始めます。長い人生のなかで、自分はどのような人間なのかについて、じっくり考えることはあまりありません。この機会に幼いころから現在までの自分を振り返り「興味、関心事項等」「得意なこと、苦手なこと」などを自分に問いかけます。詳細は自由に設定して構いませんが、美容職を意識した項目を参考として列挙します。

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> クラブ活動などで下積みを経験したか | <input checked="" type="checkbox"/> 知らない人に親切をしたことがあるか |
| <input checked="" type="checkbox"/> 嫌いな人間を含むグループで共同作業ができるか | <input checked="" type="checkbox"/> 手先は器用か |
| <input checked="" type="checkbox"/> 先輩、リーダー、先生などの意見を尊重できるか | <input checked="" type="checkbox"/> ファッションに興味はあるか |
| <input checked="" type="checkbox"/> 清掃、片付け、整理整頓ができるか | <input checked="" type="checkbox"/> 美しいものに感動することはあるか |
| <input checked="" type="checkbox"/> 長期間続けている趣味や活動はあるか | <input checked="" type="checkbox"/> 常にワンランク上を目指す上昇志向はあるか |
| <input checked="" type="checkbox"/> 地道な努力を積み重ねることができるか | <input checked="" type="checkbox"/> これまでに何らかの賞を受けたことがあるか |
| <input checked="" type="checkbox"/> 親友と呼べる友達はいるか | <input checked="" type="checkbox"/> 現段階で取得している資格は何か |
| <input checked="" type="checkbox"/> 友人のために自分を犠牲にしたことはあるか | <input checked="" type="checkbox"/> 現段階で取得を目指している資格は何か |
| <input checked="" type="checkbox"/> 社交性があるか | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 美容に関連するアルバイトをしたことがあるか、そこで感じた自分の強み・弱みは何か | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 接客に関連するアルバイトをしたことがあるか、そこで感じた自分の強み・弱みは何か | |

以上のような問いかけをし、自分の美容職としての適性をチェックします。適性があると思った場合は問題ありませんが、適性に不足があると判断した場合は補うための努力が必要です。

次に自分が将来どのようにになりたいかという目標を定めます。
これをキャリアビジョンと言いますが、具体的な考え方は後述します。
目標が定まったら、目標を達成するためのプロセスを可能な限り具体化します。
前述のキャリアパスを整理すると次のようになります。

- 就職先：小規模店、大規模店、チェーン展開する企業、訪問美容会社、福祉施設、等々
- 役 職：アシスタント、アシスタントリーダー、ジュニアスタイリスト、スタイリスト、トップスタイリスト、等々
- 管理職：店長、統括責任者、本部職員、本部役員、経営者、等々
- 独立開業：小規模店、大規模店、チェーン展開する企業、等々
- 美容師以外の美容分野：メイク、ネイル、スキンケア、着付、等々

上記の情報を参考にして自分のキャリアプランを作成します。
最初は骨組みだけ記述し、何度か見直しをして精度を高めてゆきます。
次に簡単な参考例を示します。

キャリアビジョン：35歳に独立して小規模店を開業する キャリアビジョン達成のプロセス

- ・ 20歳で小規模店に就職する
- ・ 20歳～35歳までにアシスタントからスタイリストまでを経験する
- ・ 25歳で管理美容師の資格を取得する
- ・ 27歳でネイリスト技能検定3級を取得する
- ・ 29歳で日本メイクアップ技術検定3級を取得する
- ・ 31歳でスキンケアアドバイザー資格を取得する
- ・ 休日を利用して着付教室に通い着付をマスターする
- ・ 毎年平均100万円ずつ蓄え、
35歳までに開業資金および運転資金を1500万円貯める

以上のような計画を最初に立て、必要に応じて肉付けをします。資格取得であれば独学で目指すか、通信教育を利用するか等を検討し、計画を詳細にして精度を高めてゆきます。ただし、計画は着実に実行しなければなりません。現代は社会が急速に変化します。バブル時代は社会全体が高級感を求めていたものの、バブル崩壊からしばらくたつと節約志向が広まりました。

法律改正にも目を配っている必要があります。規制緩和によって美容師も刃物を用いた顔そりができるようになるなど変化がありましたので、業界の動向とともに情報収集を行います。

そのため、キャリアプランは定期的に見直します。特に規則はありませんが、プロセスは毎年1回くらいのペースが適切です。例えば年始に時間をかけて見直しを行い、法律などの変化があれば随時変更を検討します。キャリアビジョンは目標ですから頻繁に変えてはいけません。3年か5年に1回くらいの見直しが適切です。

美容人材のキャリアビジョン

キャリアビジョンとは将来どのようなになりたいかという目標です。ビジョン(vision)は「見えること」を意味しますので、抽象的ではなく具体的であることが前提となります。ただし、未だ目標が定まっていない人にとってキャリアビジョンを設定することは簡単ではありません。なんらかの手がかりが必要です。

このキャリアビジョン設定に効果的な手がかりは諸説ありますが、自分にとって「働く目的は何か」という根本的な問題を明確にすると目標の裏付けがはっきりします。それを考えるための方法として一般的なのが「職業の三要素」です。働くことの目的には「経済性」「社会性」「個人性」の3つが深くかかわっており、それぞれの重要度が人の個性によって異なるというものです。

- ☑ 経済性：働くことを収入獲得の手段と見なす価値観
- ☑ 社会性：働くことで社会貢献をしたいという価値観
- ☑ 個人性：働くことで自分を成長させたいという価値観

この3要素はどれかが100%で、どれかが0という人はめったにいません。ほとんどの人は何%ずつかの比率で意識しています。これを自らに問いかけることで、自分が大切にしている働くことの価値が見えてきます。例えば経済性が最も重要だとすれば、高収入が得られるキャリアビジョンを描くと働いている途中で目標を見失う確率を減らすことができます。同様に社会性であれば福祉に貢献できること、個人性であればカリスマ美容師などが選択肢の一つになりえます。

こうして抽象的な目的を設定すると、具体的な目標にたどり着くことができます。ただし、人生は働くことだけではありません。結婚、出産、育児、子どもの教育、親の介護など多様な出来事があり、時間の制約が生まれるほか、思わぬ出費もありえます。したがって、仕事を含み人生全体のライフキャリアも想定が必要です。結婚をして子どもが出来たら妻は専業主婦になるのか、夫婦で共働きをするのかという問題も深刻です。女性であれば職業を継続するのか、離職するのかの判断がせまれ、男性は妻が離職した後の家計を支えられるかという問題が発生します。

人生には予測不能な出来事が多く発生し、必ずしも計画どおりにはいきません。しかし、計画を立てておくに必要な情報をキャッチするアンテナが敏感になり、チャンスをもにできる可能性を増やせます。ライフキャリアを想定してキャリアビジョンを設定し、キャリアパスを参考にしてキャリアプランを練り上げておくことは、充実した人生を送るために役立ちます。

美容分野 職業キャリア教育

平成29年2月 初版第1刷発行

事業名：平成28年度 文部科学省委託 成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業
美容専門教育に必要な人材基礎力を養成する教育プログラムの開発と実証

発行者：学校法人大英学園 大阪美容専門学校

無断転載・複製を禁ず

平成28年度 文部科学省 成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業
グローバルに活躍できる美容人材のマネジメント基盤力を養成する
教育プログラムの開発と実証

事業報告書

【発行日】

平成28年 2 月

【発行者】

学校法人大美学園 大阪美容専門学校

〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造2-28-27
TEL 06-6761-6569 FAX 06 - 6761-3726